

Iwate Medical University Educational Data Book 2025



岩手医科大学教学IRデータ集

目次

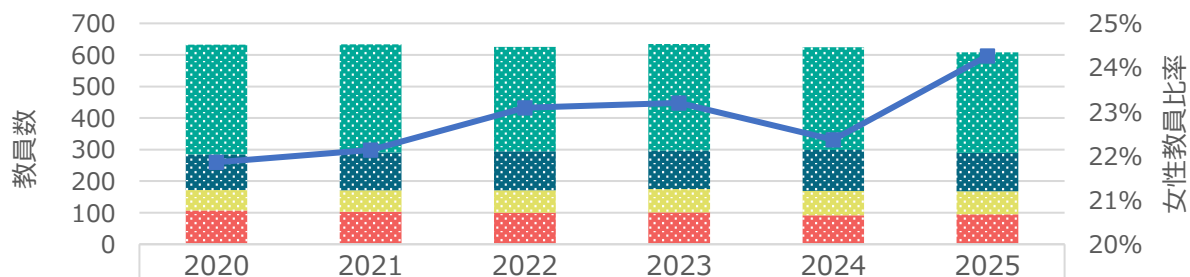
1. 教職員・学生数等	
1-1 教員数推移	1
1-2 在学生数推移	6
1-3 収容定員充足率推移、S/T比推移	10
2. 志願者数・入学状況	
2-1 志願者数、志願倍率推移	11
2-2 志願状況学外比較	15
2-3 入学者年齢推移	20
2-4 入学者男女比推移	24
2-5 入学者出身校地域別推移	26
3. 在学時状況	
3-1 ストレート進級率推移	31
3-2 留年者・退学者・休学者数推移	33
3-3 標準年限超過者数推移	37
3-4 奨学金等受給者・受給率推移	38
3-5 学修支援アンケート集計結果経年推移	40
4. 卒業時状況	
4-1 年度別卒業者数・卒業率推移	71
4-2 就職者・就職率および大学院進学者・進学率推移	73
4-3 国家試験合格率推移	75
4-4 卒後直近の進路状況	77

○本データ集の対象期間は2020年度～2025年度の6年間です。一部対象期間以外のデータについても掲載しています。

○グラフ中の西暦はすべて年度を表しています。また、データの算定根拠となる数値は、原則として各年度の5月1日時点での値となります。

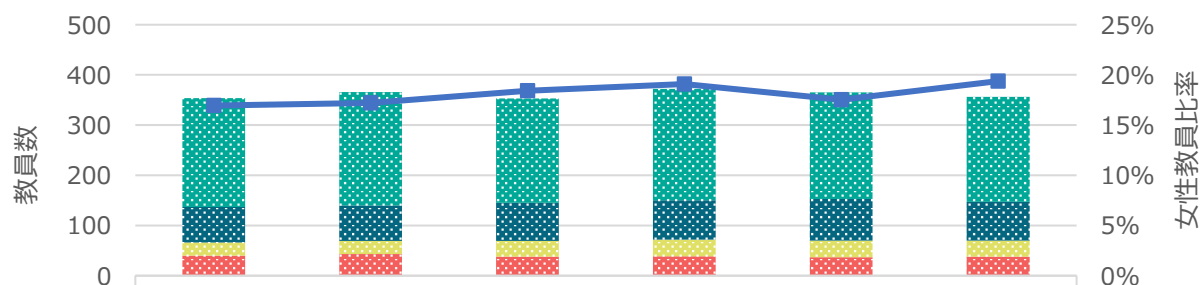
○3-2「留年者・退学者・休学者数推移」、4「卒業時状況」は、表示年度の3月31日時点の値となります。

教員数推移_大学全体



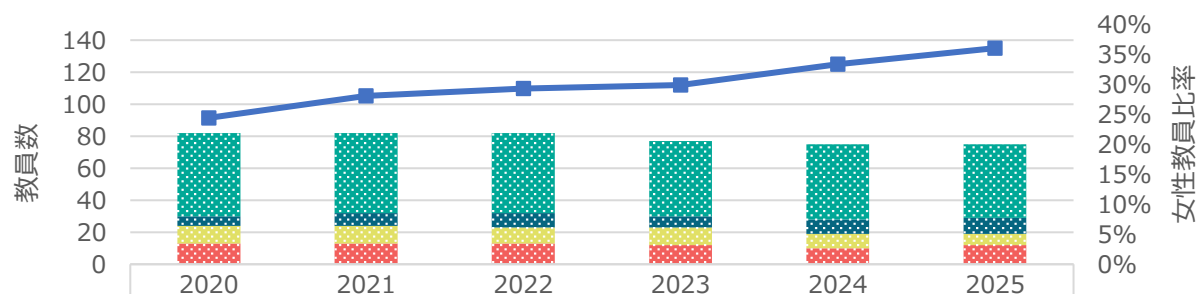
助教・助手	348	343	330	338	325	318
講師	113	120	124	122	130	122
准教授	65	68	71	74	77	73
教授	107	103	100	101	92	95
女性教員比率	21.9%	22.1%	23.1%	23.2%	22.4%	24.3%

医学部教員数推移



助教・助手	217	226	208	222	212	209
講師	71	71	76	78	83	77
准教授	26	26	31	33	33	32
教授	40	43	38	39	37	38
女性教員比率	16.9%	17.2%	18.4%	19.1%	17.5%	19.4%

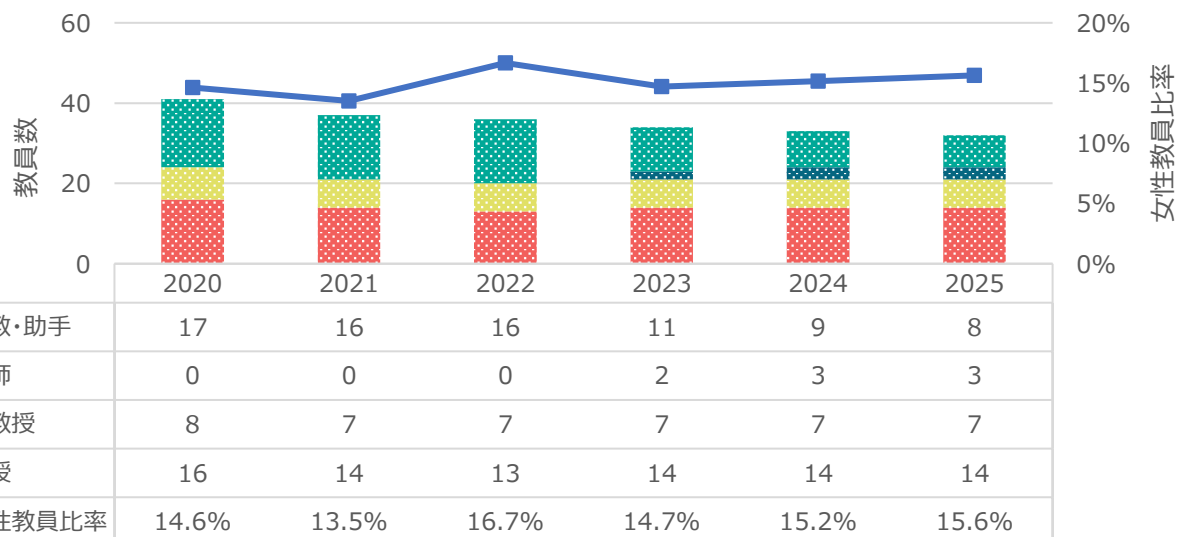
歯学部教員数推移



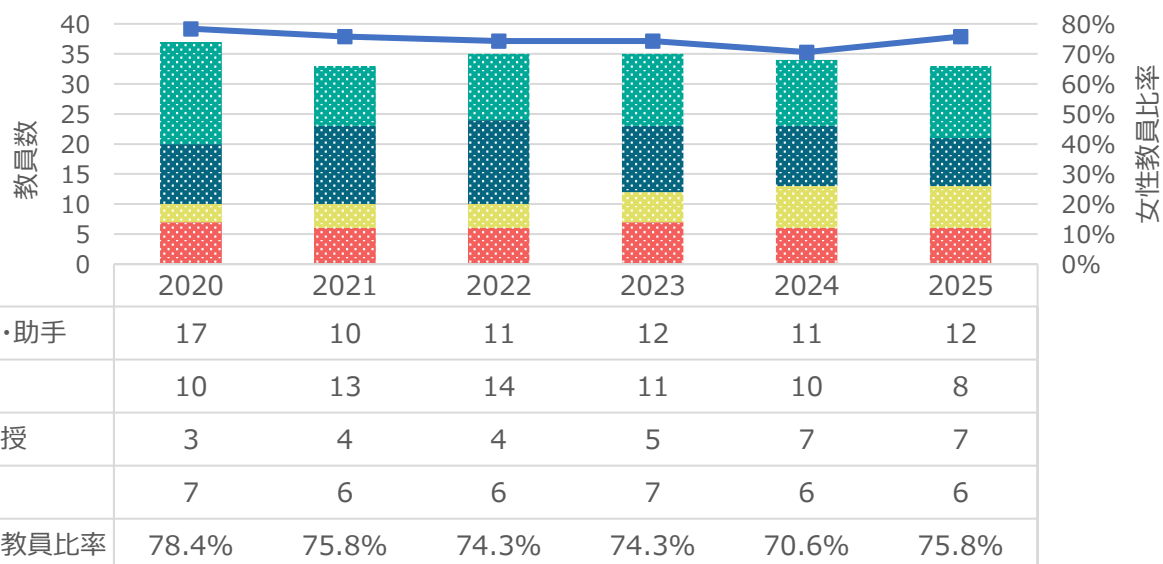
助教・助手	52	50	50	47	47	46
講師	6	8	9	7	9	10
准教授	11	11	10	11	9	7
教授	13	13	13	12	10	12
女性教員比率	24.4%	28.0%	29.3%	29.9%	33.3%	36.0%

教員数推移（つづき）

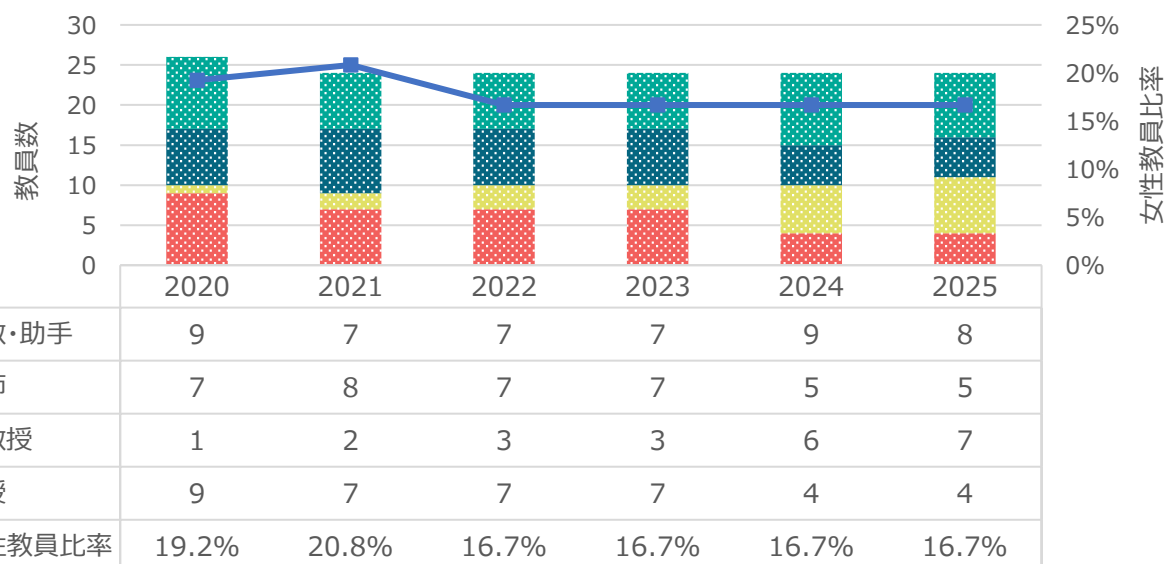
薬学部教員数推移



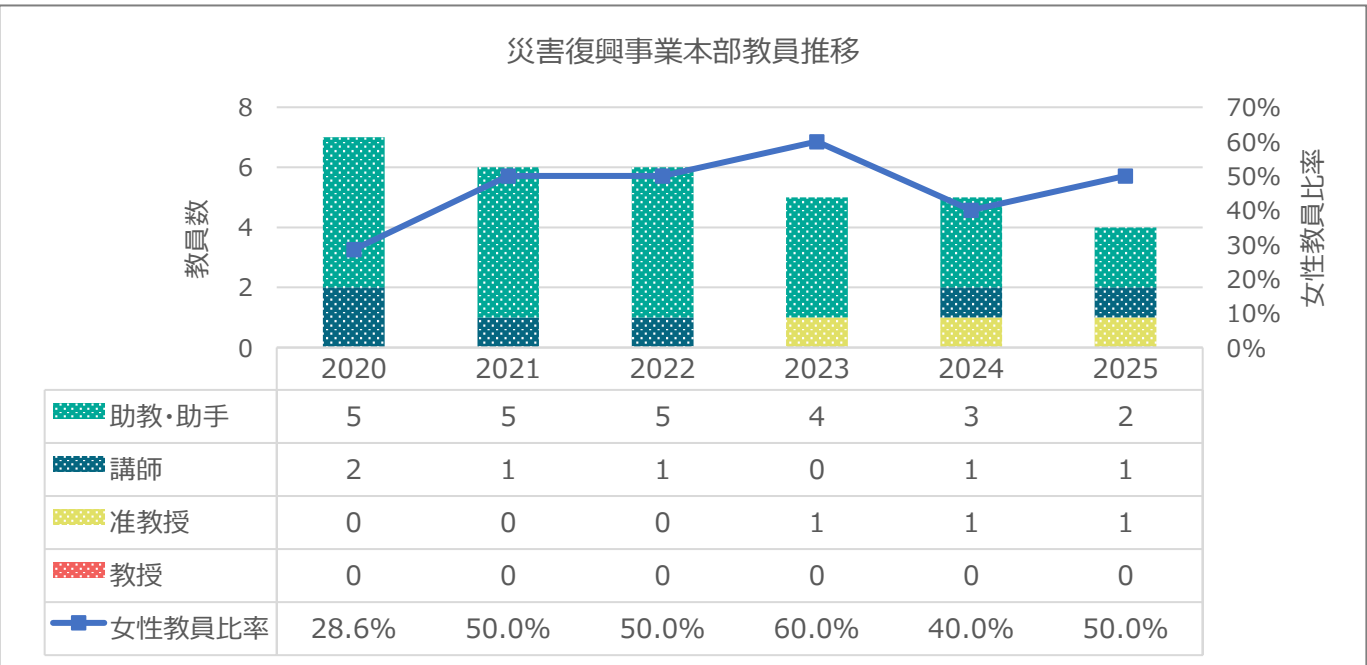
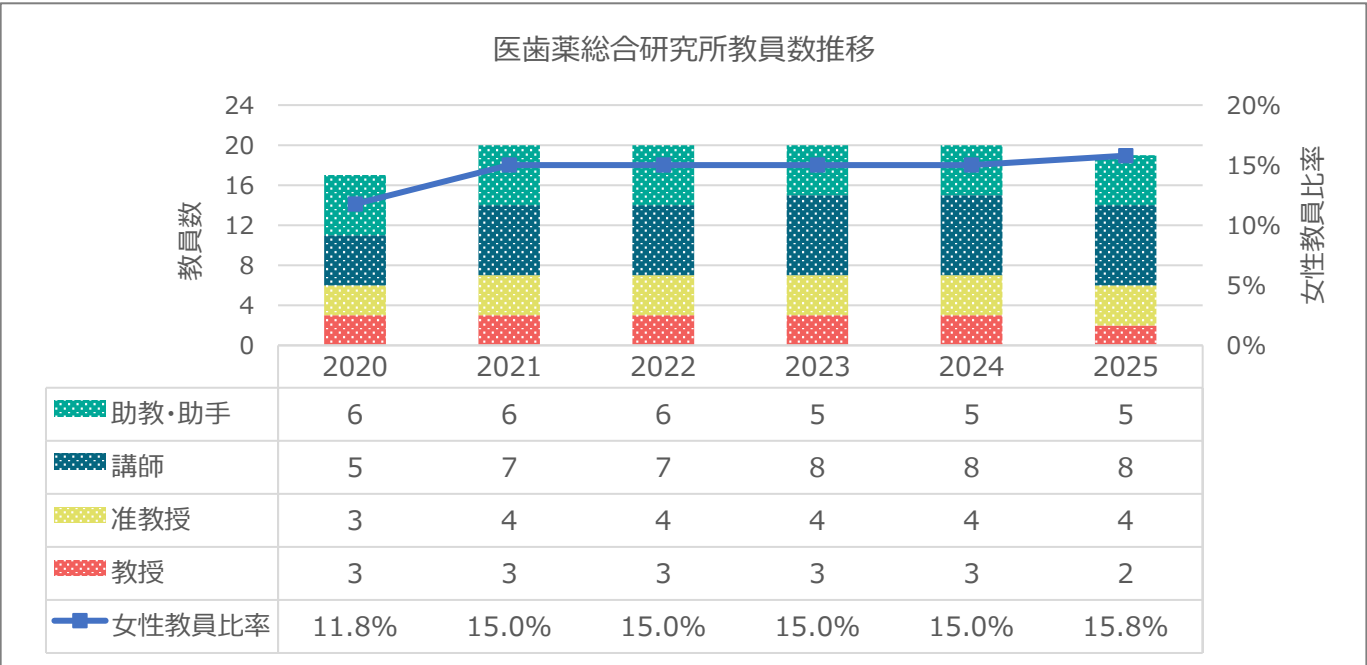
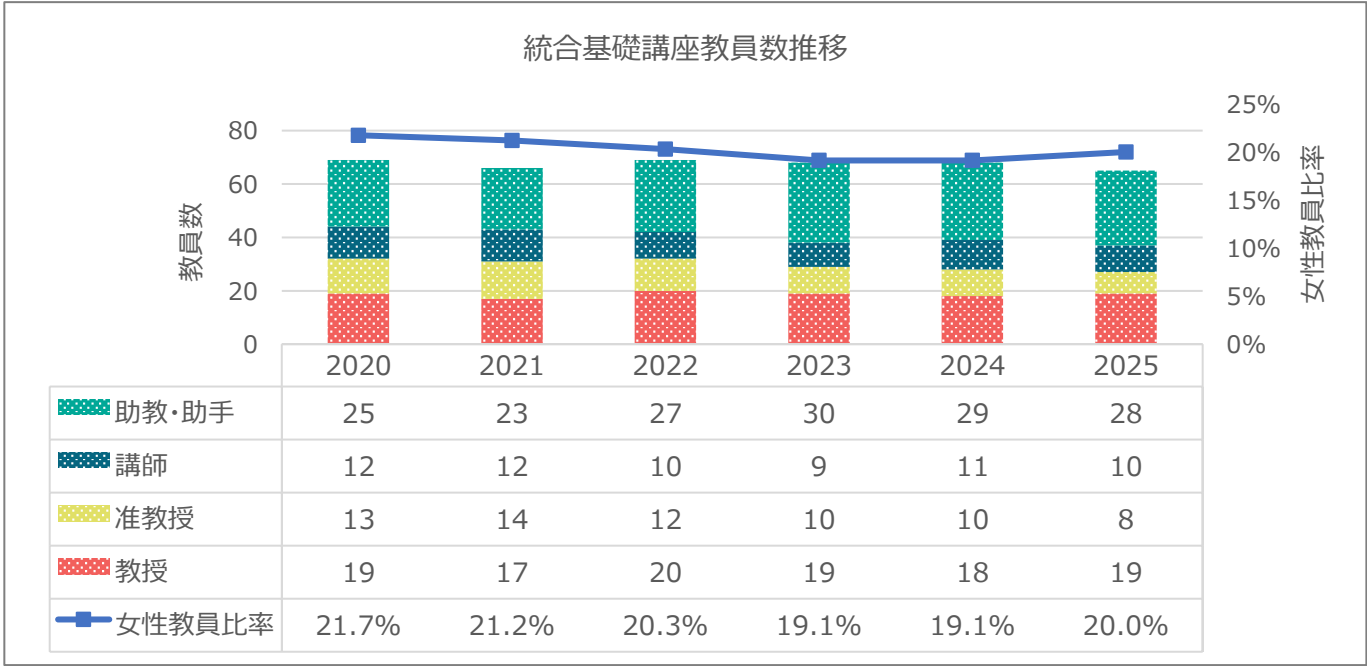
看護学部教員数推移



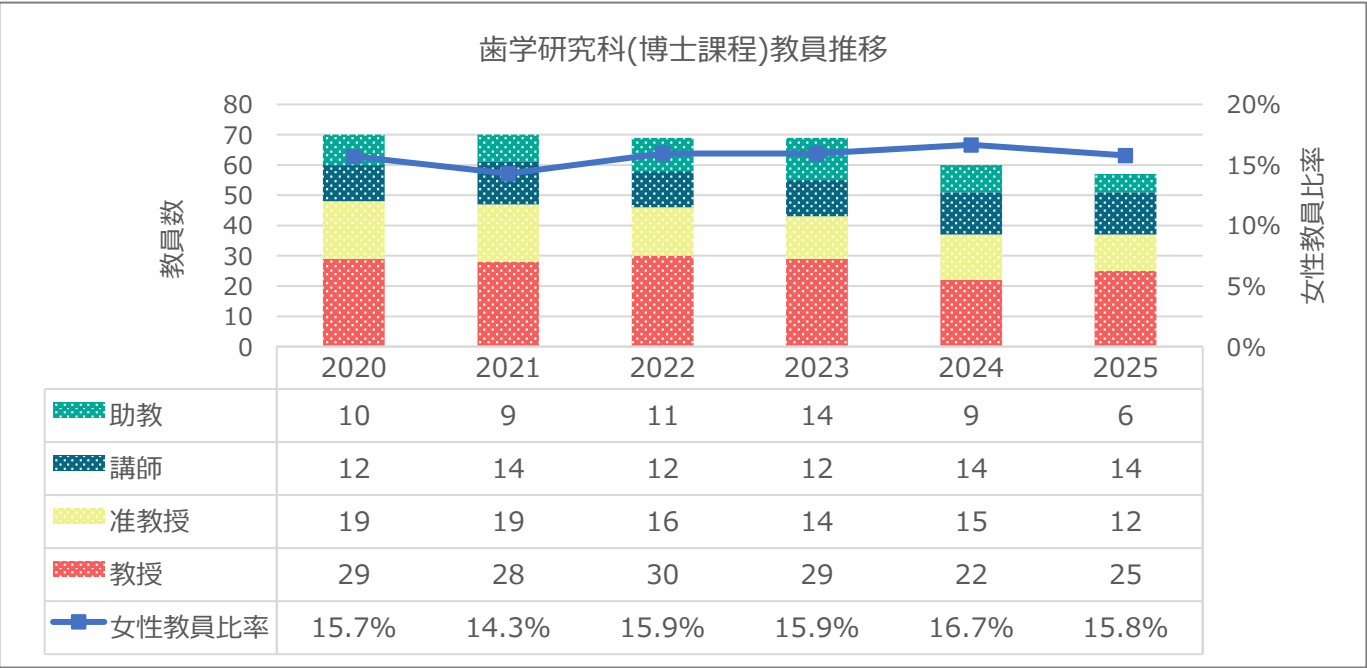
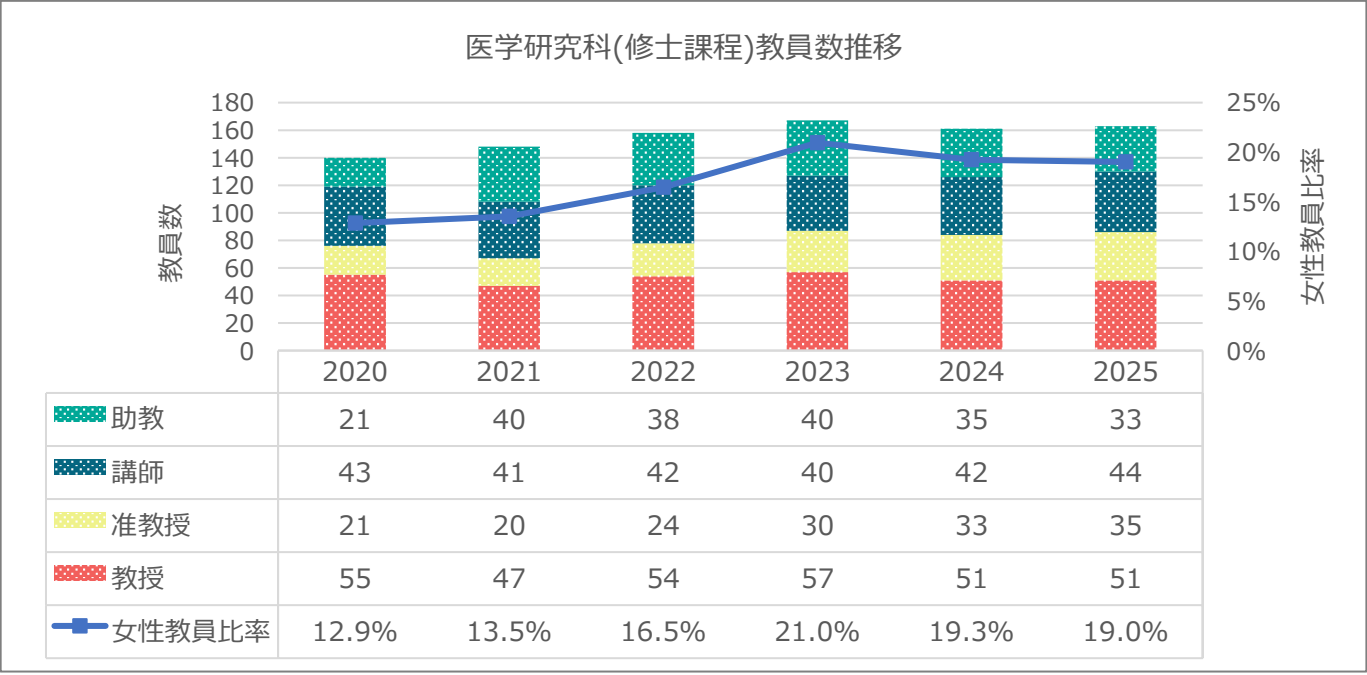
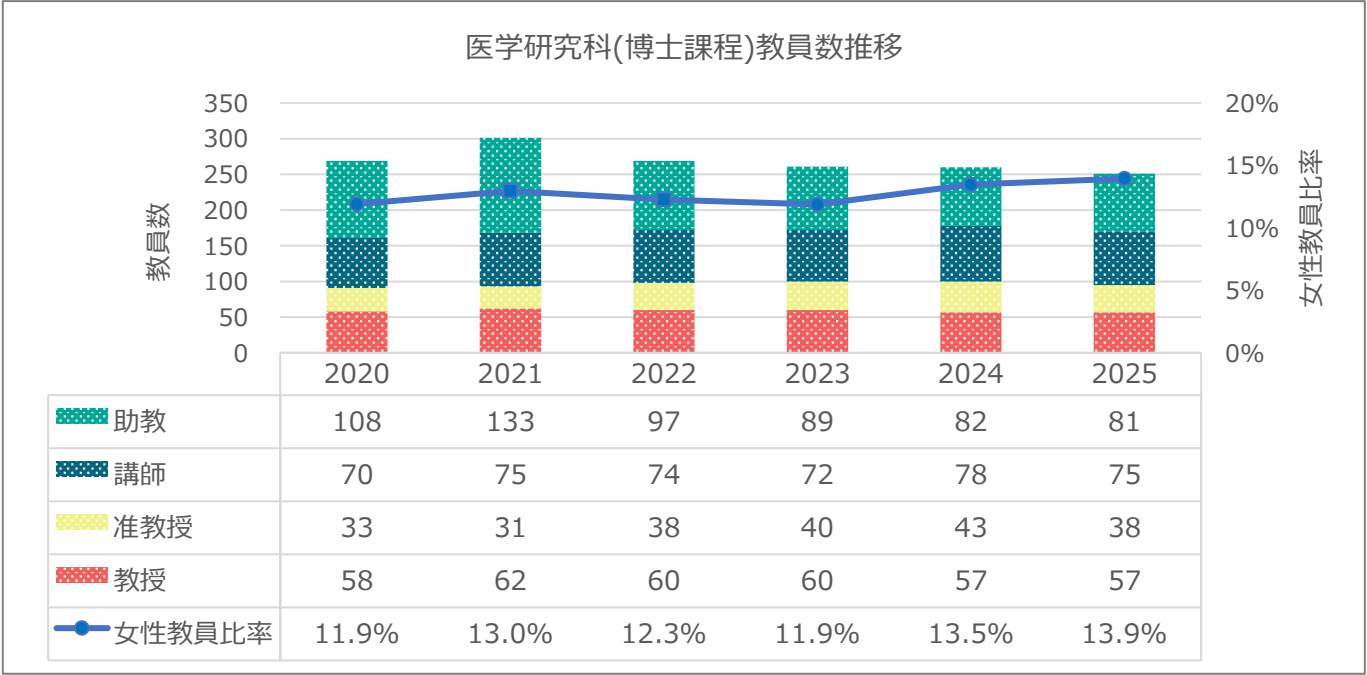
教養教育センター教員数推移



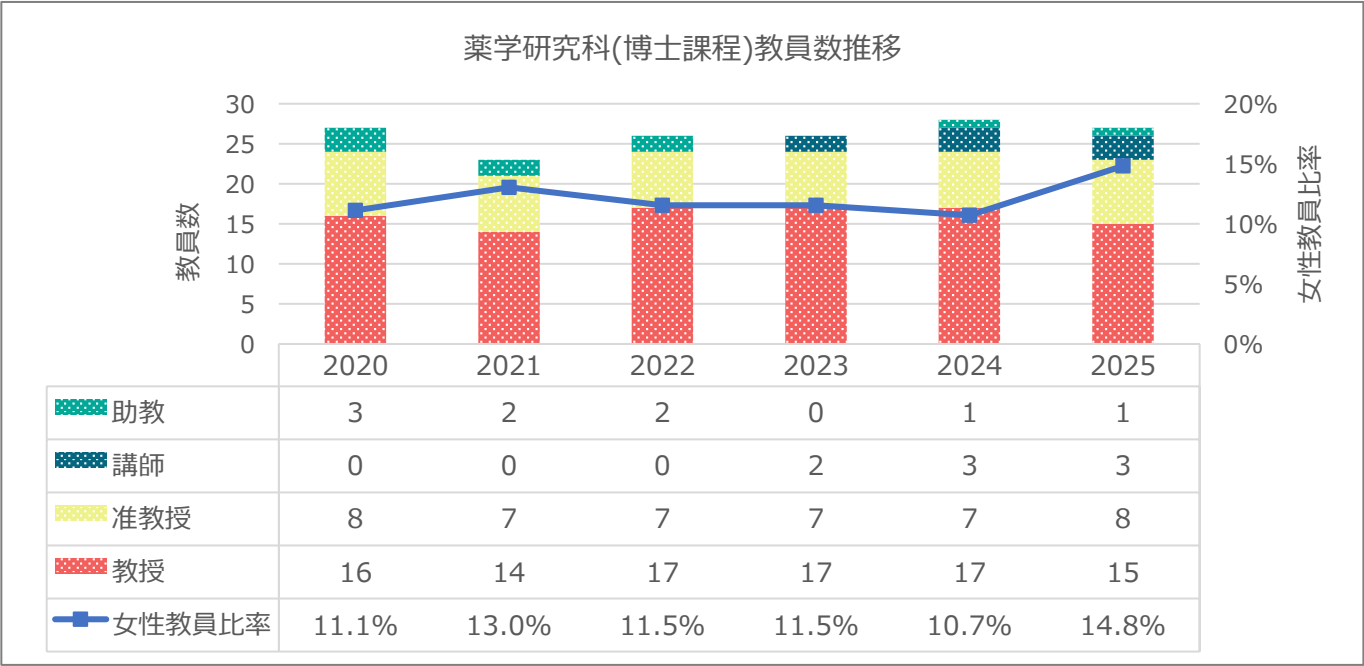
教員数推移（つづき）



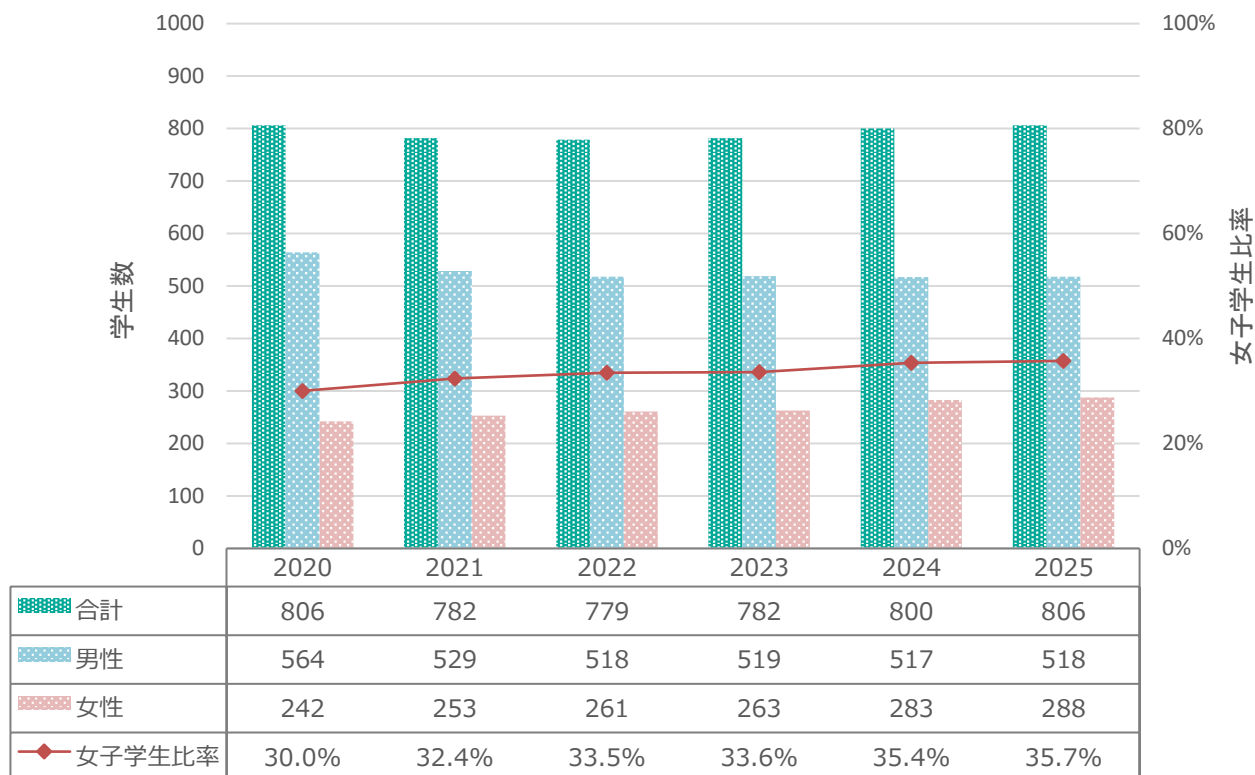
教員数推移（つづき）



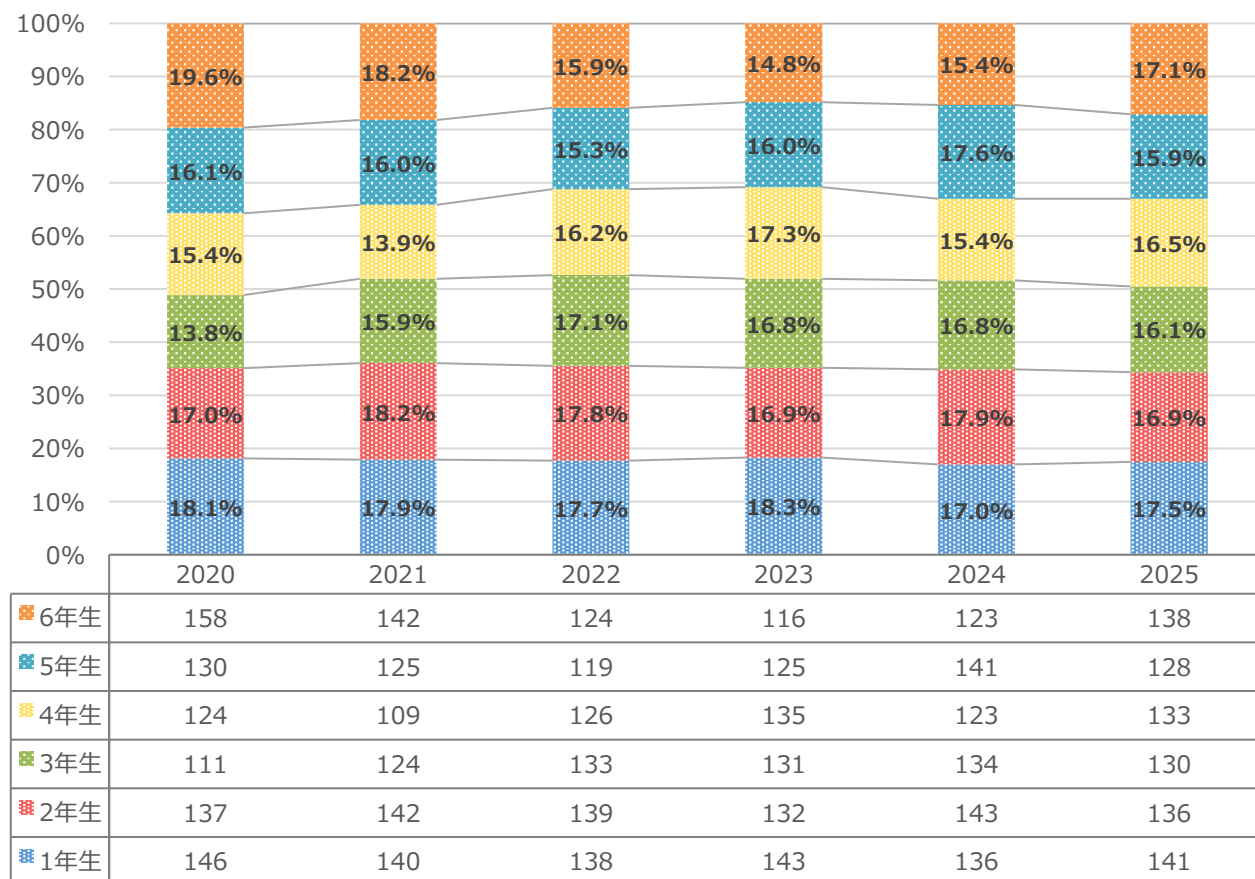
教員数推移（つづき）



在学生数推移_医学部

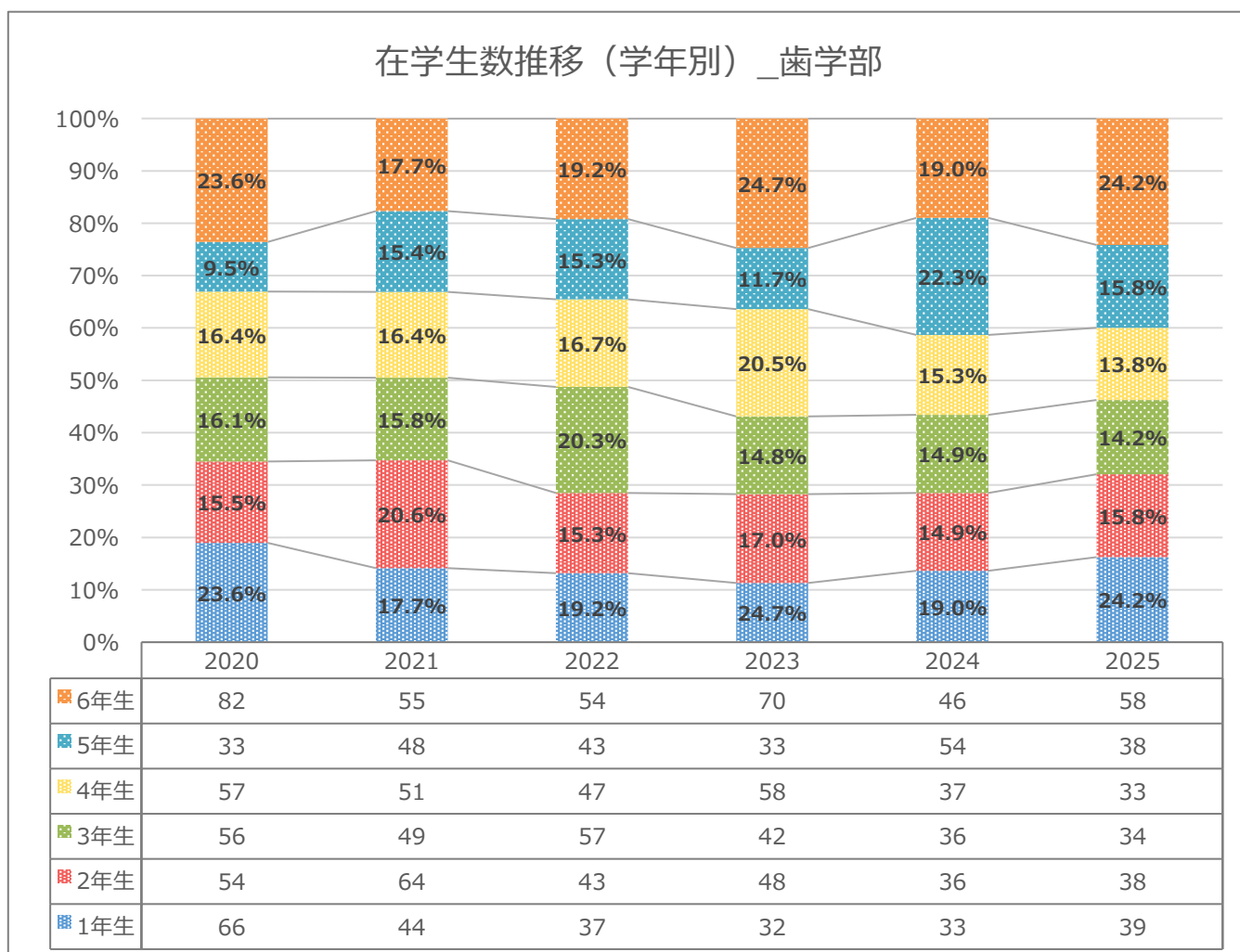
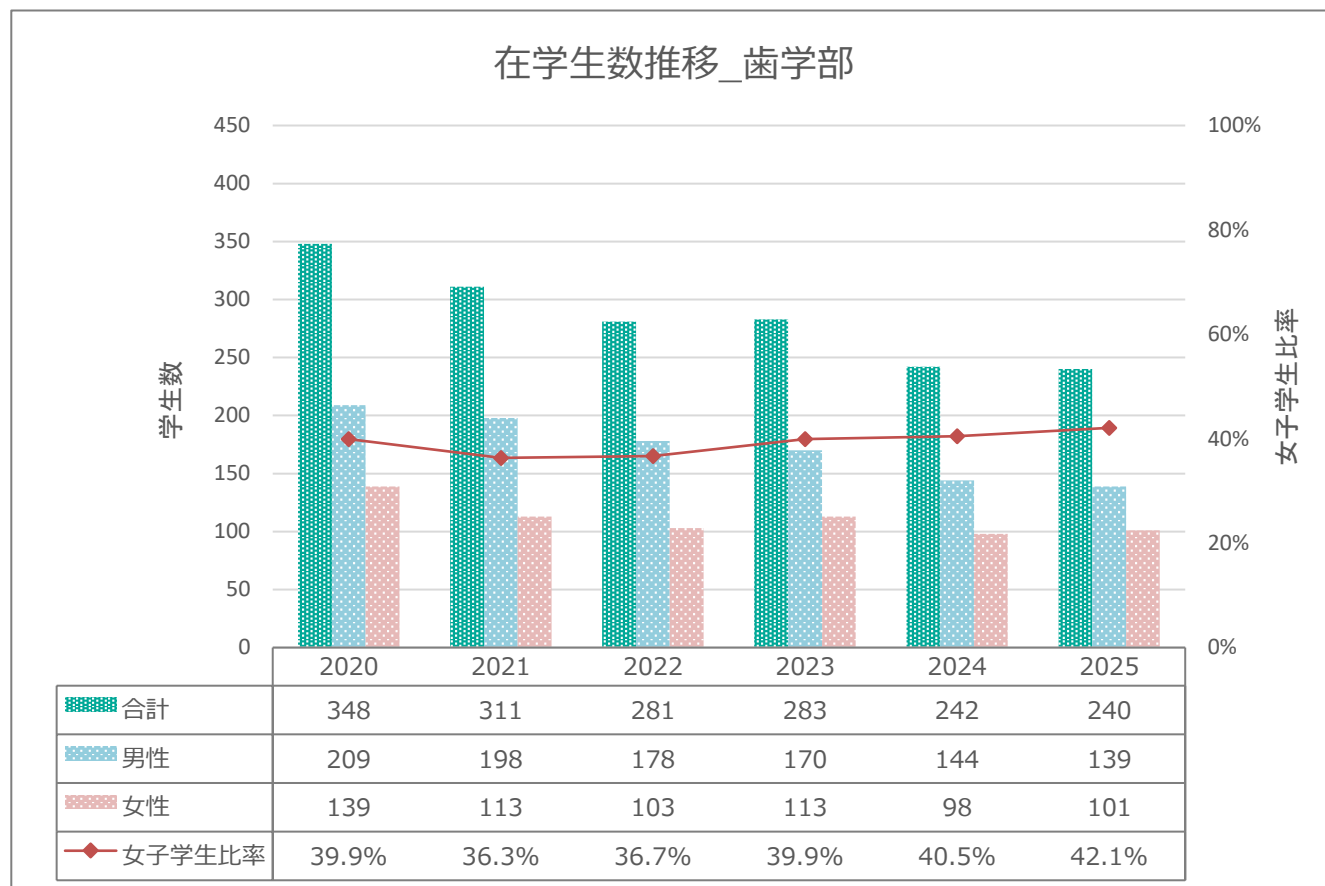


在学生数推移（学年別）_医学部



※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

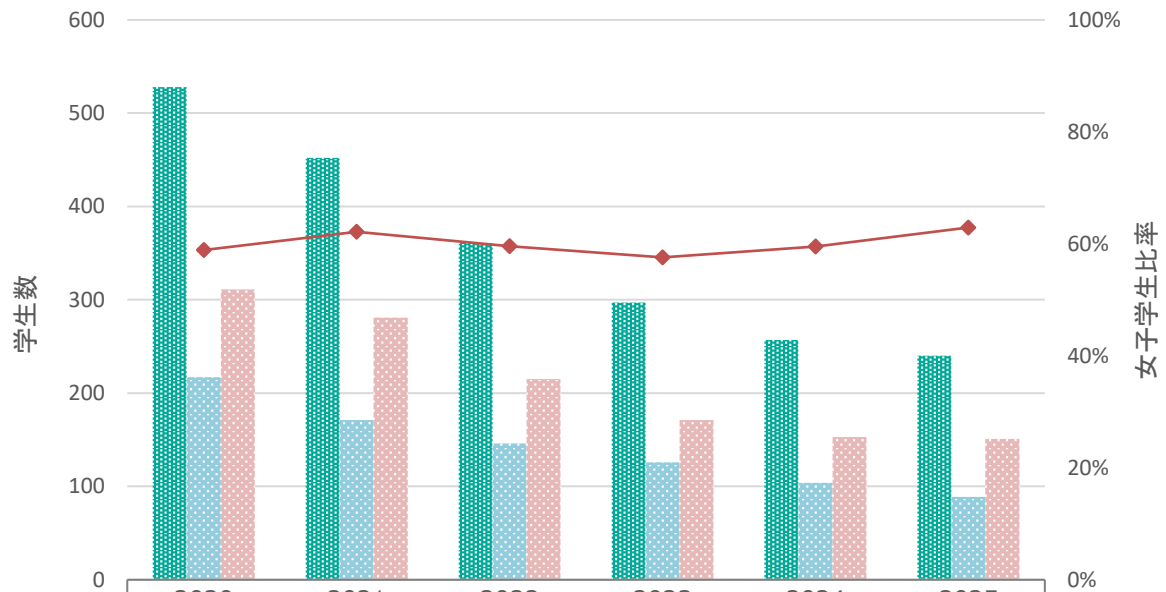
在学生数推移（つづき）



※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

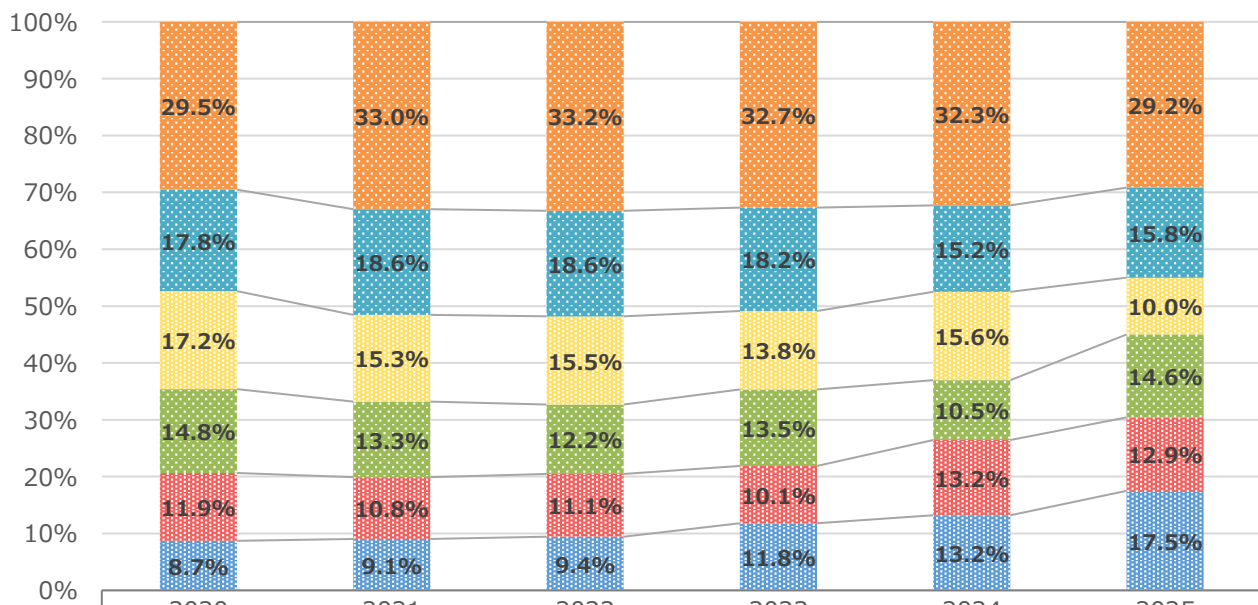
在学生数推移（つづき）

在学生数推移_薬学部



合計	528	452	361	297	257	240
男性	217	171	146	126	104	89
女性	311	281	215	171	153	151
女子学生比率	58.9%	62.2%	59.6%	57.6%	59.5%	62.9%

在学生数推移（学年別）_薬学部

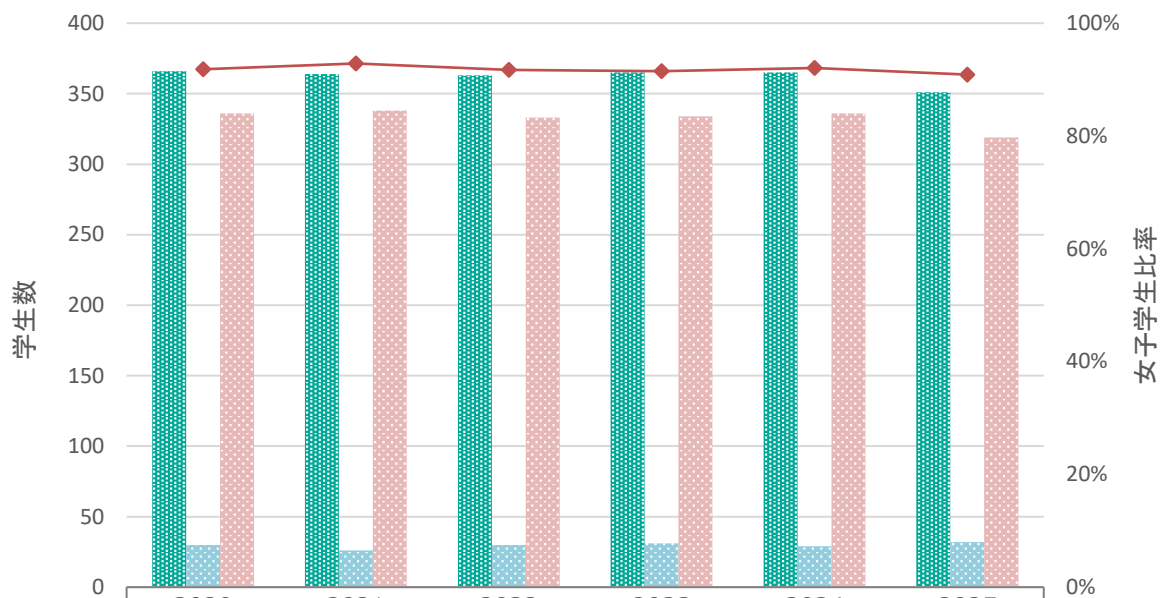


	2020	2021	2022	2023	2024	2025
6年生	156	149	120	97	83	70
5年生	94	84	67	54	39	38
4年生	91	69	56	41	40	24
3年生	78	60	44	40	27	35
2年生	63	49	40	30	34	31
1年生	46	41	34	35	34	42

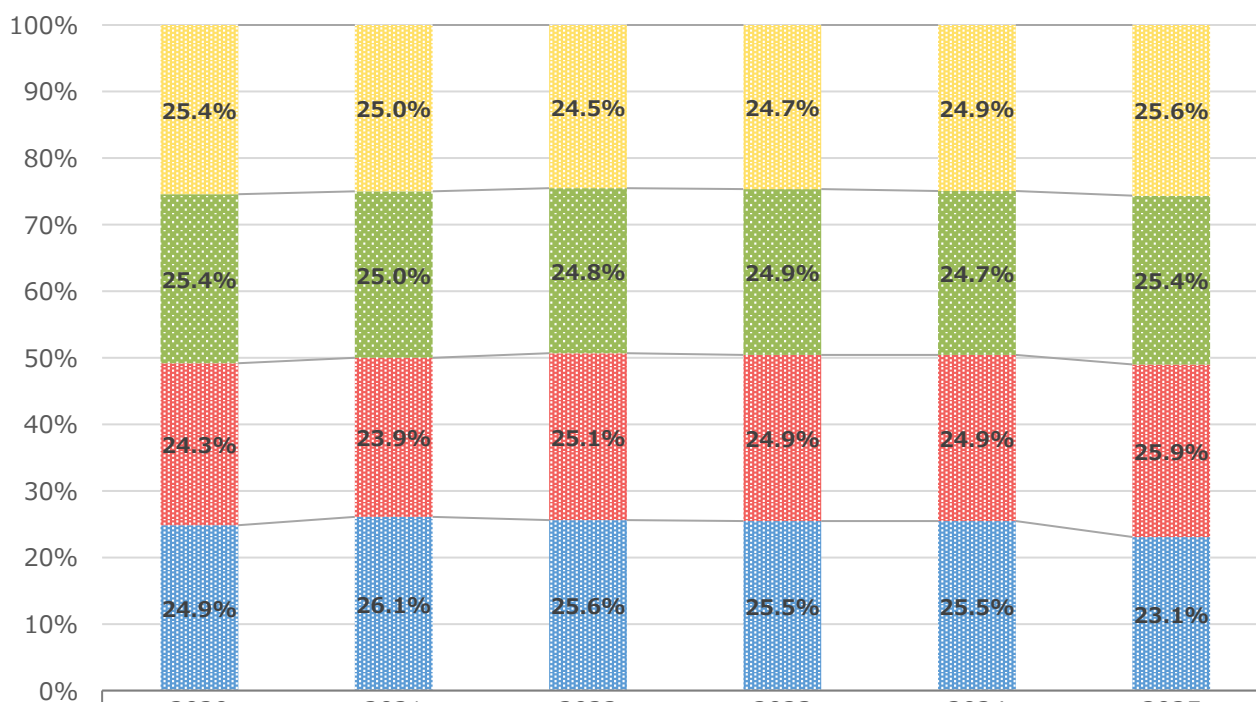
※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

在学生数推移（つづき）

在学生数推移_看護学部



在学生数推移（学年別）_看護学部



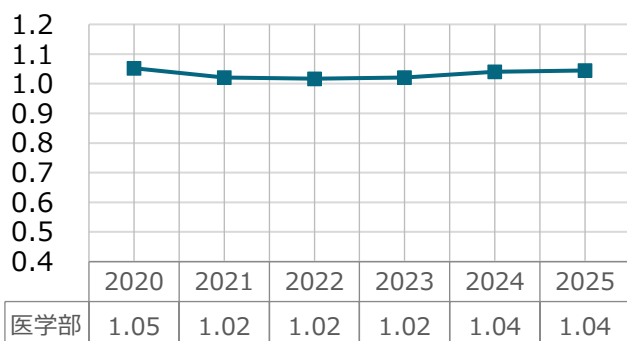
4年生	93	91	89	90	91	90
3年生	93	91	90	91	90	89
2年生	89	87	91	91	91	91
1年生	91	95	93	93	93	81

※小数点以下の処理により、割合の合計が100%ではない年度があります。

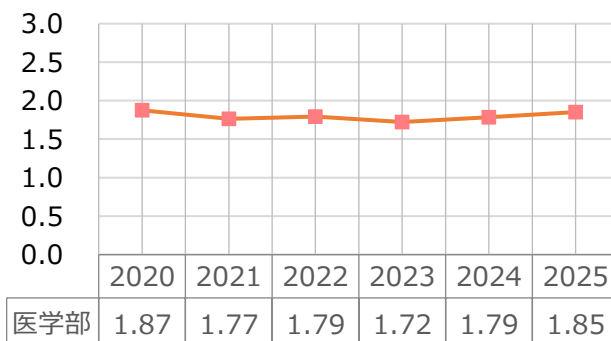
定員充足率：大学が学則において定める、各年度の収容定員をどの程度満たしているかを図る指標

S/T比：Student-Teacher比、教員1人あたりが受け持つ学生数を示す指標

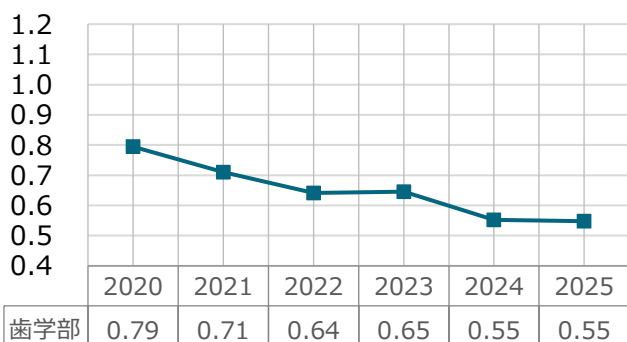
定員充足率推移_医学部



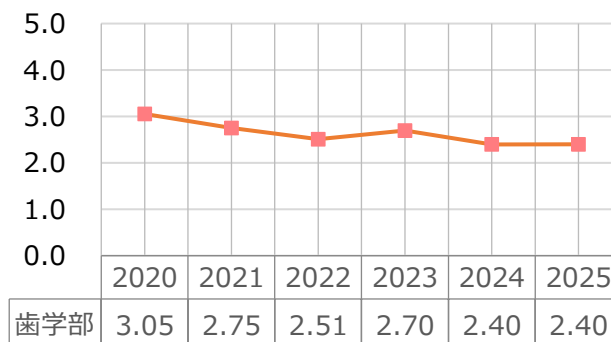
S/T比推移_医学部



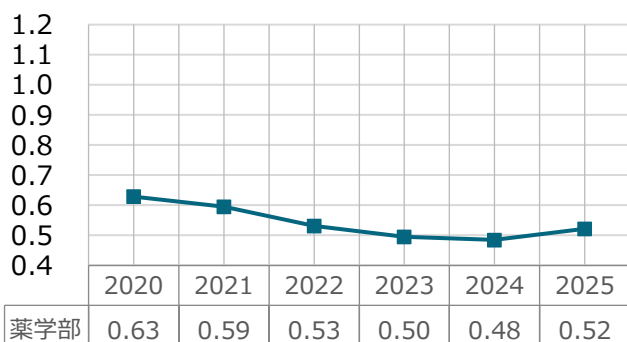
定員充足率推移_歯学部



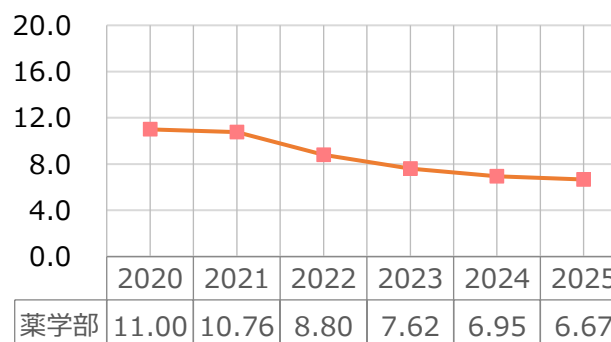
S/T比推移_歯学部



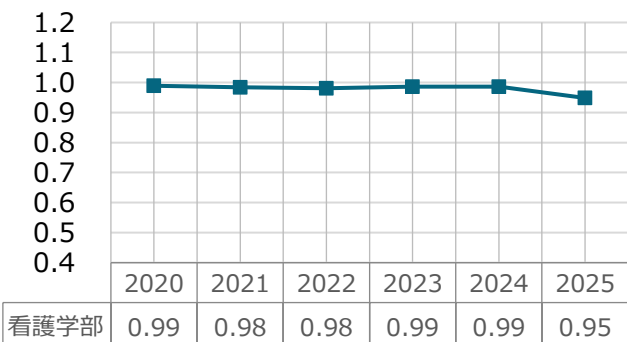
定員充足率推移_薬学部



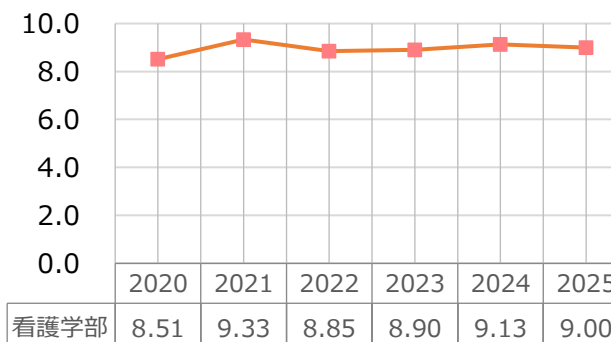
S/T比推移_薬学部



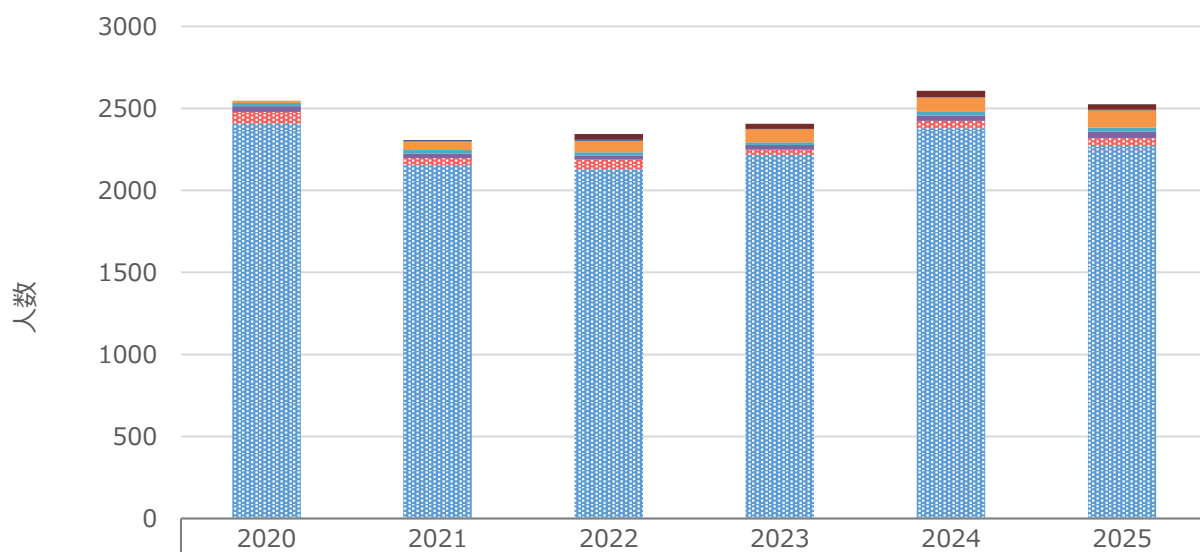
定員充足率推移_看護学部



S/T比推移_看護学部

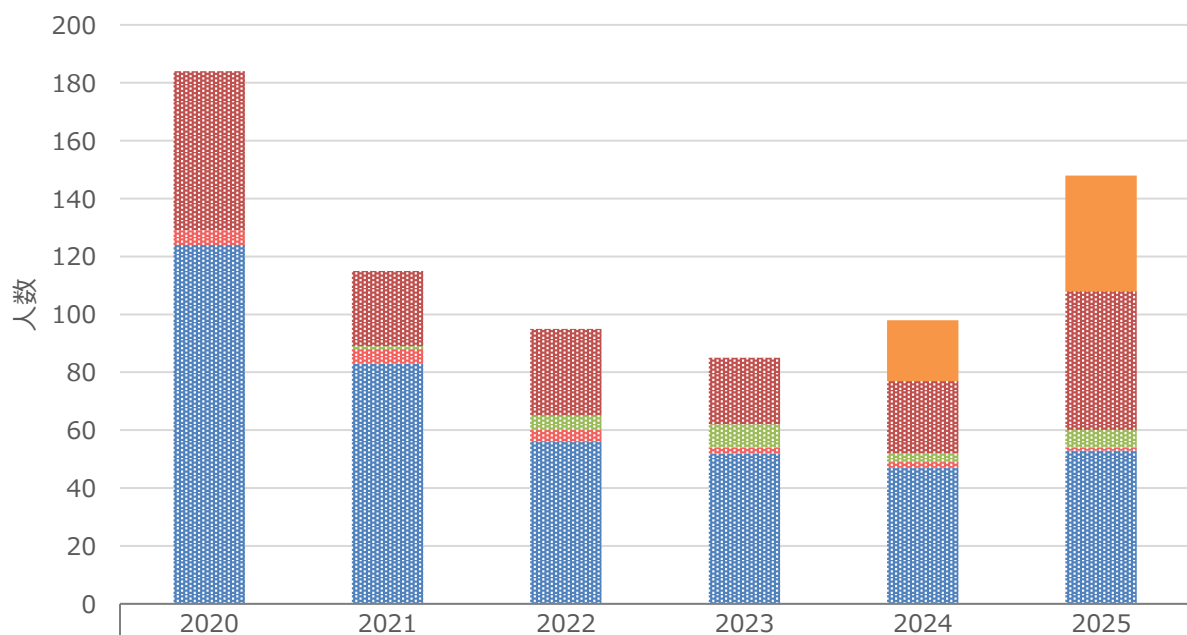


医学部志願者推移



	2020	2021	2022	2023	2024	2025
医学部総合型選抜			35	32	39	34
秋田県地域枠特別推薦		8	5	2	3	4
地域枠特別入試C,D	14	52	71	80	87	104
地域枠特別推薦入試B	21	21	19	15	22	27
地域枠特別推薦入試A	34	29	27	29	33	38
一般推薦入試	73	42	57	32	45	48
一般入試	2406	2155	2130	2217	2379	2271

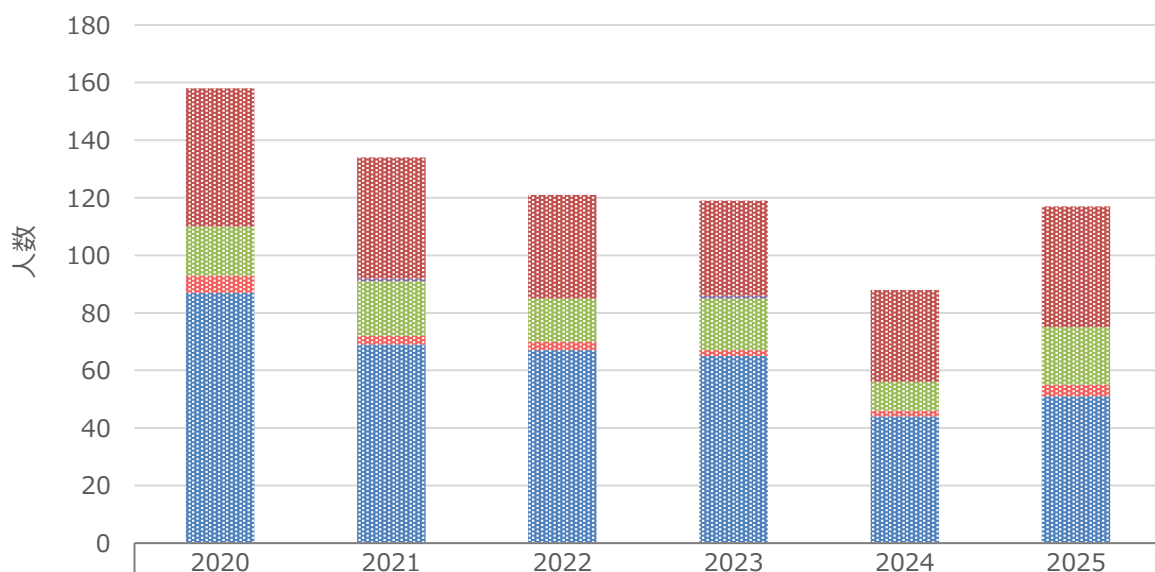
歯学部志願者推移



	2020	2021	2022	2023	2024	2025
医入試利用					21	40
共通テスト利用入試	55	26	30	23	25	48
指定校推薦入試	0	1	5	8	3	6
一般推薦入試	5	5	4	2	2	1
一般入試	124	83	56	52	47	53

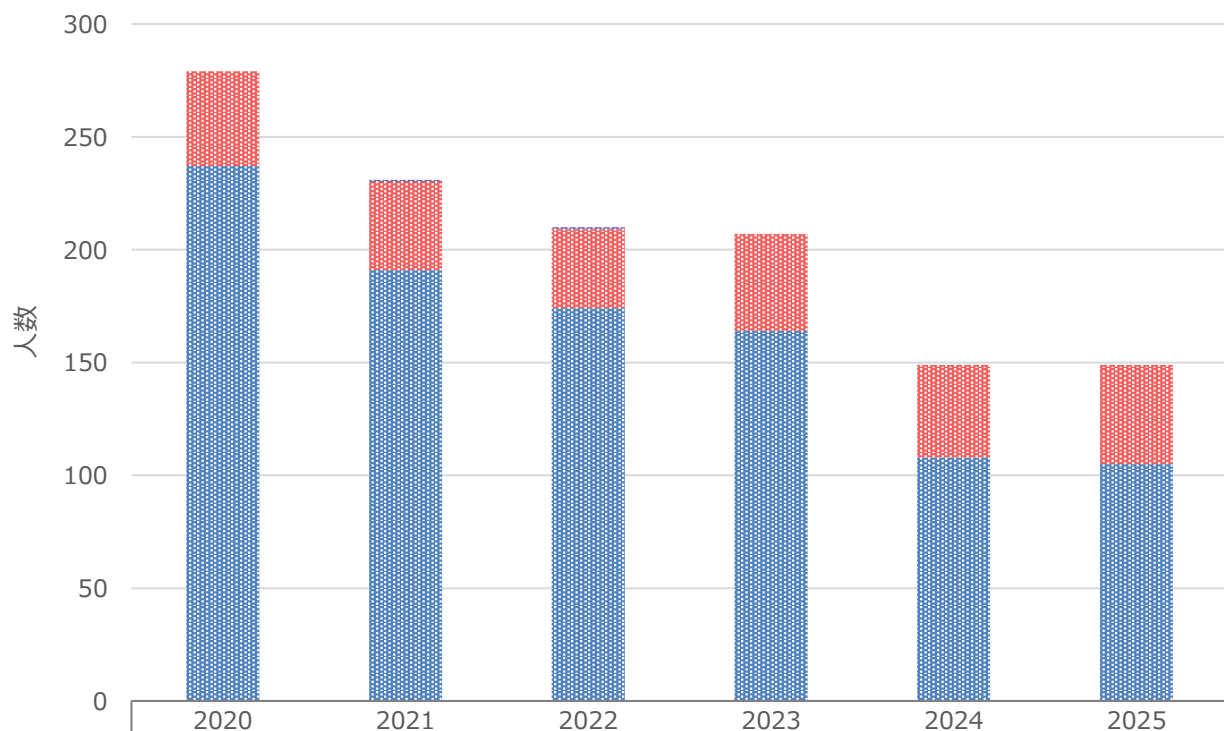
志願者数推移（つづき）

薬学部志願者推移



	2020	2021	2022	2023	2024	2025
共通テスト利用入試	48	42	36	33	32	42
帰国子女特別推薦入試	0	0	0	0	0	0
社会人特別入試	0	1	0	1	0	0
指定校推薦入試	17	19	15	18	10	20
一般推薦入試	6	3	3	2	2	4
一般入試	87	69	67	65	44	51

看護学部志願者推移

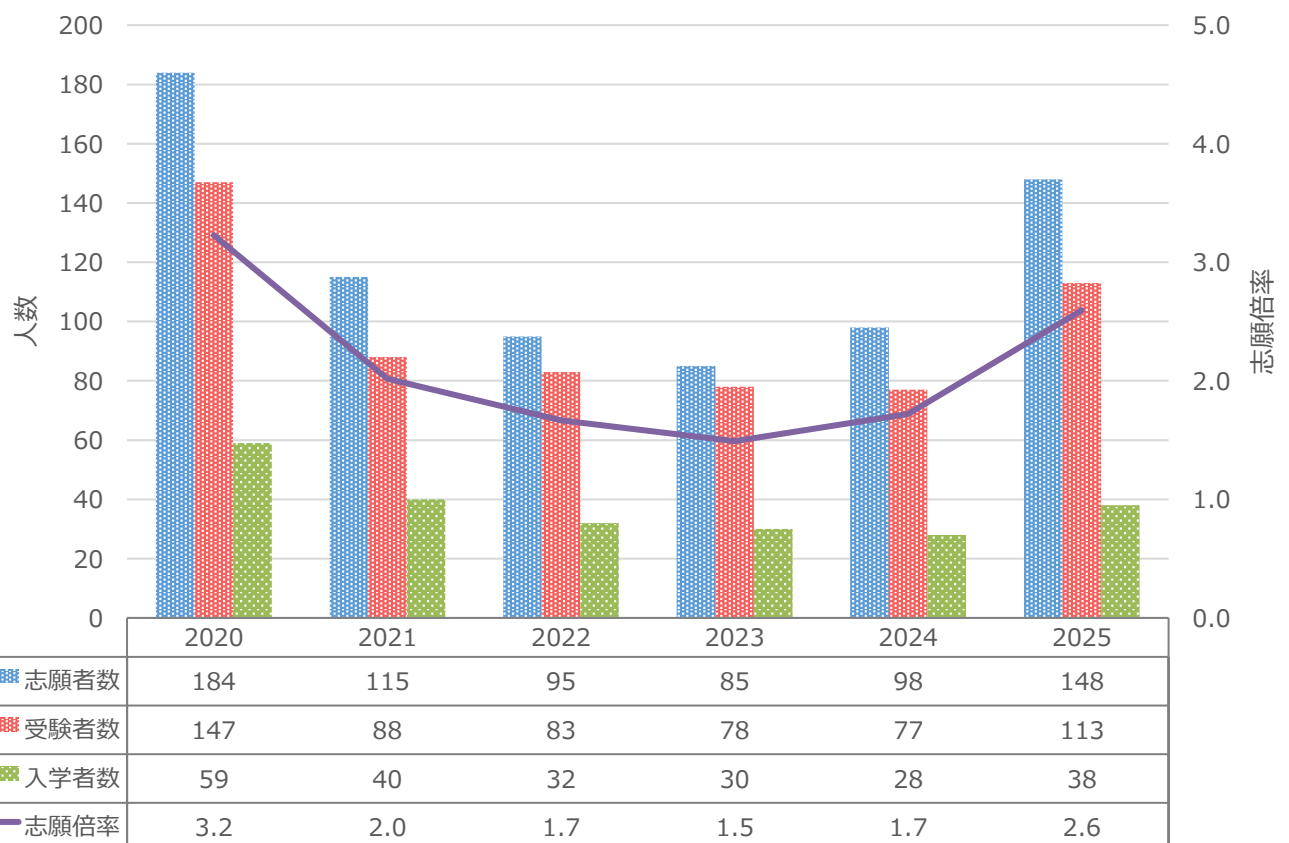


	2020	2021	2022	2023	2024	2025
社会人特別入試	0	1	1	0	0	0
一般推薦入試	42	39	35	43	41	44
一般入試	237	191	174	164	108	105

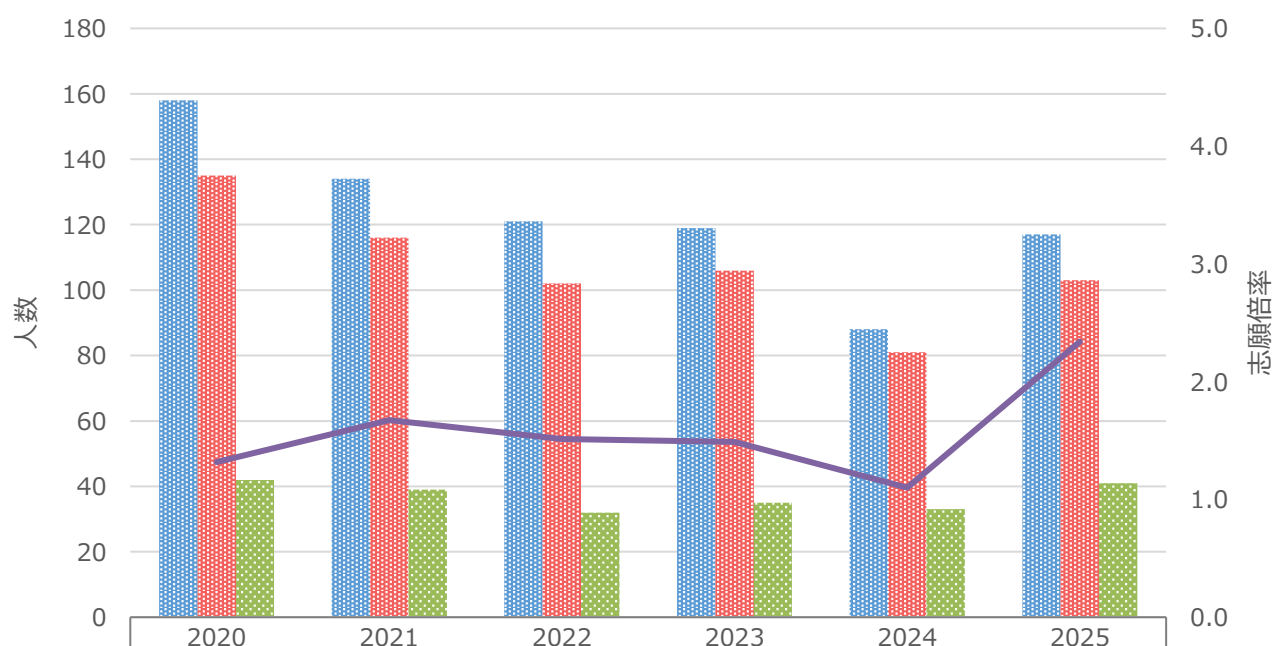
医学部



歯学部



薬学部



志願者数	158	134	121	119	88	117
受験者数	135	116	102	106	81	103
入学者数	42	39	32	35	33	41
志願倍率	1.3	1.7	1.5	1.5	1.1	2.3

看護学部



志願者数	279	231	210	207	149	149
受験者数	271	218	204	199	142	137
入学者数	90	91	90	92	91	78
志願倍率	3.1	2.6	2.3	2.3	1.7	1.7

2-2-1 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_医学部

出典：文部科学省 医学教育課 令和6年度の各大学医学部医学科の入学状況等

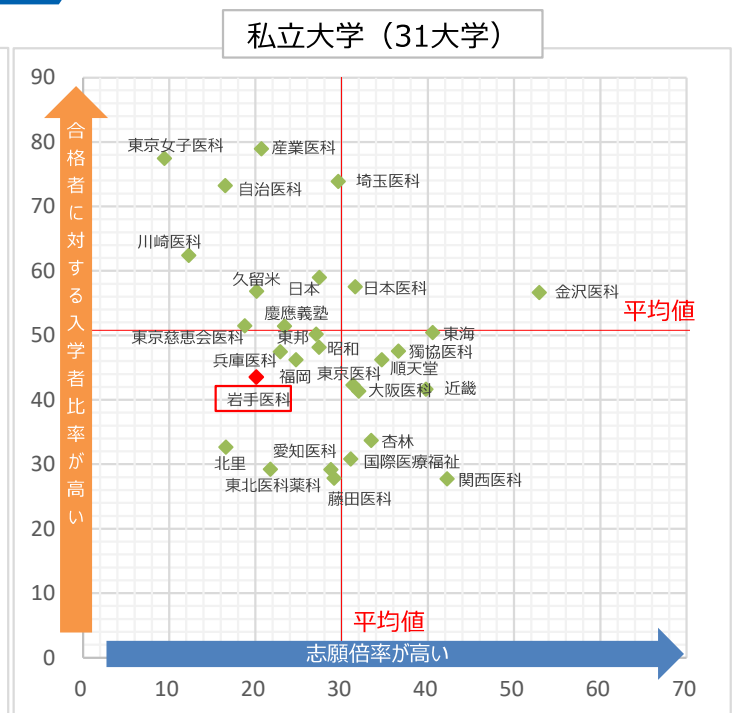
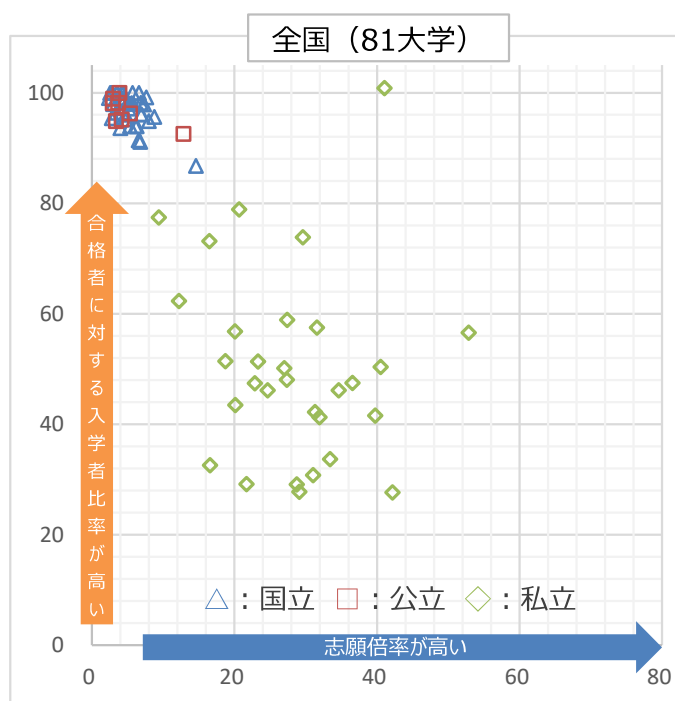
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1324090.htm

※令和7年度の情報が公開され次第、更新予定

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
1	国立	北海道大学	90	311	289	90	90	3.5	100.0
2	国立	旭川医科大学	95	697	488	97	95	7.3	97.9
3	国立	弘前大学	112	640	548	112	112	5.7	100.0
4	国立	東北大学	116	581	458	122	120	5.0	98.4
5	国立	秋田大学	124	853	442	129	124	6.9	96.1
6	国立	山形大学	113	769	490	124	113	6.8	91.1
7	国立	筑波大学	129	611	528	128	123	4.7	96.1
8	国立	群馬大学	108	405	276	111	108	3.8	97.3
9	国立	千葉大学	117	768	377	129	118	6.6	91.5
10	国立	東京大学	100	435	295	100	100	4.4	100.0
11	国立	東京医科歯科大学	102	567	360	108	106	5.6	98.1
12	国立	新潟大学	140	601	493	145	140	4.3	96.6
13	国立	富山大学	105	294	234	110	105	2.8	95.5
14	国立	金沢大学	111	394	243	116	116	3.5	100.0
15	国立	福井大学	110	964	361	115	110	8.8	95.7
16	国立	山梨大学	125	1827	347	144	125	14.6	86.8
17	国立	信州大学	120	566	398	126	120	4.7	95.2
18	国立	岐阜大学	110	307	231	111	111	2.8	100.0
19	国立	浜松医科大学	115	616	372	117	110	5.4	94.0
20	国立	名古屋大学	107	449	298	112	112	4.2	100.0
21	国立	三重大学	125	955	439	126	125	7.6	99.2
22	国立	滋賀医科大学	95	402	362	96	95	4.2	99.0
23	国立	京都大学	107	302	284	112	112	2.8	100.0
24	国立	大阪大学	97	290	266	99	97	3.0	98.0
25	国立	神戸大学	112	435	288	113	112	3.9	99.1
26	国立	鳥取大学	105	295	262	105	105	2.8	100.0
27	国立	島根大学	102	594	529	104	102	5.8	98.1
28	国立	岡山大学	109	375	335	112	108	3.4	96.4
29	国立	広島大学	118	473	442	126	118	4.0	93.7
30	国立	山口大学	109	668	397	116	109	6.1	94.0
31	国立	徳島大学	112	270	215	113	112	2.4	99.1
32	国立	香川大学	109	514	371	110	109	4.7	99.1
33	国立	愛媛大学	110	729	434	110	110	6.6	100.0
34	国立	高知大学	110	759	756	112	110	6.9	98.2
35	国立	九州大学	105	268	241	108	108	2.6	100.0
36	国立	佐賀大学	103	534	308	107	104	5.2	97.2
37	国立	長崎大学	115	485	430	115	115	4.2	100.0
38	国立	熊本大学	110	476	452	112	112	4.3	100.0
39	国立	大分大学	100	537	239	103	101	5.4	98.1
40	国立	宮崎大学	100	699	387	104	100	7.0	96.2
41	国立	鹿児島大学	110	693	350	117	110	6.3	94.0
42	国立	琉球大学	112	899	393	118	112	8.0	94.9
43	公立	札幌医科大学	110	408	336	112	110	3.7	98.2
44	公立	福島県立医科大学	130	697	428	135	130	5.4	96.3
45	公立	横浜市立大学	93	316	239	98	93	3.4	94.9
46	公立	名古屋市立大学	97	289	206	98	97	3.0	99.0
47	公立	京都府立医科大学	107	312	292	109	107	2.9	98.2
48	公立	大阪市立大学	95	369	342	95	95	3.9	100.0
49	公立	奈良県立医科大学	113	1451	820	122	113	12.8	92.6
50	公立	和歌山県立医科大学	100	419	255	105	100	4.2	95.2
51	私立	岩手医科大学	130	2618	2553	301	131	20.1	43.5
52	私立	東北医科薬科大学	100	2170	2093	342	100	21.7	29.2
53	私立	自治医科大学	123	2026	1944	168	123	16.5	73.2
54	私立	獨協医科大学	126	4604	4330	263	125	36.5	47.5
55	私立	埼玉医科大学	130	3846	3421	176	130	29.6	73.9
56	私立	国際医療福祉大学	140	4343	4223	467	144	31.0	30.8
57	私立	杏林大学	119	3976	3856	353	119	33.4	33.7

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
58	私立	慶應義塾大学	66	1540	1327	214	110	23.3	51.4
59	私立	順天堂大学	140	4849	4538	303	140	34.6	46.2
60	私立	昭和大学	131	3582	3139	268	129	27.3	48.1
61	私立	帝京大学	110	9516	8922	259	153	86.5	59.1
62	私立	東京医科大学	123	3849	3549	291	123	31.3	42.3
63	私立	東京慈恵会医科大学	105	1968	1644	204	105	18.7	51.5
64	私立	東京女子医科大学	110	1036	971	142	110	9.4	77.5
65	私立	東邦大学	123	3323	2956	245	123	27.0	50.2
66	私立	日本大学	135	3697	3291	229	135	27.4	59.0
67	私立	日本医科大学	125	3945	3604	219	126	31.6	57.5
68	私立	北里大学	126	2087	1979	386	126	16.6	32.6
69	私立	聖マリアンナ医科大学	117	4805	4273	116	117	41.1	100.9
70	私立	東海大学	118	4780	4391	240	121	40.5	50.4
71	私立	金沢医科大学	111	5868	5186	196	111	52.9	56.6
72	私立	愛知医科大学	115	3304	3241	394	115	28.7	29.2
73	私立	藤田医科大学	120	3492	3222	431	120	29.1	27.8
74	私立	大阪医科大学	112	3578	3042	266	110	31.9	41.4
75	私立	関西医科大学	127	5357	5055	458	127	42.2	27.7
76	私立	近畿大学	112	4453	4194	269	112	39.8	41.6
77	私立	兵庫医科大学	112	2559	2460	236	112	22.8	47.5
78	私立	川崎医科大学	126	1541	1489	202	126	12.2	62.4
79	私立	久留米大学	115	2312	2122	204	116	20.1	56.9
80	私立	産業医科大学	105	2170	1919	133	105	20.7	78.9
81	私立	福岡大学	110	2714	2542	238	110	24.7	46.2

入学者比率・志願倍率プロット_医学部



2-2-2 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_歯学部

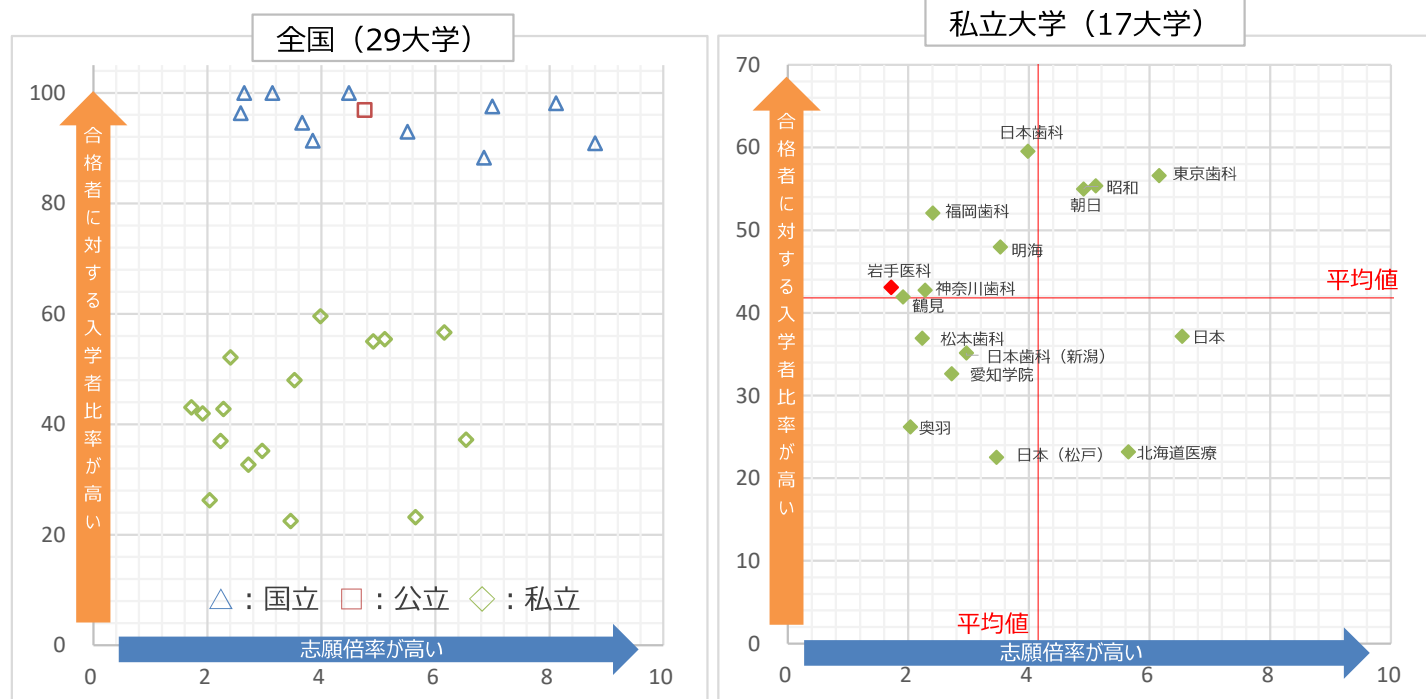
出典：文部科学省 医学教育課 令和6年度の各大学歯学部歯学科入学状況等

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/1324090.htm

※令和7年度の情報が公開され次第、更新予定

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学者比率 (%)
1	国立	北海道大学	43	135	119	43	43	3.1	100.0
2	国立	東北大学	53	204	142	58	53	3.8	91.4
3	国立	東京医科歯科大学	53	292	160	57	53	5.5	93.0
4	国立	新潟大学	40	280	170	41	40	7.0	97.6
5	国立	大阪大学	53	137	127	55	53	2.6	96.4
6	国立	岡山大学	48	127	113	48	48	2.6	100.0
7	国立	広島大学	53	363	215	60	53	6.8	88.3
8	国立	徳島大学	40	352	211	44	40	8.8	90.9
9	国立	九州大学	53	194	172	56	53	3.7	94.6
10	国立	長崎大学	50	224	195	50	50	4.5	100.0
11	国立	鹿児島大学	53	430	292	54	53	8.1	98.1
12	公立	九州歯科大学	95	452	409	98	95	4.8	96.9
13	私立	北海道医療大学	80	452	425	319	74	5.7	23.2
14	私立	岩手医科大学	57	98	77	65	28	1.7	43.1
15	私立	奥羽大学	80	163	157	99	26	2.0	26.3
16	私立	明海大学	120	423	393	275	132	3.5	48.0
17	私立	東京歯科大学	128	788	699	226	128	6.2	56.6
18	私立	昭和大学	96	471	438	180	99	4.9	55.0
19	私立	日本大学	128	837	710	344	128	6.5	37.2
20	私立	日本大学(松戸歯学部)	128	443	391	382	86	3.5	22.5
21	私立	日本歯科大学	128	510	466	235	140	4.0	59.6
22	私立	日本歯科大学(新潟生命歯学部)	80	237	220	145	51	3.0	35.2
23	私立	神奈川歯科大学	115	262	229	180	77	2.3	42.8
24	私立	鶴見大学	115	220	183	143	60	1.9	42.0
25	私立	松本歯科大学	96	214	202	184	68	2.2	37.0
26	私立	朝日大学	128	654	616	231	128	5.1	55.4
27	私立	愛知学院大学	125	340	296	257	84	2.7	32.7
28	私立	大阪歯科大学	128	1661	1594	303	128	13.0	42.2
29	私立	福岡歯科大学	96	231	210	188	98	2.4	52.1

入学者比率・志願倍率プロット_歯学部



2-2-3 全国大学の志願状況および合格者の入学比率_薬学部(6年制)

出典：文部科学省 令和6年度の薬学部における修学状況等

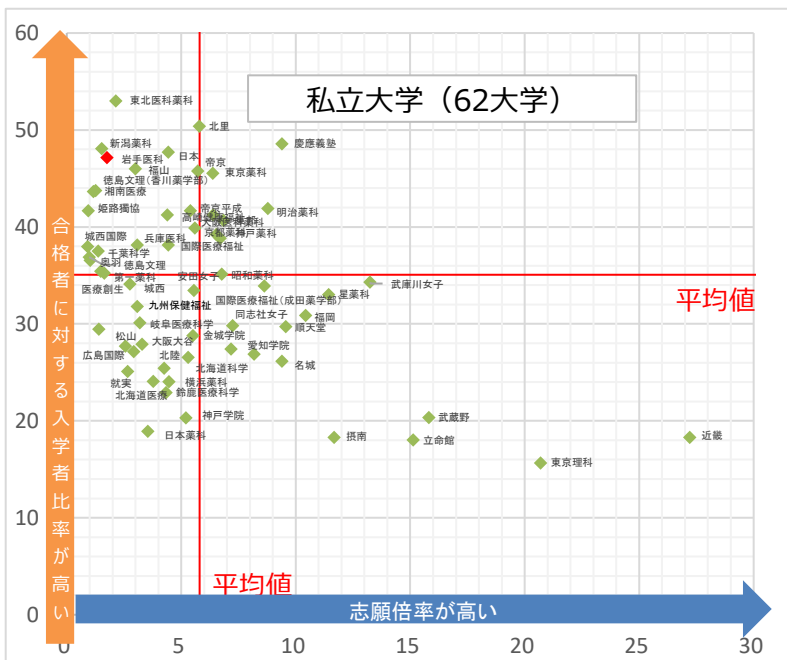
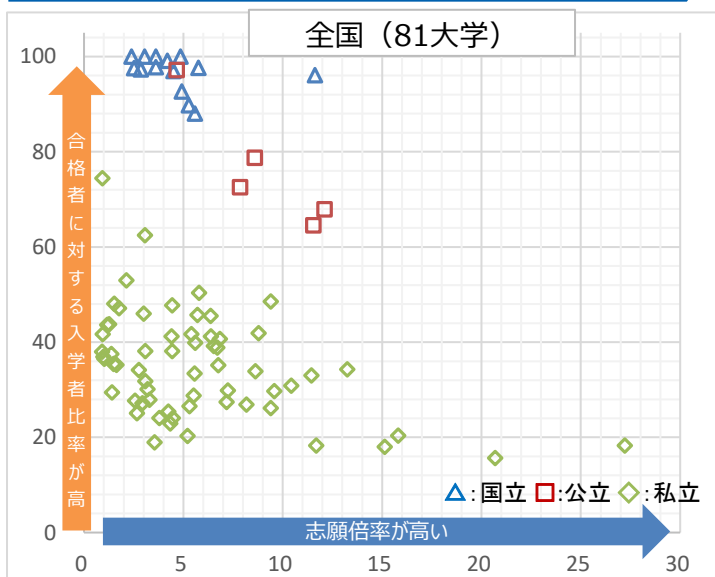
http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/1361518.htm

※令和7年度の情報が公開され次第、更新予定

通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学率 (%)
1	国立	北海道大学 ※4年制含む	1068	2917	2699	1111	1081	2.7	97.3
2	国立	東北大学 ※4年制含む	80	289	233	88	88	3.6	100.0
3	国立	千葉大学 ※4年制含む	90	519	484	86	84	5.8	97.7
4	国立	東京大学(理科Ⅱ類) ※4年制含む	532	2234	1856	556	551	4.2	99.1
5	国立	富山大学	70	369	276	78	70	5.3	89.7
6	国立	金沢大学	65	198	182	67	67	3.0	100.0
7	国立	京都大学 ※4年制含む	90	216	204	83	83	2.4	100.0
8	国立	大阪大学	80	202	188	83	81	2.5	97.6
9	国立	岡山大学	40	145	124	45	44	3.6	97.8
10	国立	広島大学	38	187	155	41	38	4.9	92.7
11	国立	徳島大学	80	447	260	92	81	5.6	88.0
12	国立	九州大学	30	135	100	33	32	4.5	97.0
13	国立	長崎大学	40	465	222	51	49	11.6	96.1
14	国立	熊本大学	55	267	252	57	57	4.9	100.0
15	公立	岐阜薬科大学	120	1386	952	172	111	11.6	64.5
16	公立	静岡県立大学	80	687	466	113	89	8.6	78.8
17	公立	名古屋市立大学	65	787	513	109	74	12.1	67.9
18	公立	和歌山県立医科大学	100	467	266	105	102	4.7	97.1
19	公立	山口東京理科大学	120	942	640	182	132	7.9	72.5
20	私立	北海道医療大学	160	606	579	453	109	3.8	24.1
21	私立	北海道科学大学	180	955	927	731	194	5.3	26.5
22	私立	青森大学	50	46	44	43	32	0.9	74.4
23	私立	岩手医科大学	50	88	81	70	33	1.8	47.1
24	私立	東北医科薬科大学	300	643	624	570	302	2.1	53.0
25	私立	医療創生大学	60	89	86	79	28	1.5	35.4
26	私立	奥羽大学	100	103	103	52	19	1.0	36.5
27	私立	国際医療福祉大学	180	798	786	472	180	4.4	38.1
28	私立	高崎健康福祉大学	90	396	377	228	94	4.4	41.2
29	私立	城西大学	250	692	608	507	173	2.8	34.1
30	私立	日本薬科大学	240	852	787	544	103	3.6	18.9
31	私立	国際医療福祉大学(成田薬学部)	120	1036	1012	357	121	8.6	33.9
32	私立	順天堂大学	180	1723	1653	626	186	9.6	29.7
33	私立	城西国際大学	110	100	90	79	30	0.9	38.0
34	私立	千葉科学大学	100	138	128	128	48	1.4	37.5
35	私立	東京理科大学	100	2070	1942	639	100	20.7	15.6
36	私立	東邦大学	245	1676	1622	612	249	6.8	40.7
37	私立	日本大学	244	1083	886	524	250	4.4	47.7
38	私立	北里大学	260	1505	1468	526	265	5.8	50.4
39	私立	慶應義塾大学	150	1411	1290	352	171	9.4	48.6
40	私立	昭和大学	200	615	564	333	208	3.1	62.5
41	私立	昭和薬科大学	240	1624	1507	828	291	6.8	35.1
42	私立	帝京大学	320	1830	1702	612	280	5.7	45.8
43	私立	帝京平成大学	200	1081	998	516	215	5.4	41.7
44	私立	東京薬科大学	420	2678	2550	1008	459	6.4	45.5
45	私立	星薬科大学	260	2974	2871	836	276	11.4	33.0
46	私立	武蔵野大学	145	2293	2129	693	141	15.8	20.3
47	私立	明治薬科大学	360	3161	2829	864	362	8.8	41.9
48	私立	湘南医療大学	130	151	144	142	62	1.2	43.7
49	私立	横浜薬科大学	340	1518	1397	1206	290	4.5	24.0
50	私立	岐阜医療科学大学	100	320	318	289	87	3.2	30.1
51	私立	新潟薬科大学	130	199	191	181	87	1.5	48.1
52	私立	北陸大学	60	255	253	236	60	4.3	25.4
53	私立	愛知学院大学	145	1,040	954	573	157	7.2	27.4
54	私立	金城学院大学	150	827	805	632	182	5.5	28.8
55	私立	名城大学	265	2,493	2,310	1093	286	9.4	26.2
56	私立	鈴鹿医療科学大学	100	434	416	358	82	4.3	22.9
57	私立	京都薬科大学	360	2,014	1,966	940	375	5.6	39.9
58	私立	同志社女子大学	125	906	879	466	139	7.2	29.8
59	私立	立命館大学	100	1,514	1,460	654	118	15.1	18.0

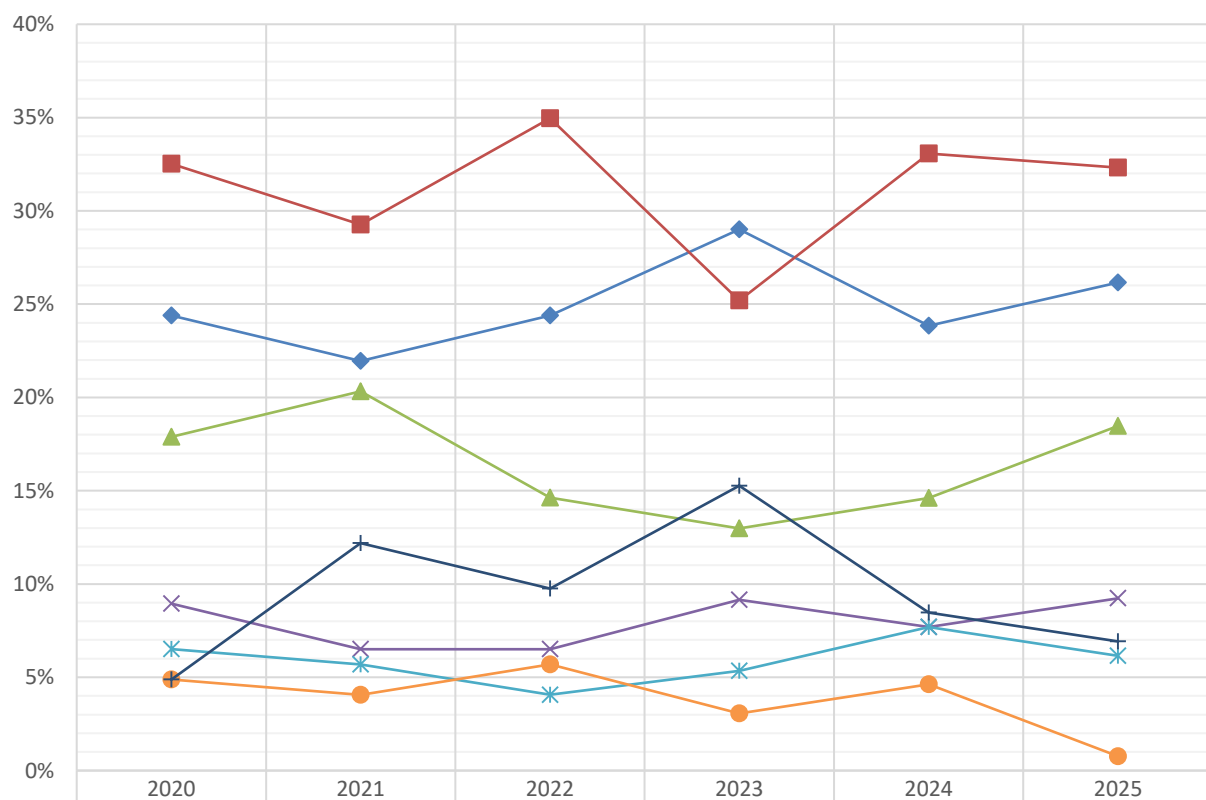
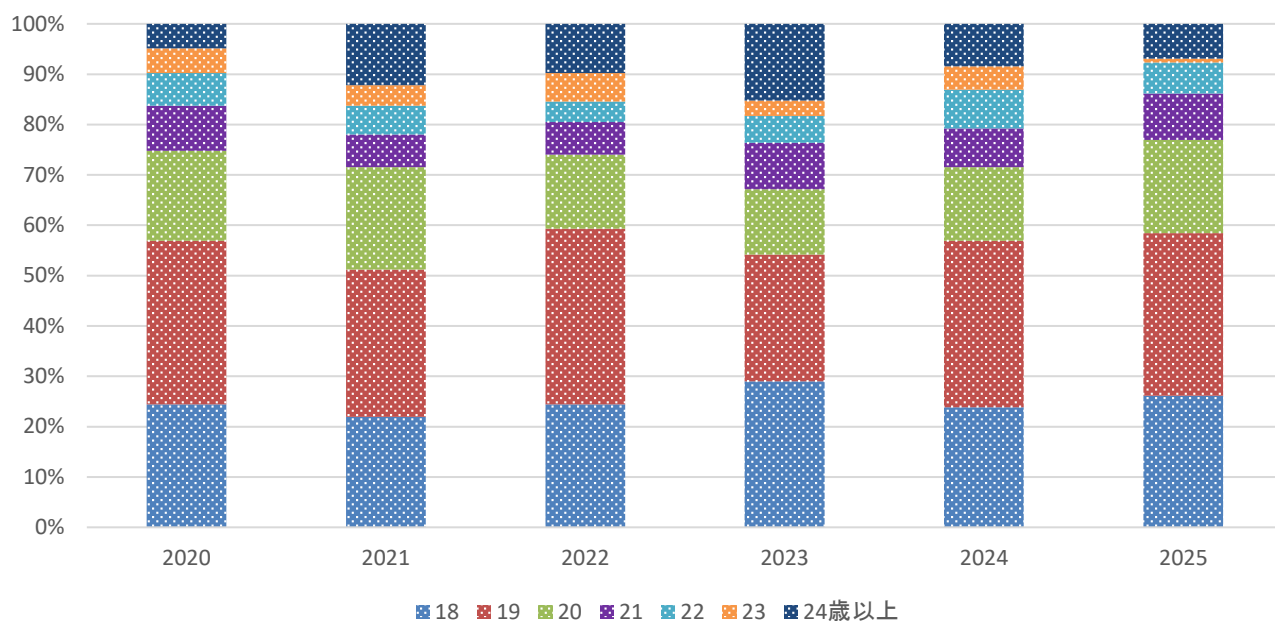
通番	設置区分	大学名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	入学率 (%)
60	私立	大阪医科薬科大学	294	1,880	1,716	725	299	6.4	41.2
61	私立	大阪大谷大学	140	461	429	362	101	3.3	27.9
62	私立	近畿大学	150	4,082	3,774	837	153	27.2	18.3
63	私立	摂南大学	220	2,570	2,416	1180	216	11.7	18.3
64	私立	神戸学院大学	250	1,303	1,226	911	185	5.2	20.3
65	私立	神戸薬科大学	280	1,829	1,643	877	344	6.5	39.2
66	私立	姫路獨協大学	60	57	48	48	20	1.0	41.7
67	私立	兵庫医科大学	150	463	448	320	122	3.1	38.1
68	私立	武庫川女子大学	105	1,391	1,212	347	119	13.2	34.3
69	私立	就実大学	100	266	262	247	62	2.7	25.1
70	私立	広島国際大学	120	352	346	291	79	2.9	27.1
71	私立	福山大学	110	330	323	224	103	3.0	46.0
72	私立	安田女子大学	100	556	550	290	97	5.6	33.4
73	私立	徳島文理大学	150	147	140	122	45	1.0	36.9
74	私立	徳島文理大学（香川薬学部）	90	114	109	96	42	1.3	43.8
75	私立	松山大学	100	257	233	195	54	2.6	27.7
76	私立	第一薬科大学	153	251	241	227	80	1.6	35.2
77	私立	福岡大学	230	2,400	2,298	784	242	10.4	30.9
78	私立	国際医療福祉大学（福岡薬学部）	120	805	788	327	127	6.7	38.8
79	私立	長崎国際大学	120	370	369	283	90	3.1	31.8
80	私立	崇城大学	120	982	961	480	129	8.2	26.9
81	私立	九州医療科学大学	100	141	140	129	38	1.4	29.5

入学者比率・志願倍率プロット_薬学部



2-3 入学者年齢推移

医学部

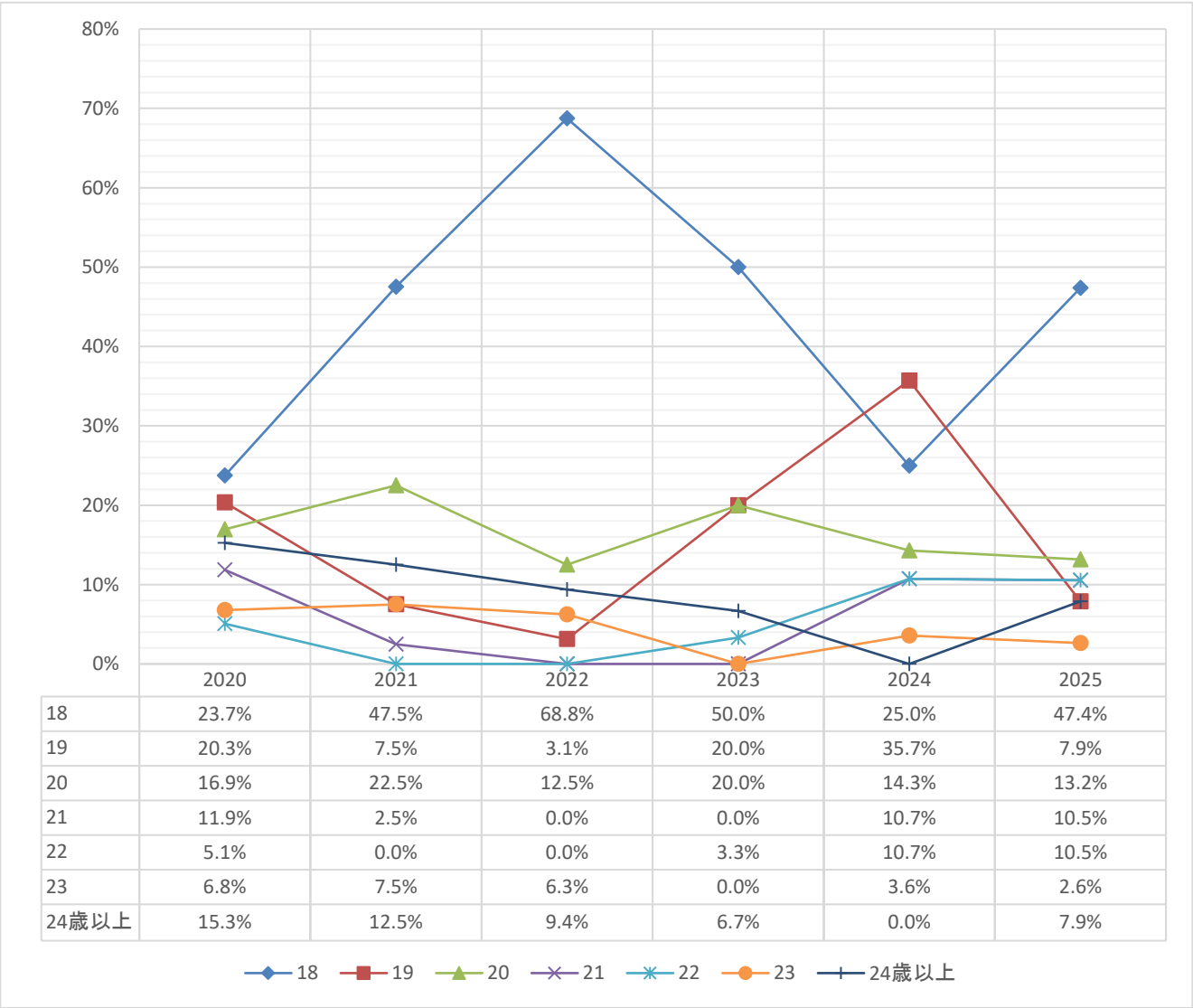
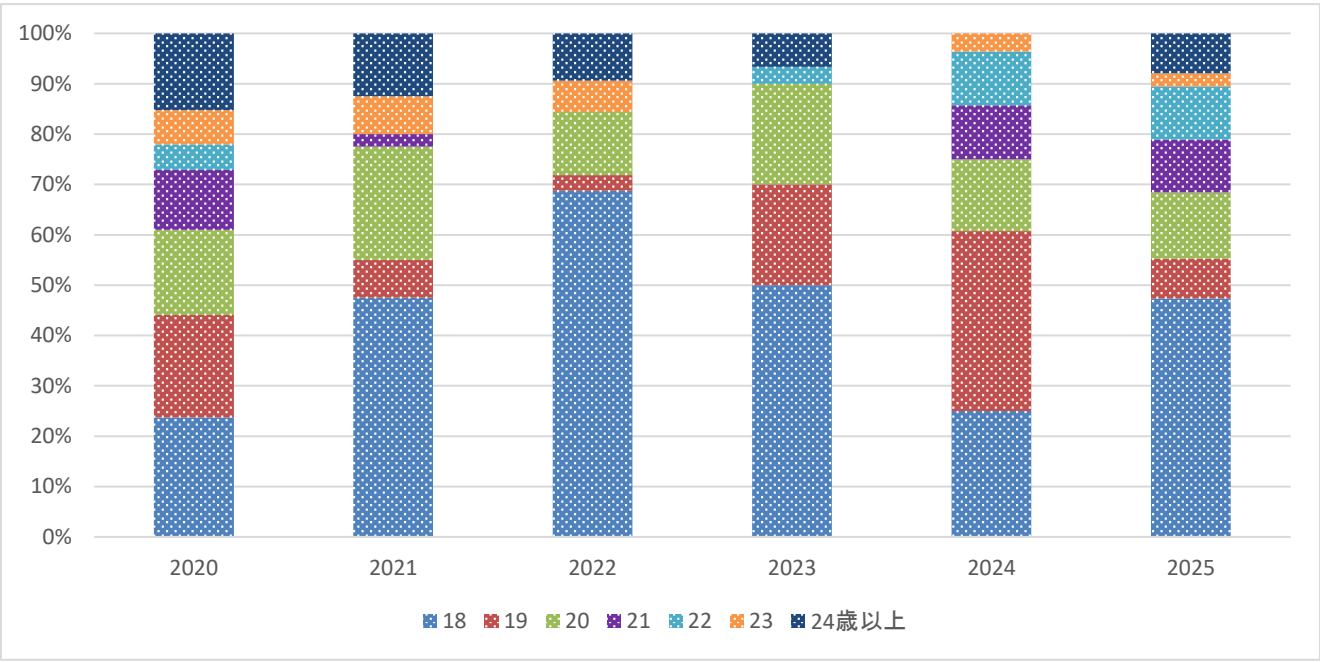


	2020	2021	2022	2023	2024	2025
18	24.4%	22.0%	24.4%	29.0%	23.8%	26.2%
19	32.5%	29.3%	35.0%	25.2%	33.1%	32.3%
20	17.9%	20.3%	14.6%	13.0%	14.6%	18.5%
21	8.9%	6.5%	6.5%	9.2%	7.7%	9.2%
22	6.5%	5.7%	4.1%	5.3%	7.7%	6.2%
23	4.9%	4.1%	5.7%	3.1%	4.6%	0.8%
24歳以上	4.9%	12.2%	9.8%	15.3%	8.5%	6.9%

◆ 18 ■ 19 ▲ 20 × 21 * 22 ● 23 + 24歳以上

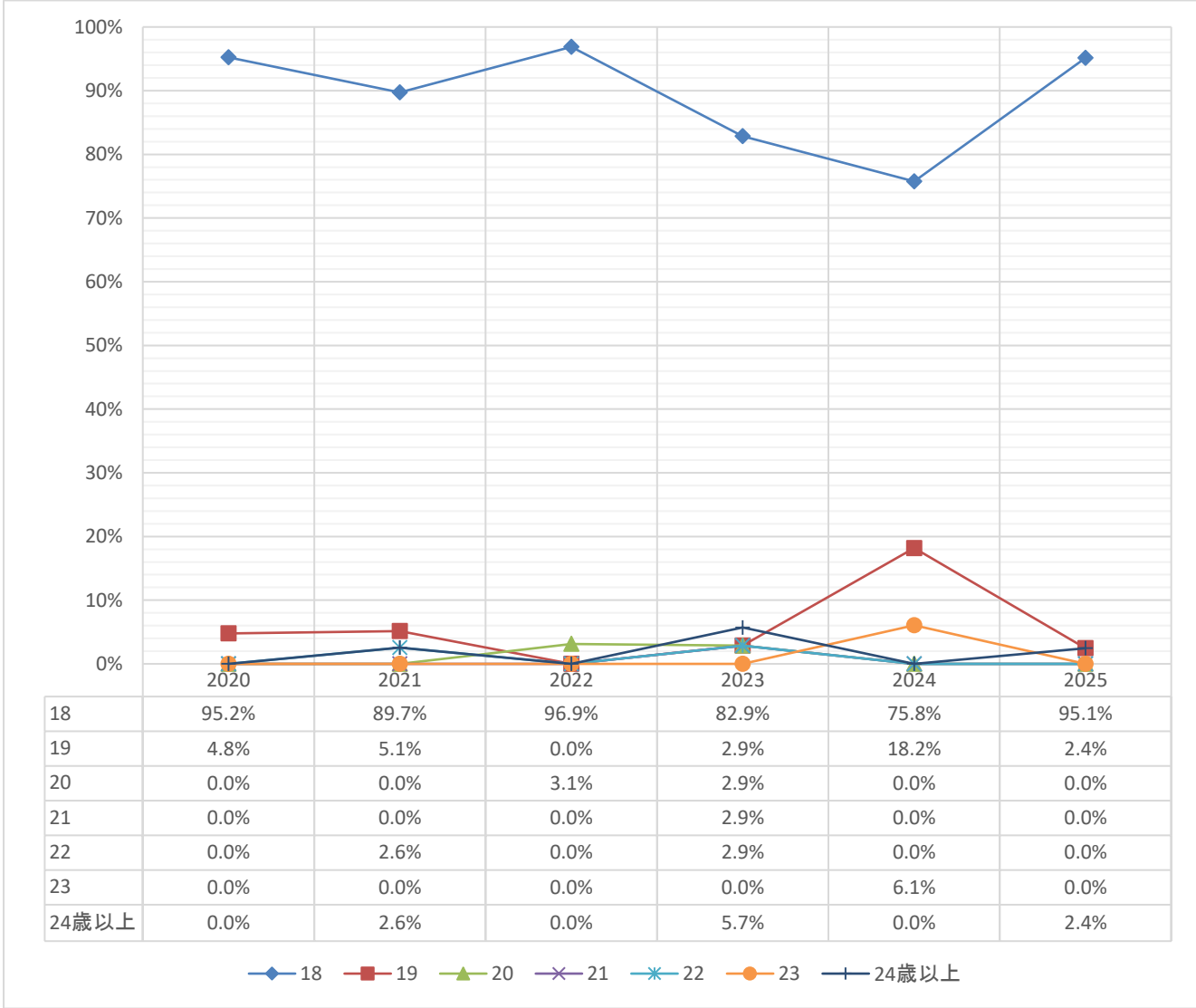
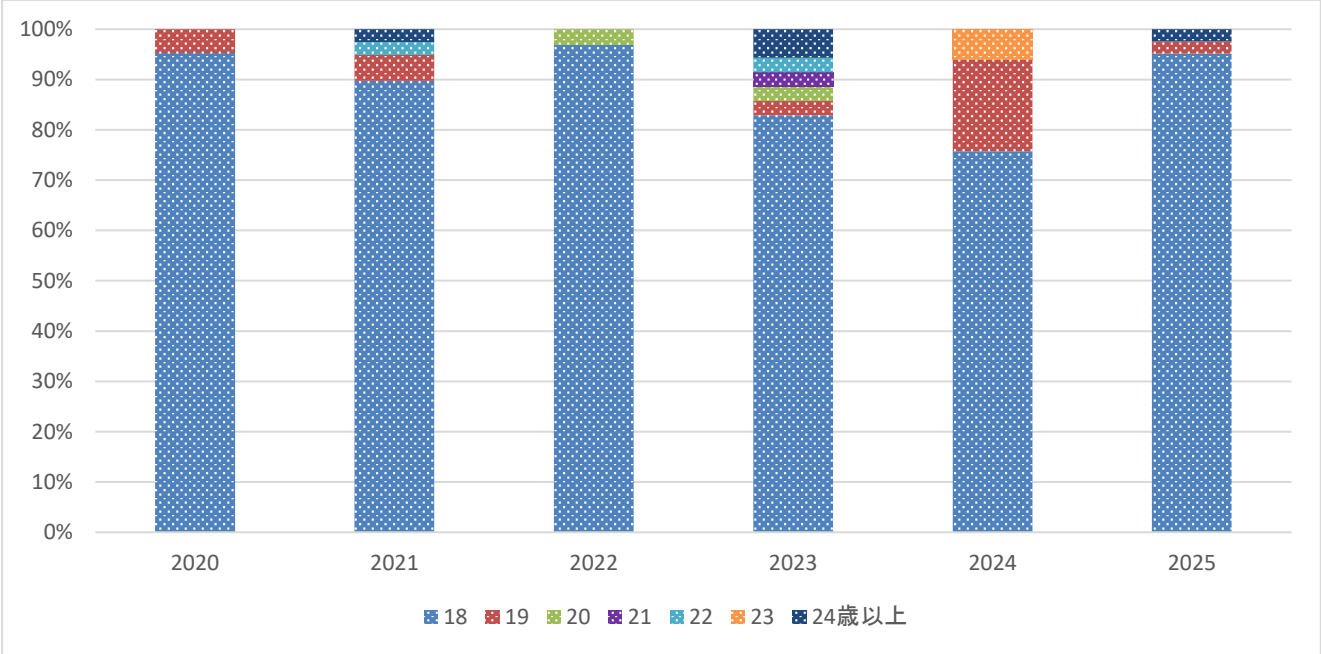
入学者年齢推移（つづき）

歯学部



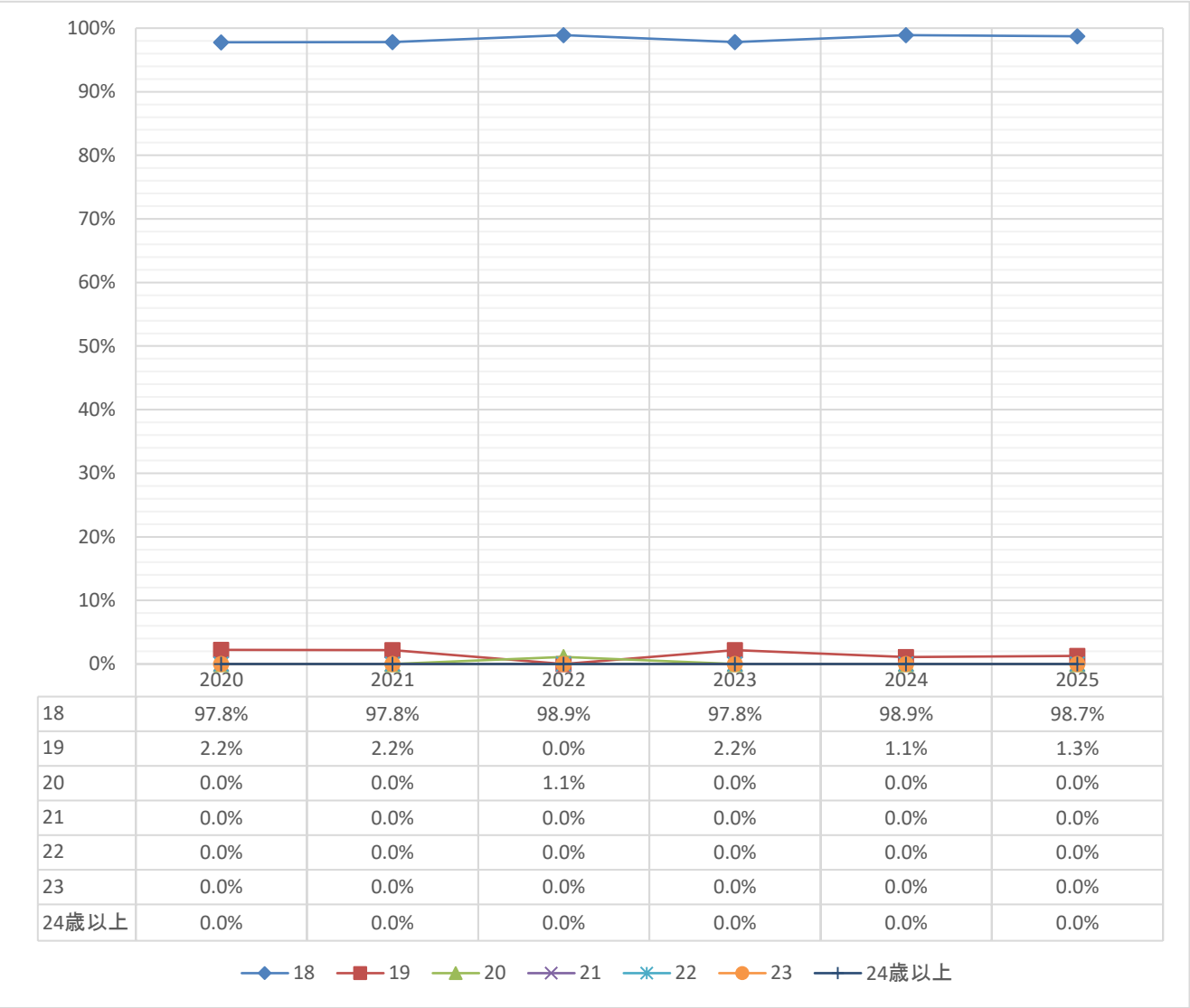
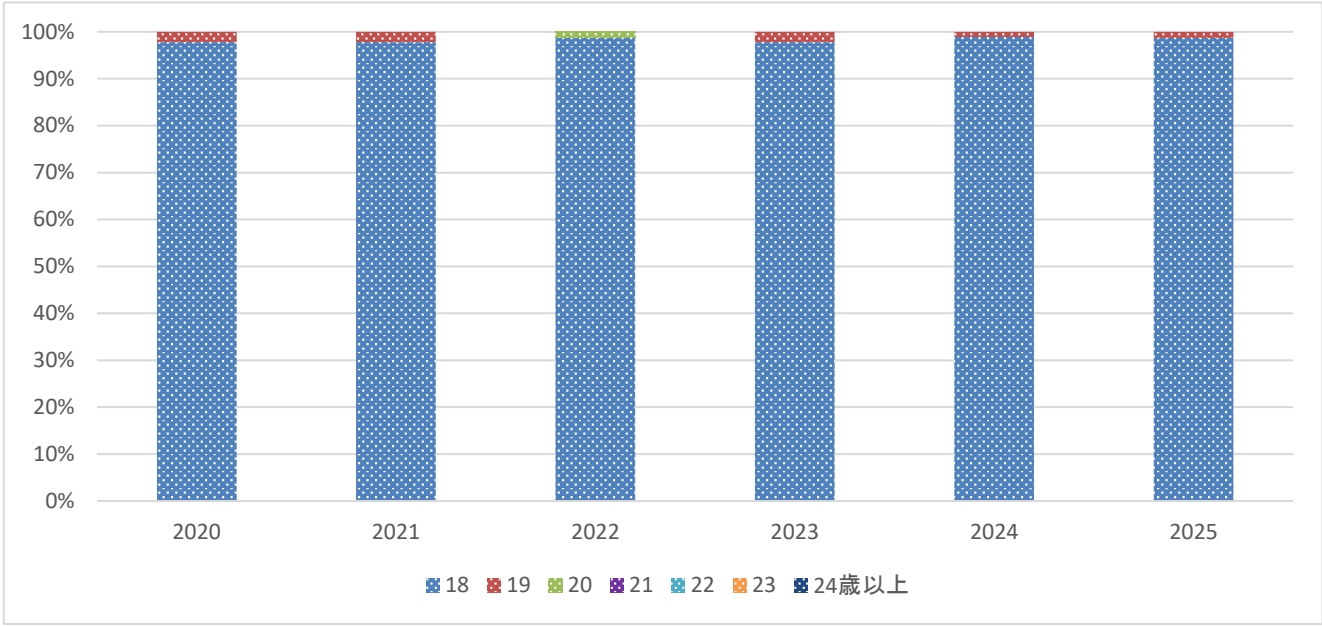
入学者年齢推移（つづき）

薬学部



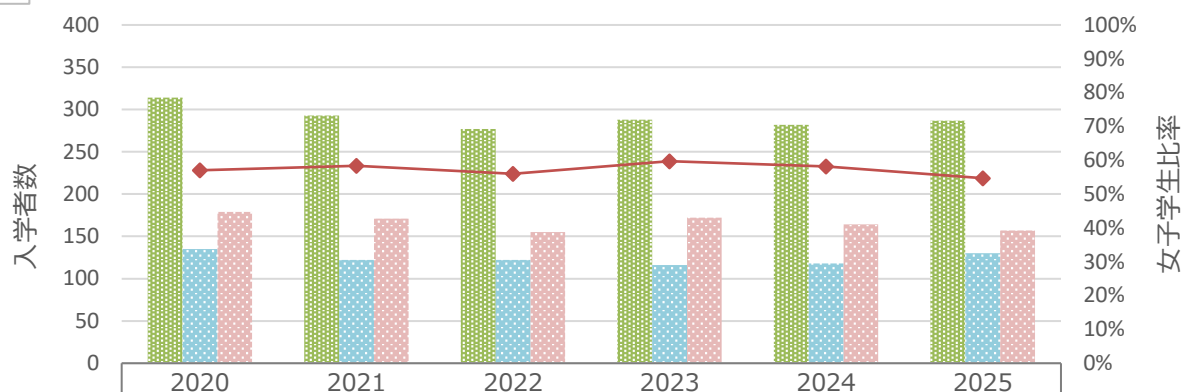
入学者年齢推移（つづき）

看護学部



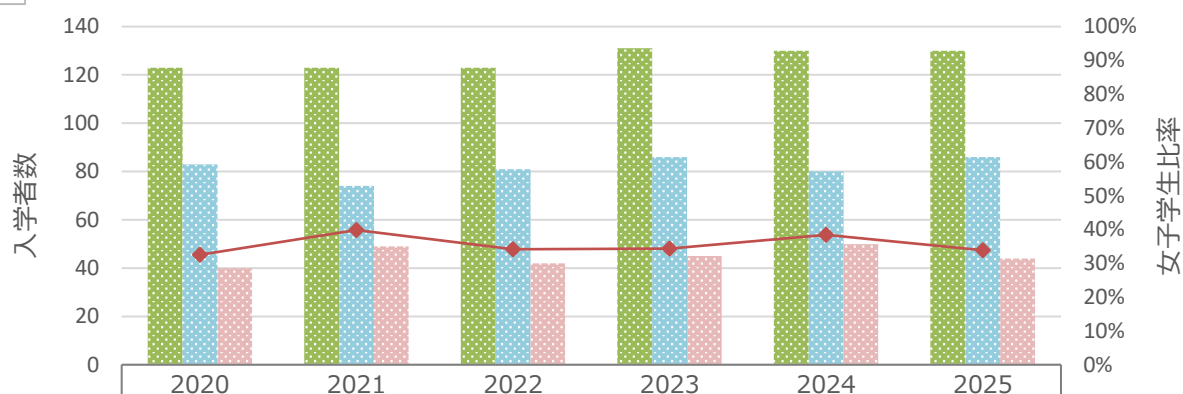
2-4 入学者男女比推移

大学全体



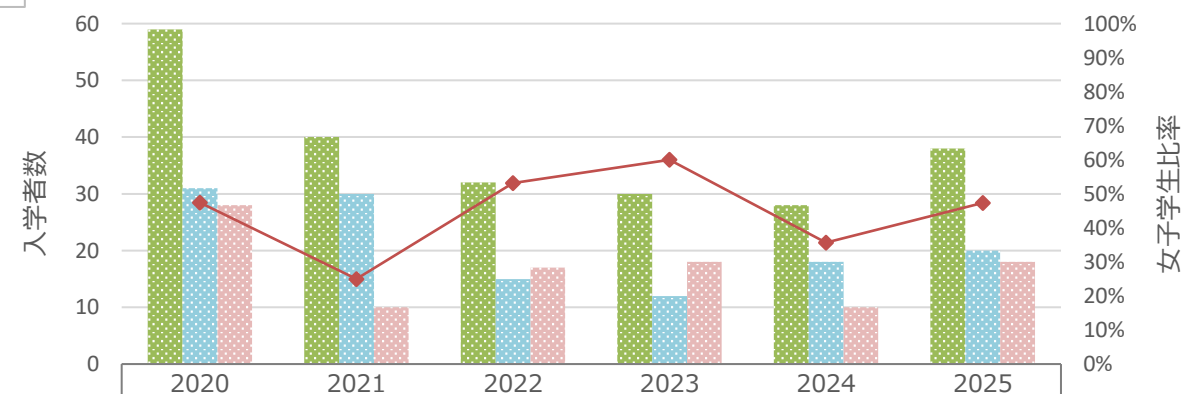
合計	314	293	277	288	282	287
男性	135	122	122	116	118	130
女性	179	171	155	172	164	157
女子学生比率	57.0%	58.4%	56.0%	59.7%	58.2%	54.7%

医学部



合計	123	123	123	131	130	130
男性	83	74	81	86	80	86
女性	40	49	42	45	50	44
女子学生比率	32.5%	39.8%	34.1%	34.4%	38.5%	33.8%

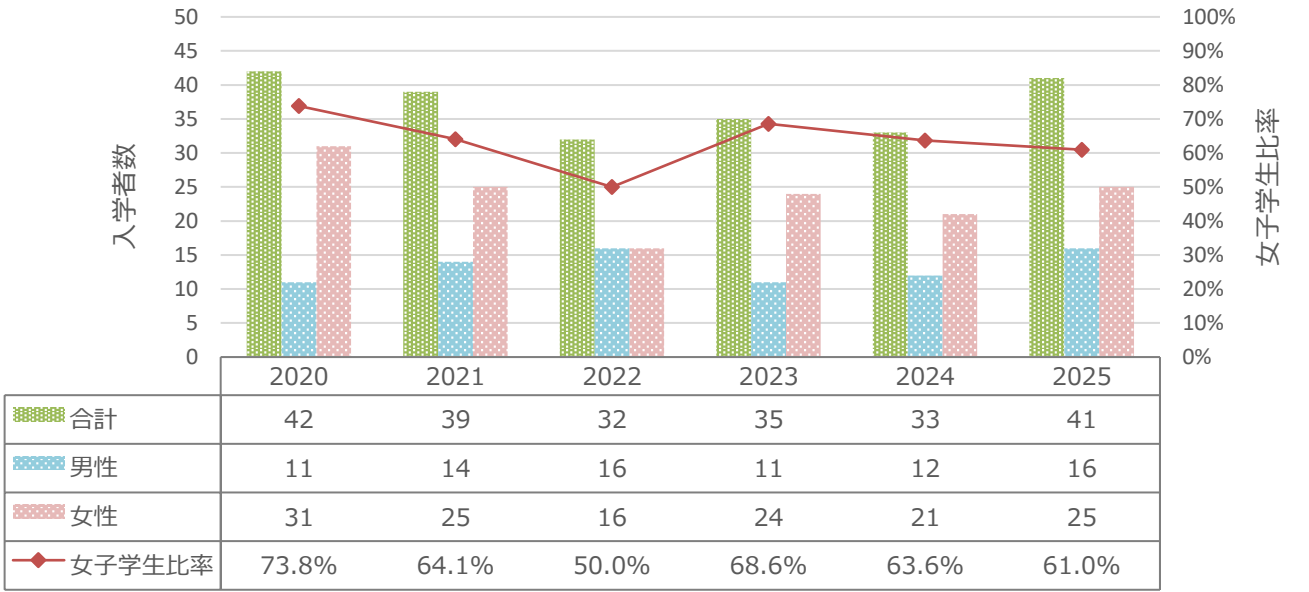
歯学部



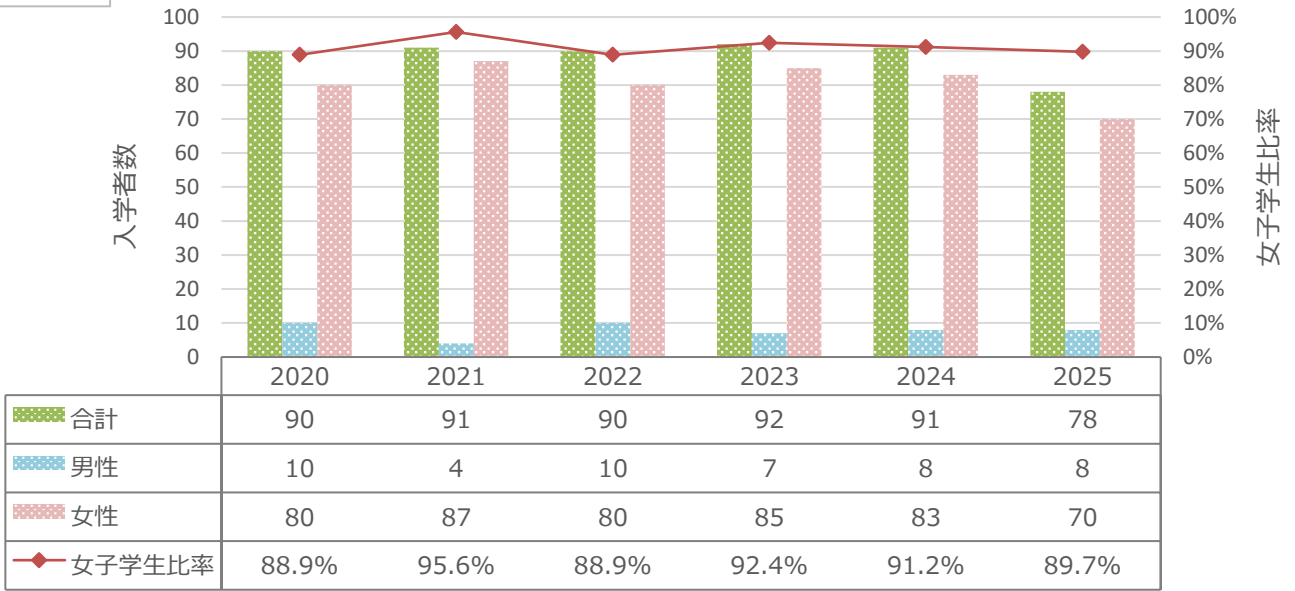
合計	59	40	32	30	28	38
男性	31	30	15	12	18	20
女性	28	10	17	18	10	18
女子学生比率	47.5%	25.0%	53.1%	60.0%	35.7%	47.4%

入学者男女比推移（つづき）

薬学部



看護学部



2-5 入学者出身校地域分布_全国

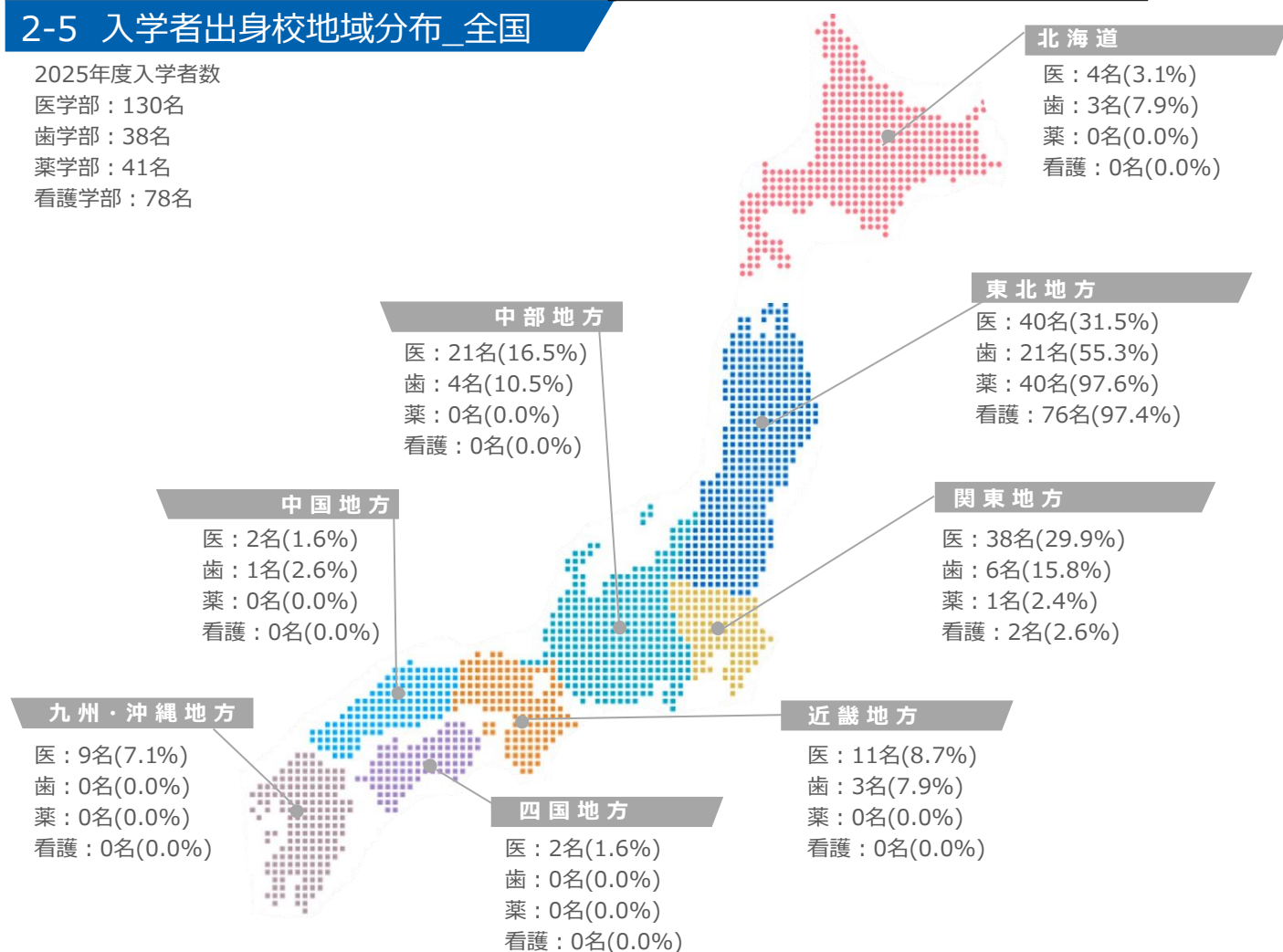
2025年度入学者数

医学部：130名

歯学部：38名

薬学部：41名

看護学部：78名



入学者出身校地域分布_東北地方

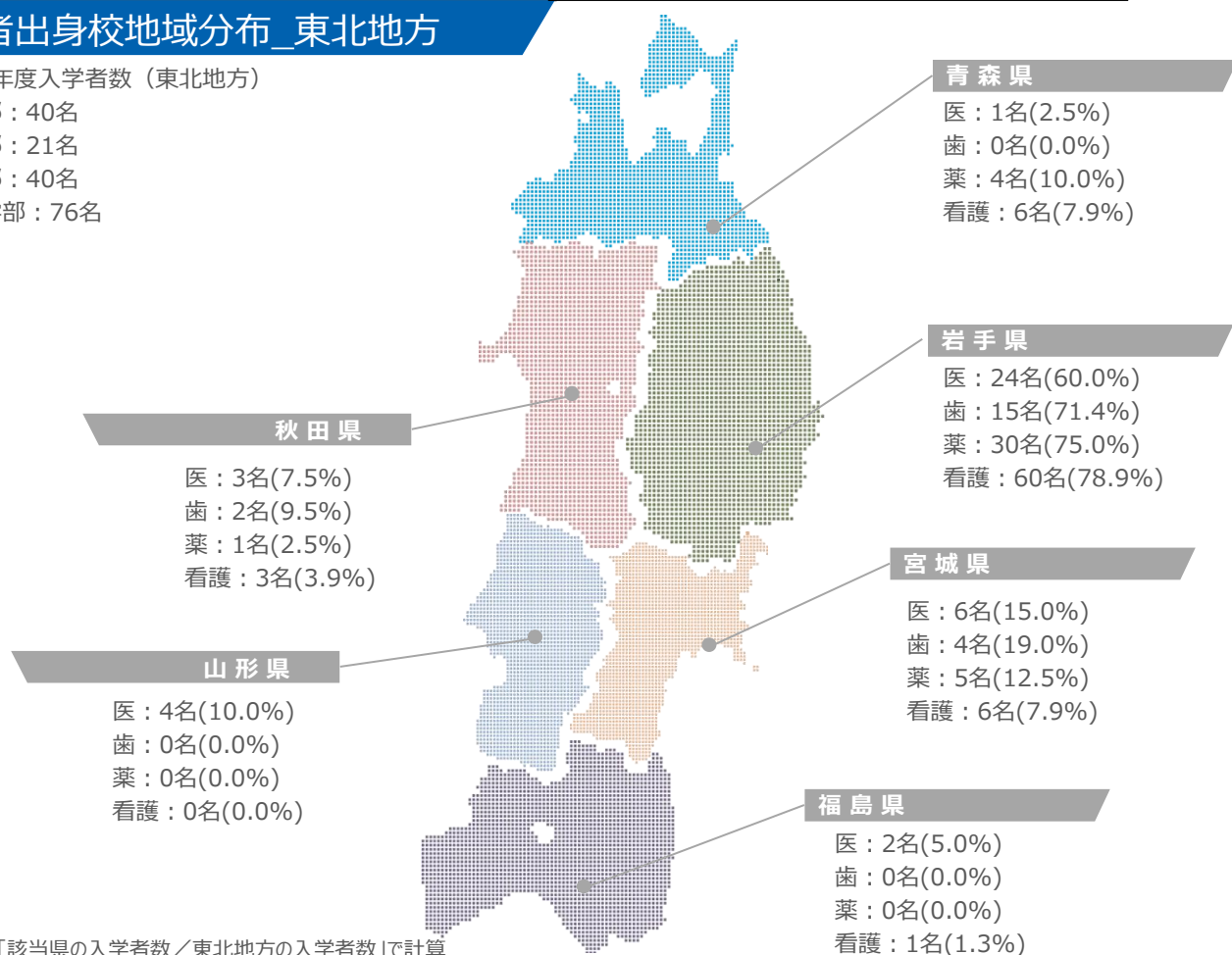
2025年度入学者数（東北地方）

医学部：40名

歯学部：21名

薬学部：40名

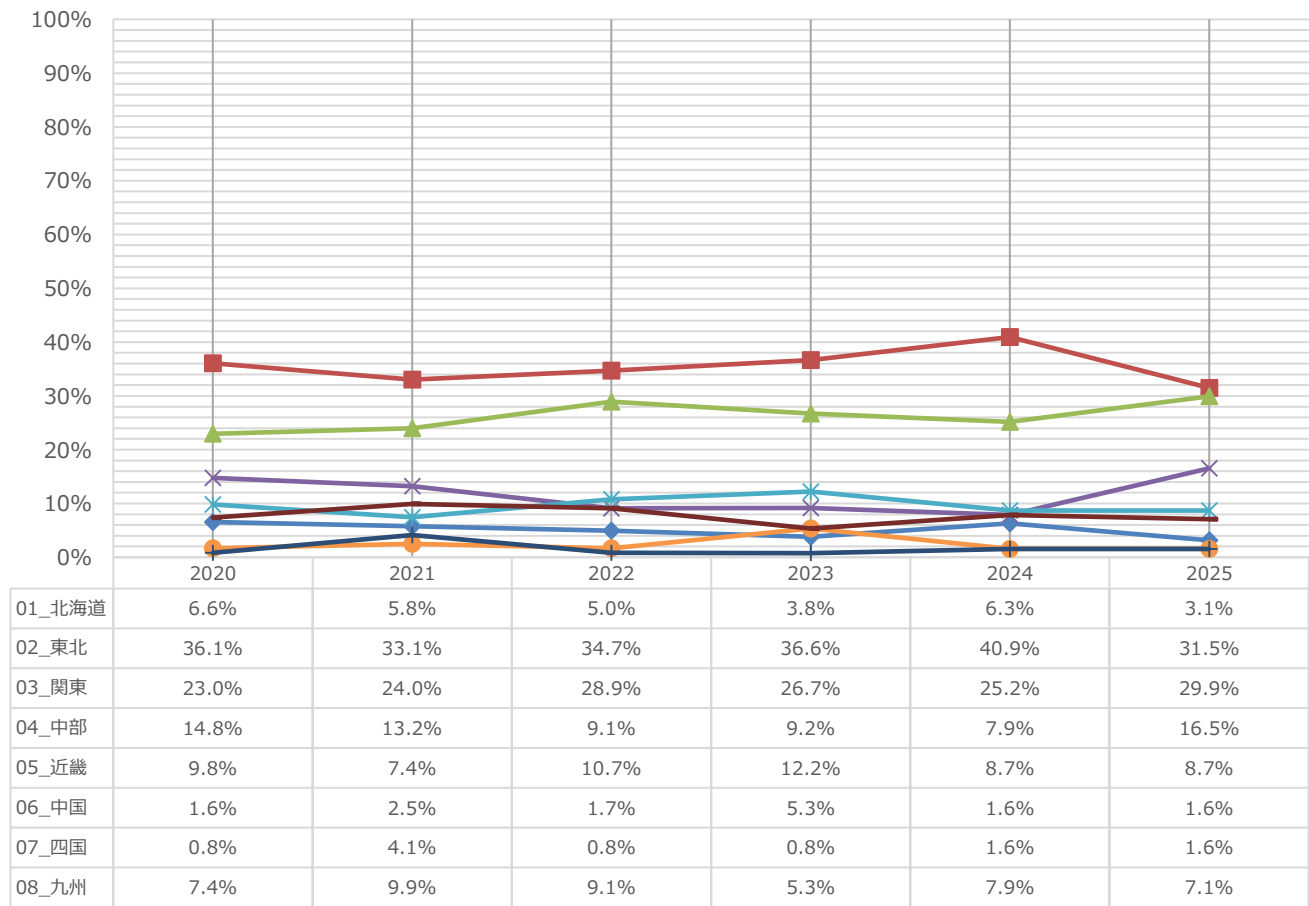
看護学部：76名



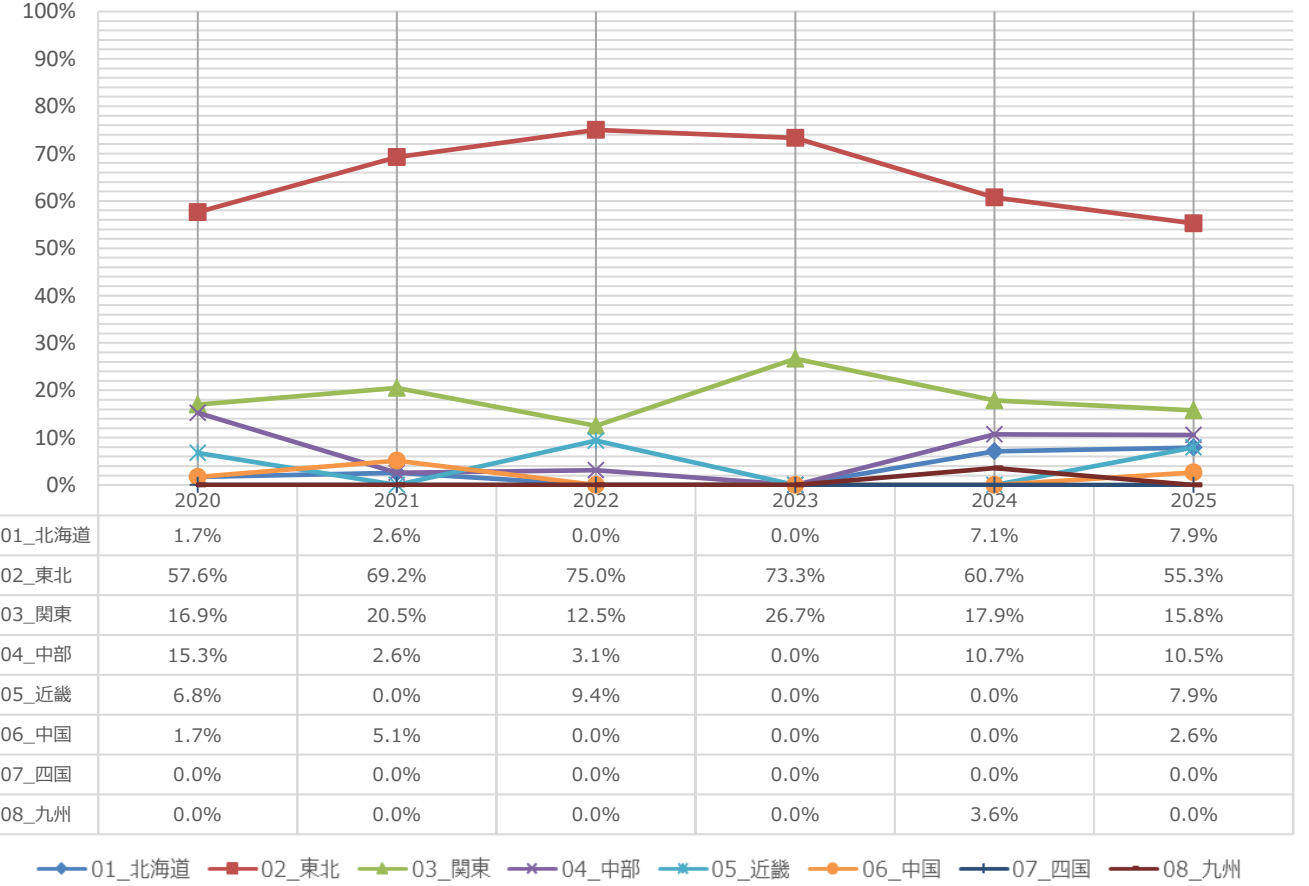
※割合は「該当県の入学者数／東北地方の入学者数」で計算

地域別入学者数推移_全国

医学部

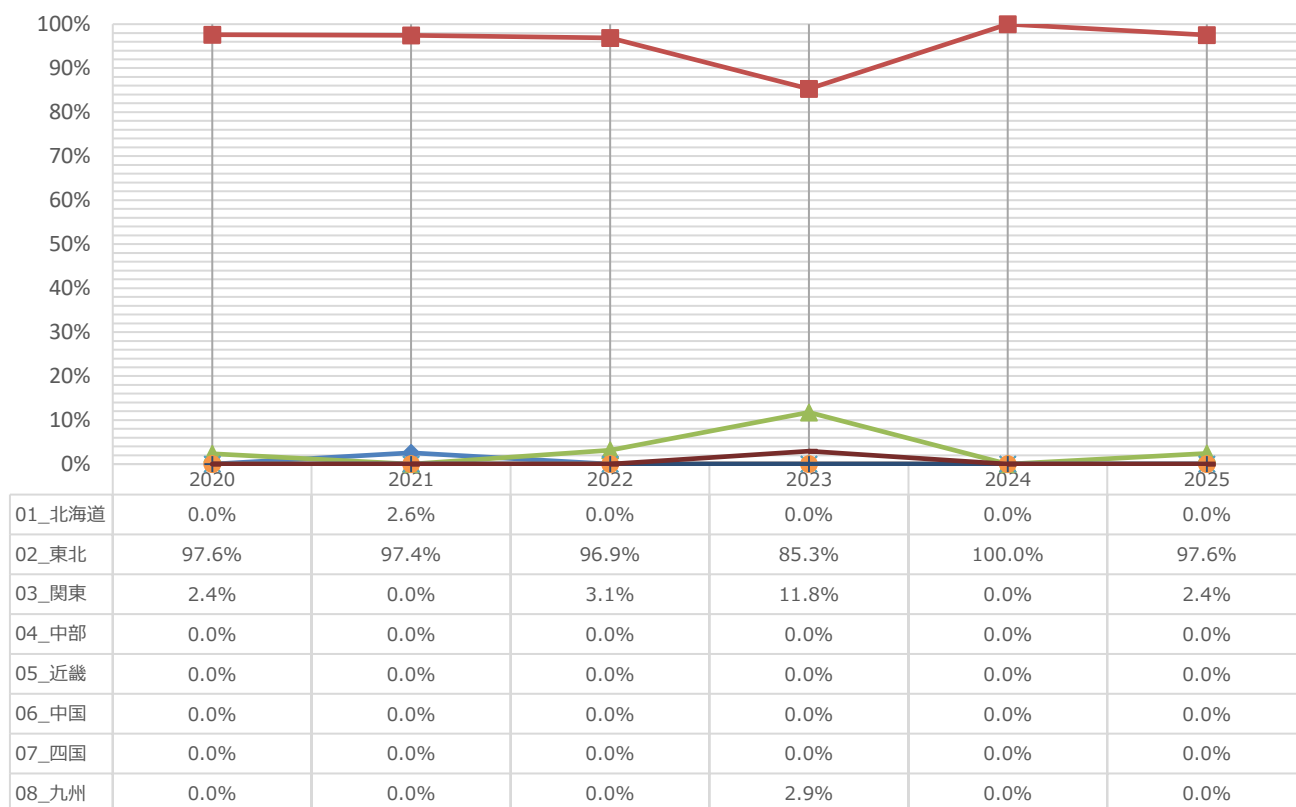


歯学部

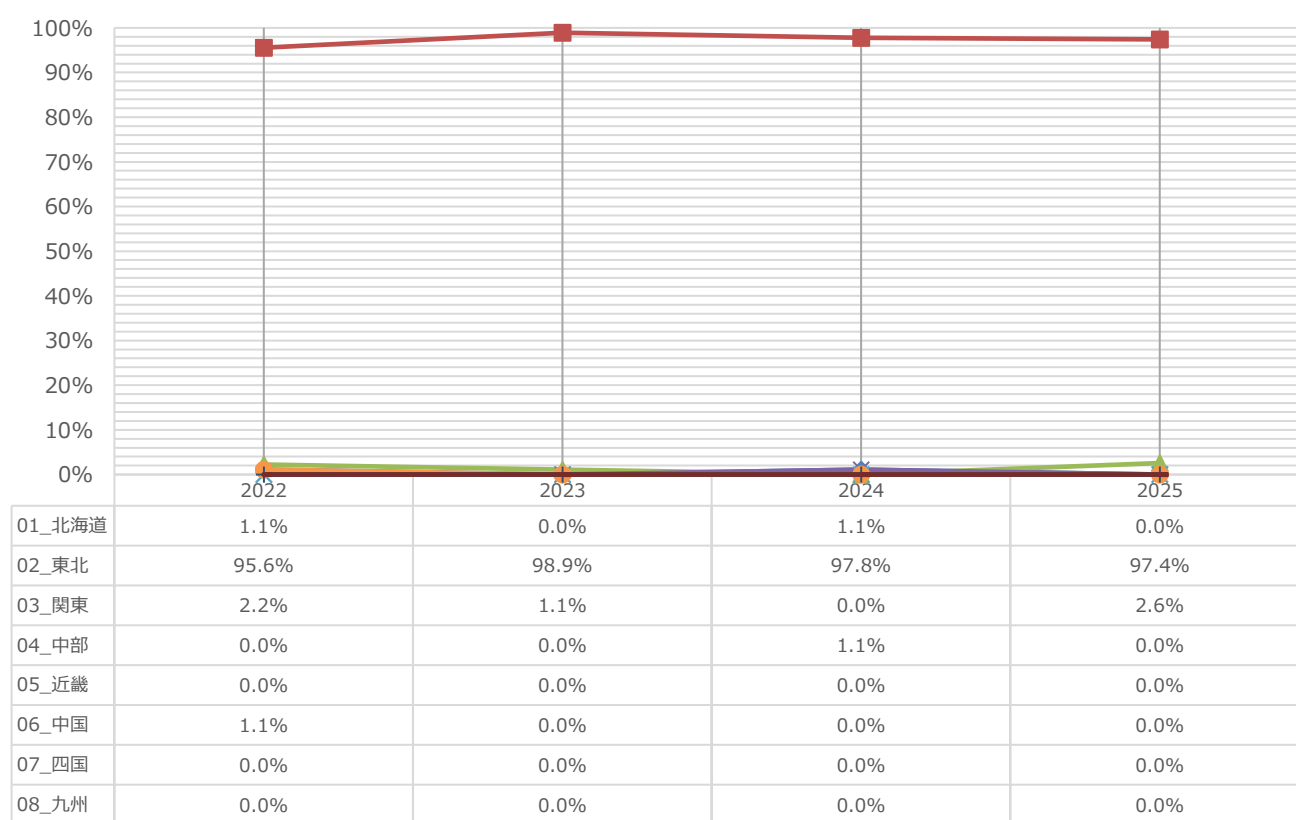


地域別入学者数推移_全国（つづき）

薬学部



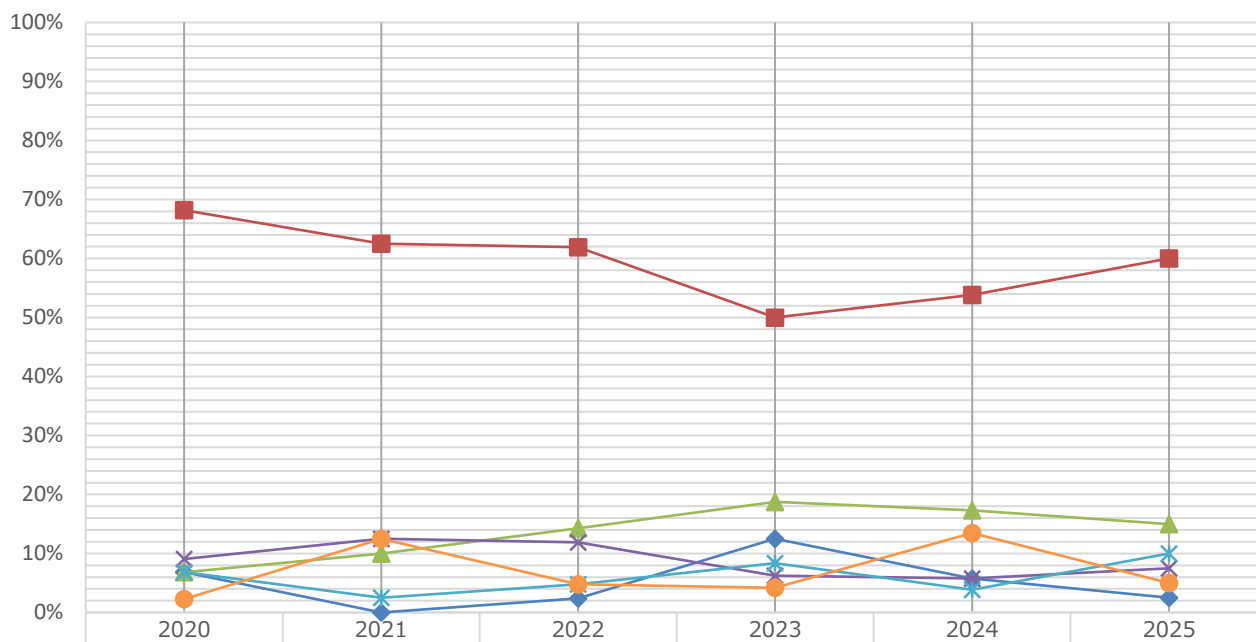
看護学部



01_北海道 02_東北 03_関東 04_中部 05_近畿 06_中国 07_四国 08_九州

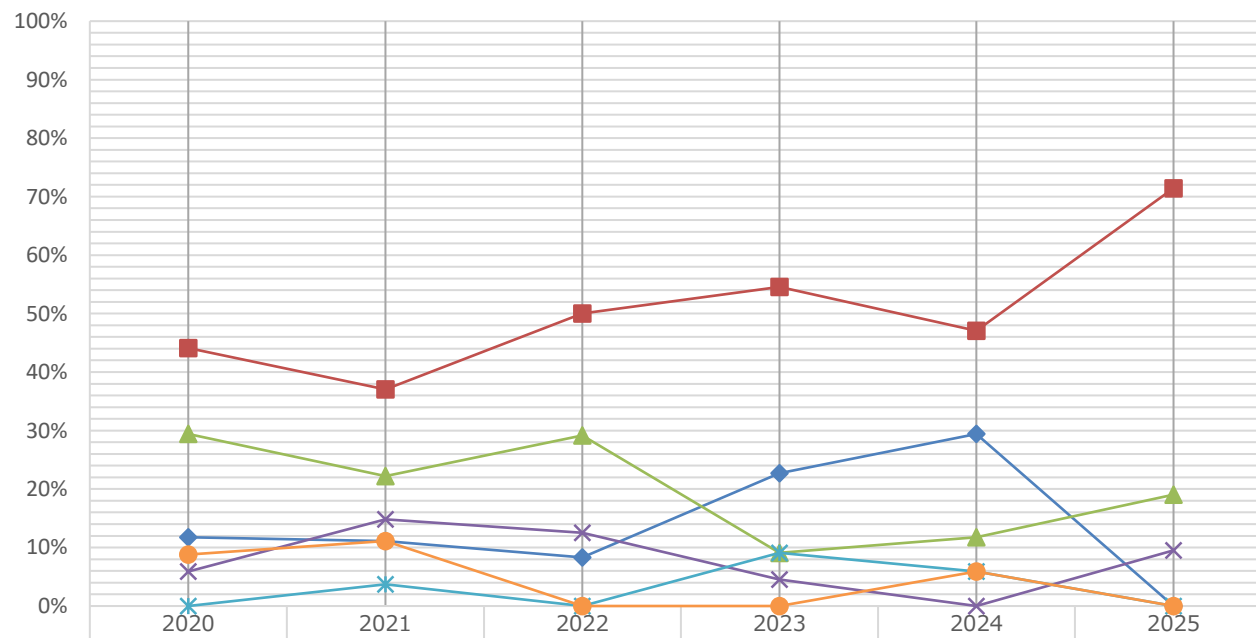
都道府県別入学者割合推移_東北地方

医学部



	2020	2021	2022	2023	2024	2025
02_青森県	6.8%	0.0%	2.4%	12.5%	5.8%	2.5%
03_岩手県	68.2%	62.5%	61.9%	50.0%	53.8%	60.0%
04_宮城県	6.8%	10.0%	14.3%	18.8%	17.3%	15.0%
05_秋田県	9.1%	12.5%	11.9%	6.3%	5.8%	7.5%
06_山形県	6.8%	2.5%	4.8%	8.3%	3.8%	10.0%
07_福島県	2.3%	12.5%	4.8%	4.2%	13.5%	5.0%

歯学部

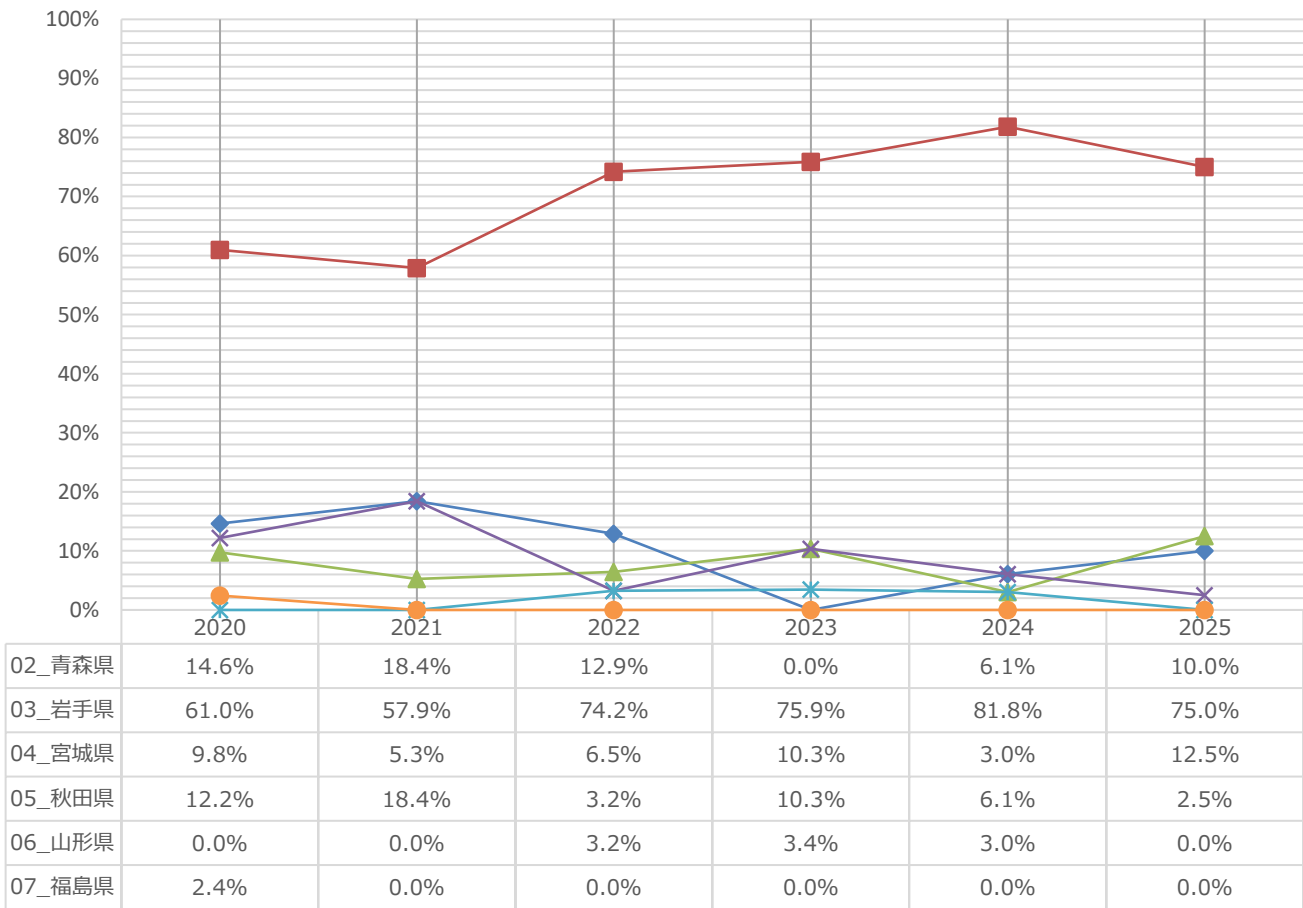


	2020	2021	2022	2023	2024	2025
02_青森県	11.8%	11.1%	8.3%	22.7%	29.4%	0.0%
03_岩手県	44.1%	37.0%	50.0%	54.5%	47.1%	71.4%
04_宮城県	29.4%	22.2%	29.2%	9.1%	11.8%	19.0%
05_秋田県	5.9%	14.8%	12.5%	4.5%	0.0%	9.5%
06_山形県	0.0%	3.7%	0.0%	9.1%	5.9%	0.0%
07_福島県	8.8%	11.1%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%

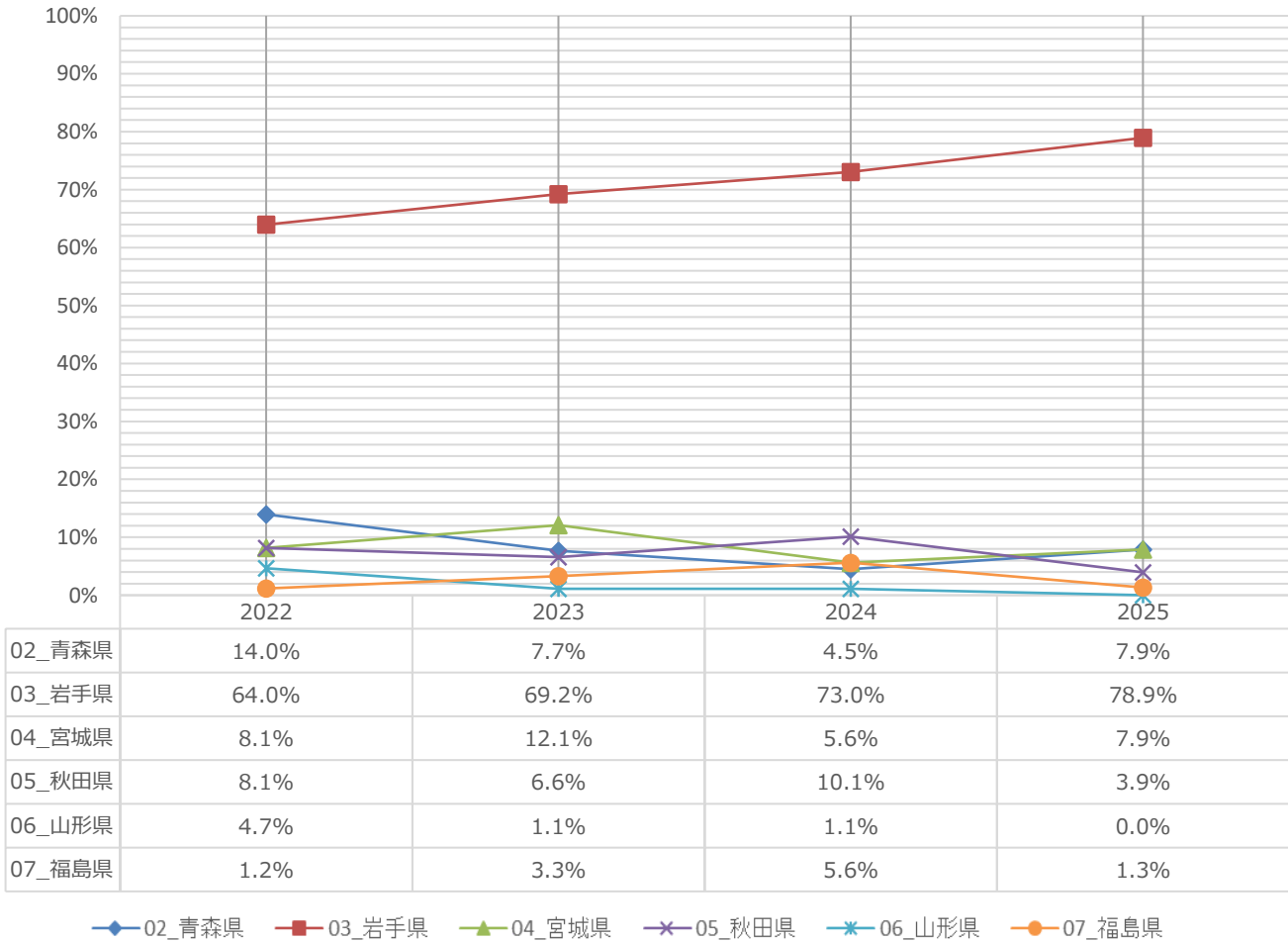
◆ 02_青森県
■ 03_岩手県
▲ 04_宮城県
✕ 05_秋田県
✱ 06_山形県
● 07_福島県

地域別入学者数推移_東北地方（つづき）

薬学部



看護学部

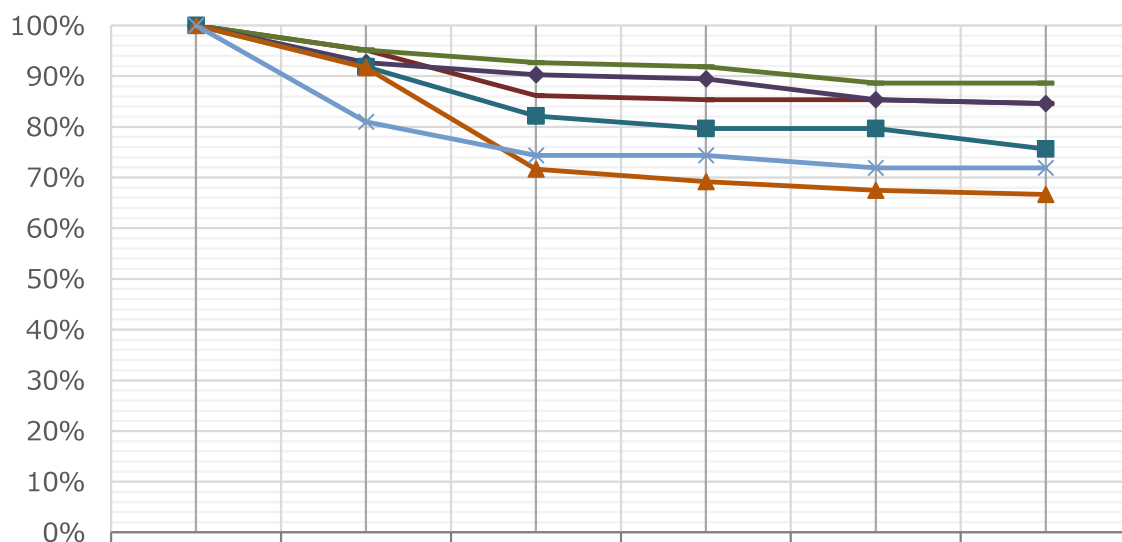


3-1 ストレート進級率推移

出典：各学部教務課提供データ

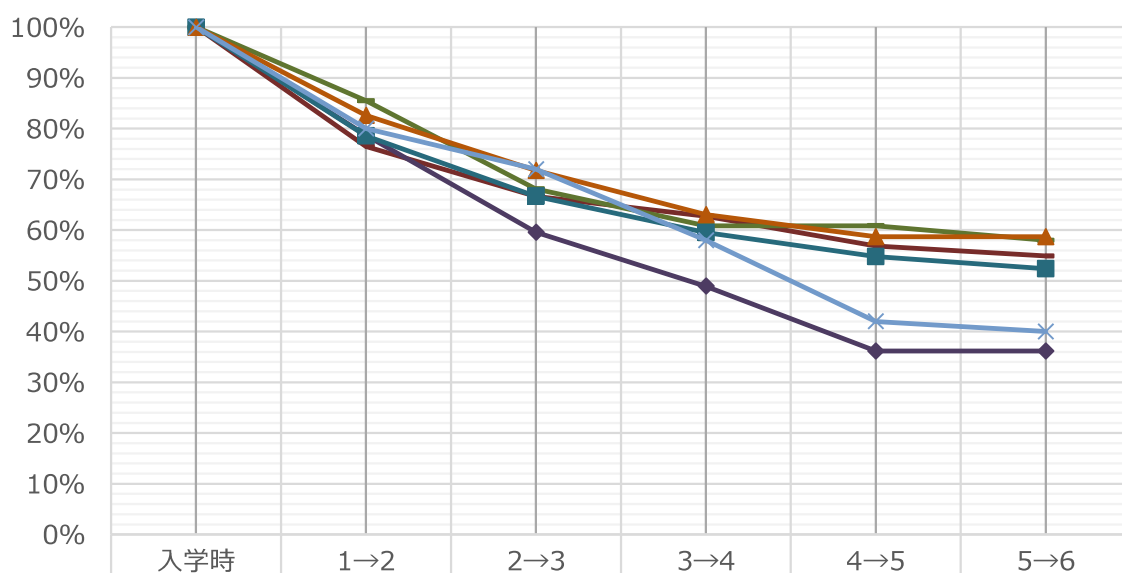
ストレート進級率： 入学以降、留年せずに進級した学生の割合

医学部



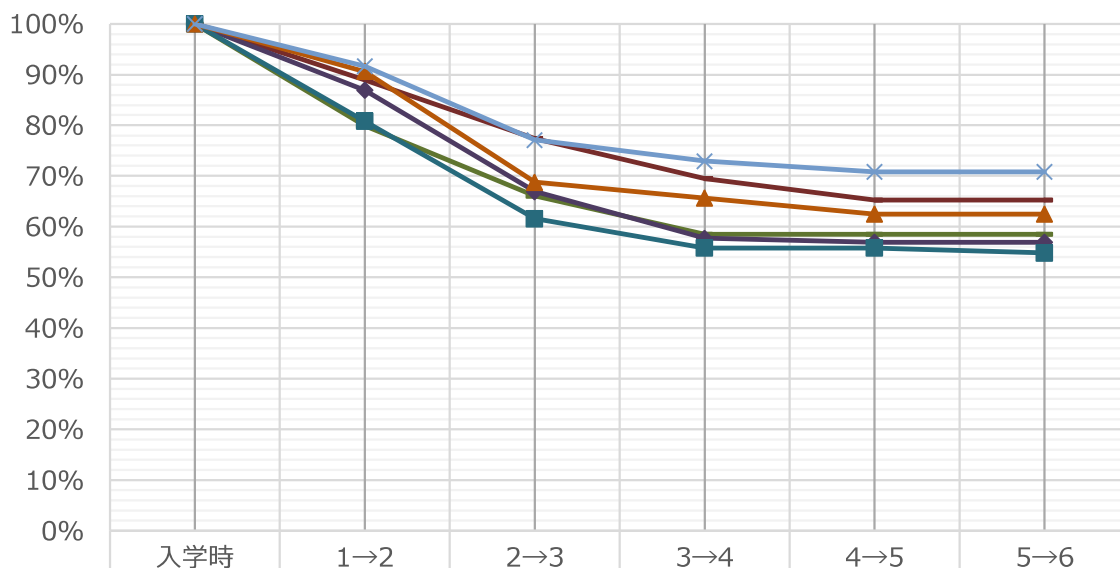
	入学時	1→2	2→3	3→4	4→5	5→6
2014 (2019卒)	100.0%	95.1%	86.2%	85.4%	85.4%	84.6%
2015 (2020卒)	100.0%	95.1%	92.7%	91.9%	88.6%	88.6%
2016 (2021卒)	100.0%	92.7%	90.2%	89.4%	85.4%	84.6%
2017 (2022卒)	100.0%	91.9%	82.1%	79.7%	79.7%	75.6%
2018 (2023卒)	100.0%	91.7%	71.7%	69.2%	67.5%	66.7%
2019 (2024卒)	100.0%	81.0%	74.4%	74.4%	71.9%	71.9%

歯学部



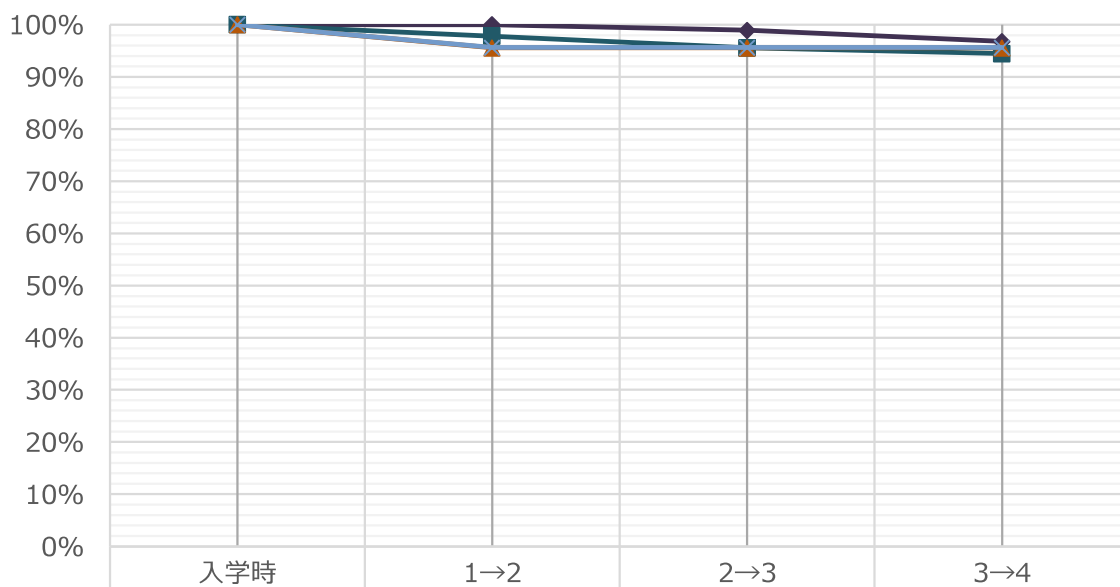
	入学時	1→2	2→3	3→4	4→5	5→6
2014 (2019卒)	100.0%	76.5%	66.7%	62.7%	56.9%	54.9%
2015 (2020卒)	100.0%	85.5%	68.1%	60.9%	60.9%	58.0%
2016 (2021卒)	100.0%	78.7%	59.6%	48.9%	36.2%	36.2%
2017 (2022卒)	100.0%	78.6%	66.7%	59.5%	54.8%	52.4%
2018 (2023卒)	100.0%	82.6%	71.7%	63.0%	58.7%	58.7%
2019 (2024卒)	100.0%	80.0%	72.0%	58.0%	42.0%	40.0%

薬学部



	入学時	1→2	2→3	3→4	4→5	5→6
2014 (2019卒)	100.0%	88.9%	77.4%	69.5%	65.3%	65.3%
2015 (2020卒)	100.0%	79.9%	66.0%	58.5%	58.5%	58.5%
2016 (2021卒)	100.0%	86.9%	66.9%	57.7%	56.9%	56.9%
2017 (2022卒)	100.0%	80.8%	61.5%	55.8%	55.8%	54.8%
2018 (2023卒)	100.0%	90.6%	68.8%	65.6%	62.5%	62.5%
2019 (2024卒)	100.0%	91.7%	77.1%	72.9%	70.8%	70.8%

看護学部



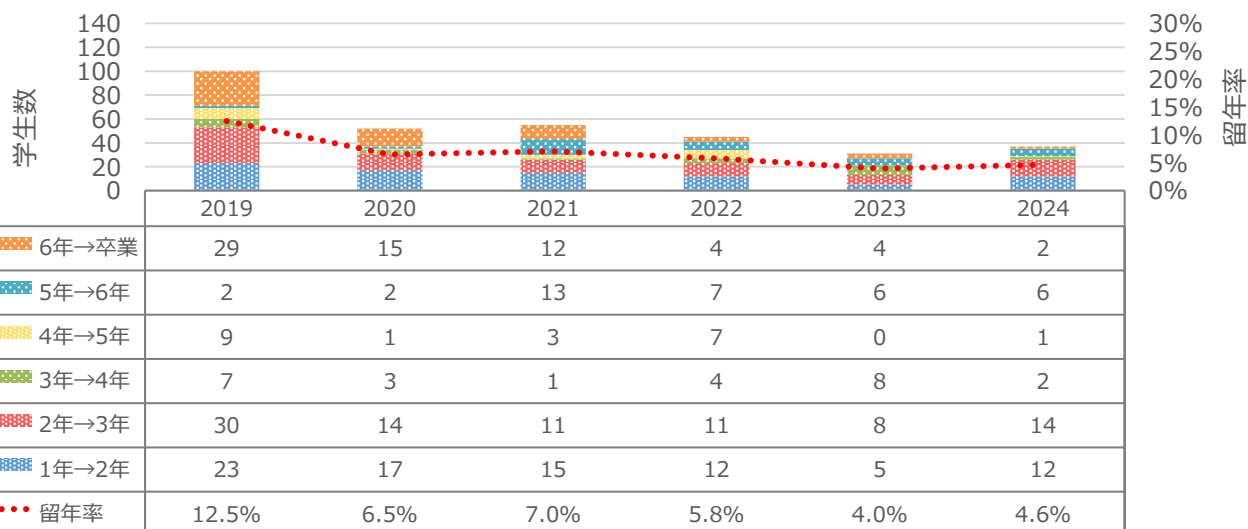
	入学時	1→2	2→3	3→4
2018(2021卒)	100.0%	100.0%	98.9%	96.8%
2019 (2022卒)	100.0%	97.8%	95.6%	94.4%
2020 (2023卒)	100.0%	95.6%	95.6%	95.6%
2021 (2024卒)	100.0%	95.6%	95.6%	95.6%

留年者数：対象年度に留年した学生数

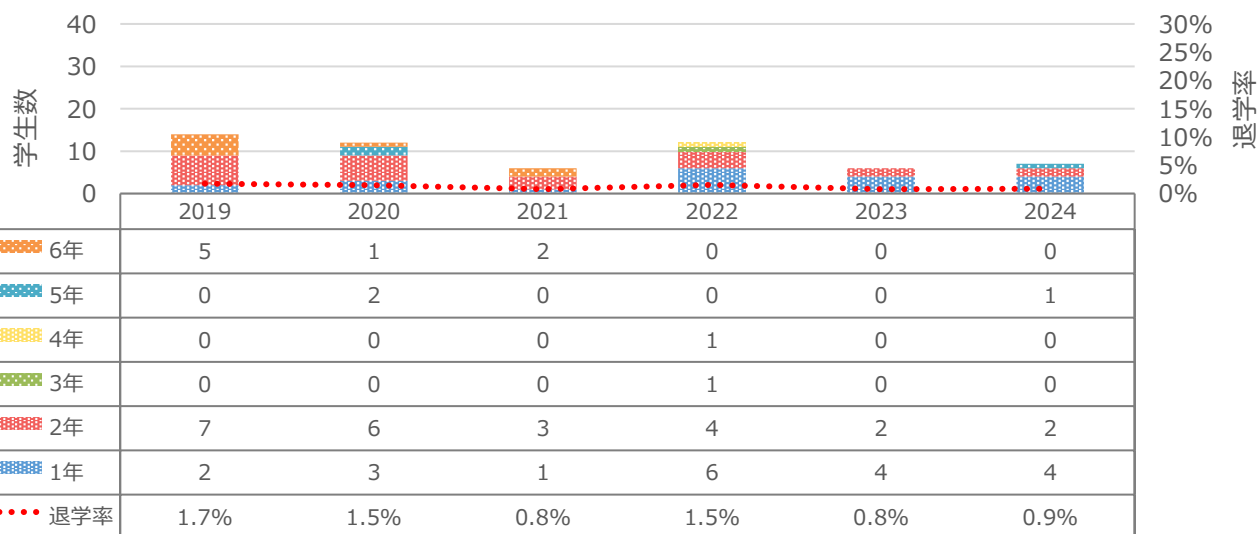
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者含む)

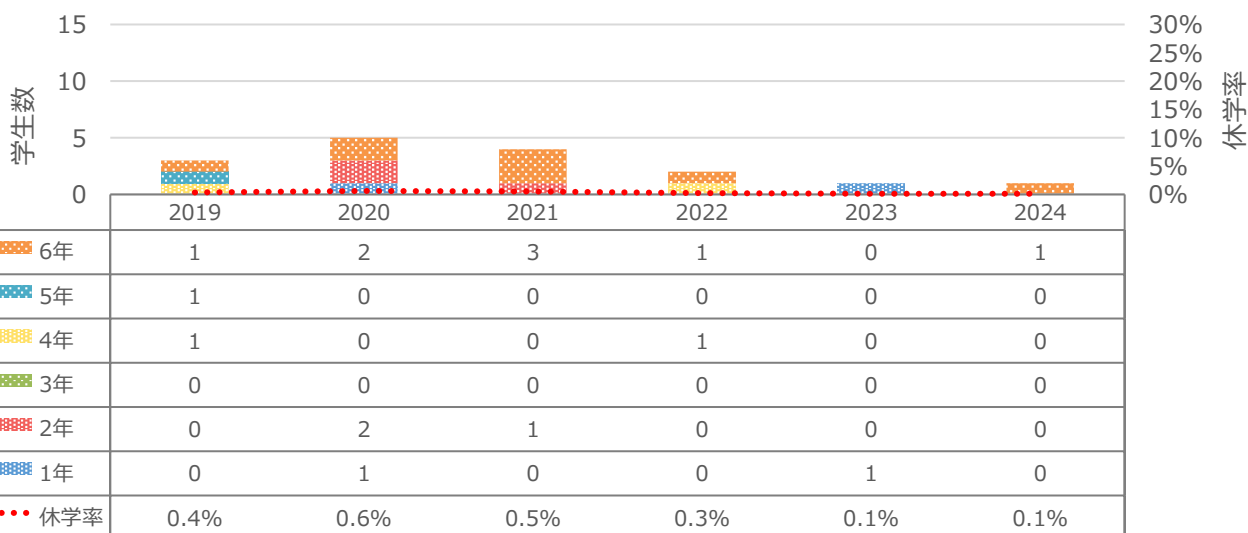
医学部_留年者数



医学部_退学者数



医学部_休学者数

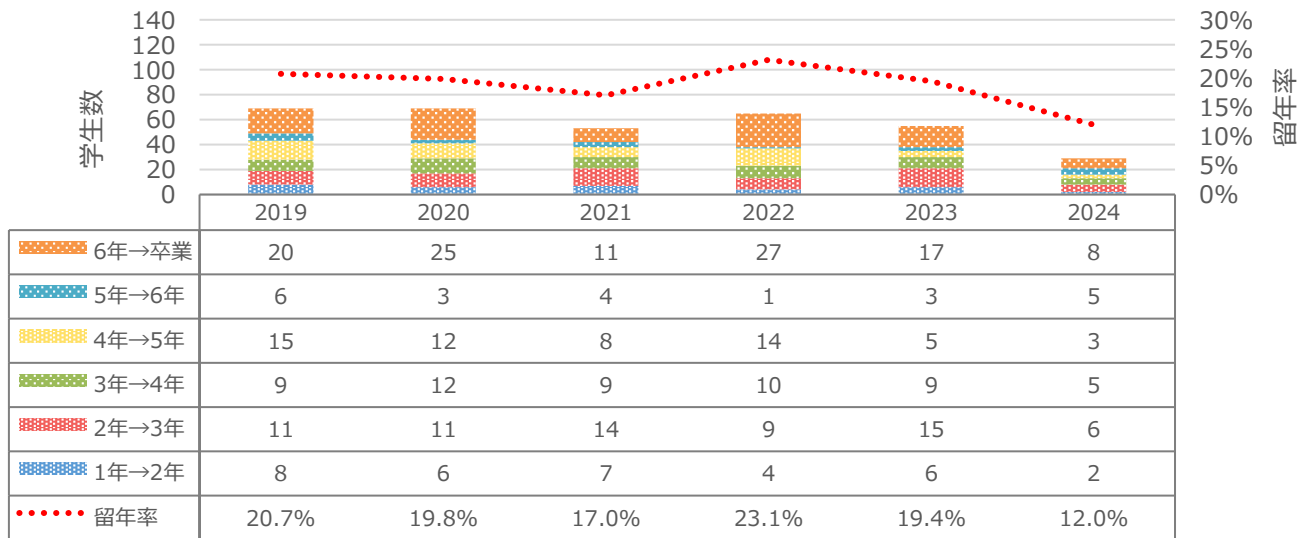


留年者数：対象年度に留年した学生数

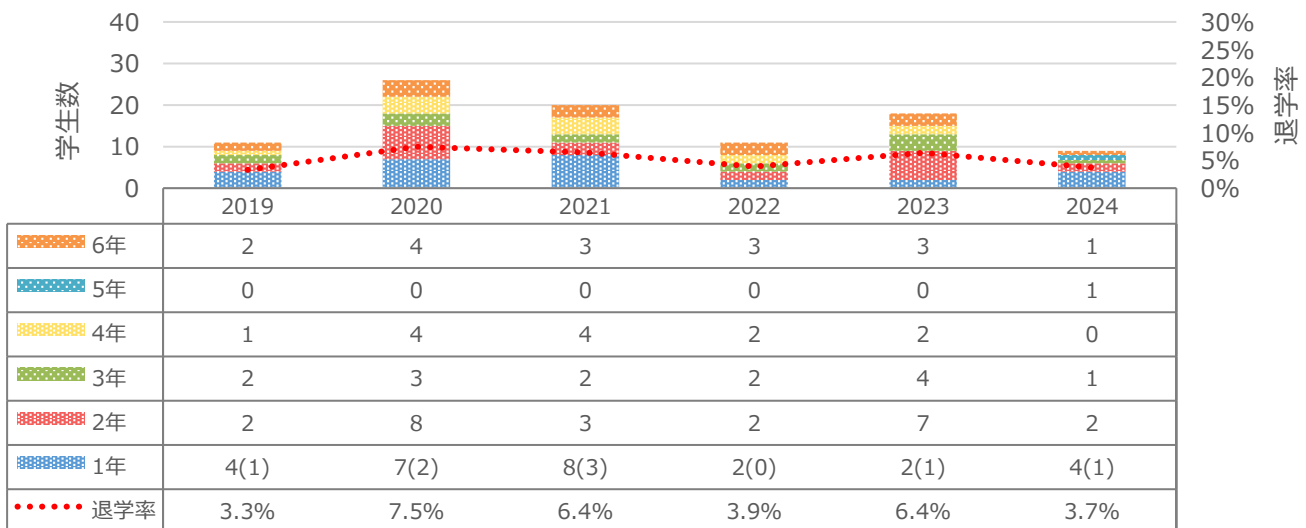
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者、本学医学部へ転部した者を含む)

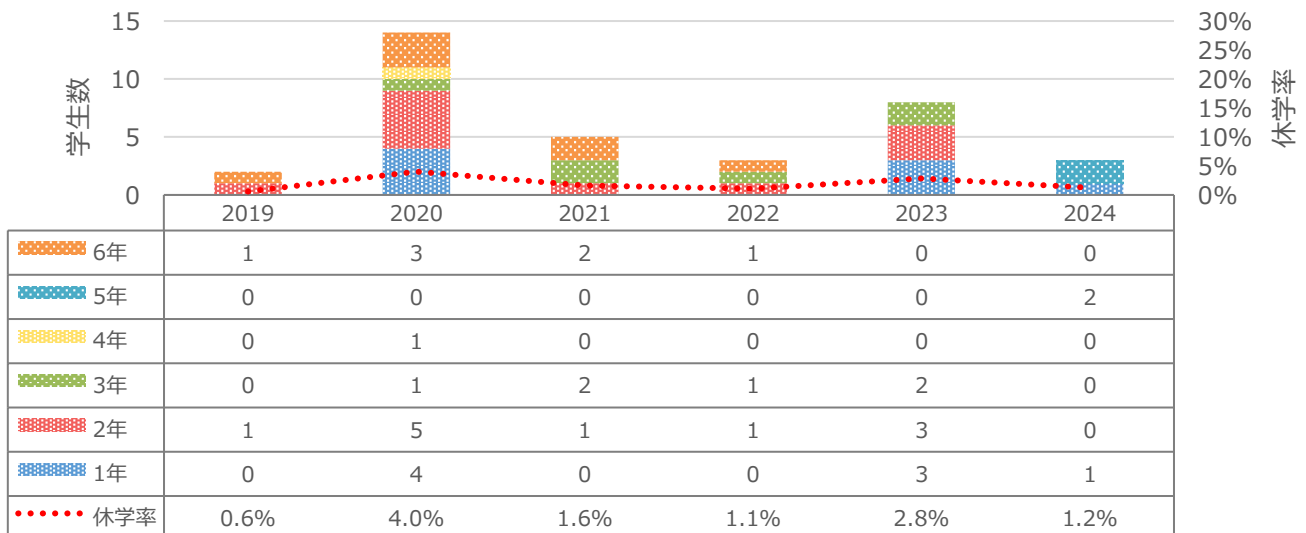
歯学部_留年者数



歯学部_退学者数 ※()内の学生数：本学医学部への転部に伴う退学者



歯学部_休学者数

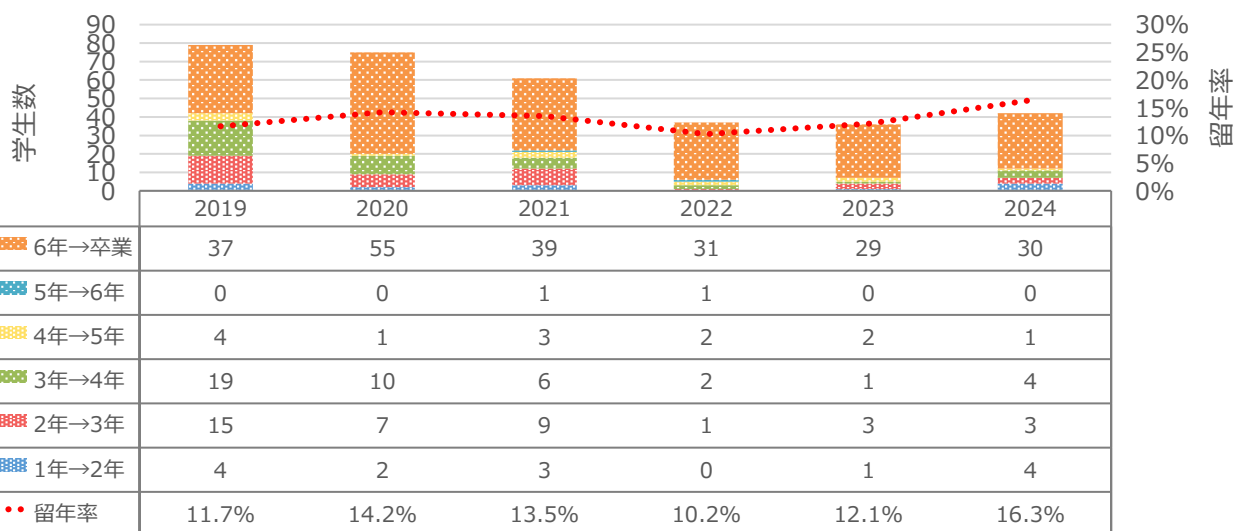


留年者数：対象年度に留年した学生数

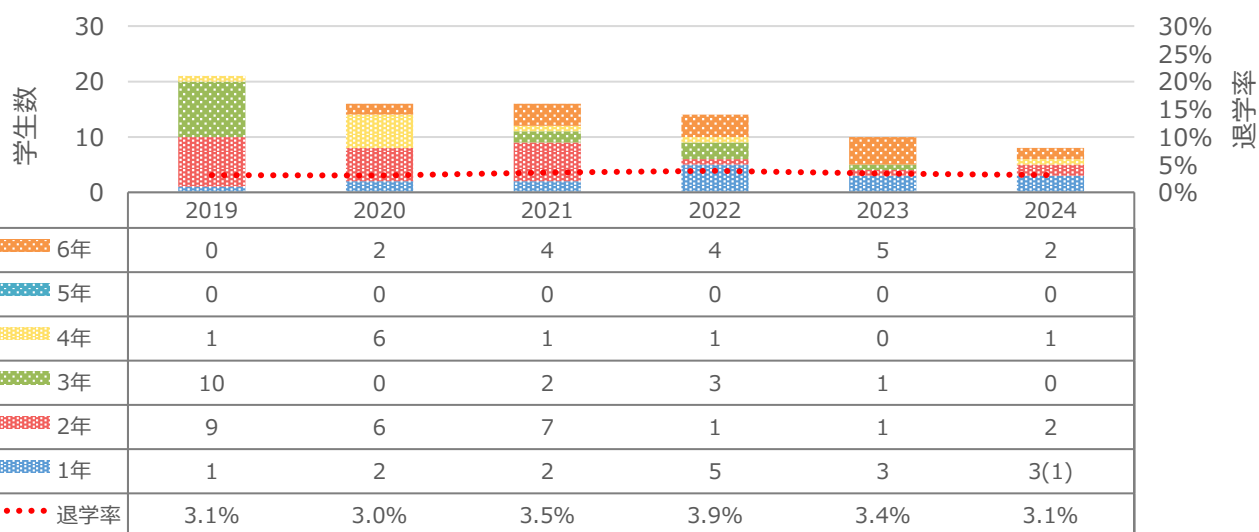
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者、本学他学部へ転部した者を含む)

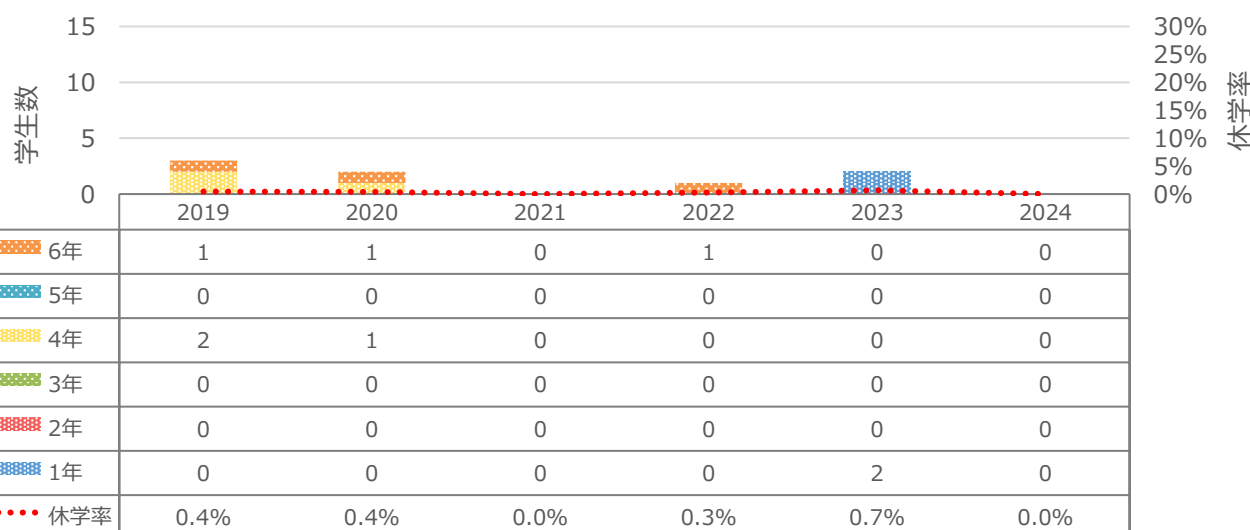
薬学部_留年者数



薬学部_退学者数 ※()内の学生数：本学医学部への転部に伴う退学者



薬学部_休学者数

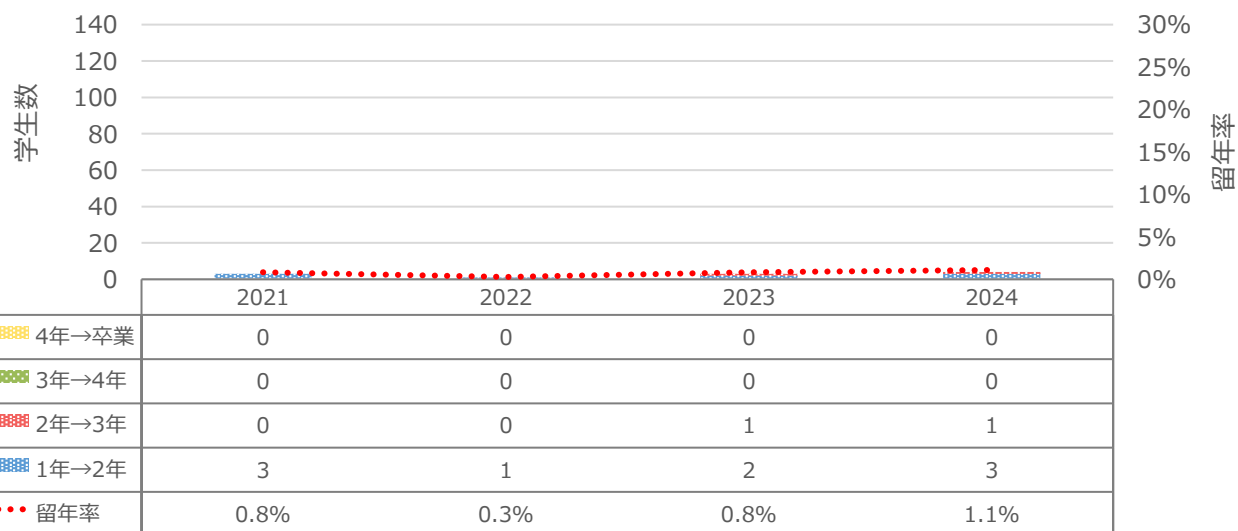


留年者数：対象年度に留年した学生数

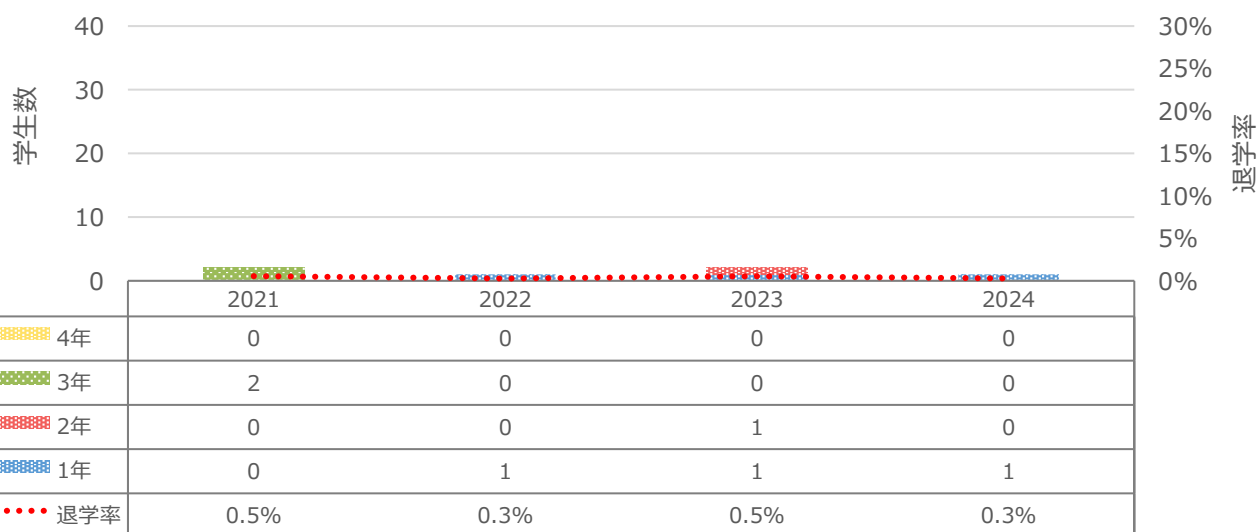
休学者数：対象年度内に休学した学生数

退学者数：対象年度内に退学した学生数(除籍者含む)

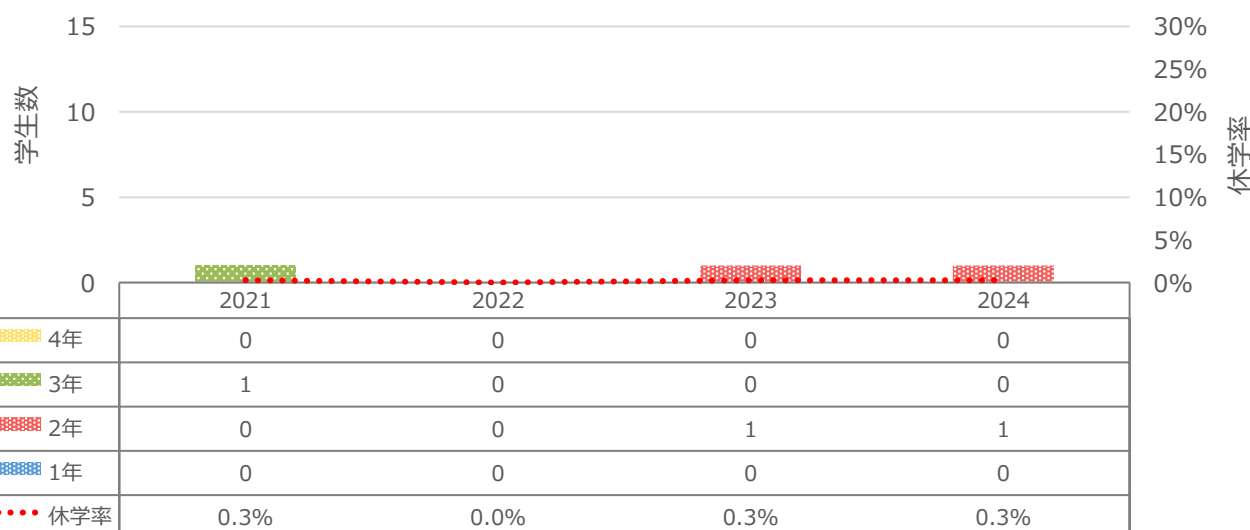
看護学部_留年者数



看護学部_退学者数



看護学部_休学者数



3-3 標準修業年限超過者割合

出典：学校基本調査（政府統計 e-Stat）

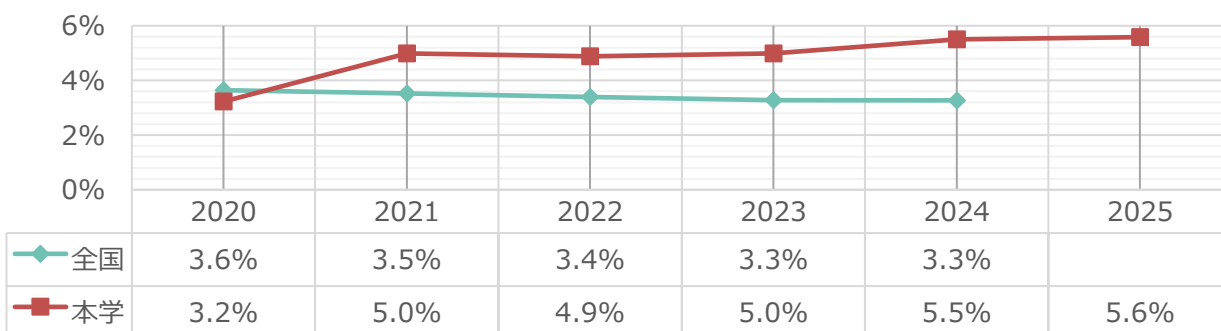
<https://www.e-stat.go.jp/>

※令和7年度の情報(全国)が公開され次第、更新予定

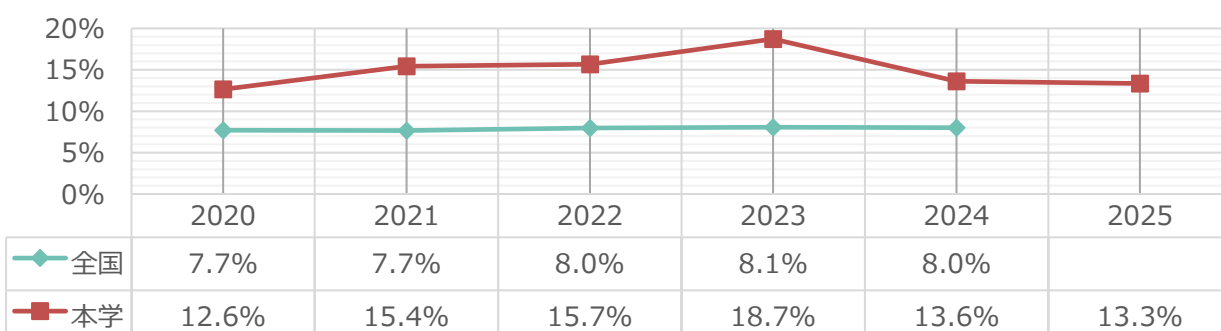
標準修業年限超過者：

大学が定めている修業年限を超過して在籍している学生。本学の場合、医・歯・薬学部は6年制であるため7年以上の在籍者、看護学部は4年制であるため5年以上の在籍者が対象となる。

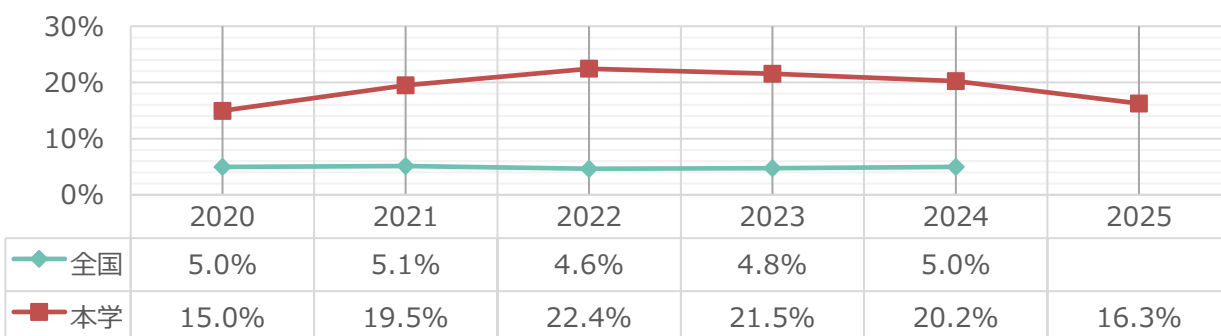
医学部



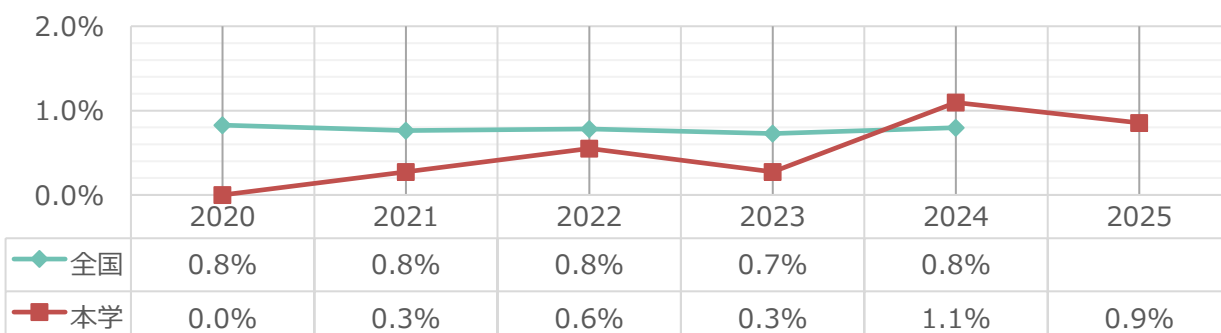
歯学部



薬学部



看護学部



3-4 奨学金等受給者・受給率推移

出典データ：学事課提供(令和7年9月現在)

奨学金受給者：日本学生支援機構奨学金受給者

授業料等減免対象者：岩手医科大学の授業料等減免制度対象者(震災減免、子弟減免)

修学支援制度対象者：文部科学省主導の高等教育の修学支援制度対象者

薬学部向け奨学金対象者：薬学部育英奨学金対象者

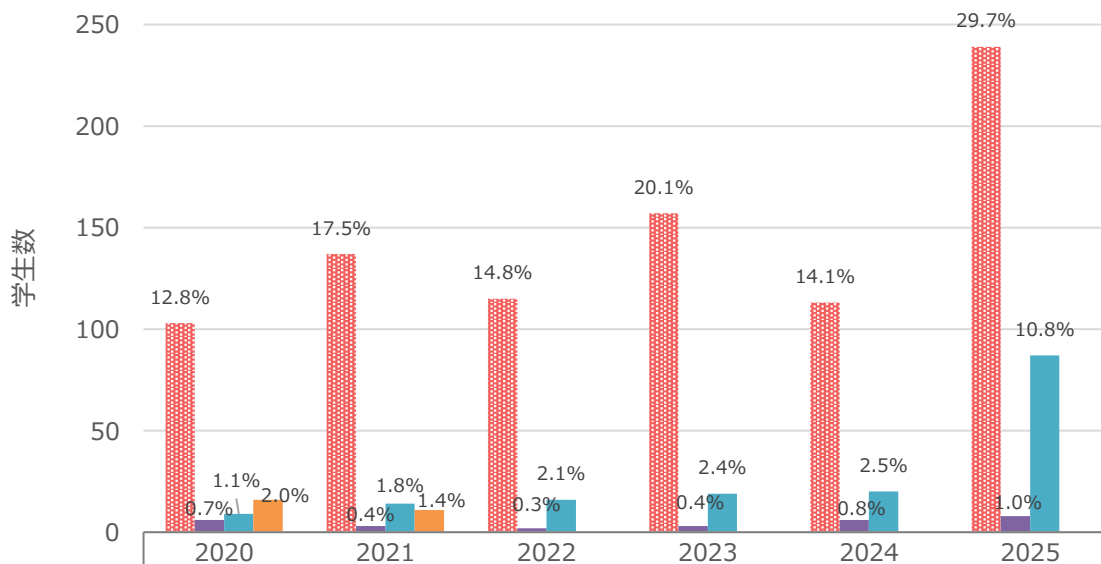
看護学部向け奨学金対象者：看護学部貸与奨学金対象者

新型コロナウイルス感染症関連：新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、学生支援緊急給付金、授業料減免事業の対象者

※自治体等からの奨学金を受給している人数は把握していないため、計上していない。

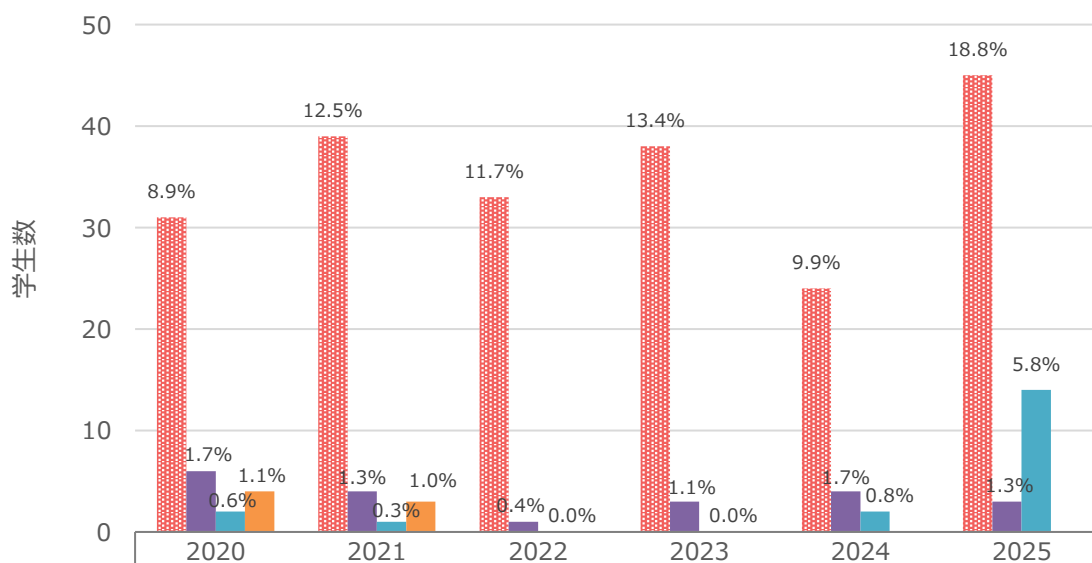
医学部

※グラフ上部の%：学生数に対する各受給者数の割合



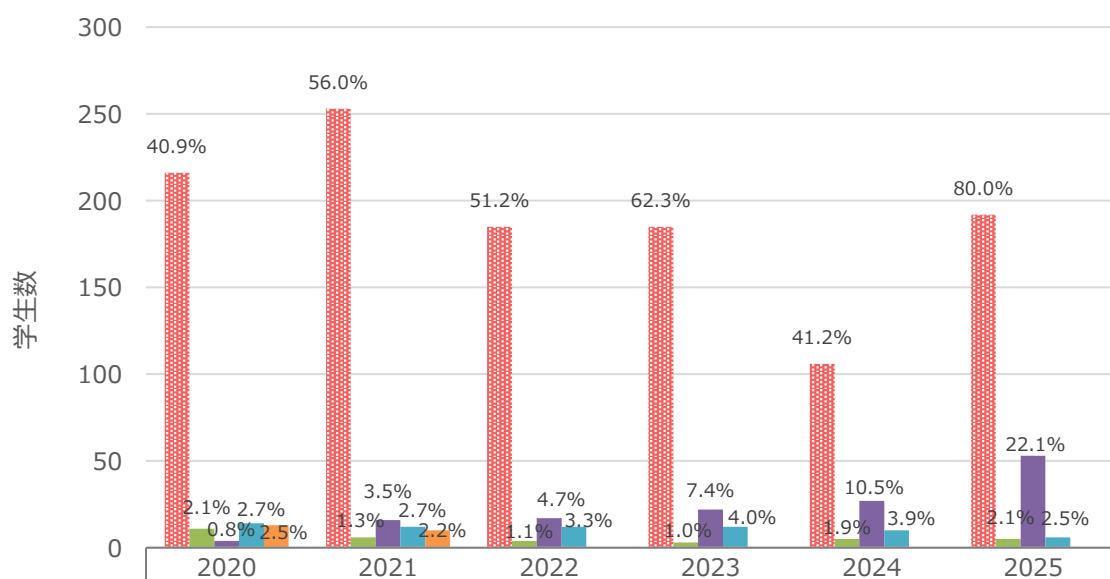
歯学部

※グラフ上部の%：学生数に対する各受給者数の割合



薬学部

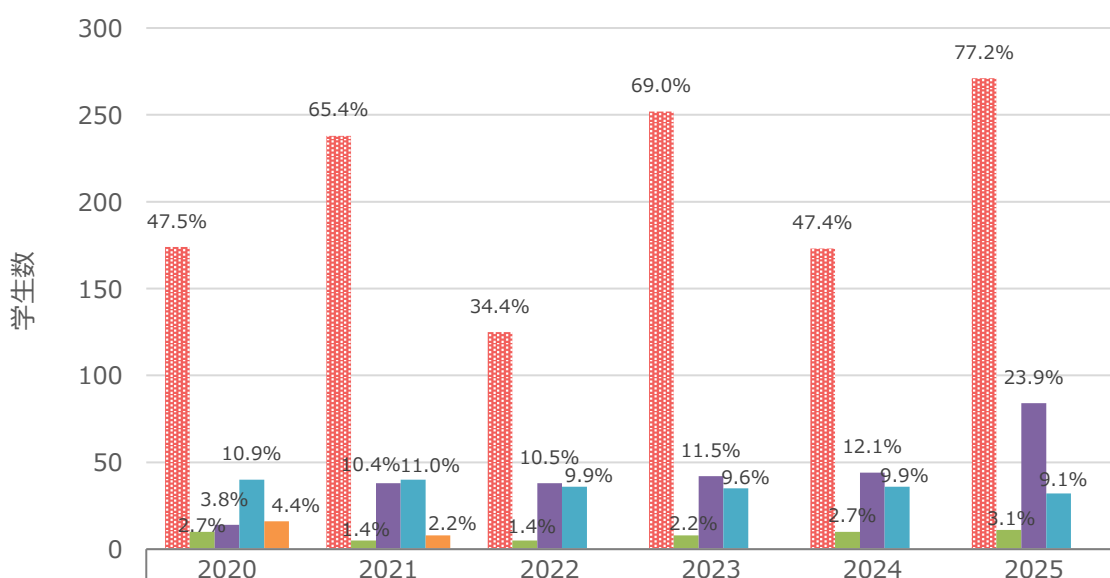
※グラフ上部の%：学生数に対する各受給者数の割合



奨学金受給者数	216	253	185	185	106	192
授業料等減免対象者	11	6	4	3	5	5
修学支援制度対象者	4	16	17	22	27	53
薬学部向け奨学金対象者	14	12	12	12	10	6
新型コロナウイルス感染症関連	13	10				

看護学部

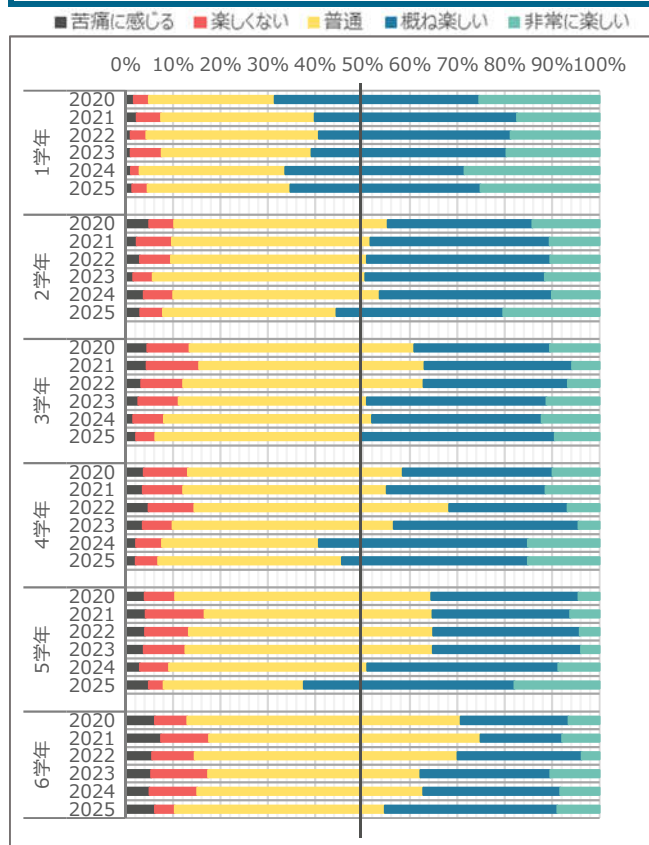
※グラフ上部の%：学生数に対する各受給者数の割合



奨学金受給者数	174	238	125	252	173	271
授業料等減免対象者	10	5	5	8	10	11
修学支援制度対象者	14	38	38	42	44	84
看護学部向け奨学金対象者	40	40	36	35	36	32
新型コロナウイルス感染症関連	16	8				

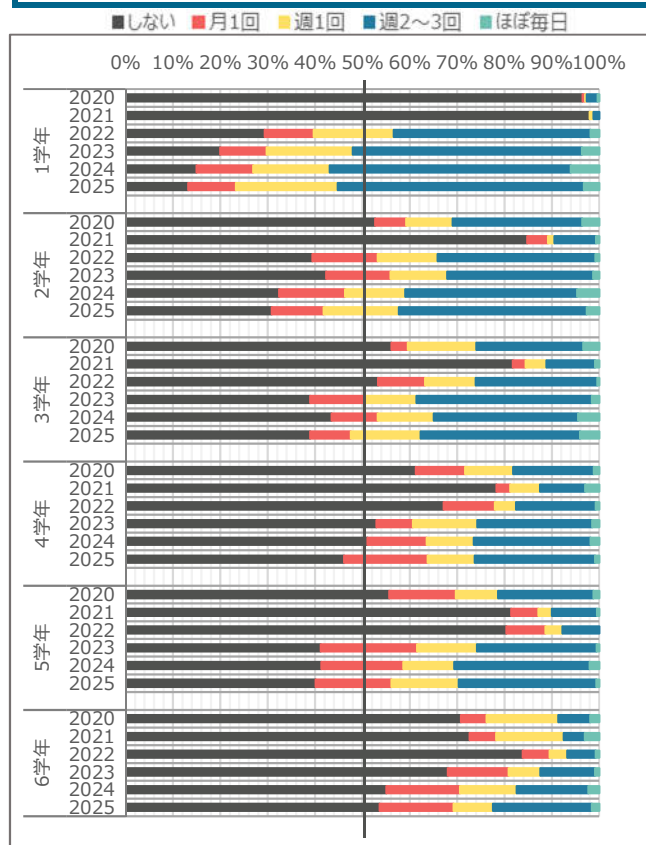
01_学生生活

学生生活は楽しいですか



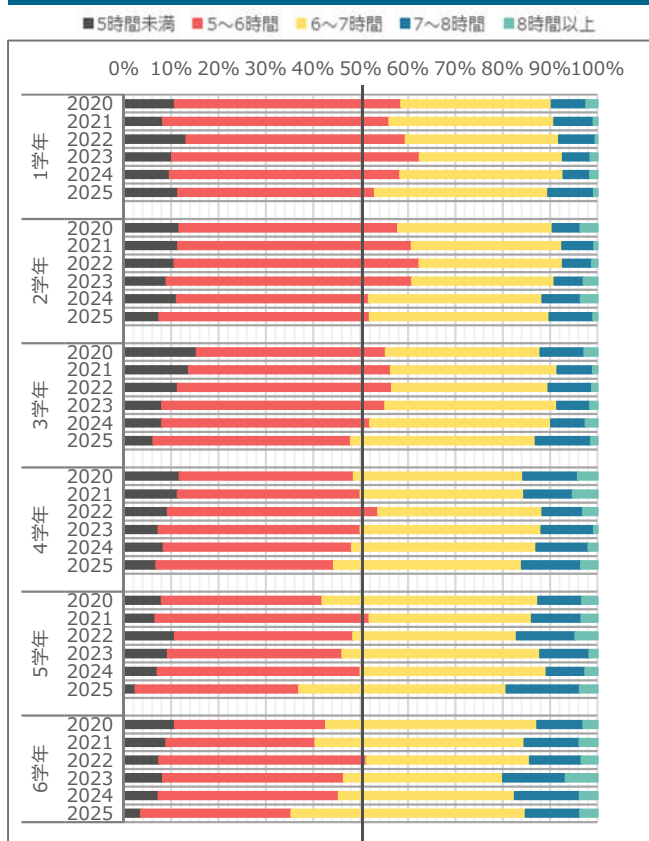
1学年時は『非常に楽しい』『概ね楽しい』の肯定的な回答が半数以上ですが、学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少傾向にあります。『苦痛を感じる』『楽しくない』の否定的な回答は2学年以降大きな変化はありません。また、高学年の肯定的な回答が近年増加しています。

クラブ活動に参加していますか



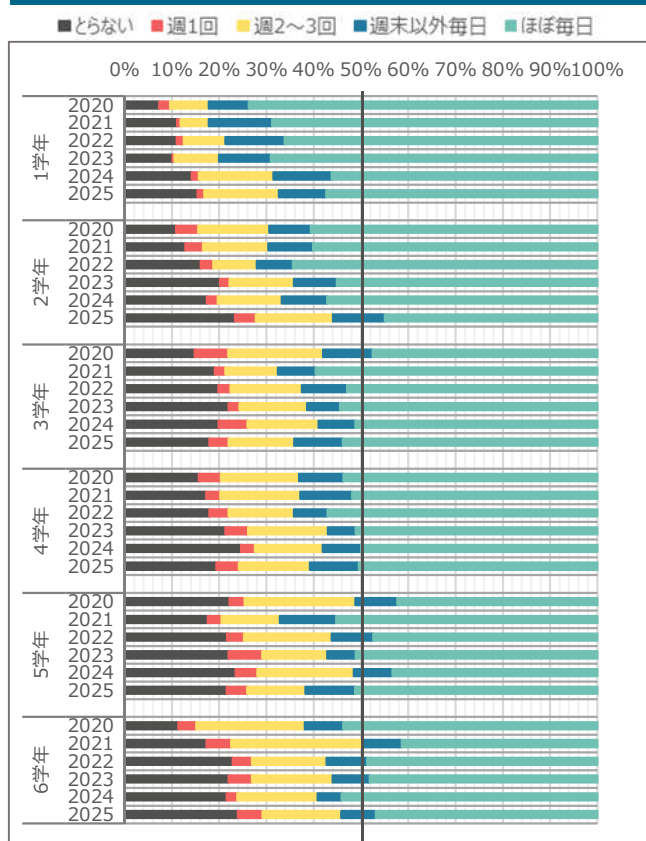
クラブ活動への参加率は学年が上がるごとに減少傾向にあります。2020・2021年は新型コロナウイルスの影響でクラブ活動が制限されていたため参加率は減少していましたが、2022年以降参加率は増加し、2025年度の1学年では月1回以上参加している回答が9割程度となっています。

睡眠時間は1日何時間くらいですか



睡眠時間が6時間未満の回答が約半数を占めていますが、学年が上がるにつれて6時間未満の回答が僅かに減少しています。また、多くの学年で6時間以上の回答が年々増加傾向にあります。

朝食は摂りますか

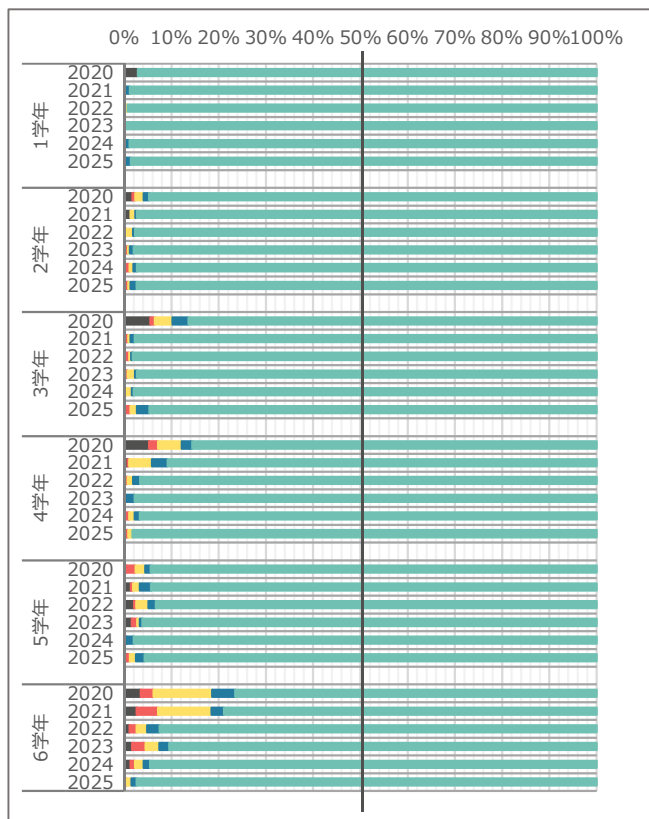


『ほぼ毎日』朝食を摂る回答が約半数を占めていますが、朝食を『とらない』の回答も一定数あります。学年が上がるにつれて『ほぼ毎日』の回答が減少傾向にあります。1学年は学生寮で生活する学生が多いため、上位学年と比べて朝食を摂る回答が多くなっていると考えられます。

01_学生生活

喫煙習慣はありますか(1日あたりのタバコの本数)

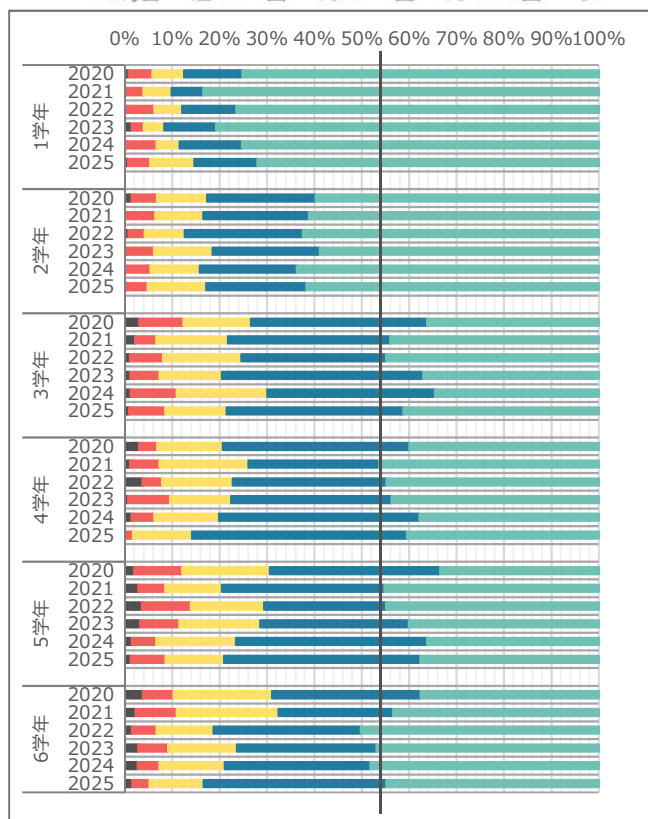
■20本以上 ■10-20本 ■5-10本 ■5本以下 ■ない



喫煙習慣が『ない』の回答が全学年で9割以上を占める結果となりました。学年が上がるにつれて喫煙者数は増加していますが、年々喫煙者数は減少しており、2025年度は2020年度と比べて、喫煙者は半数以下となっています。

飲酒習慣はありますか

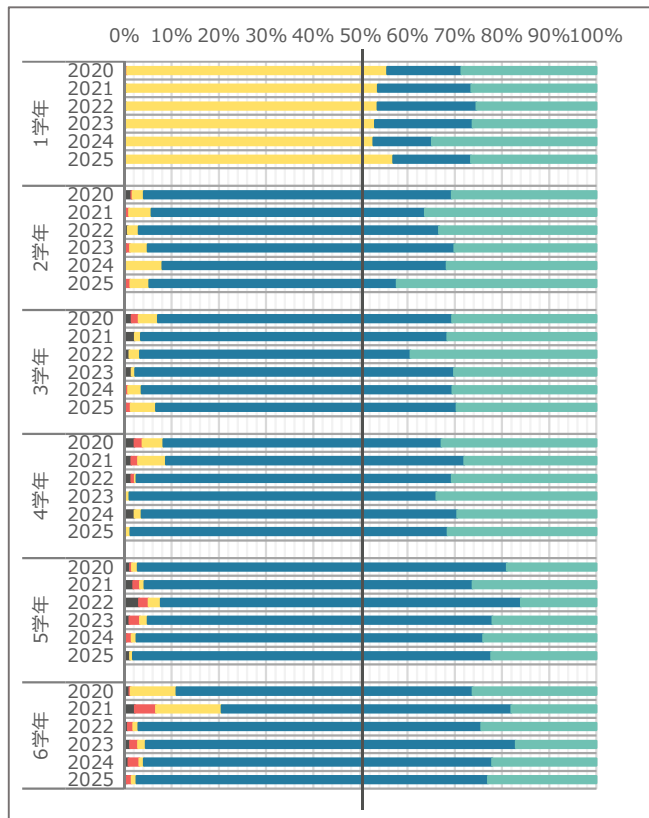
■ほぼ毎日 ■週 2〜4回 ■月 3〜4回 ■月 1〜2回 ■ない



飲酒習慣が『ない』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。特にストレート進級者が20歳を超える第3学年からは、飲酒習慣が『月1〜2回』以上の回答が半数割以上を占めています。飲酒習慣が『ない』の回答は年々増加傾向にあります。

あなたの現在の居住形態を教えてください

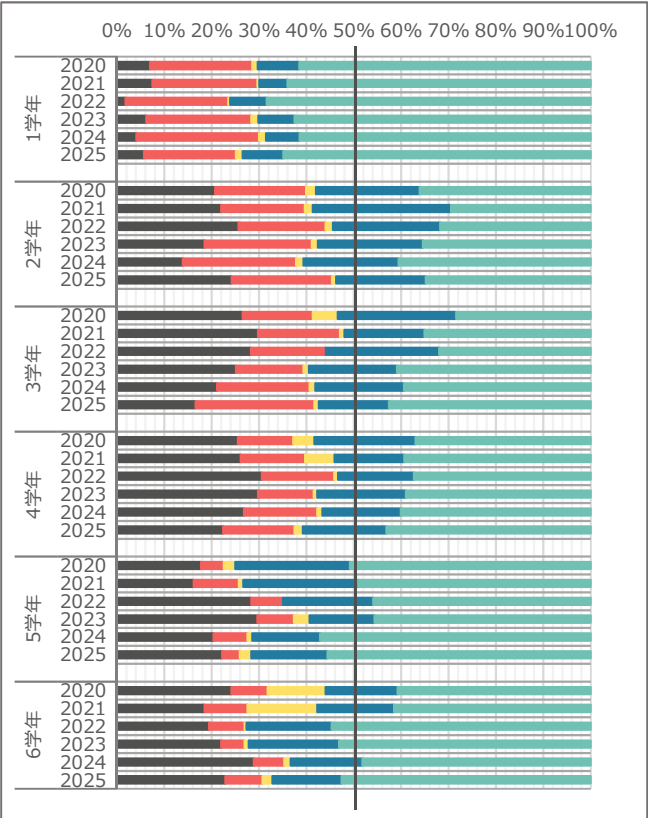
■その他 ■シェアハウス ■大学寮や合宿所 ■アパート・マンションで一人暮らし ■家族・親戚と同居



1学年では学生寮が半数を占めていますが、学年が上がると『アパート・マンションで一人暮らし』の学生が半数以上となります。また、『家族・親戚と同居』の学生が2〜3割程度となっています。

通学はどのようにしていますか

■自動車 ■電車 ■バス ■自転車 ■徒歩

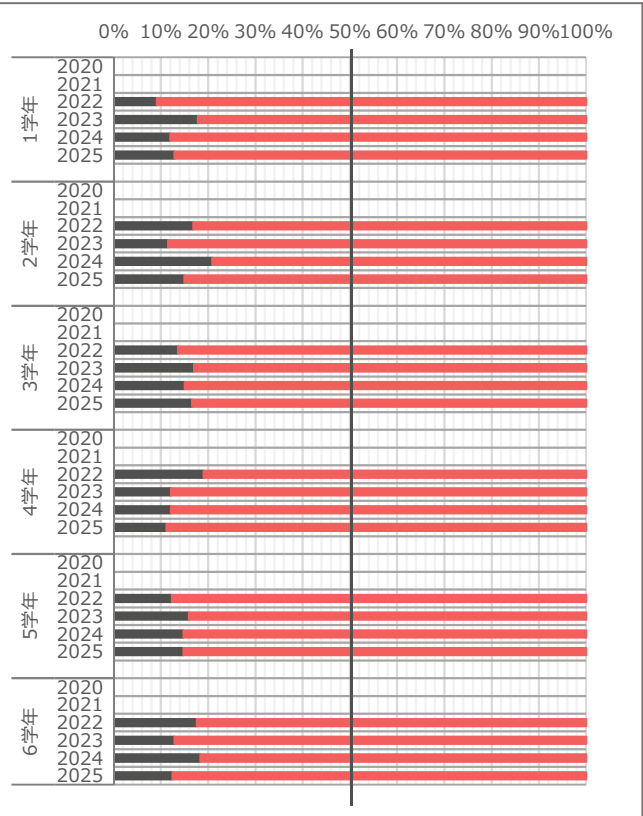


半数以上が学生寮に入寮している1学年では徒歩での通学が6割を超え、一人暮らしの回答が半数以上あった2学年以降は自動車、自転車での通学が各2割、徒歩での通学が3割となります。また、5,6学年になると約半数の学生が徒歩通学となります。

01_学生生活

精神的な悩みや人間関係のトラブルはありますか

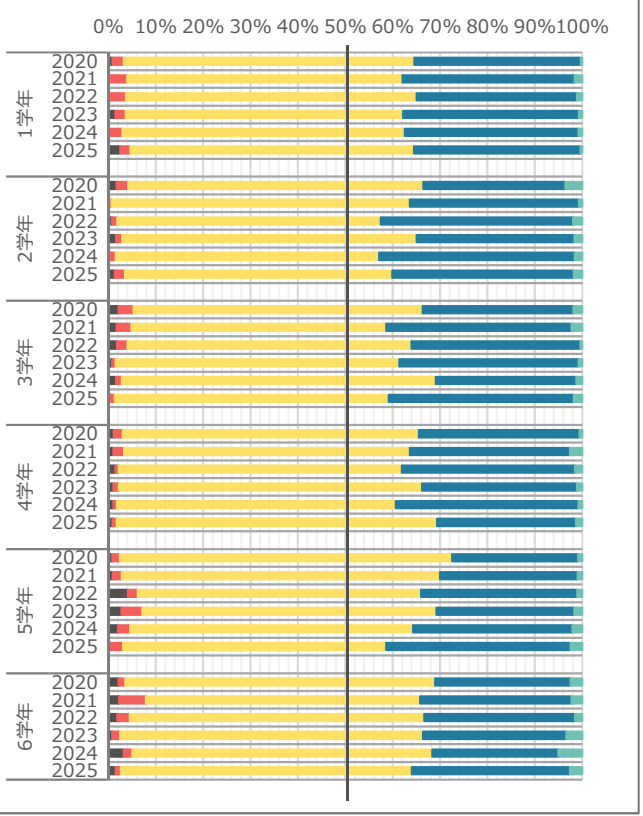
■ある ■ない



2022年度新設の項目です。「ある」の回答が1割程度、「ない」の回答が8割以上を占めます。学年・年度による回答の大きな差は見られません。

精神的な悩みや人間関係のトラブルは誰に相談しますか

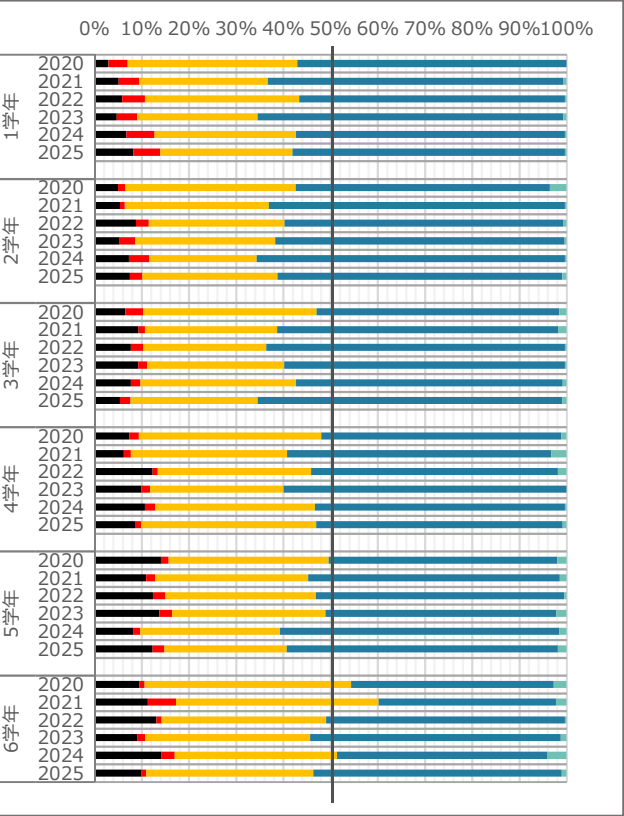
■開業医 ■健康管理センター ■先輩・友人 ■親 ■教員



相談する人が『先輩・友人』の回答が6割、次点で『親』の回答が3割以上を占めます。

身体的な心配事は誰に相談しますか

■開業医 ■健康管理センター ■先輩・友人 ■親 ■教員

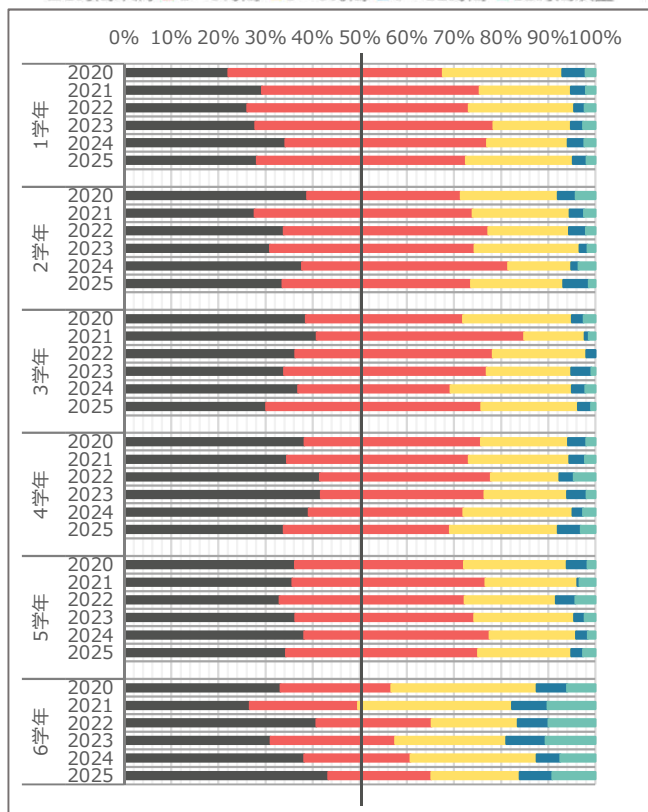


相談する人が『親』の回答が約半数、『先輩・友人』の回答が約4割、『開業医』の回答が1割程度となっています。

02_勉強時間

1週間あたりどのくらい授業・実習の予習をしますか

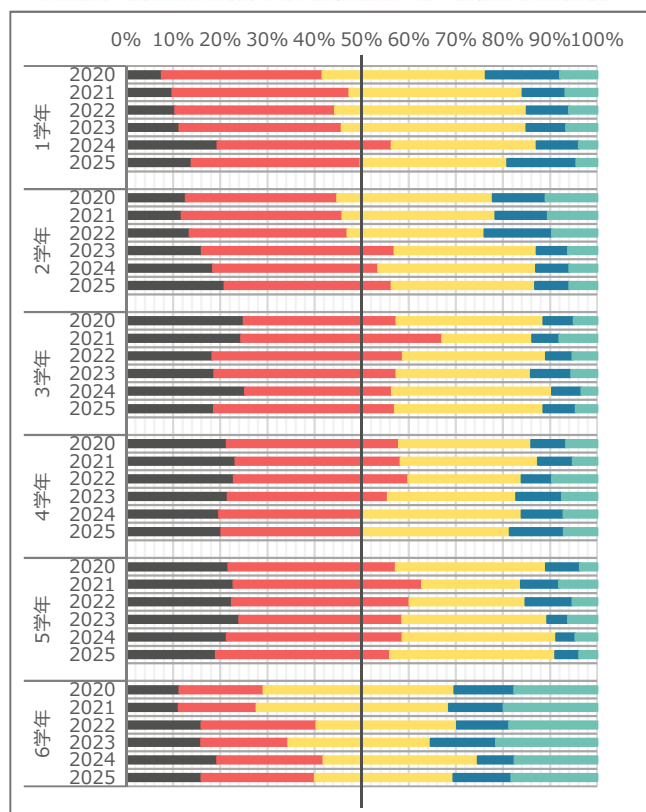
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の授業・実習の予習時間は8時間以下の回答が8割以上を占める結果となりました。『12時間以上』の回答は6学年で増加する傾向にあります。一方で、1時間未満の学生も2割～4割程度存在します。

1週間あたりどのくらい授業・実習の復習をしますか

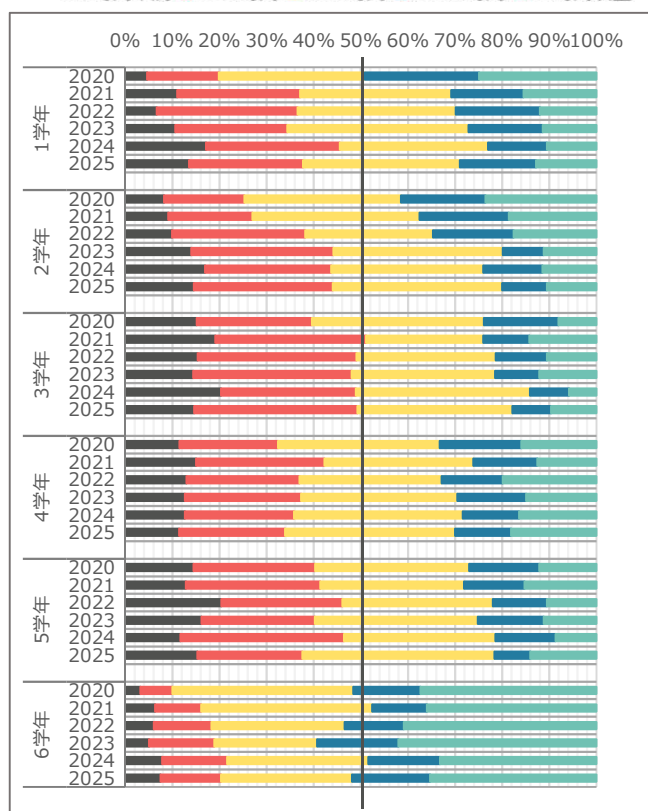
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の授業・実習の復習時間は、6学年以外が8時間以下の回答が8割以上を占める結果となりました。6学年では8時間以上の回答が3割以上を占める結果となり、6学年で振り返りの時間が増加する傾向にあります。

予習・復習を含め、1週間あたりどのくらい自主勉強をしますか

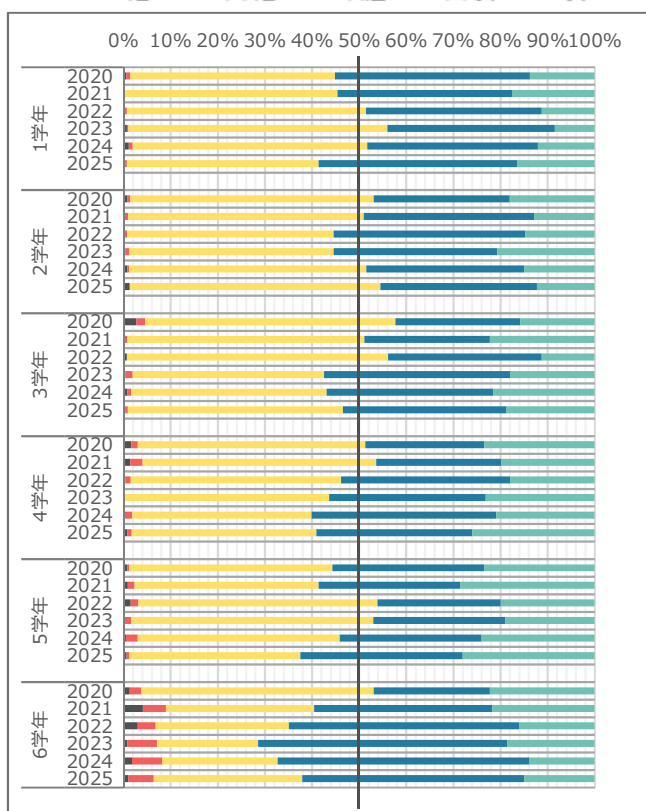
■1時間未満 ■1～3時間 ■3～8時間 ■8～12時間 ■12時間以上



1週間の自主勉強時間は、6学年以外が8時間以下の回答が7割を占める結果となりました。6学年では8時間以上の回答が5割以上を占める結果となり、6学年で自主勉強時間が増加する傾向にあります。

90分の授業は長く感じますか(集中できる長さですか)

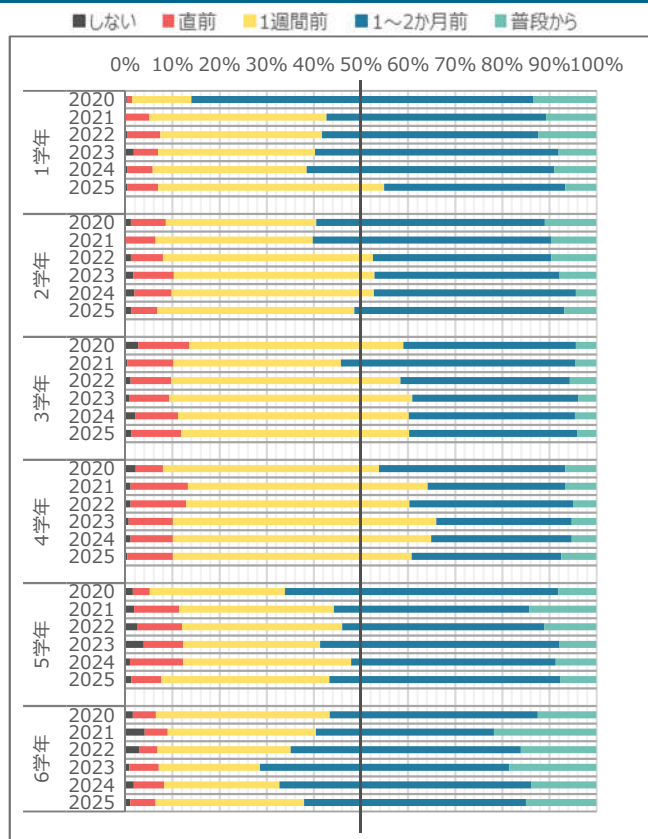
■短い ■やや短い ■普通 ■やや長い ■長い



6学年以外は『普通』と『やや長い』『長い』の回答が約半数ずつの結果となりました。6学年は他学年と比べて『やや長い』『長い』の回答が多いですが、『短い』『やや短い』の回答も他学年と比べて多くなっています。

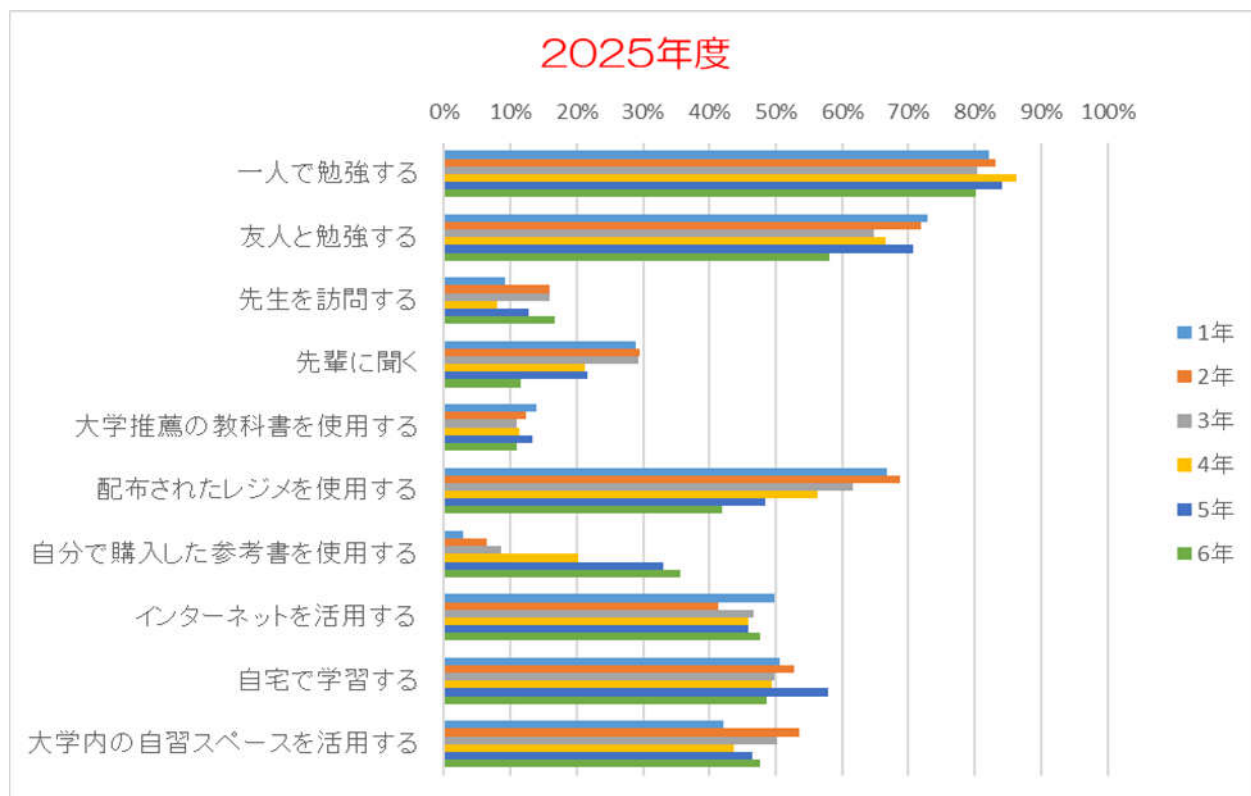
02_勉強時間

定期試験のための準備はいつ頃からしますか。



『1週間前』より以前から準備を行う回答が9割近くを占めます。また、例年『直前』に準備する割合が一定数います。『1〜2か月前』と『普段から』の回答は5・6学年で増加する傾向にあります。

主な勉強方法を教えてください

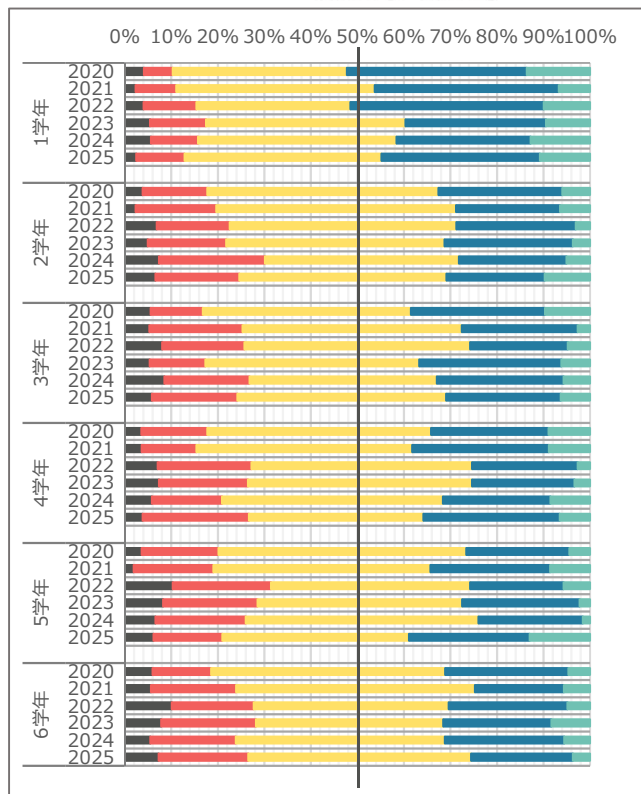


複数選択式の設問です。『一人で勉強する』『友人と勉強する』『配布されたレジメを使用する』の回答が多い結果となりました。『自分で購入した参考書を使用する』の回答が上位学年になるほど増加しており、学年に上がるにつれて勉強方法が変化する傾向が見られます。

03_教育課程・学生支援

本学の目指す医療人像を示した学則と学位授与方針を知っていますか

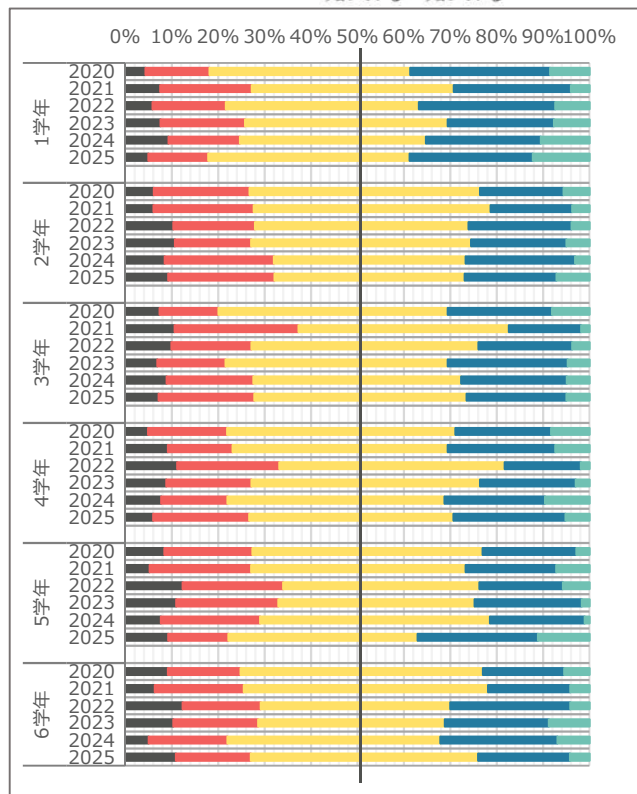
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



1学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が約4割を占めています。学年が上がると『存在は知っている』『なんとなく知っている』の回答が増加する傾向にあります。

学位授与方針にあわせた教育課程の概要を知っていますか

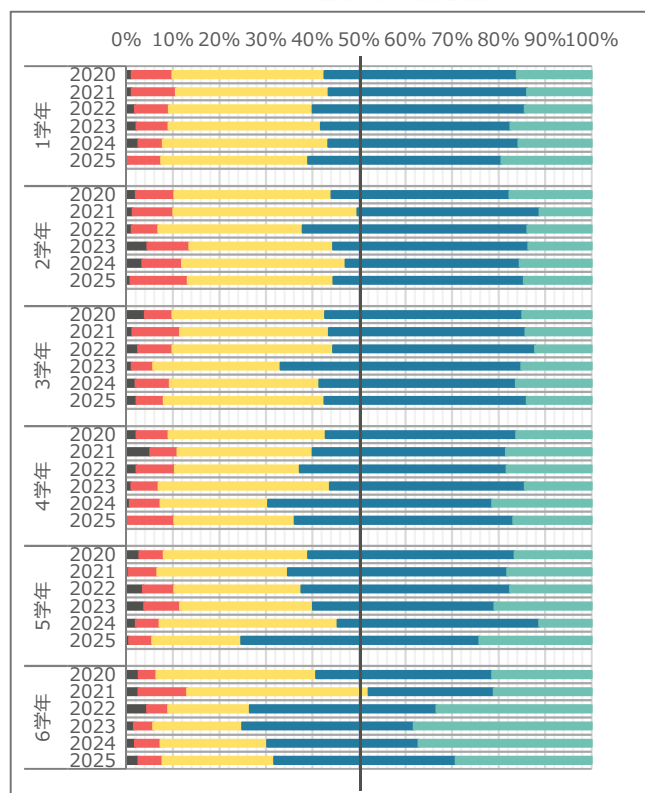
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



1学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が3割以上を占めています。学年が上がると『存在は知っている』『なんとなく知っている』の回答が増加する傾向にあり、近年は認知度が頭打ちになっています。

卒業までにクリアしなければならない進級試験や共用試験について知っていますか

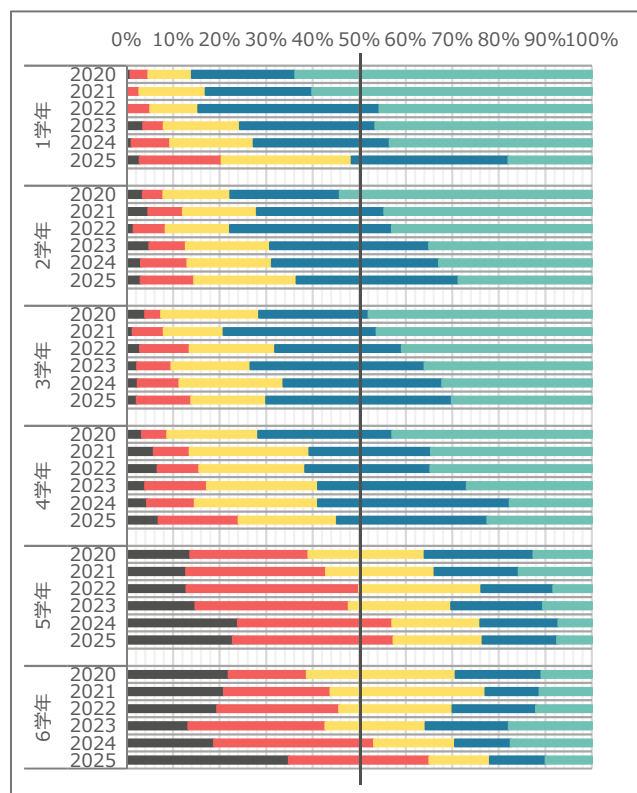
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が約半数を占めています。学年が上がると、『よく知っている』の回答が増加する傾向にあります。2025年度の6学年の『だいたい知っている』『よく知っている』の回答は約7割となりました。

シラバスの利用頻度を教えてください(電子シラバス含む)

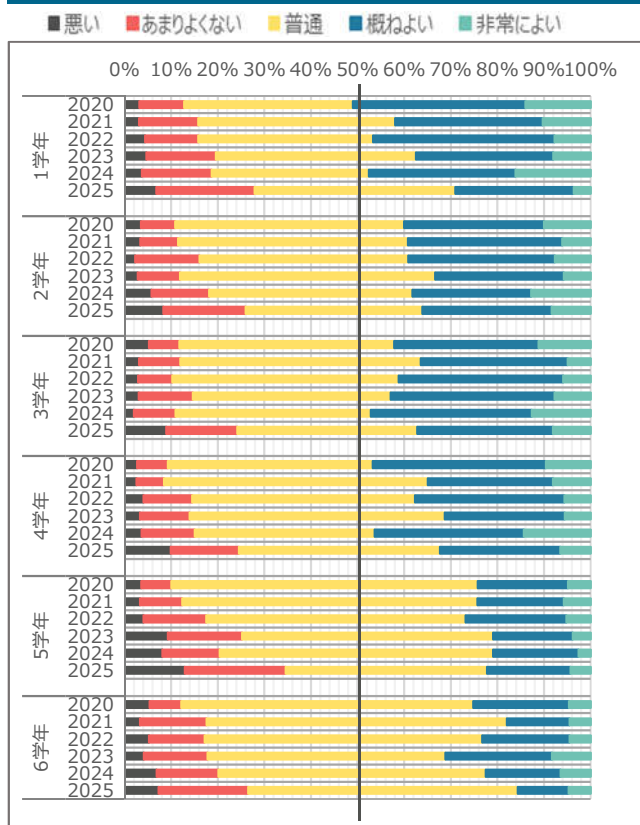
■見ない ■月1回 ■週1回 ■週2~3回 ■毎日



学年が上がると『毎日』の回答が減少傾向にあります。特に5~6学年は『見ない』『月1回』の回答が半数程度となり、臨床実習や総合講義が行われている学年であることに起因すると思われます。また、2025年度の1学年は例年と比べて利用頻度が低い結果となりました。

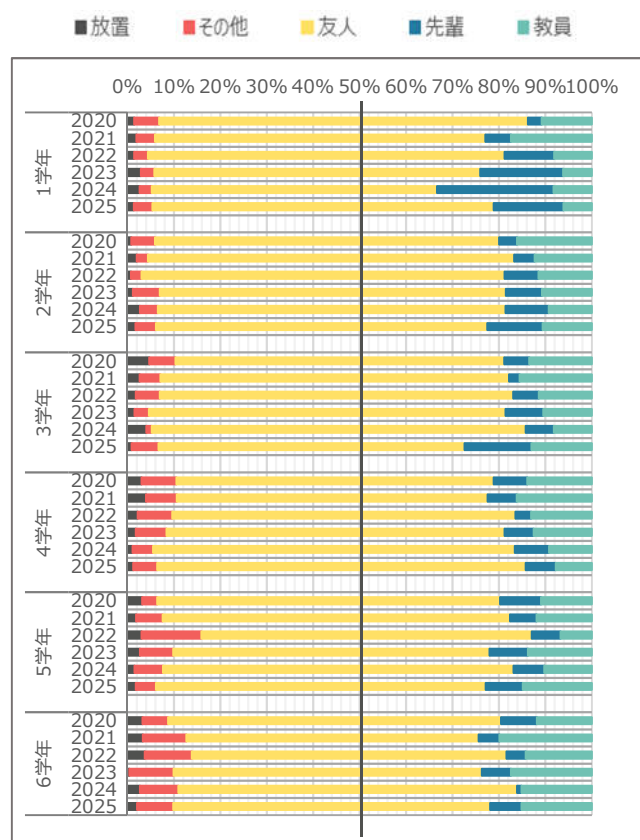
03_教育課程・学生支援

シラバスの使い勝手を評価してください(電子シラバス含む)



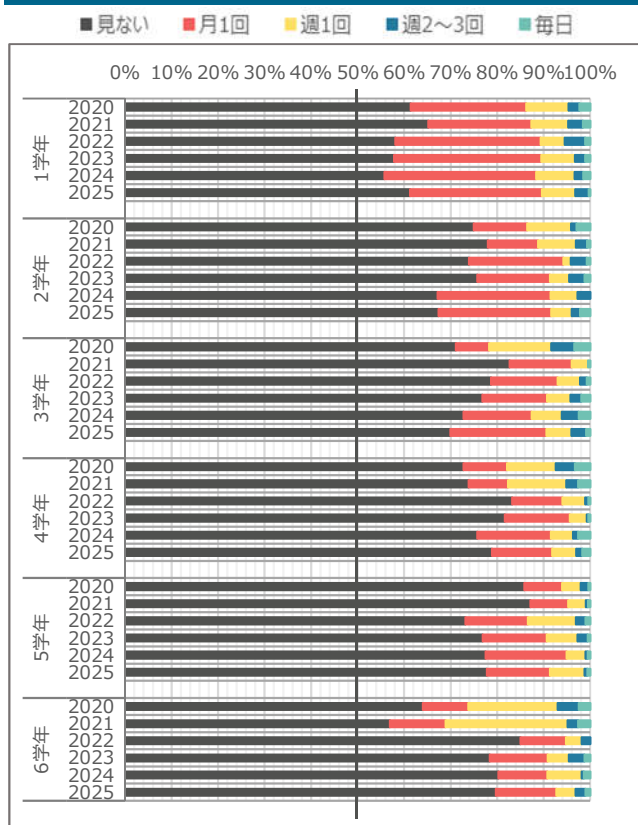
学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少傾向にあります。シラバスの利用頻度が低い5,6学年が他学年より否定的な回答をする傾向にあります。また、2025年度は学年全体で否定的な回答が増加しています。

勉学上の疑問点は誰に相談しますか



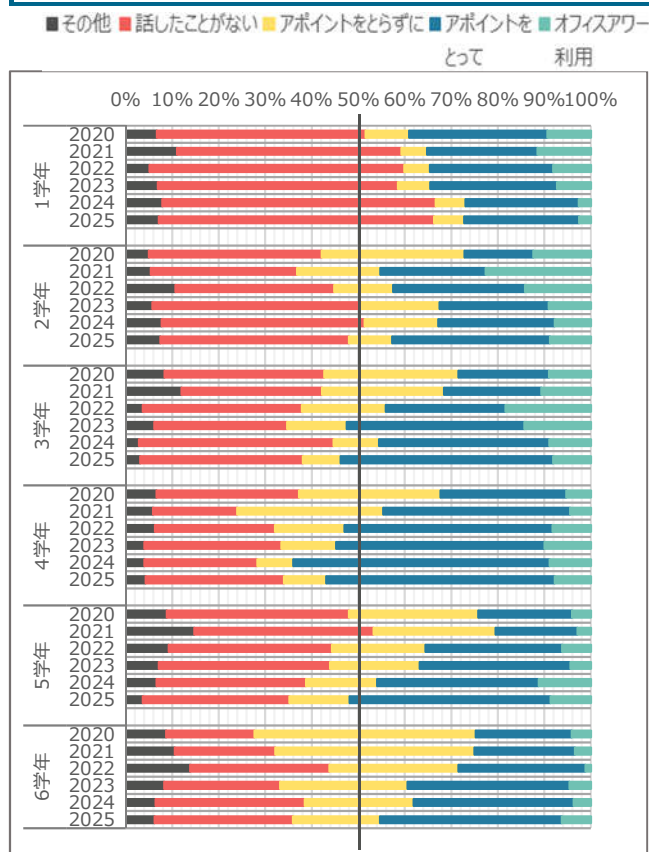
『友人』の回答が半数以上を占めています。2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1～3学年における『先輩』の回答率が低下していましたが、2022年度以降、『先輩』の回答が増加しています。

学生生活の中で、事務手続きの方法や学生サポート情報についてどのくらいキャンパスライフガイドを活用していますか



6割以上が『見ない』の回答となり、シラバスと比較して利用頻度が低いことが分かります。学年が上がるにつれて『見ない』回答が増える傾向があります。

授業時間以外の教員との面談をどのように行っていますか

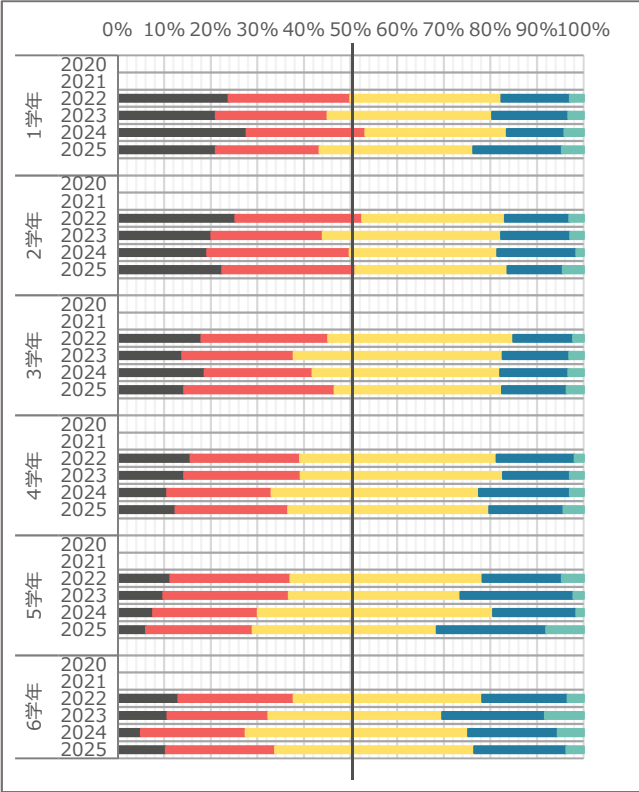


『話したことがない』の回答は学年が上がるごとに減少傾向にあり、教員との面談機会が増えていることが分かります。また、学年全体で教員と面談する学生が年々増えている傾向が見られます。

03_教育課程・学生支援

自学部に対応するモデル・コア・カリキュラムを知っていますか

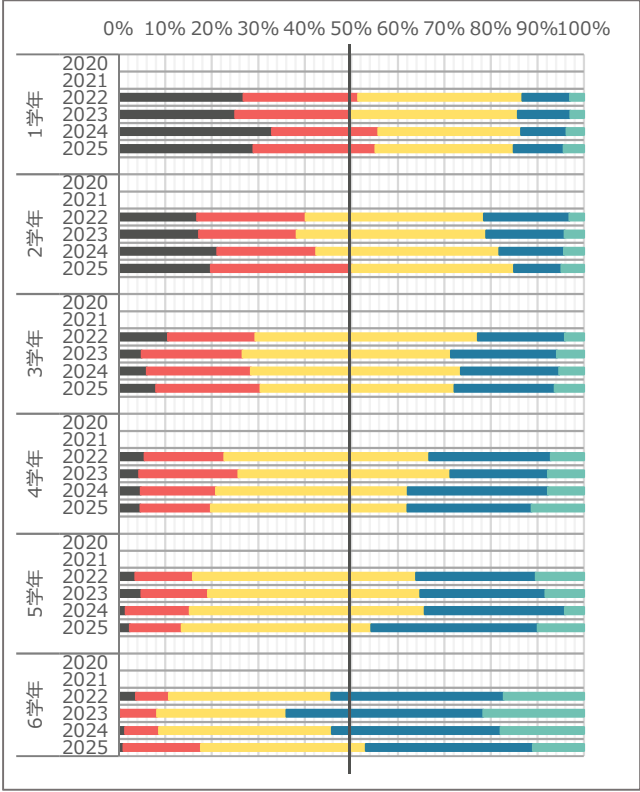
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



2022年新設の項目です。学年が上がるにつれて『何も知らない』『存在は知っている』の回答が減少し、『なんとなく知っている』『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が増加しています。

国家試験出題基準を知っていますか

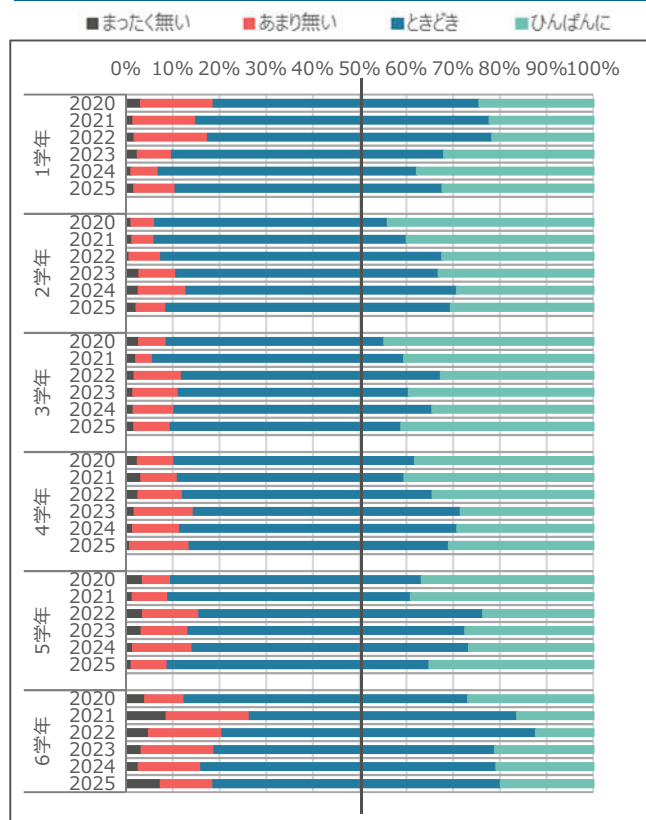
■何も知らない ■存在は知っている ■なんとなく ■だいたい ■よく知っている
知っている 知っている



2022年新設の項目です。学年が上がるにつれて『なんとなく知っている』『だいたい知っている』『よく知っている』の回答が増加し、6学年になると『何も知らない』『存在は知っている』の回答は1割程度になります。

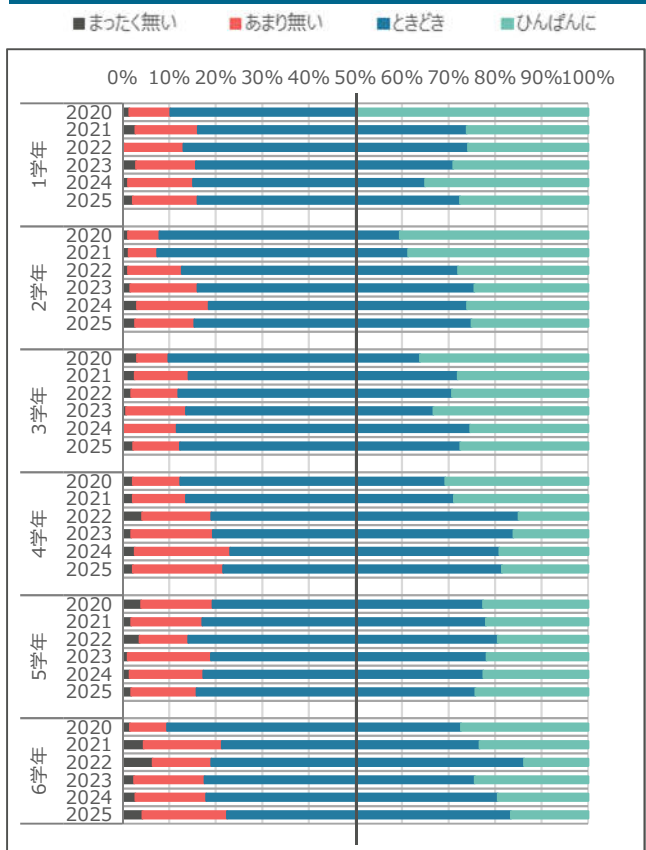
04_授業・実習での経験

実験、実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ



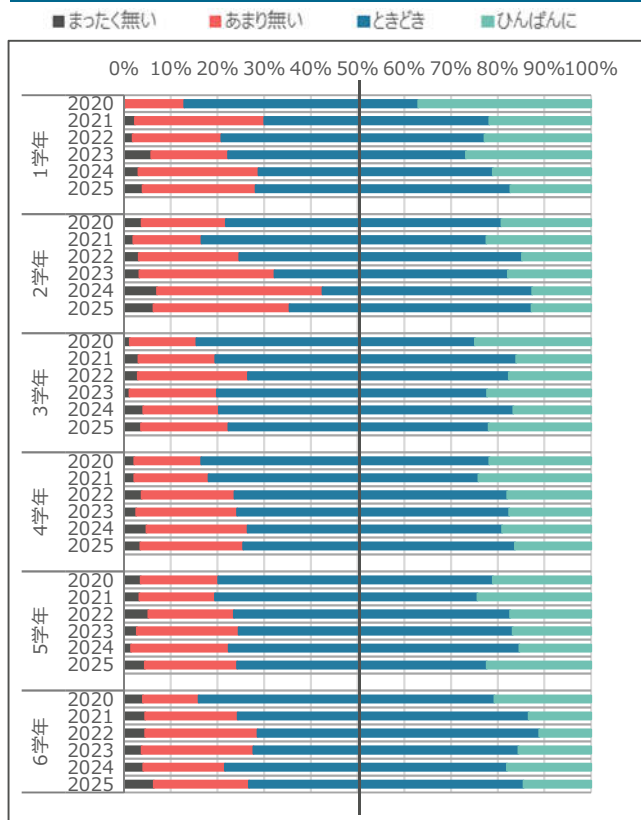
『ときどき』『ひんぱんに』の回答がほとんどの学年と年度で8割を超えており、アクティブ・ラーニングが浸透していることが伺えます。一方で、2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1学年で『あまり無い』の回答が増加していましたが、2023年度以降は授業形式が戻り、『あまり無い』の回答は減少しました。

小テストやレポートなどで学修進度が明示される



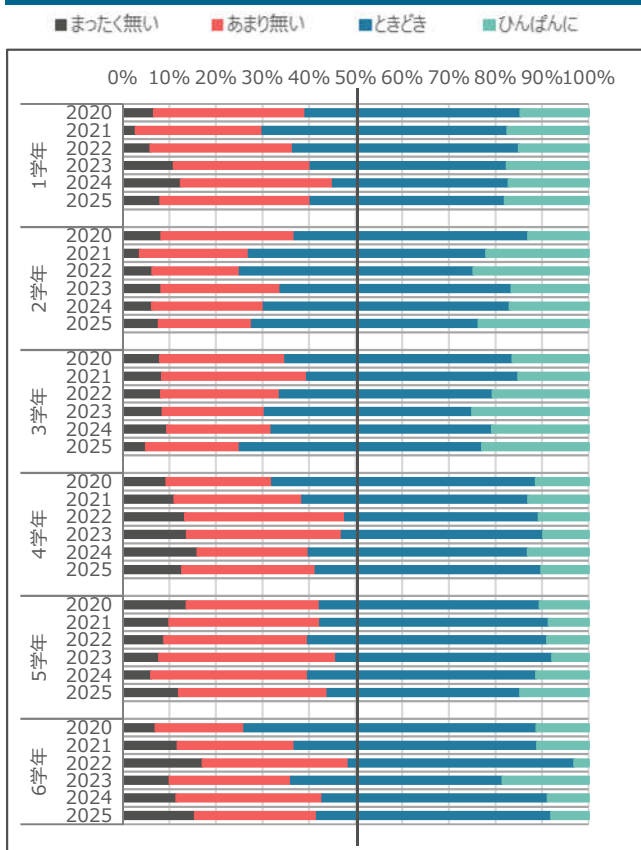
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が約8割以上を維持しています。『ひんぱんに』の回答は学年が上がるにつれて減少していますが、『ときどき』を含めると学年による回答に大きな変化はありません。

学生自身が文献や資料を調べる



『ときどき』『ひんぱんに』の回答が8割程度を維持していましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部の学年では『あまり無い』『まったく無い』が増加しています。特に2学年では『あまり無い』『まったく無い』の回答が4割程度となっています。

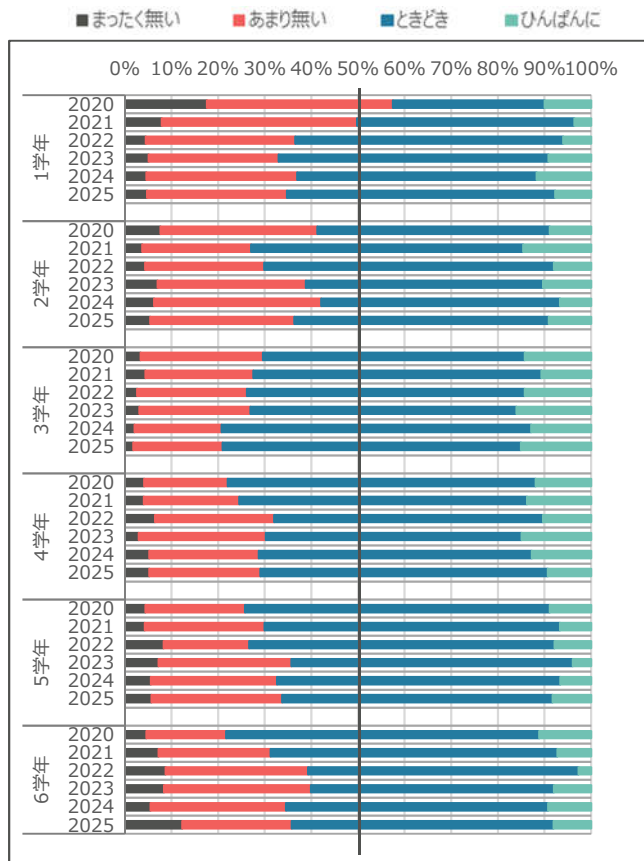
教員が添削やコメントをした提出物の返却



半数以上が『ときどき』『ひんぱんに』と回答していますが、『まったく無い』『あまり無い』の回答が他の設問と比べて多く、教員による添削やコメントが求められている可能性があります。

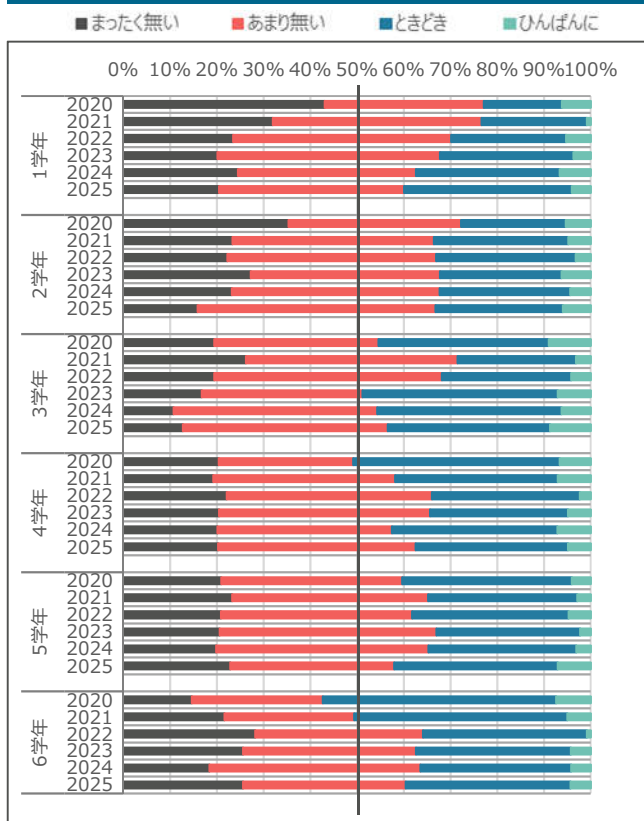
04_授業・実習での経験

学生が自分の考えや研究を発表する



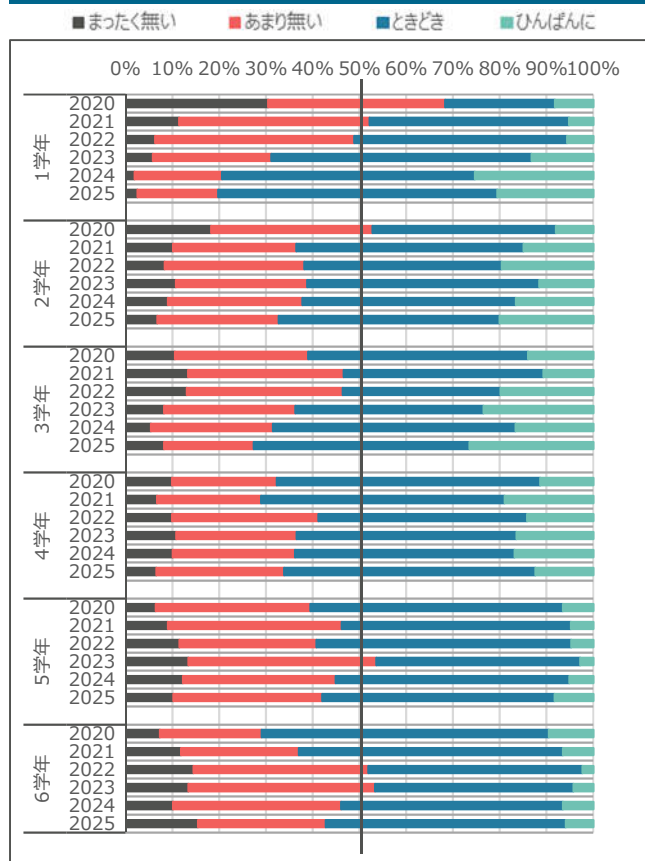
2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が一部の学年で増加しました。2023年度以降は授業形態が戻り、『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加しています。

授業で検討するテーマを学生が設定する



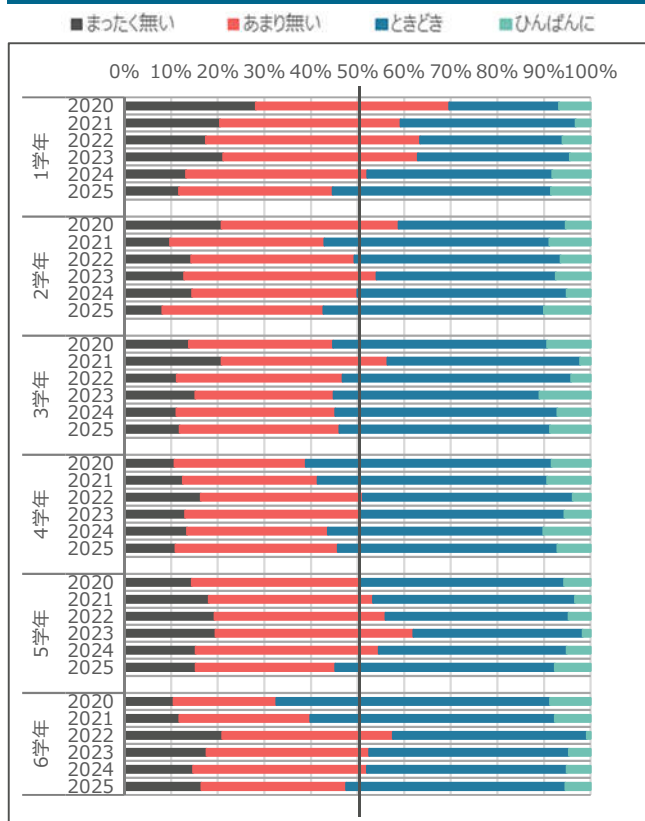
『まったく無い』『あまり無い』の回答がほとんどの学年、年度で半数を超えて、2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加していましたが、2023年度以降は『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増えています。

授業中に学生同士が議論をする



2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が一部の学年で増加しました。2023年度以降は授業形態が戻り、『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加しています。

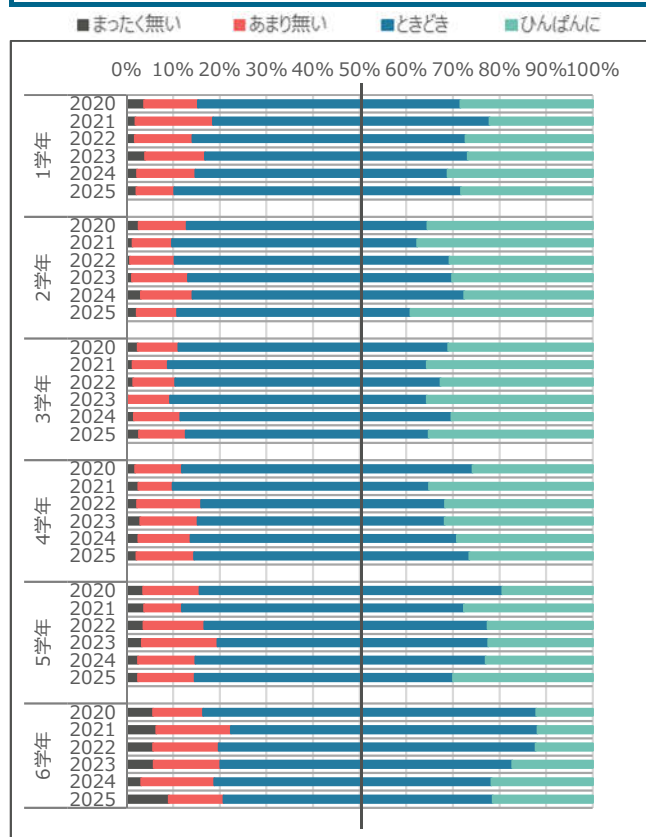
授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



学年が上がるにつれて『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加しており、学生の意見を取り入れる機会が増加している傾向があります。2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で『まったく無い』『あまり無い』の回答が低学年で増加していましたが、2023年度以降は『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増えています。

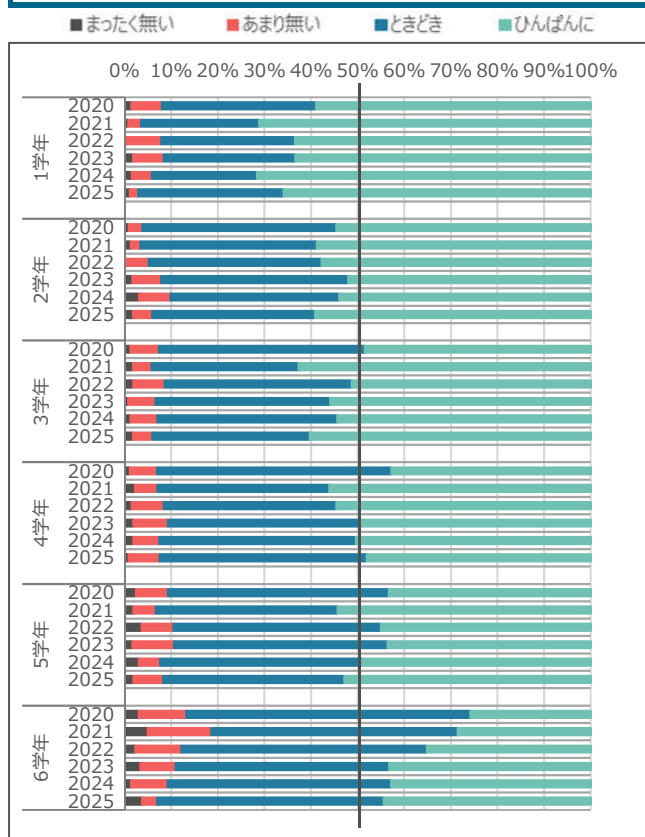
04 授業・実習での経験

実習で教員から助言・補助を受ける



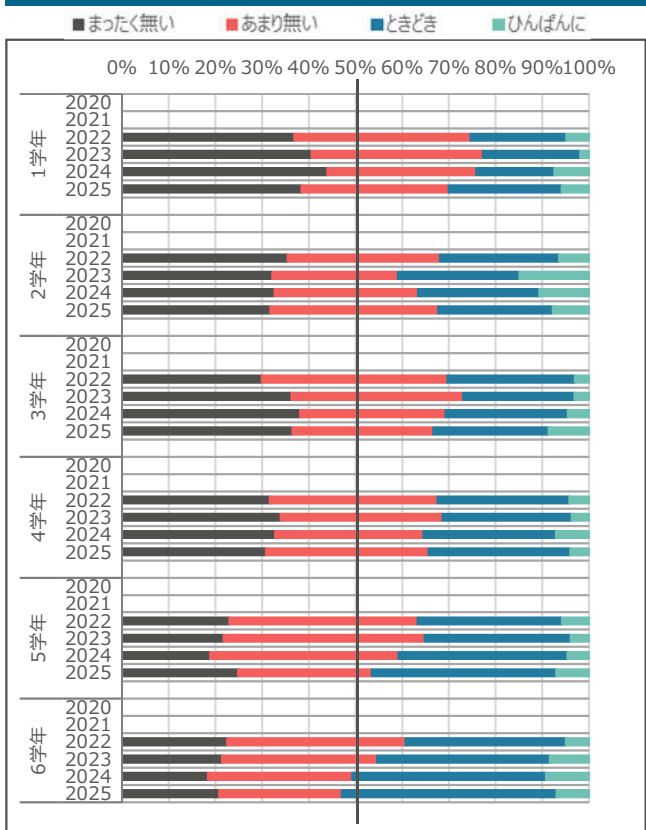
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が8割以上を占める結果となりました。5・6学年は『ひんぱんに』の回答が減少傾向にあります。

授業・実習に積極的に参加した



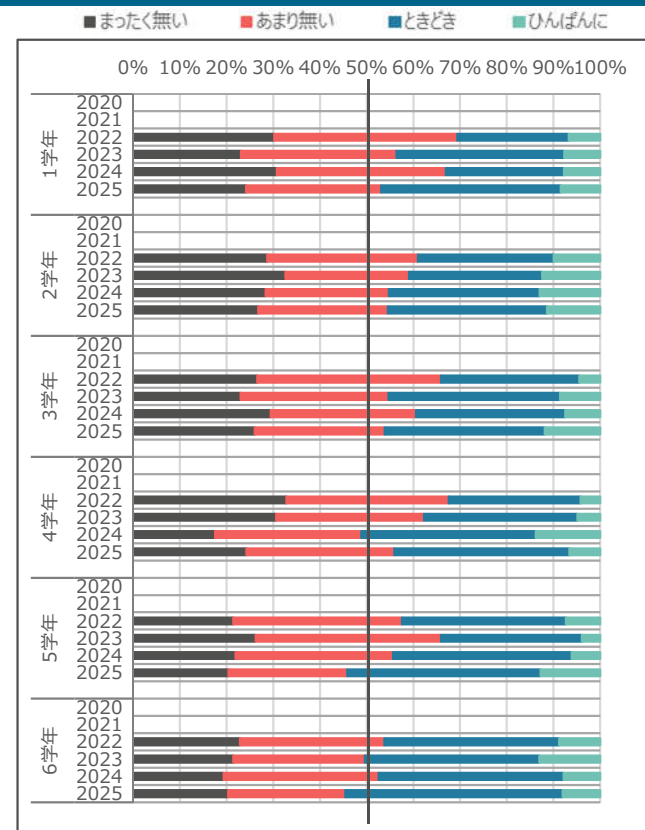
『ときどき』『ひんぱんに』の回答が8割以上を占める結果となりました。学年が上がるごとに『ひんぱんに』の回答が減少し、『ときどき』の回答が増加しています。6学年で『ひんぱんに』の回答が年々増加しています。

教員による自主的な勉強会に参加する



2022年度新設の項目です。学年が上がるにつれて『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加する傾向が見られます。6学年で『まったく無い』と回答する学生は2割となっており、半数程度の学生が『ときどき』『ひんぱんに』と回答しています。

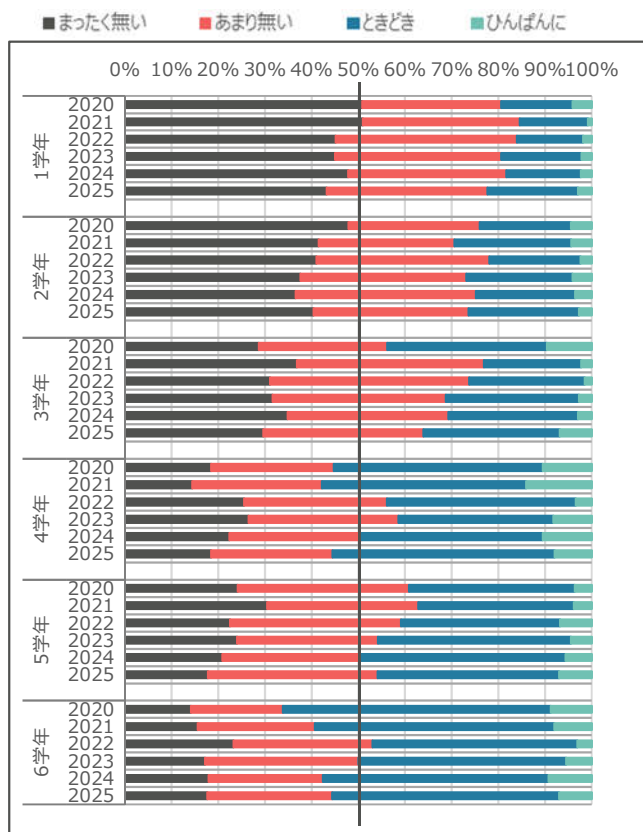
学生による自主的な勉強会に参加する



2022年度新設の項目です。学年が上がるにつれて『ときどき』『ひんぱんに』の回答が増加する傾向が見られます。6学年で『まったく無い』と回答する学生は2割となっており、低学年では教員の勉強会と比べて参加する学生がわずかに多い結果となりました。

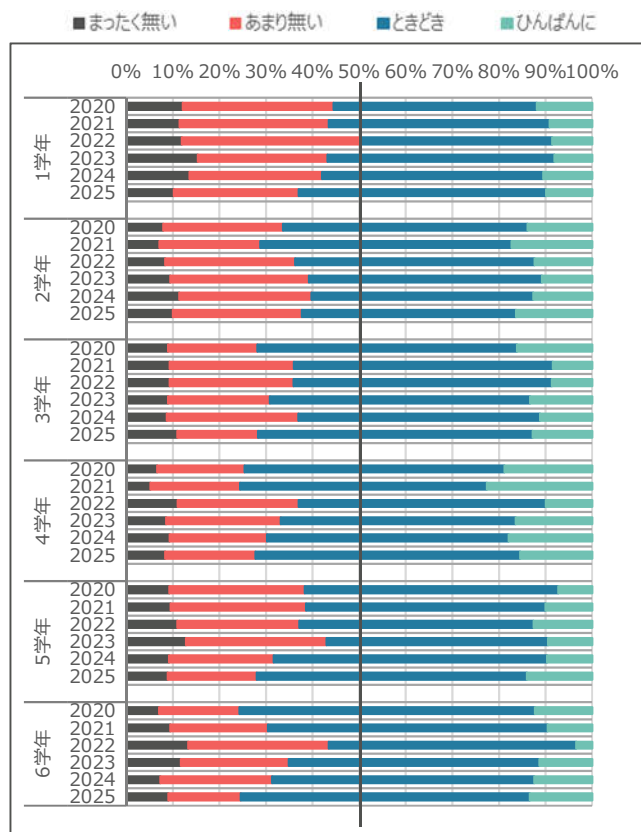
04_授業・実習での経験

大学の教職員に卒業後の進路や職業選択などを相談する



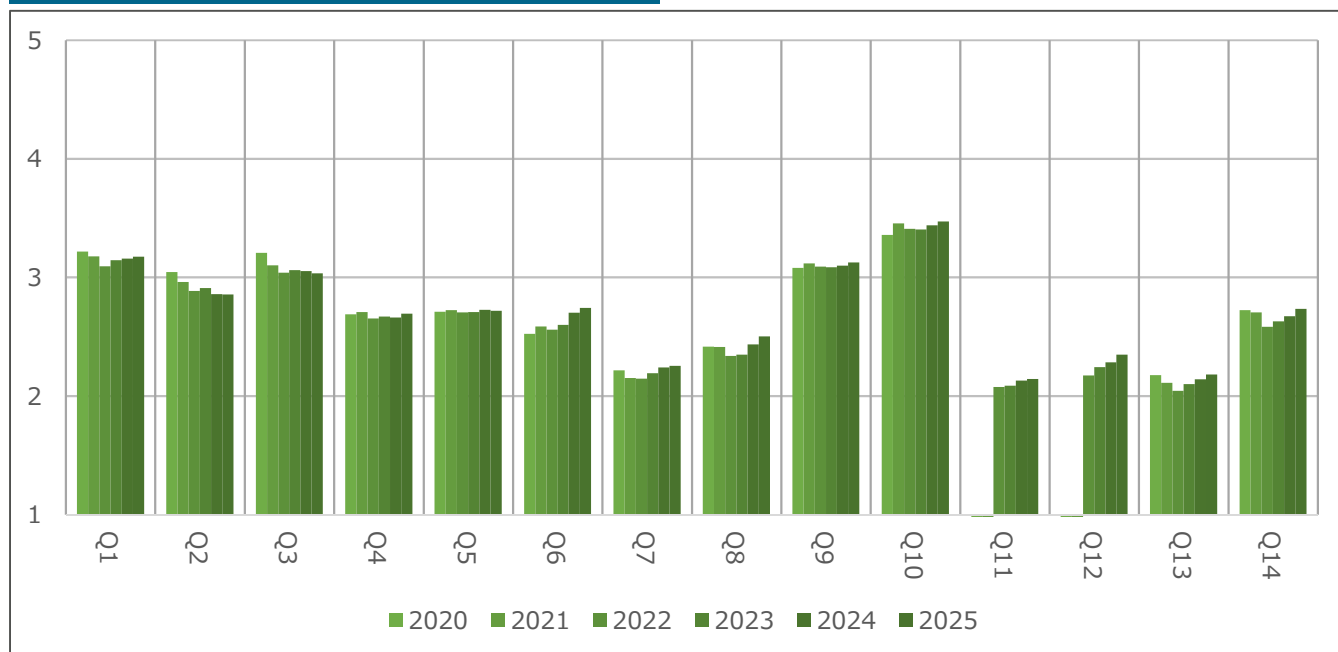
『とくどき』『ひんぱんに』の回答は学年が上がるごとに増加していることが分かります。また、2020年度は新型コロナウイルスの影響で『あまり無い』『まったく無い』の回答が増えていましたが、『とくどき』『ひんぱんに』の回答が年々増加しています。

授業・実習を通じて教員に親近感を感じる



『とくどき』『ひんぱんに』の回答が学年が上がるにつれて増加しています。特に2学年以上で教員に親近感を感じている学生が多い傾向があります。

「授業・実習での経験」各設問の平均スコア



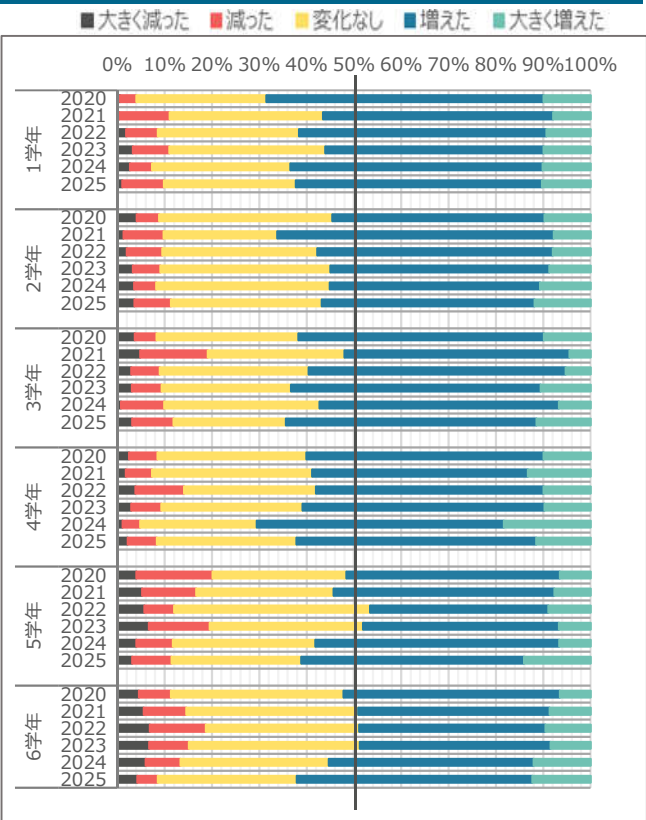
【設問】

- Q1_ 実験、実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ
- Q2_ 学生自身が文献や資料を調べる
- Q3_ 小テストやレポートなどで学修進度が明示される
- Q4_ 教員が添削やコメントをした提出物の返却
- Q5_ 学生が自分の考えや研究を発表する
- Q6_ 授業中に学生同士が議論をする
- Q7_ 授業で検討するテーマを学生が設定する
- Q8_ 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
- Q9_ 実習で教員から助言・補助を受ける

- Q10_ 授業・実習に積極的に参加した
- Q11_ 教員による自主的な勉強会に参加する
- Q12_ 学生による自主的な勉強会に参加する
- Q13_ 大学の教職員に卒業後の進路や職業選択などを相談する
- Q14_ 授業・実習を通じて教員に親近感を感じる

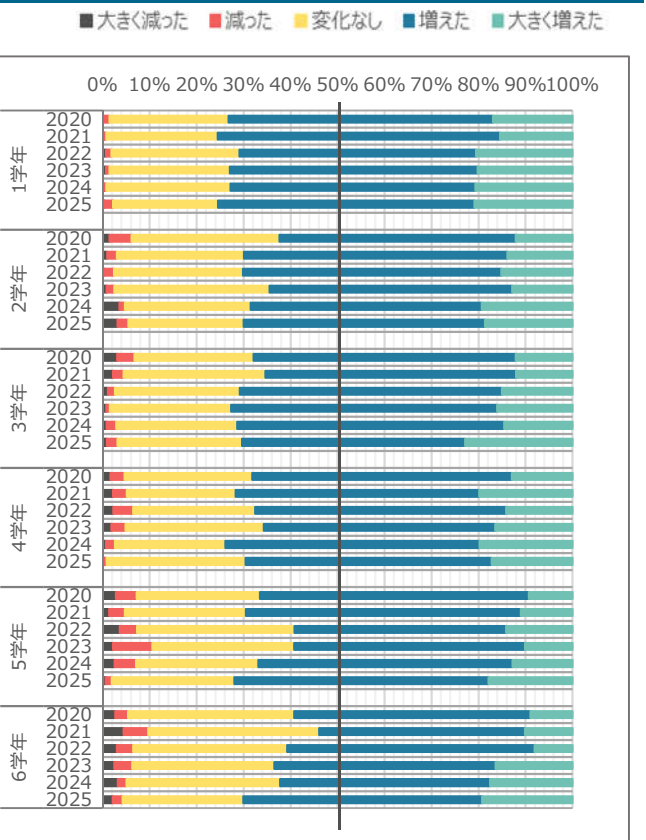
05_成長自己評価

一般的な教養



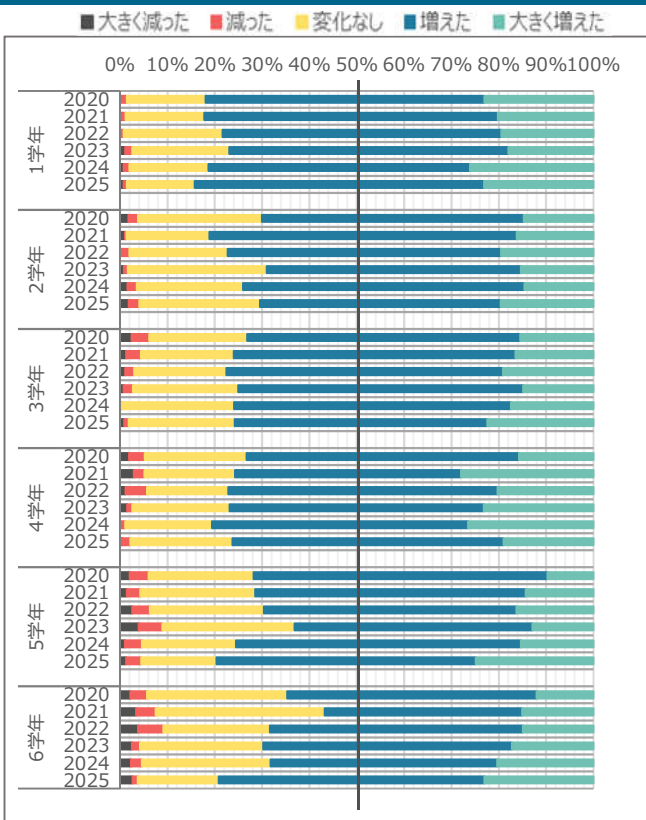
『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね6割前後となっており、主に教養科目を履修する第1学年で高くなります。

他の人のために働く利他的行動



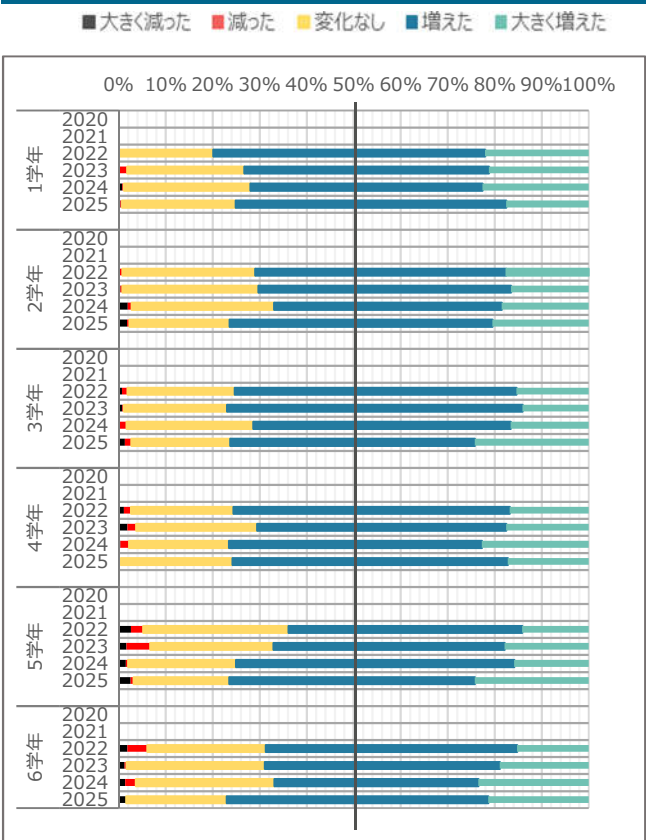
『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6割を占めます。年度ごとの変化はあまり見られませんが、第6学年では『増えた』『大きく増えた』の回答の増加傾向が見られます。

医療人に求められる倫理性



『増えた』『大きく増えた』の回答が7割近くに達しています。特に第1学年での成長度合いが高くなる傾向がありますが、近年では高学年の『増えた』『大きく増えた』の回答が増加しています。

(インターネット・書籍等で)情報を収集する能力

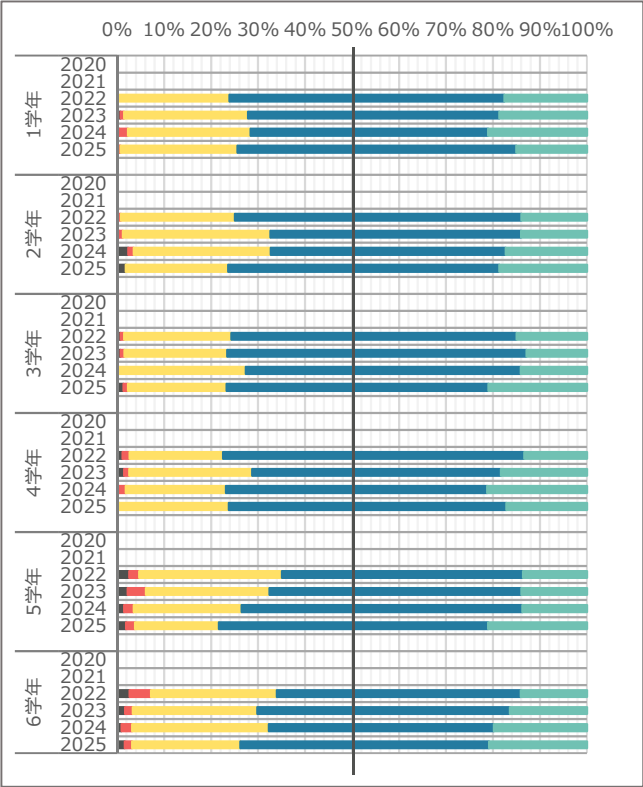


2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね7割前後となっており、全学年で『減った』『大きく減った』の回答がほとんど見られませんでした。

05_成長自己評価

収集した情報を分析する能力

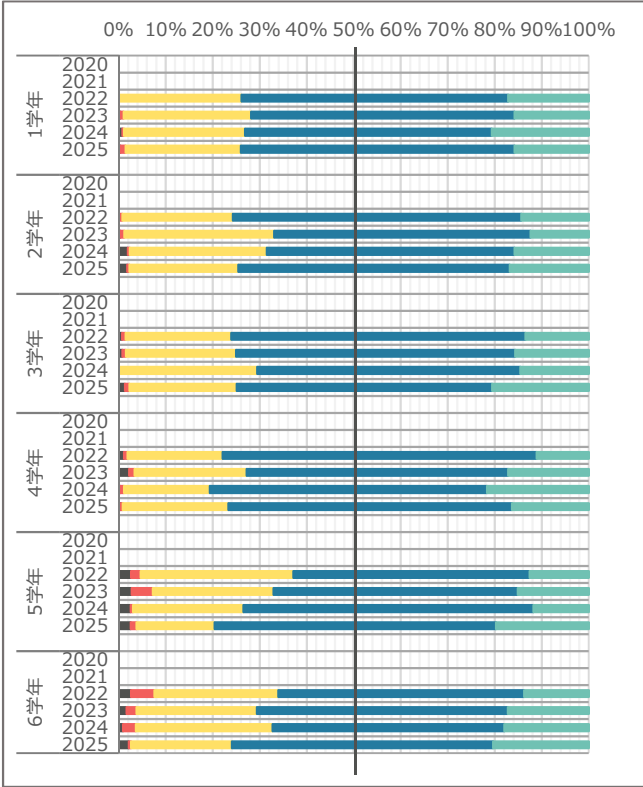
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね7割前後となっており、全学年で『減った』『大きく減った』の回答がほとんど見られませんでした。『収集した情報をもとに問題を解決する能力』の回答とほとんど同じ割合になっています。

収集した情報をもとに問題を解決する能力

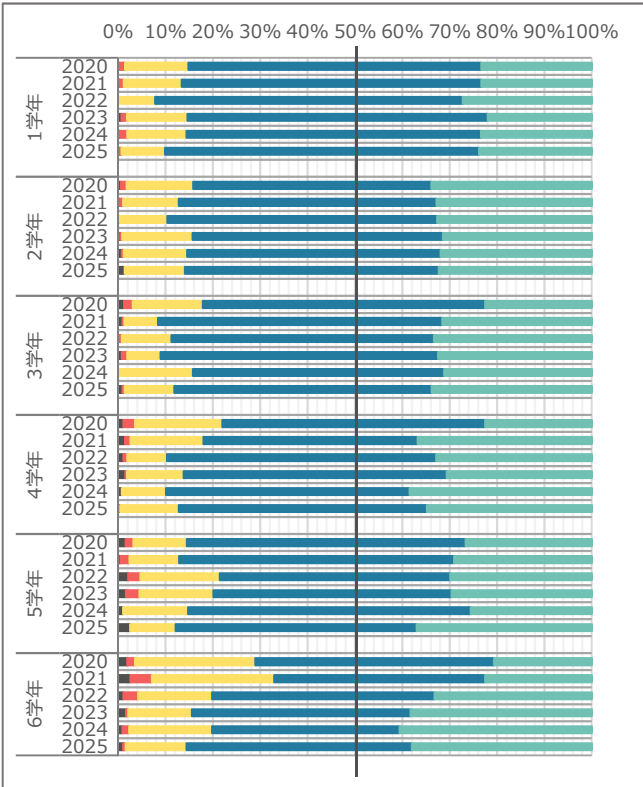
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の割合は、概ね7割前後となっており、全学年で『減った』『大きく減った』の回答がほとんど見られませんでした。『収集した情報を分析する能力』の回答とほとんど同じ割合になっています。

専門分野や学科の知識

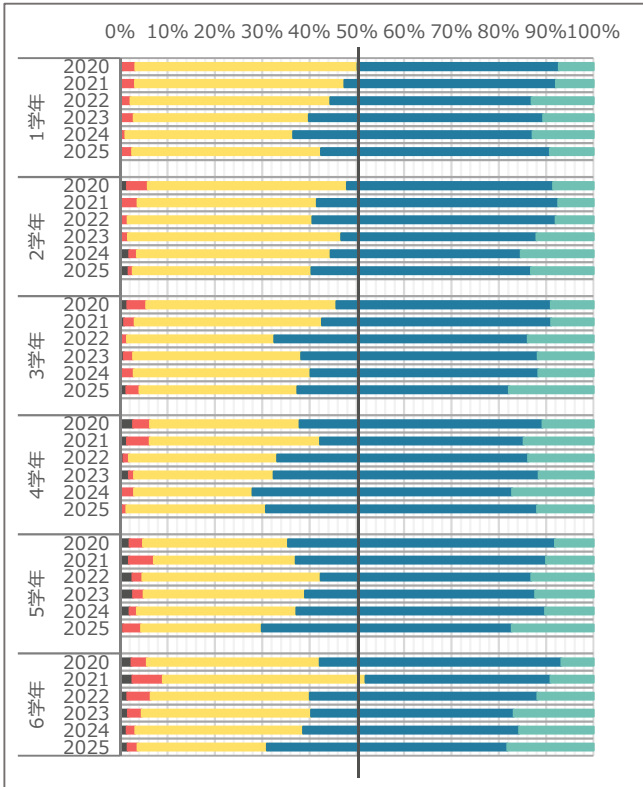
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね8割を占めており、他の汎用的スキルと比較して成長度合いが高くなっています。3～6学年では年度ごとに増加傾向が見られます。

批判的に考える能力

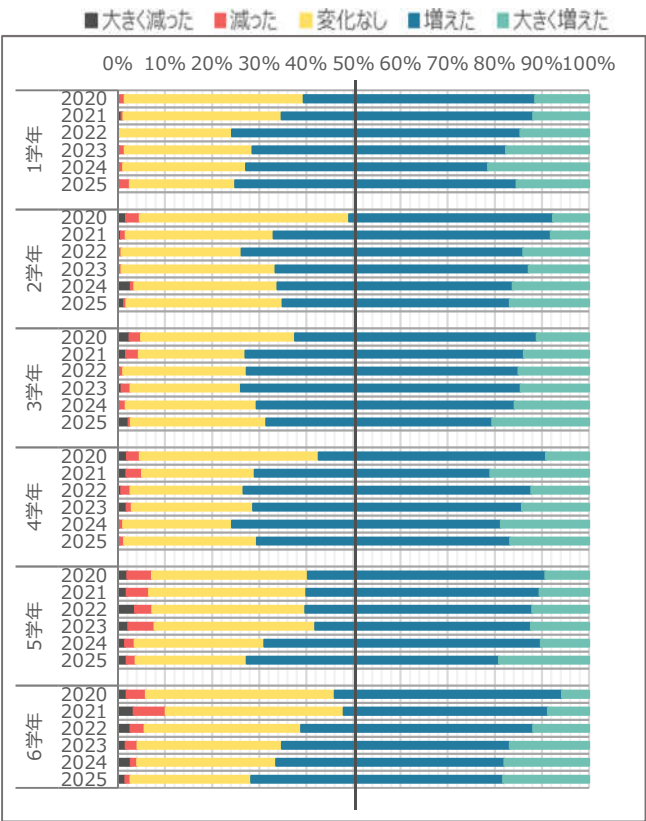
■大きく減った ■減った ■変化なし ■増えた ■大きく増えた



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数を占める結果となりました。また、学年が上がるごとに『増えた』『大きく増えた』の回答数が増加している傾向がありますが、『変化なし』が3～4割程度存在しており、学年全体で『増えた』『大きく増えた』の回答が増加傾向にあります。

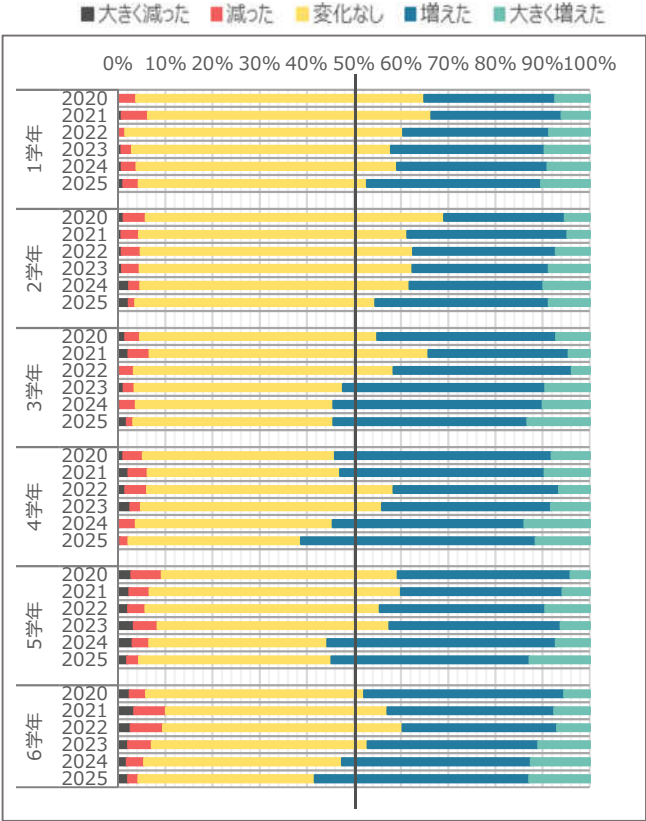
05_成長自己評価

多様な文化に対する知識と理解



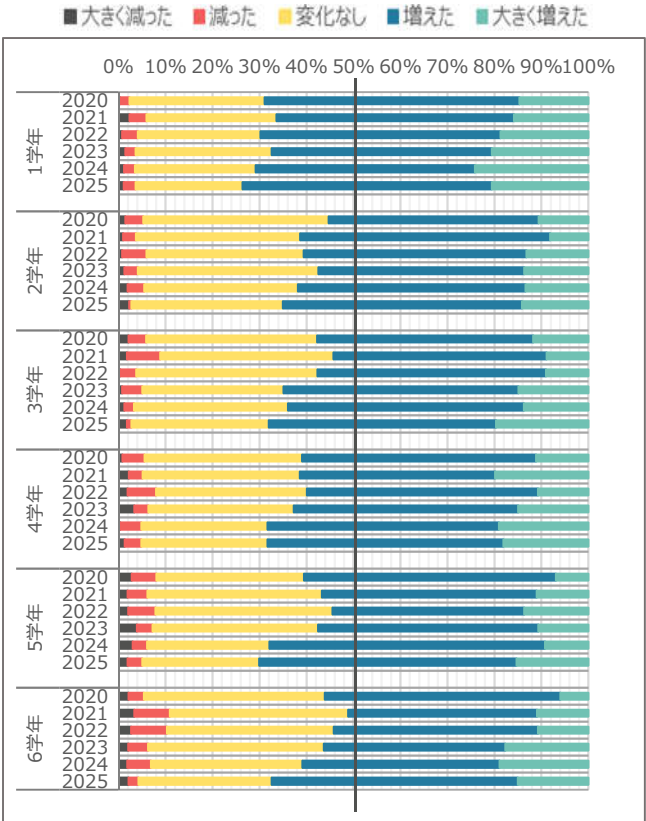
『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。6学年において『増えた』『大きく増えた』の回答が増加傾向にあります。

リーダーシップの能力



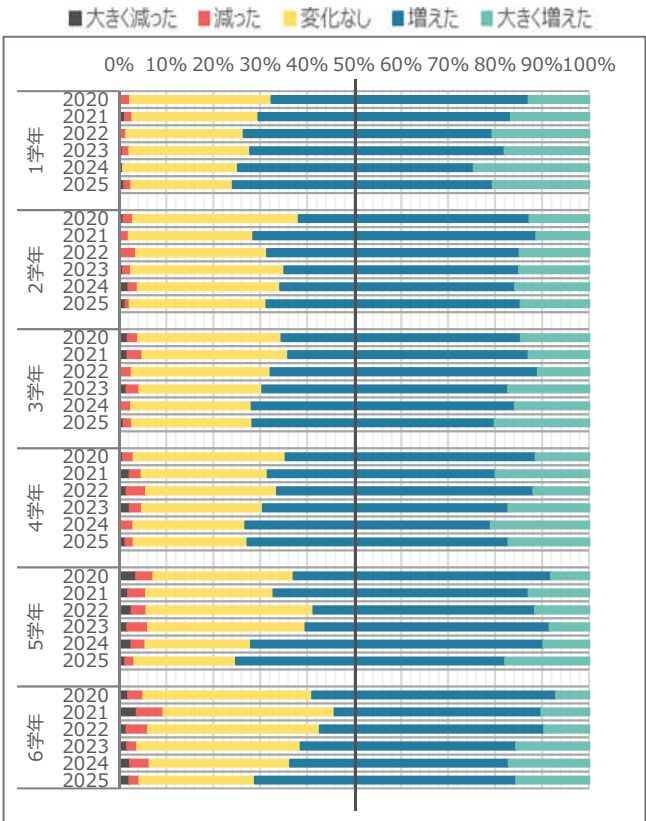
『変化なし』が約半数を占めており、他の汎用的スキルと比較して成長度合いが比較的低くなっていますが、学年が上がるにつれて、『増えた』『大きく増えた』が増加する傾向にあります。

人間関係を構築する能力



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数以上を占める結果となりました。一方で、『大きく減った』『減った』の回答も、全学年、全年度に一定数見られます。

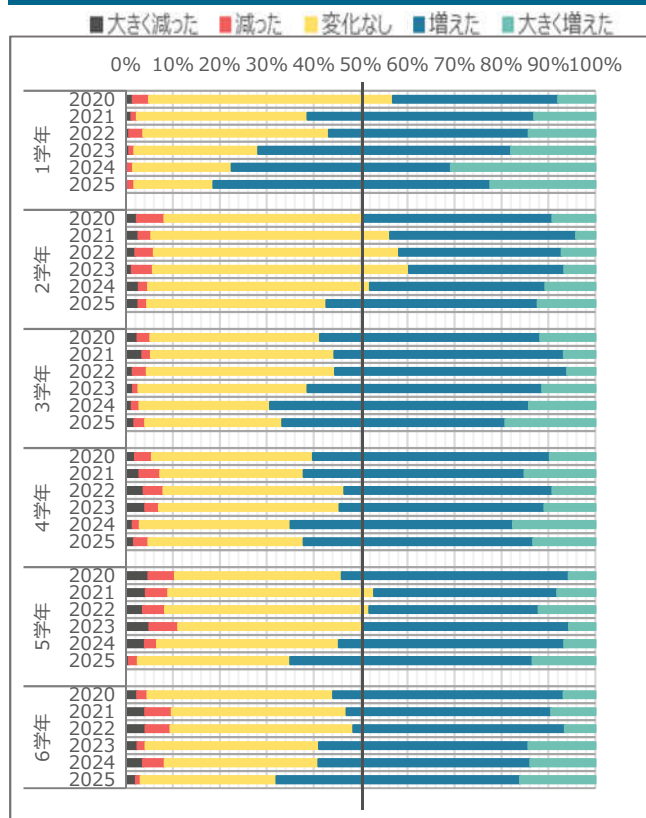
他の人と協力して物事を遂行する能力



『増えた』『大きく増えた』の回答が概ね6割を占める結果となりました。物事を遂行する能力と人間関係を構築する能力のどちらも、高くなったと回答している学生の割合が各学年、年度で同じような結果になっています。

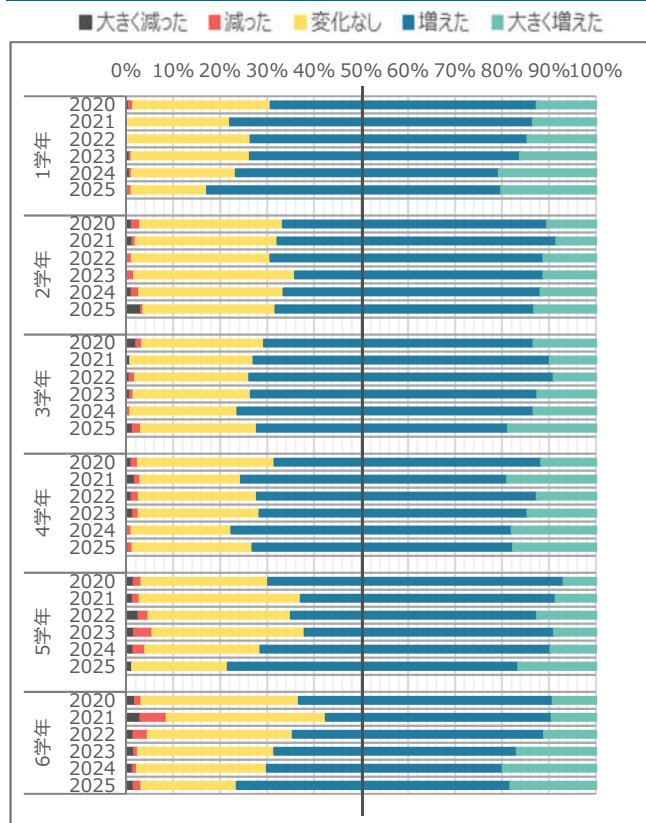
05_成長自己評価

他学部・多職種の人々と協力する能力



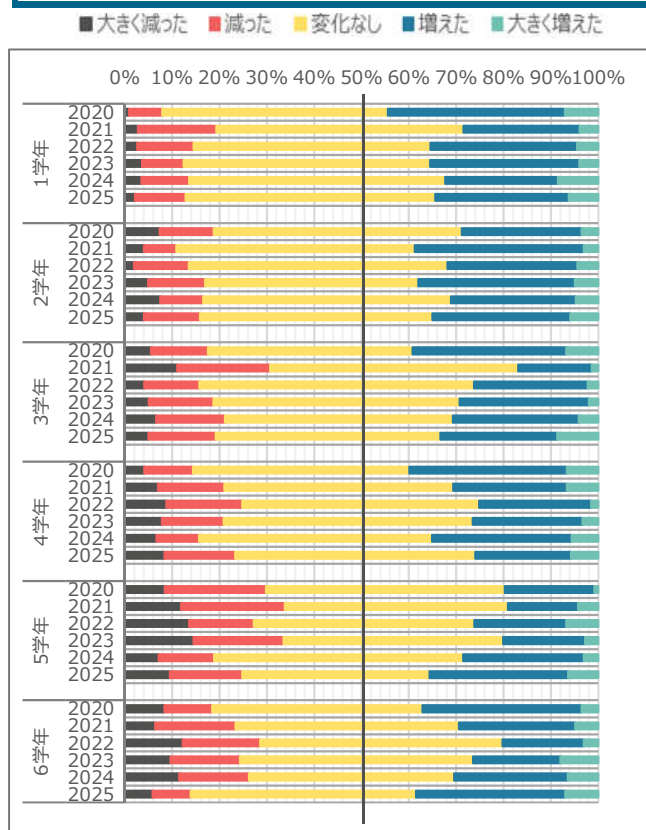
『増えた』『大きく増えた』の回答が半数程度を占めています。2020～2022年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、『増えた』『大きく増えた』の回答が減少していましたが、2023年度以降は多職種連携科目を履修する1・3・6学年の『増えた』『大きく増えた』の回答が増加しています。

医療が直面する問題を理解する能力



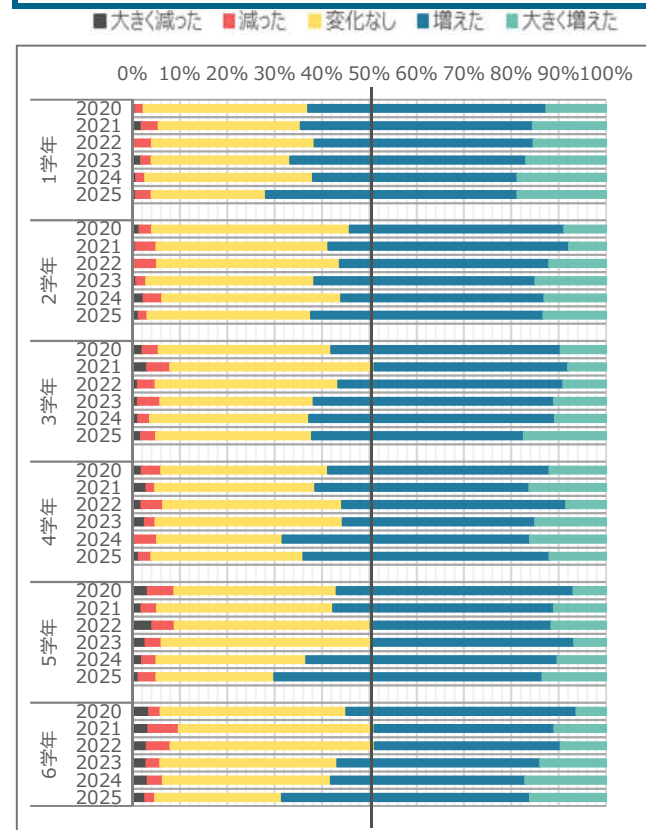
『増えた』『大きく増えた』の回答が6～7割を占めています。臨床実習が行われる学年では成長度合いが比較的高くなる傾向があります。

外国語の運用能力



3学年以上では『大きく減った』『減った』の回答が増加傾向にあり、20%を超えています。汎用的スキルの中では、最も成長度合いが低い項目です。

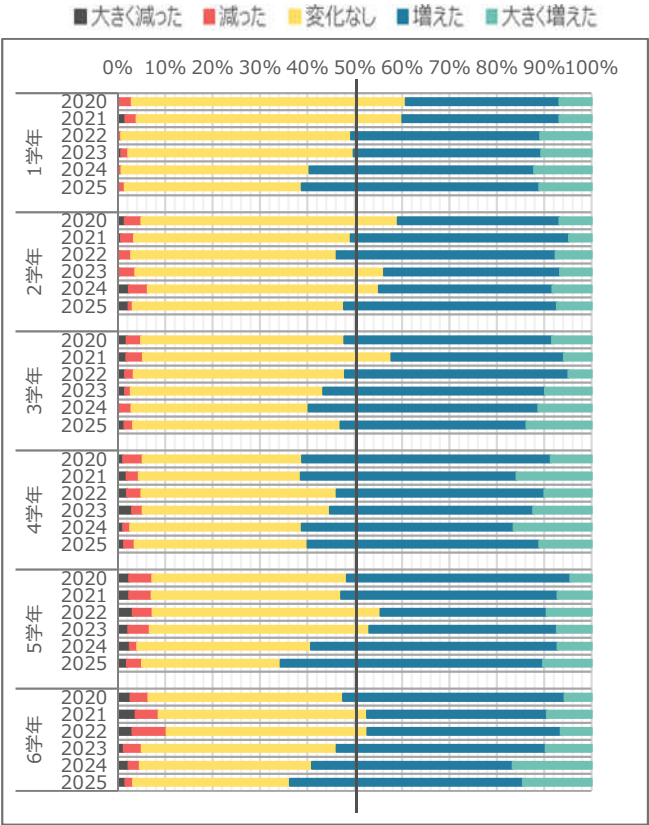
コミュニケーション能力



『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。特に、学部混成授業やIPE科目が実施される1,3学年、臨床実習が行われる5学年では成長度合いが比較的高くなる傾向があります。

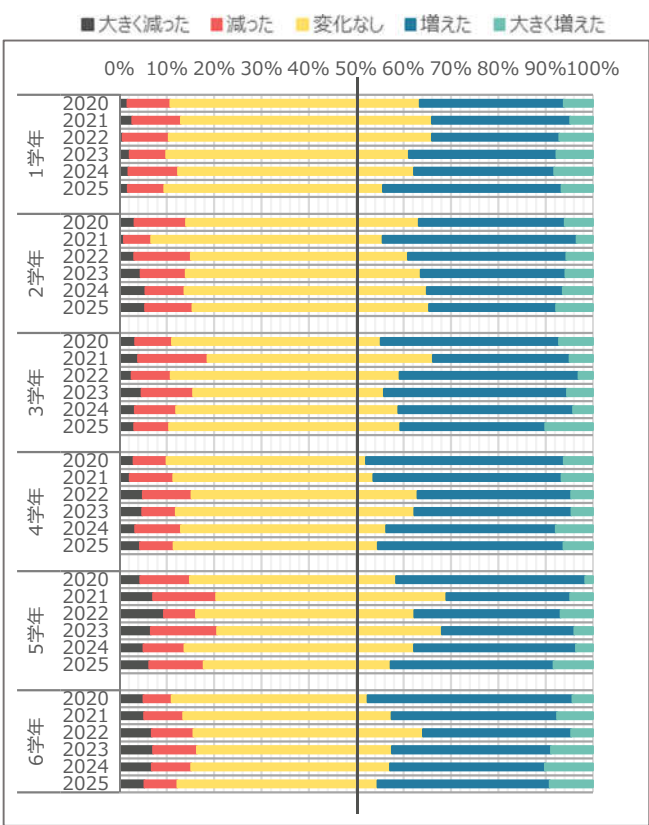
05_成長自己評価

プレゼンテーション能力



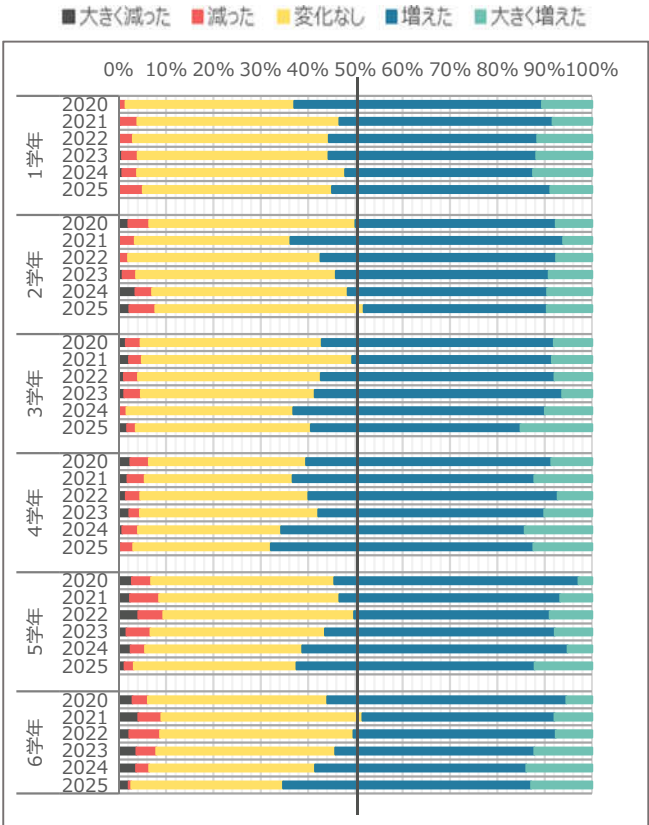
IPE科目を実施する1,3,6学年、臨床実習を実施する5学年で成長度合いが高くなる傾向があります。

数理的な能力



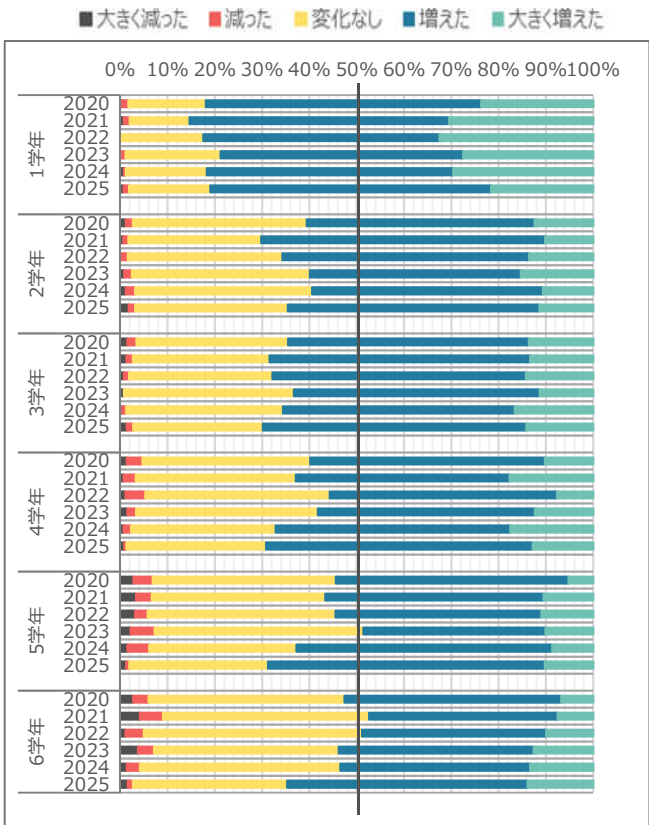
『増えた』『大きく増えた』の回答の割合が3～4割程度に留まる一方で、『大きく減った』『減った』の回答が1割以上あり、成長度合いが比較的低くなる項目です。

論理的な文（教科書や論文など）を読んで理解する能力



『増えた』『大きく増えた』の回答がほとんどの学年、年度で半数を占めています。『減った』と回答する学生も一定数います。

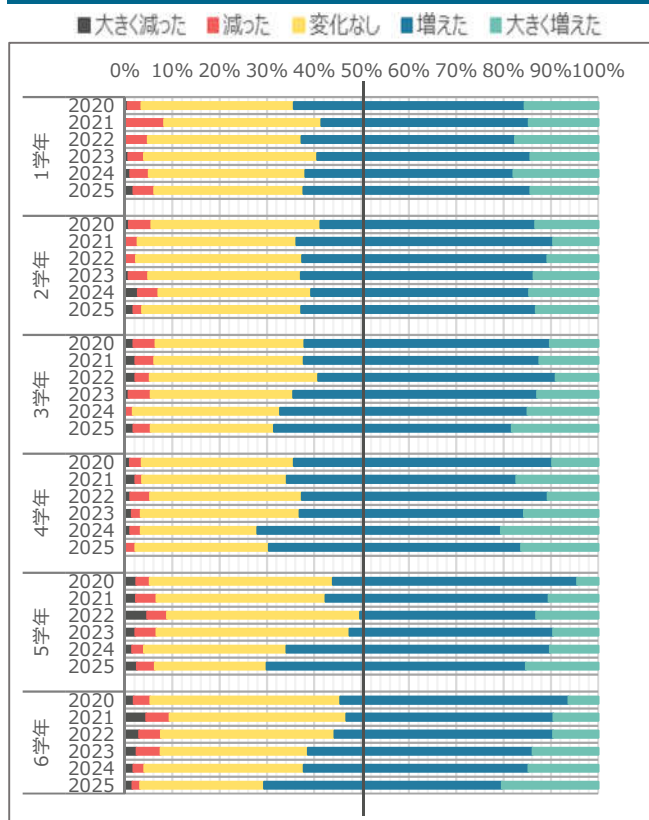
コンピュータの操作能力



情報リテラシー科目を実施している第1学年で『増えた』『大きく増えた』の回答が7割以上を占めていますが、学年が上がるにつれて『変化なし』の回答が増加する傾向にあります。

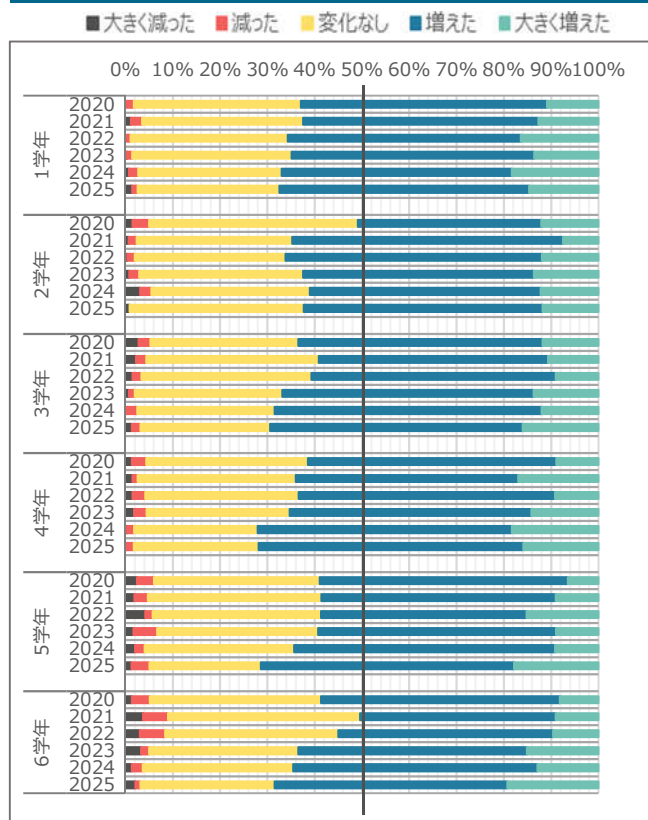
05_成長自己評価

時間を効率的に利用する能力



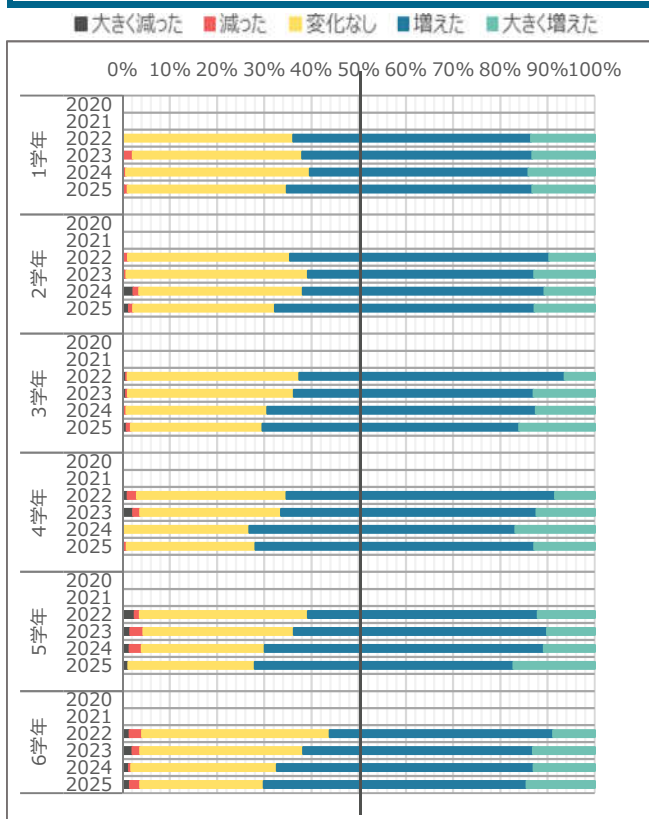
ほとんどの学年、学部で『増えた』『大きく増えた』の回答が半数以上を占めています。学年進行に伴う変化がほとんど見られません。

客観的な自己理解（または、感情をコントロールする理性）



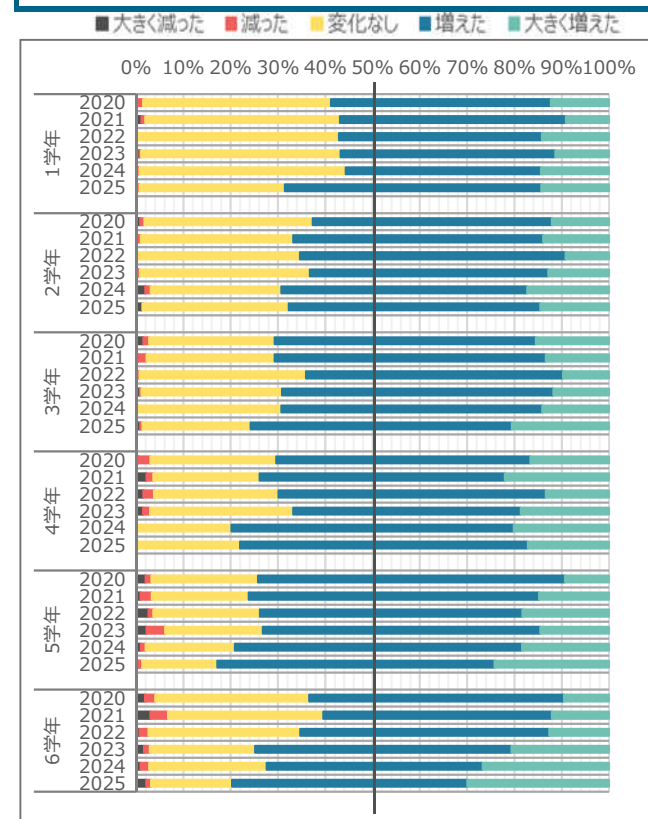
『増えた』『大きく増えた』の割合が半数以上を占めています。学年進行に伴う変化がほとんど見られません。

自身のミスを適切に報告し、他人からの指摘や評価をもとに省察する能力



2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。3～6学年では年度ごとに『増えた』『大きく増えた』の回答が増加しています。

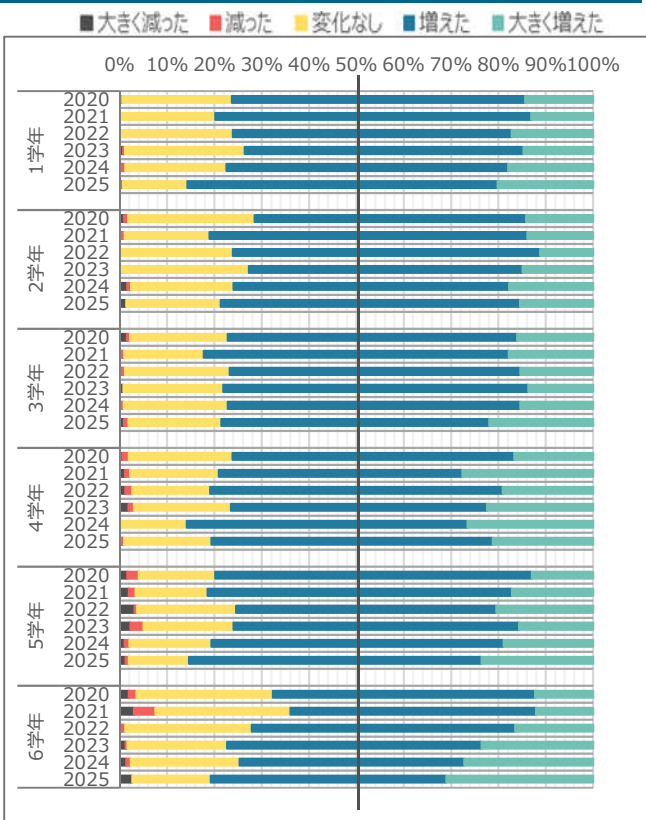
医療行為を実践する能力または技術



『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。学年が上がるにつれて『増えた』『大きく増えた』の回答が増加する傾向にあります。

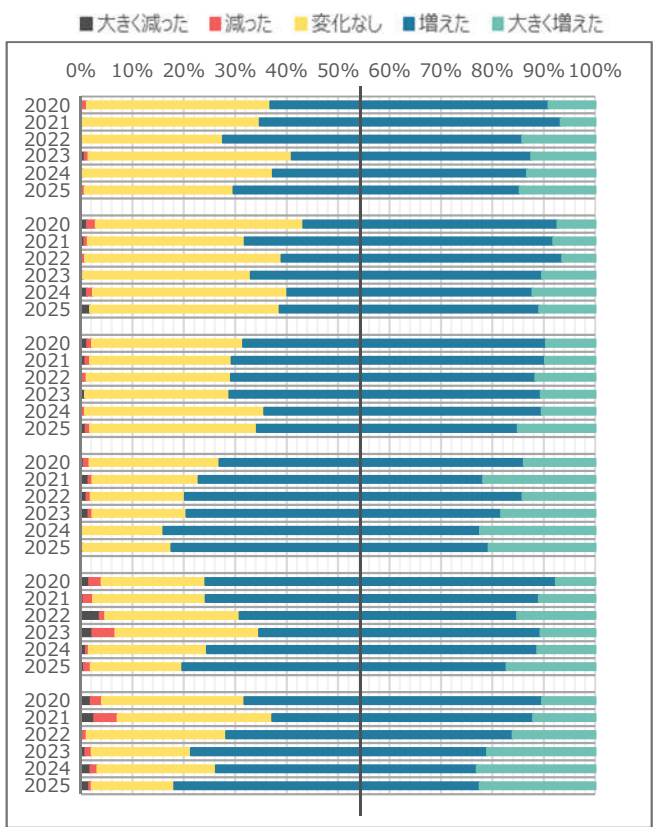
05_成長自己評価

医療安全に関する知識と理解



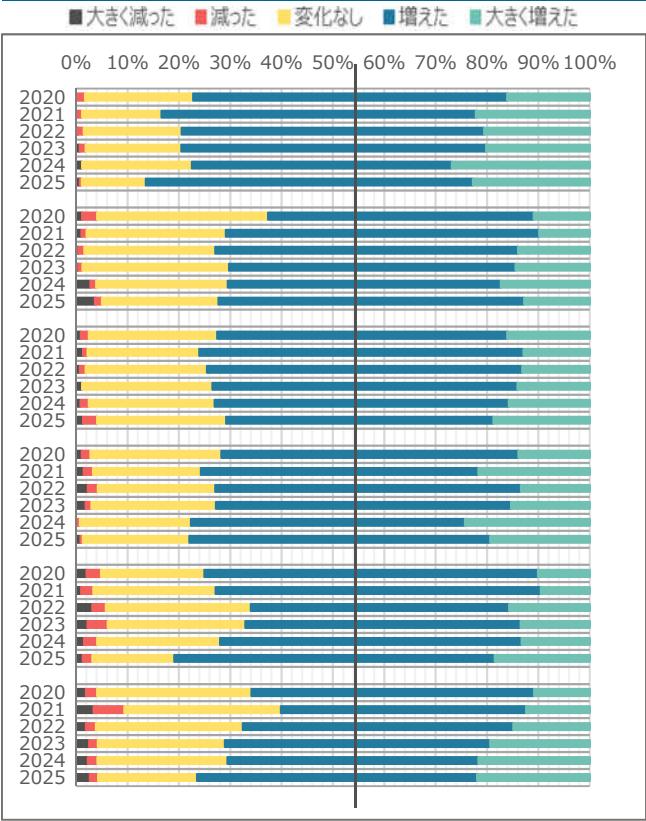
『増えた』『大きく増えた』の回答が約7割を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

関連法規に関する知識と理解



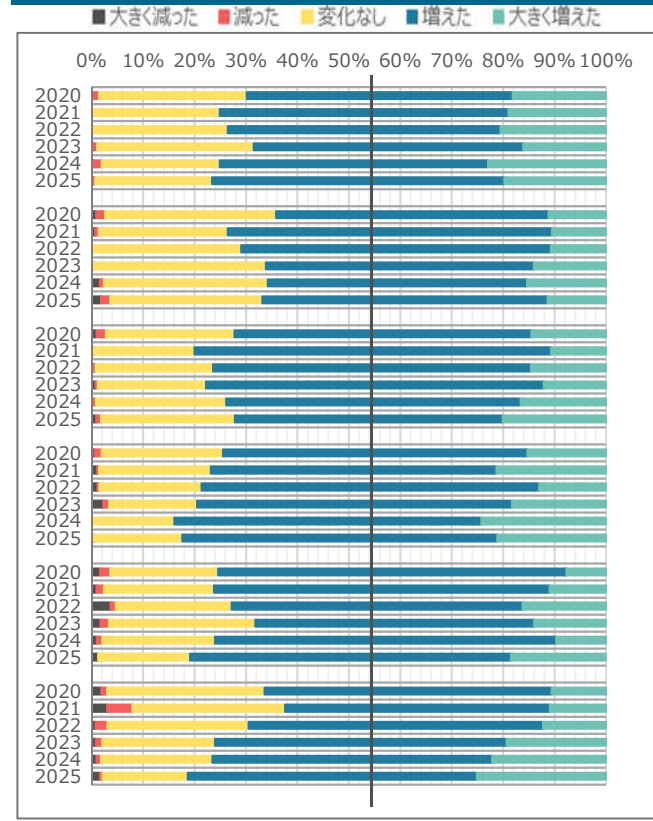
『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。学年が上がるにつれて『増えた』『大きく増えた』の回答が増加しています。

地域医療に関する知識と理解および貢献しようとする意欲



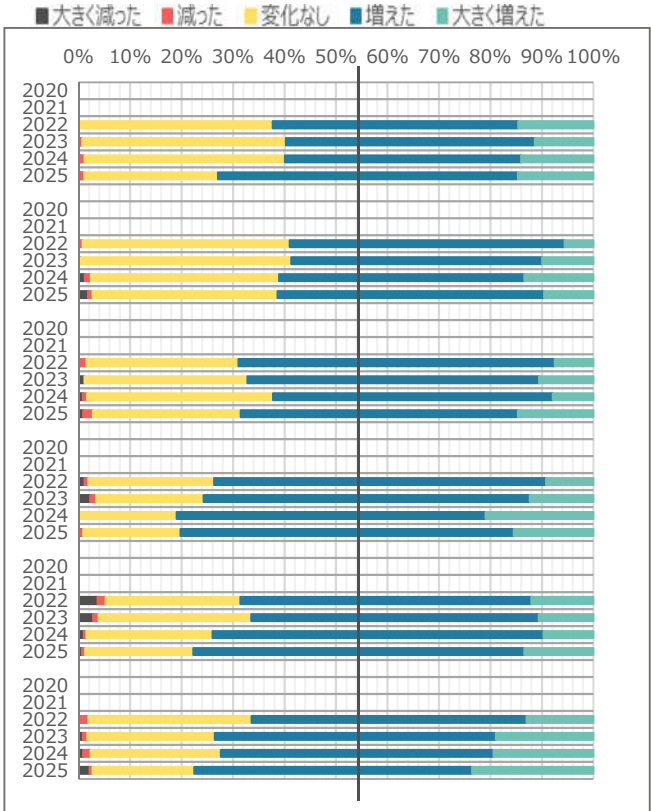
『増えた』『大きく増えた』の回答が約7割を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

災害時医療に関する知識と理解



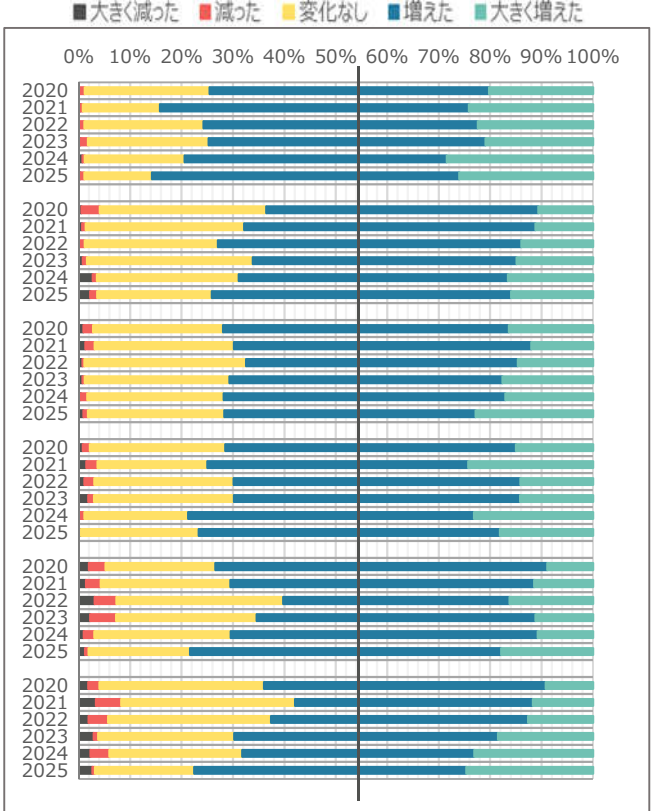
『増えた』『大きく増えた』の回答が約7割を占める結果となりました。4・6学年の『増えた』『大きく増えた』の回答に増加傾向が見られます。

保険診療と医療経済に関する知識と理解



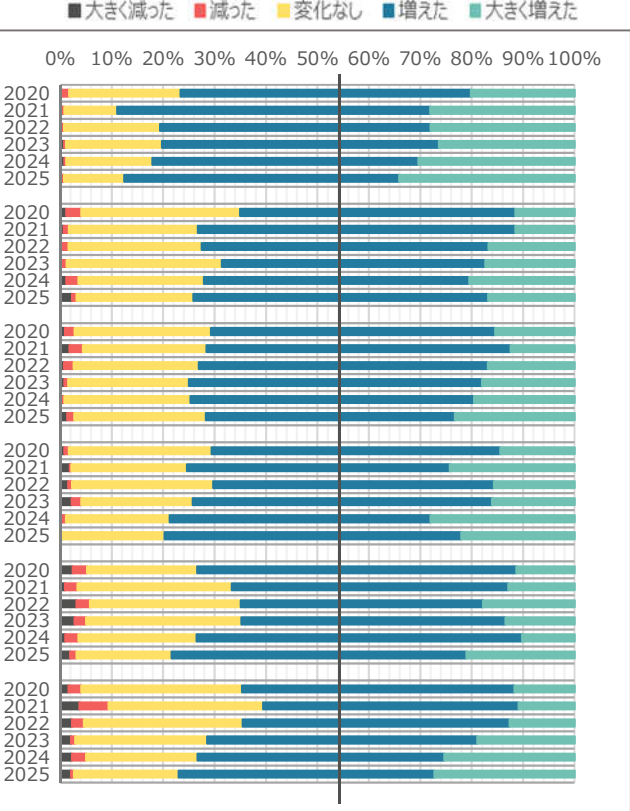
2022年度新設の項目です。『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

医療の発展に貢献しようとする意欲



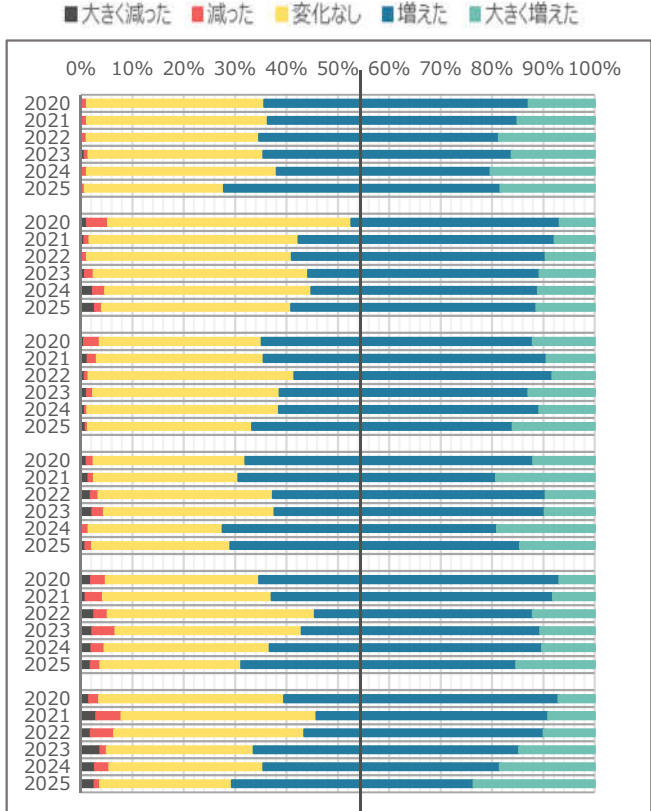
『増えた』『大きく増えた』の回答が7割以上を占める結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

チーム医療に積極的に参画しようとする意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が6割以上を占める結果となりました。多職種連携科目を履修する1学年の肯定的な回答が8割以上を占めています。

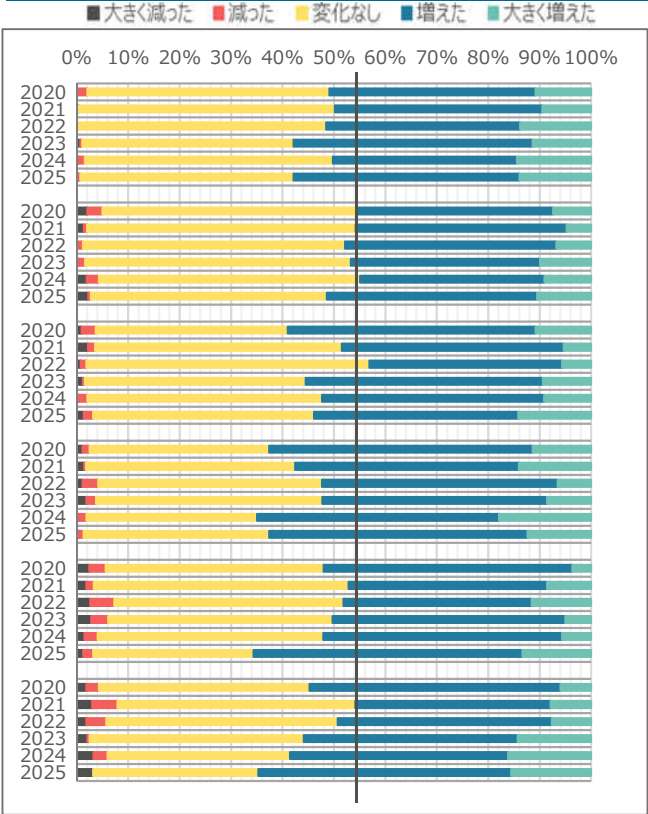
医療の発展に寄与する研究に取り組む意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数の結果となりました。前年度の回答との大きな差は見られません。

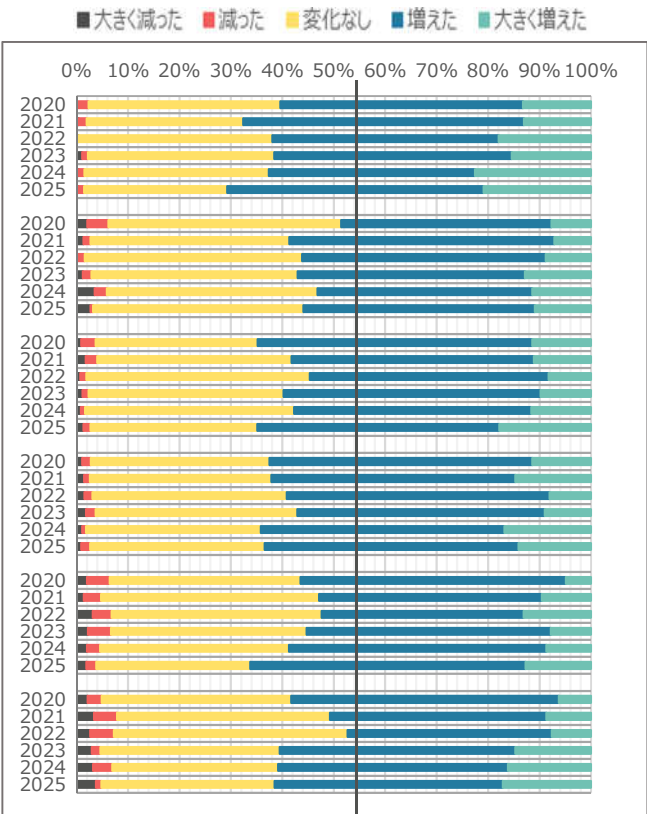
05_成長自己評価

後進を育成しようとする意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数の結果となりました。一部の学年では『増えた』『大きく増えた』が増加しています。

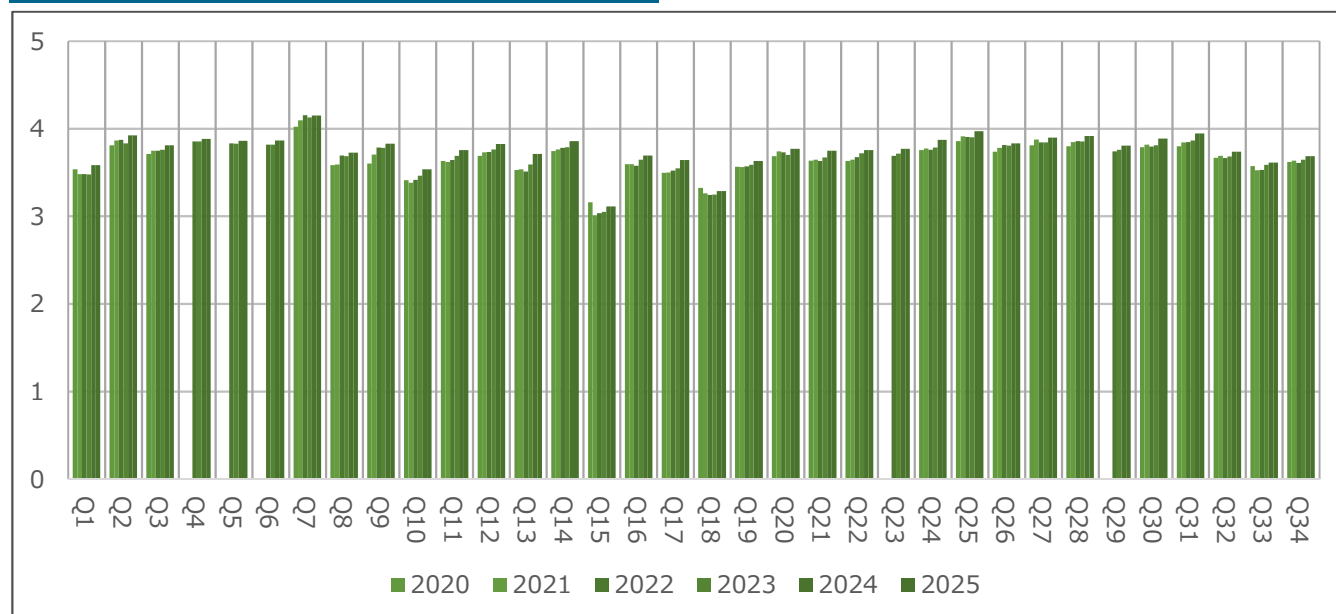
医療人として国際社会に貢献する意欲



『増えた』『大きく増えた』の回答が約半数の結果となりました。一部の学年では『増えた』『大きく増えた』が増加しています。

05_成長自己評価

「成長自己評価」各設問の平均スコア



【設問】

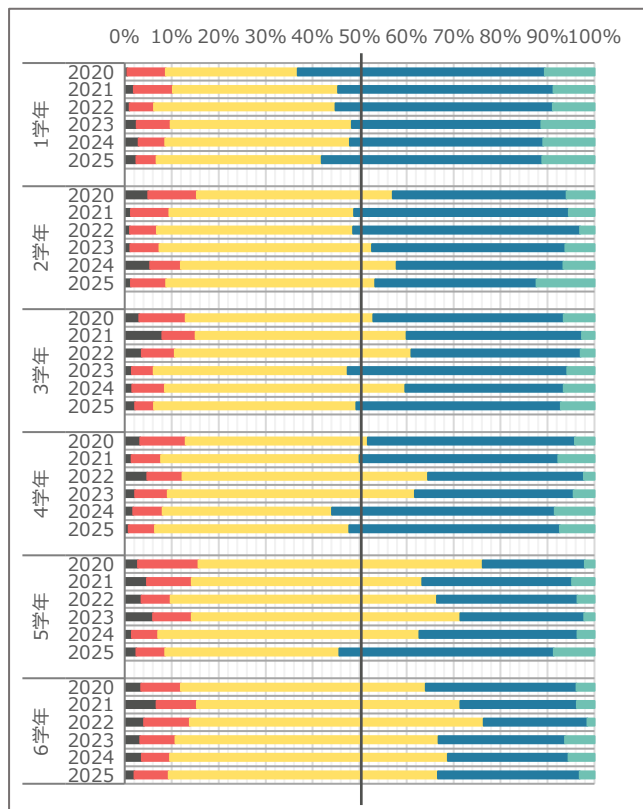
Q1_一般的な教養
 Q2_医療人に求められる倫理性
 Q3_他の人のために働く利他的行動
 Q4_(インターネット・書籍等で)情報を収集する能力
 Q5_収集した情報を分析する能力
 Q6_収集した情報をもとに問題を解決する能力
 Q7_専門分野や学科の知識
 Q8_批判的に考える能力
 Q9_多様な文化に対する知識と理解
 Q10_リーダーシップの能力
 Q11_人間関係を構築する能力
 Q12_他の人と協力して物事を遂行する能力
 Q13_他学部・他職種の人々と協力する能力
 Q14_医療が直面する問題を理解する能力
 Q15_外国語の運用能力
 Q16_コミュニケーション能力
 Q17_プレゼンテーション能力

Q18_数理的な能力
 Q19_論理的な文(教科書や論文など)を読んで理解する能力
 Q20_コンピュータの操作能力
 Q21_時間を効果的に利用する能力
 Q22_客観的な自己理解(または、感情をコントロールする理性)
 Q23_自身のミスを適切に報告し、他人からの指摘や評価をもとに省察する能力
 Q24_医療行為を実践する能力または技術
 Q25_医療安全に関する知識と実践力
 Q26_関連法規に関する知識と理解
 Q27_地域医療に関する知識と理解および貢献しようとする意欲
 Q28_災害時医療に関する知識と理解
 Q29_保険診療と医療経済に関する知識と理解
 Q30_医療の発展に貢献しようとする意欲
 Q31_チーム医療に積極的に参画しようとする意欲
 Q32_医療の発展に寄与する研究に取り組む意欲
 Q33_後進を育成しようとする意欲と能力
 Q34_医療人として国際社会に貢献する意欲

06_教育内容満足度

教養教育の授業実習

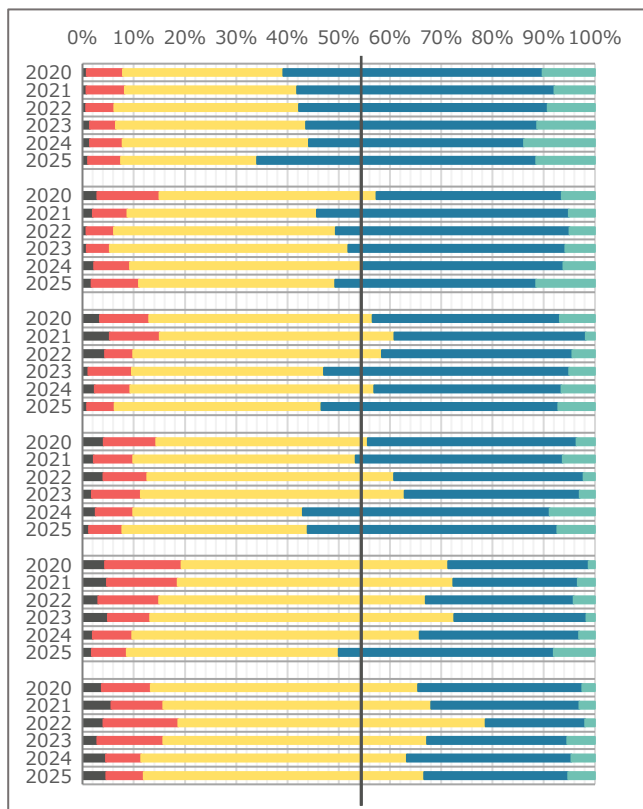
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



教養教育を受ける1学年においては、『満足』『とても満足』の回答が過半数を超えています。高学年になると満足度が減少する傾向にありますが、『不満』の回答に大きな変化はありません。

授業の全体的な質

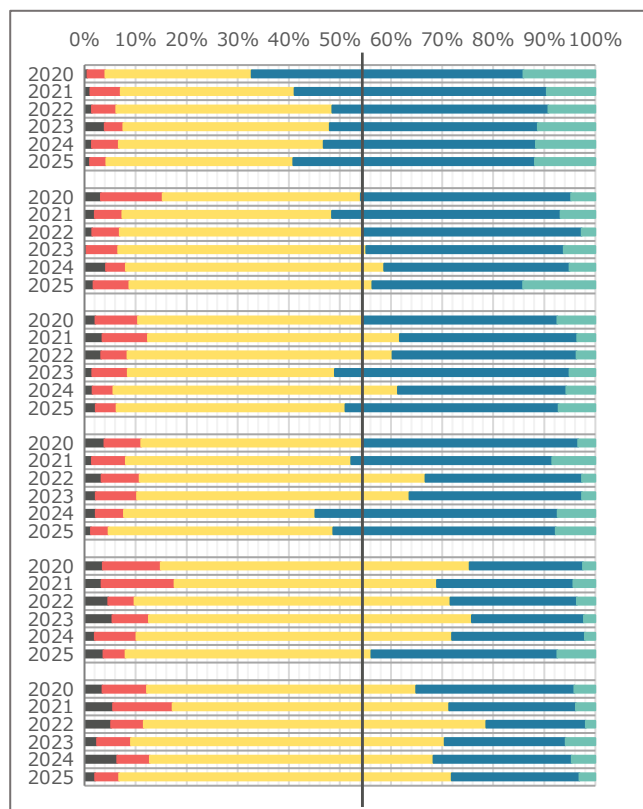
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にありますが、『どちらでもない』と併せると8割以上となります。ほとんどの学年で『不満』『とても不満』の回答の減少傾向が見られます。

初年次生を対象とした専門教育

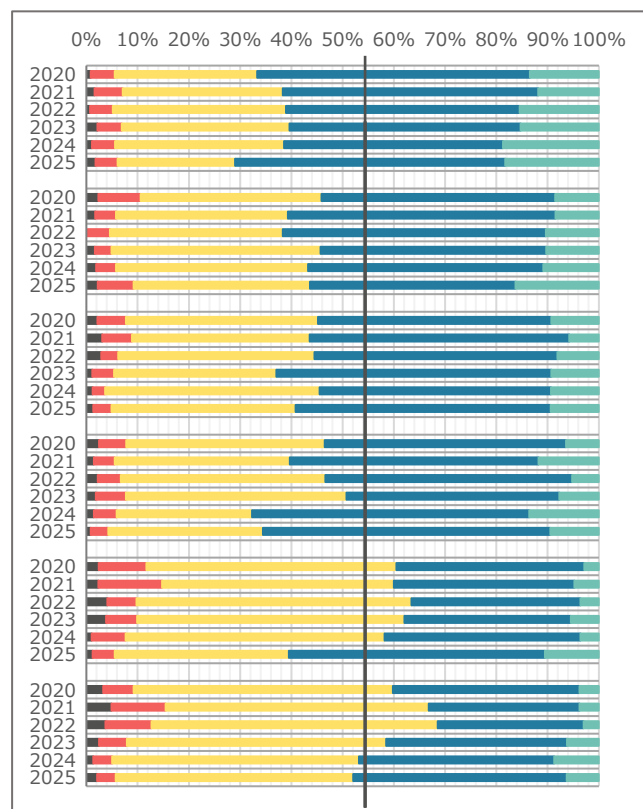
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



初年次教育を受ける1学年においては、『満足』『とても満足』の回答が過半数を超えています。高学年になると満足度が減少する傾向にありますが、『不満』の回答に大きな変化はありません。

将来の仕事と授業内容の結びつき

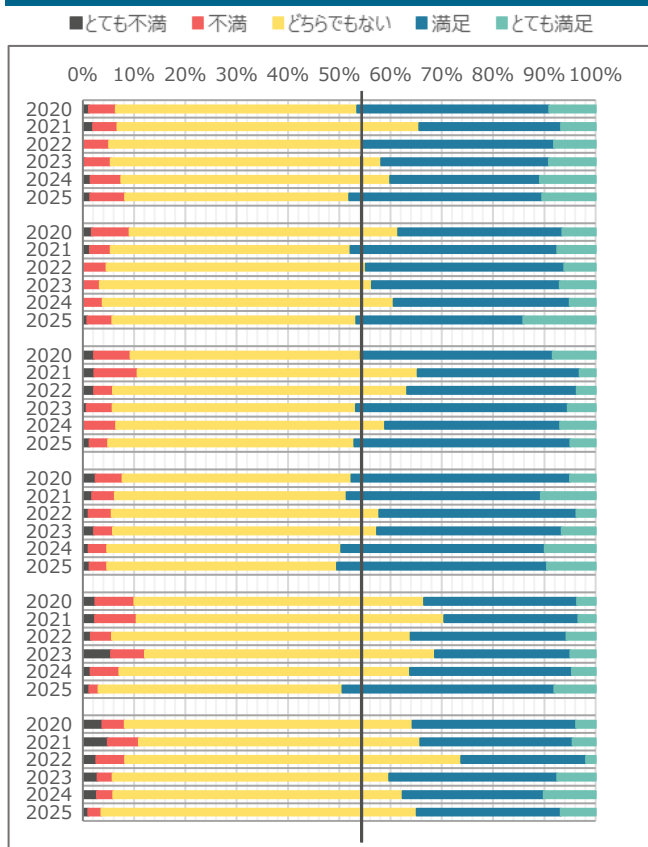
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『満足』『とても満足』の回答は学年が上がるにつれて減少傾向にあります。『不満』『とても不満』の回答はほぼ横ばいになっています。

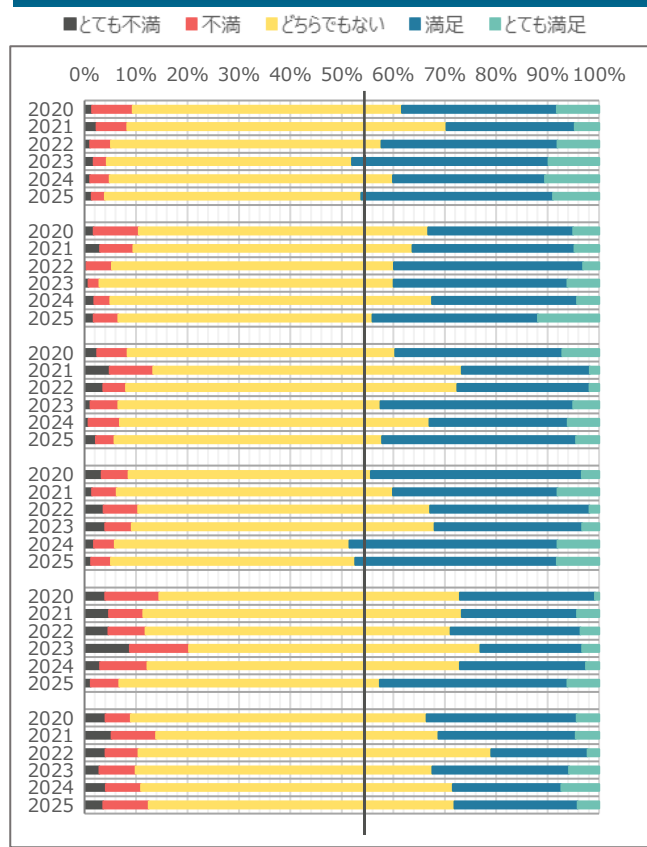
06_教育内容満足度

教員と話をする機会



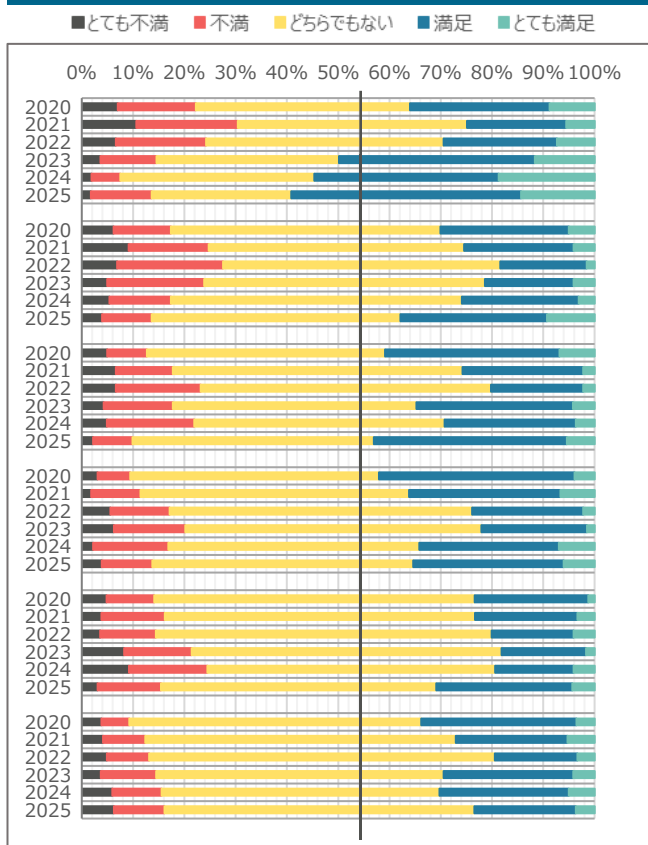
『満足』『とても満足』の回答は1～4学年が多い結果となりました。4年制の看護学部が反映されているものと考えられます。『不満』『とても不満』の割合は例年一定数いますが、特に変化していません。

学習支援や個別の学習指導



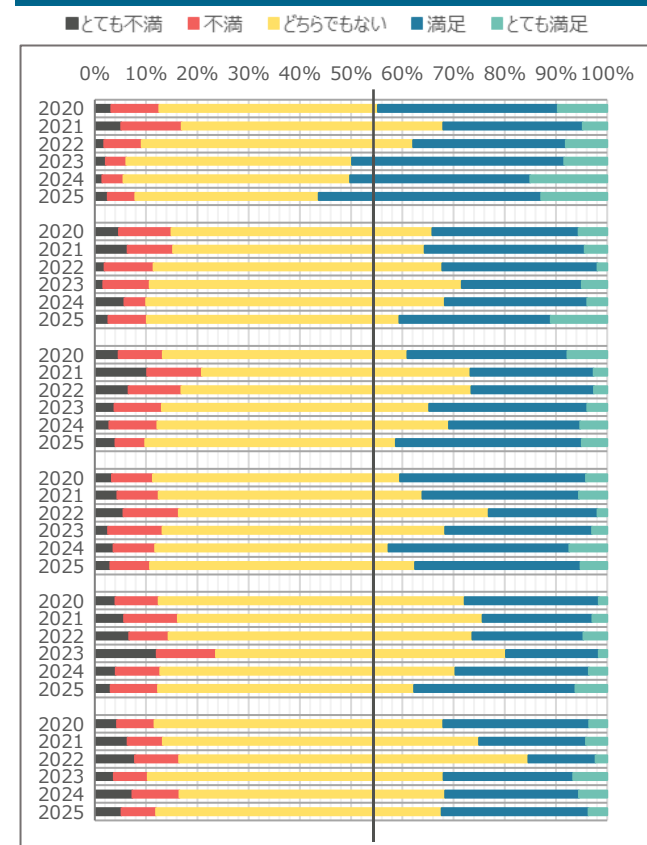
『満足』『とても満足』の回答は30%程度となる一方で、『とても不満』『不満』は10%程度となる傾向があります。特に3学年以上では『とても不満』も割合も増加していきます。

他学部の学生と交流する機会



1学年では学部混成の授業が実施されることから、多学年と比較して満足度が顕著に高くなる傾向がありましたが、2020～2022年度は新型コロナウイルス感染対策の影響で満足度が減少しました。2023年度以降は授業形態が戻り、満足度の高い回答が増えています。

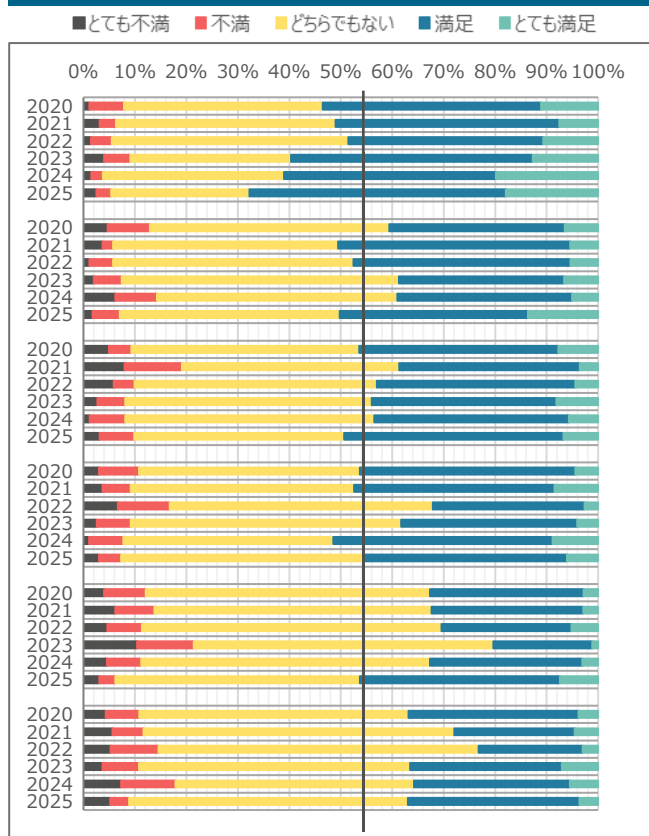
大学の中での学生同士の一体感



『満足』『とても満足』の回答は1学年が一番多く、約半数となっていますが、2学年以降の満足度はほぼ横ばいとなっています。2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると考えられますが、2023年度以降は授業形態が戻り、満足度の高い回答が増えています。

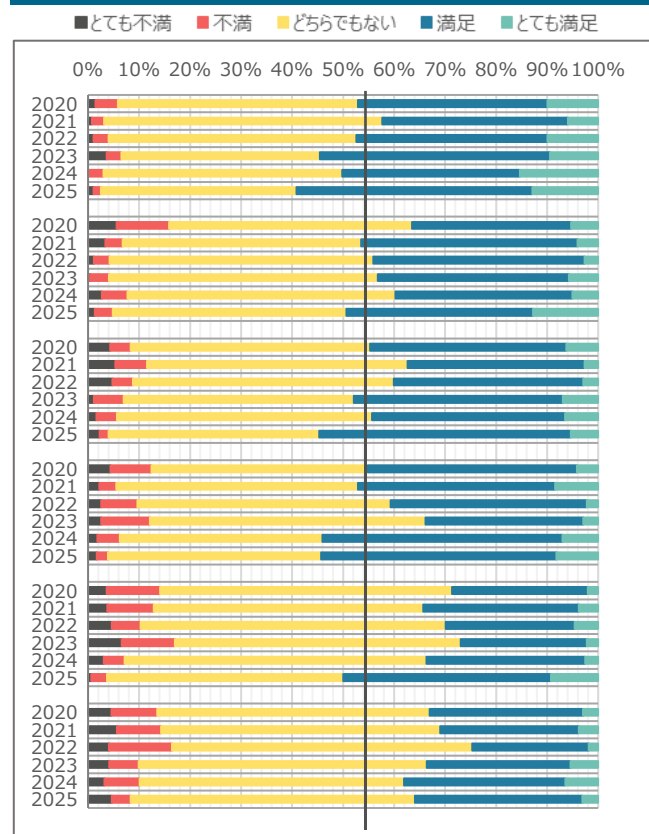
06_教育内容満足度

多様な考え方を認め合う雰囲気



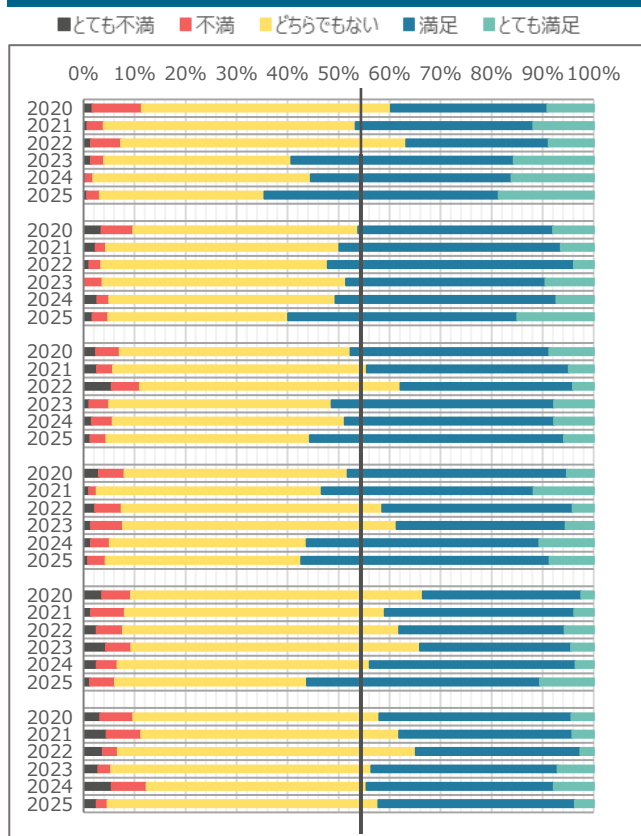
第1学年では2020～2022年度は新型コロナウイルス感染対策として講義形式が一部制限されたこと等により、満足度は低下していましたが、2023年度以降は満足度の高い回答が増えています。

卒業時の学修成果に向けたカリキュラム構築



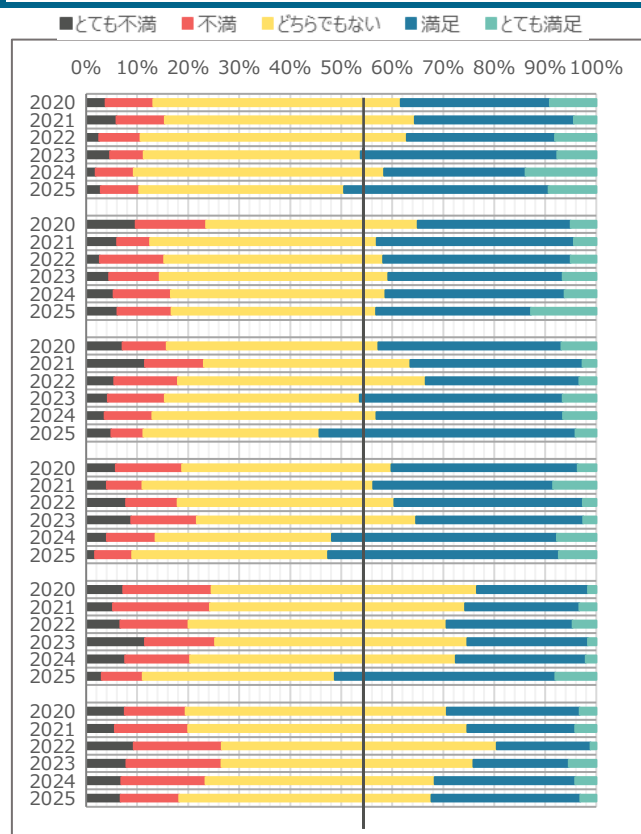
『どちらでもない』の回答が一番多い結果となりました。『満足』『とても満足』の回答は1～4学年が多く、4年制の看護学部が反映されているものと考えられます。

医療・介護の現場における実習・インターンシップ



『どちらでもない』が最も多くなっており、『とても満足』『満足』は40%前後となっています。

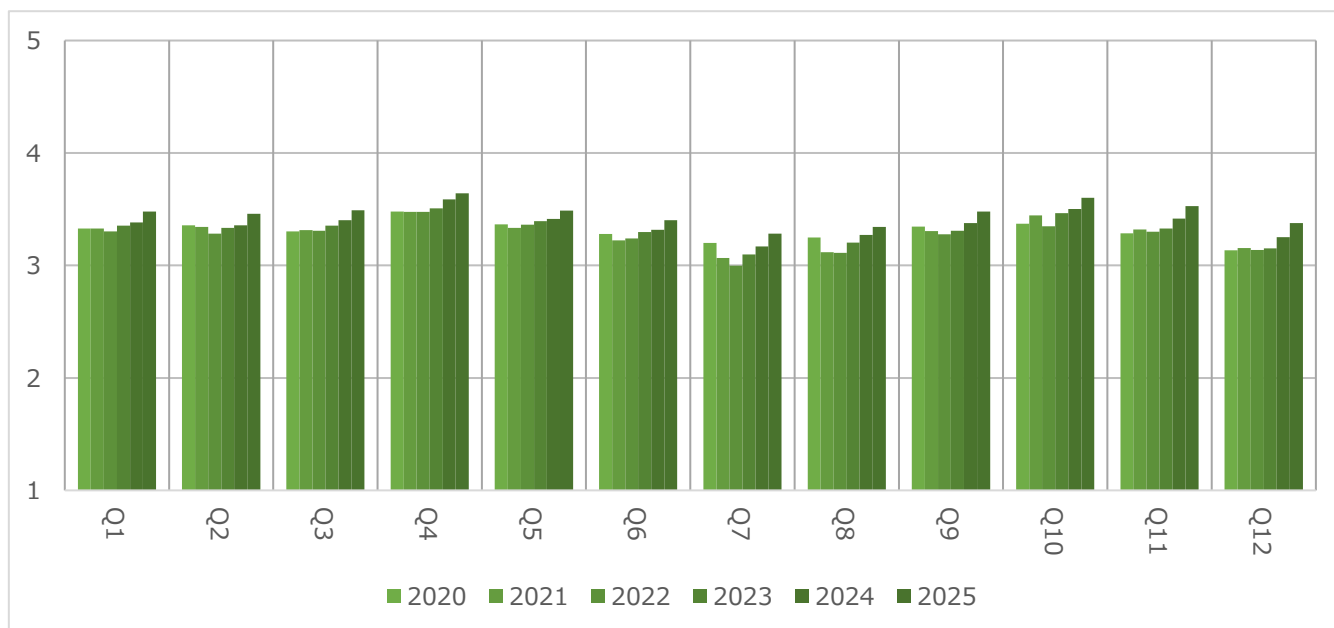
進級試験・卒業試験の適切性



『どちらでもない』の回答が一番多く、満足度の評価は2極化しています。『満足』『とても満足』の回答は1～4学年が多く、4年制の看護学部の回答が反映されているものと考えられます。また、2025年度は例年と比べて5年生の満足度が高い結果となりました。

06_教育内容満足度

「教育内容満足度」各設問の平均スコア



【設問】

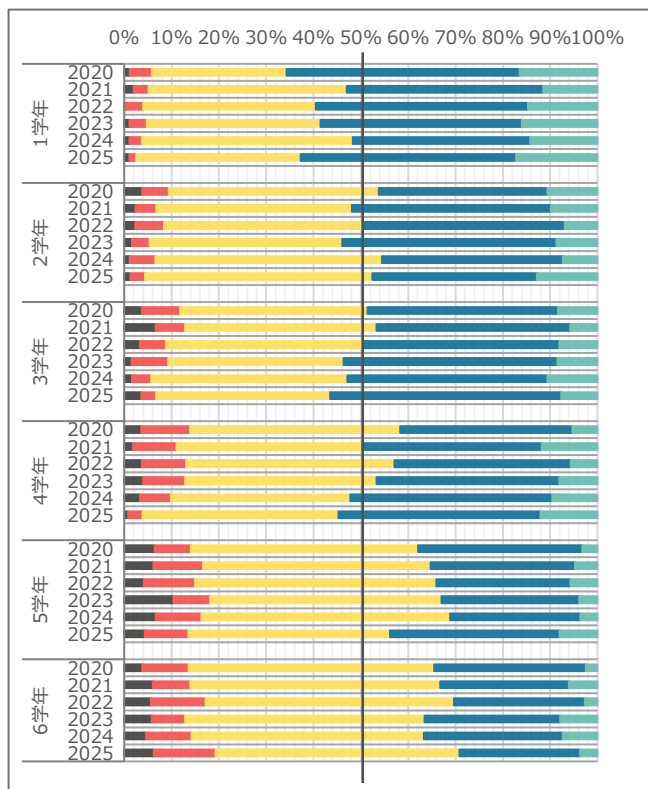
Q1_教養教育の授業・実習
 Q2_初年次生を対象とした専門教育
 Q3_授業の全体的な質
 Q4_将来の仕事と授業内容の結びつき
 Q5_教員と話をする機会
 Q6_学習支援や個別の学習指導

Q7_他学部との学生と交流する機会
 Q8_大学のなかで学生同士の一体感
 Q9_多様な考え方を認め合う雰囲気
 Q10_医療・介護の現場における実習・インターンシップ
 Q11_卒業時の学修成果に向けたカリキュラム構築
 Q12_進級試験・卒業試験の適切性

07_学修環境満足度

図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）

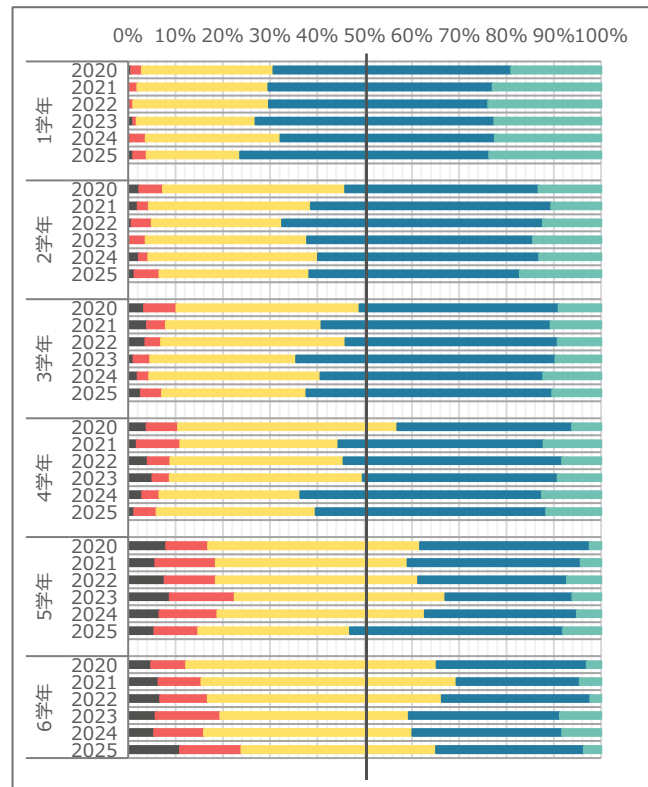
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度は減少傾向にあります。年度による大きな変化はありません。

実習室の設備や器具

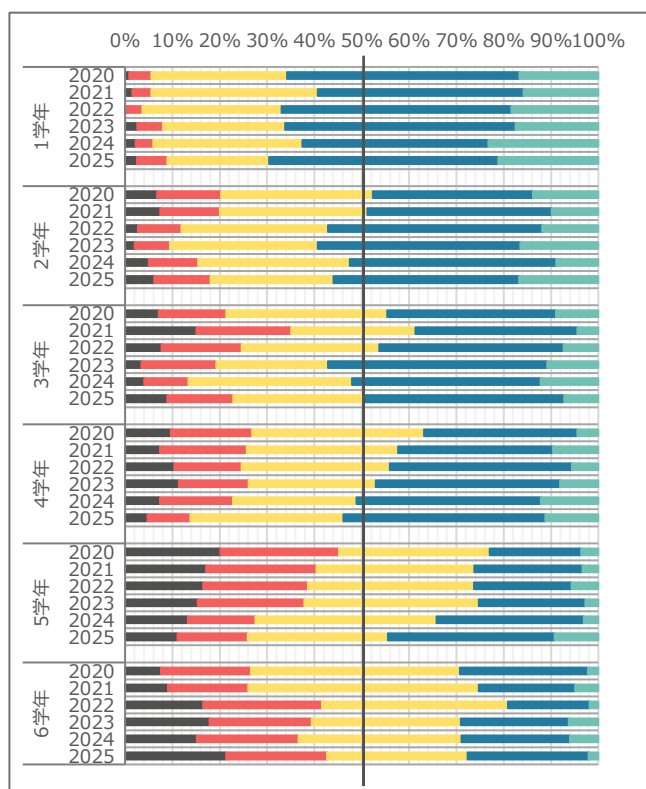
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足している回答が減少傾向にありますが、『どちらでもない』を併せると80%程度は不満を感じていません。

自習スペース

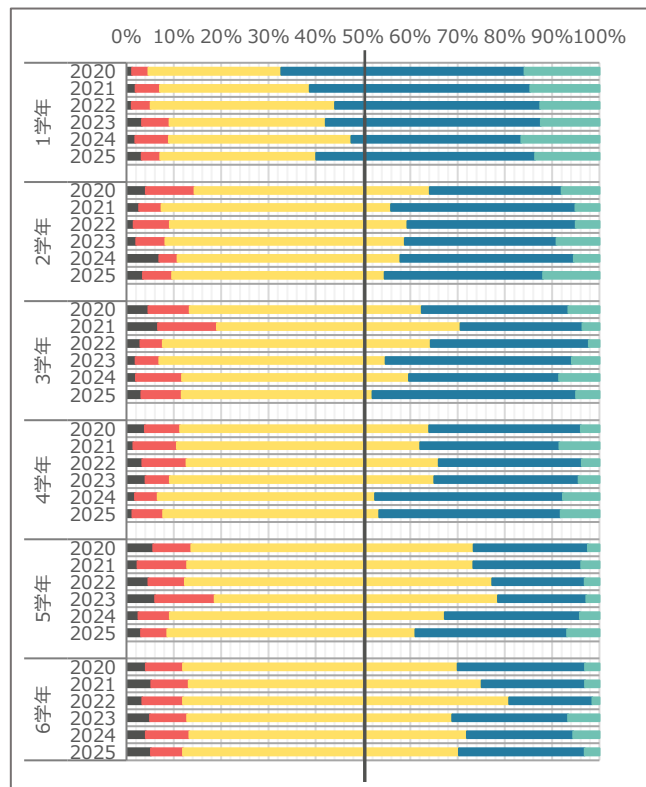
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度は減少傾向にあります。他の学修環境と比較して、『とても不満』の割合が高い傾向にあります。1～5学年においては満足度の増加傾向が見られますが、6学年についてはほぼ横ばいとなっています。

コンピュータ・リテラシーの訓練や援助

■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足

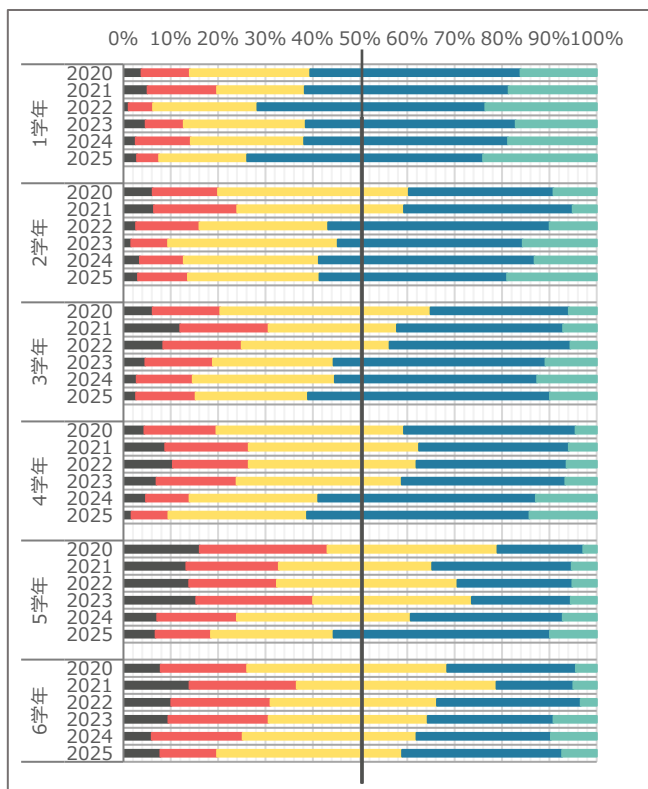


情報リテラシー教育を実施している第1学年においては、満足している回答が過半数を超えています。

07_学修環境満足度

インターネット環境

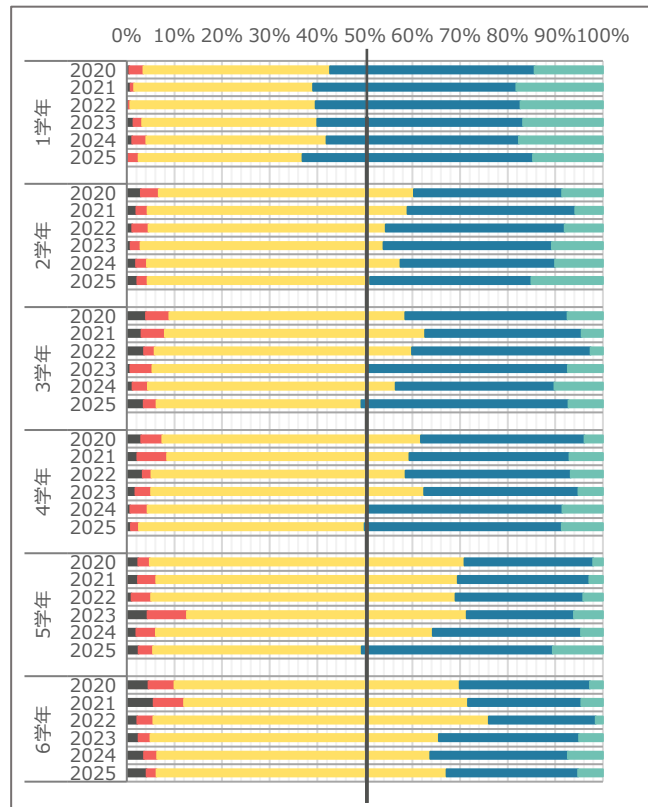
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて、満足度が減少傾向となっていますが、同じ学年での満足度は年々増加傾向となっています。

健康面サービス（心身の健康にかかわる診断や相談）

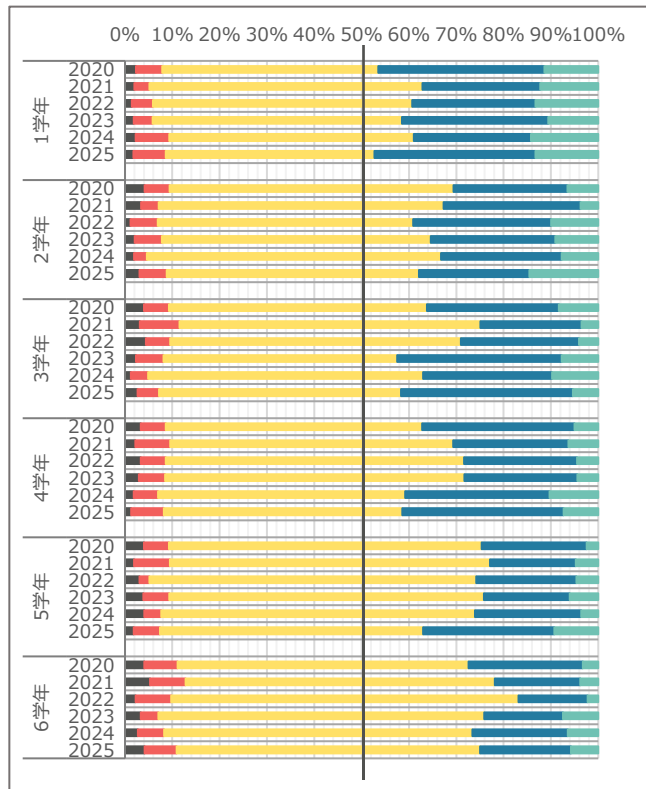
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



学年が上がるにつれて満足度が減少傾向にありますが、不満と回答する割合と比較すると、満足度は低いと考えられます。

奨学金などの学費援助の制度

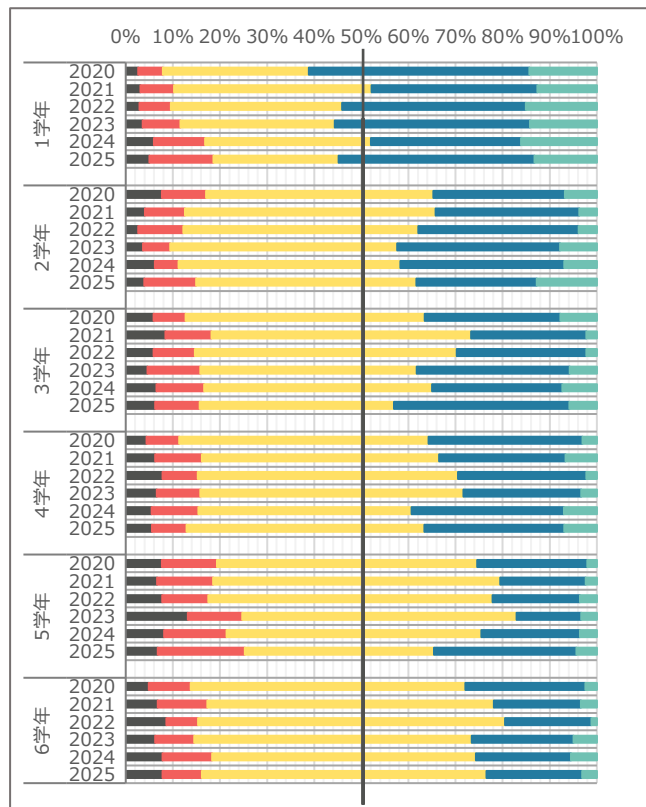
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



『とても満足』『満足』『どちらでもない』の回答を併せて、90%程度に達していることから満足度は低くないと考えられますが、『不満』『とても不満』の回答は一定数あり、学年・年度によってあまり変化していません。

体育施設

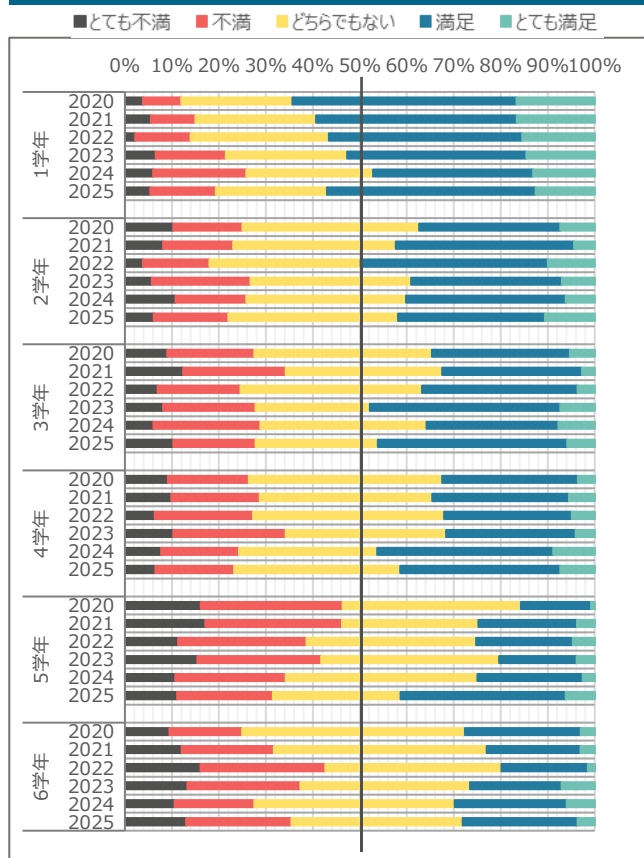
■とても不満 ■不満 ■どちらでもない ■満足 ■とても満足



体育科目を履修する1学年では『満足』『とても満足』の回答が半数近くを占めています。2学年以降は満足が減少し、不満の割合が若干増加します。

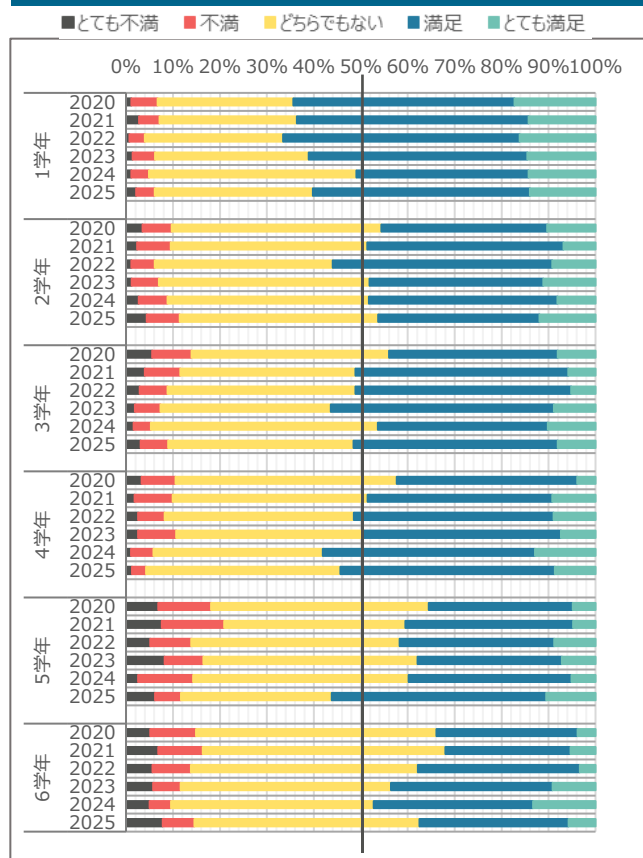
07_学修環境満足度

食堂・売店



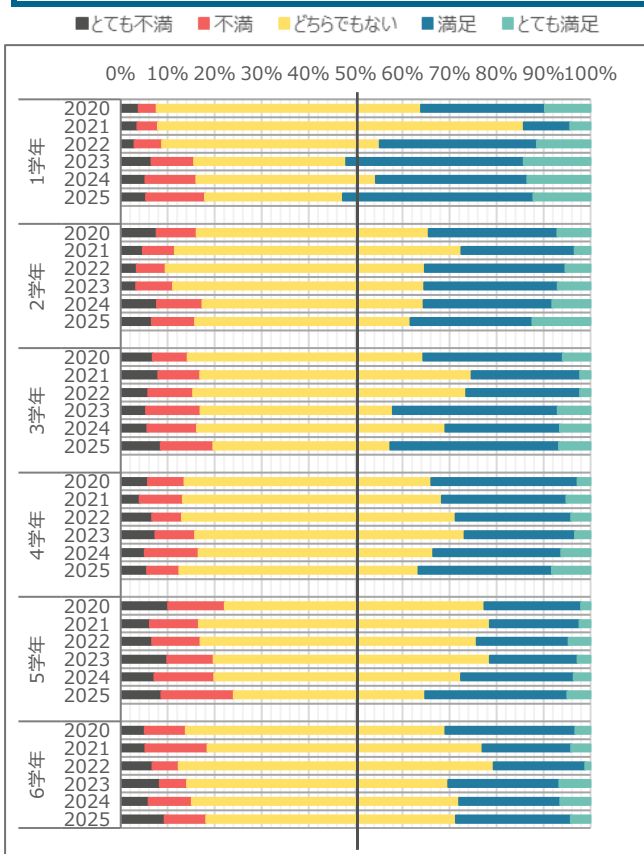
学年が上がるにつれて満足度が減少傾向にあります。学修環境の中でも満足度が低い項目となっており、4～6学年では肯定的な回答よりも否定的な回答の数が上回っています。

書籍販売店



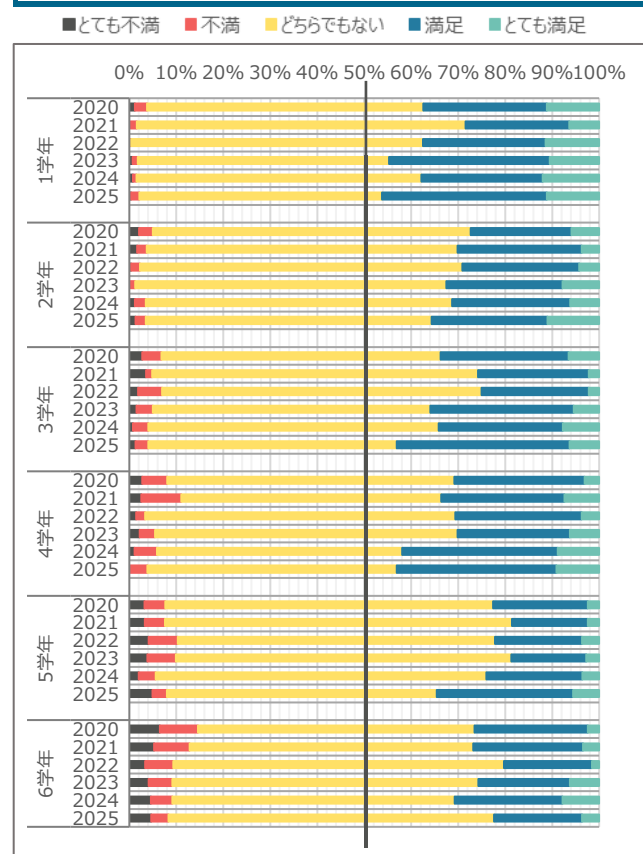
1学年では『満足』『とても満足』の回答が半数近くあり、『不満』『とても不満』の回答が他学年より少ない傾向にあります。また、2学年以降は『満足』『とても満足』の回答が減少した分、『不満』『とても不満』が増加していますが、多くの学年で満足度は年々増加傾向となっています。

クラブ活動の施設

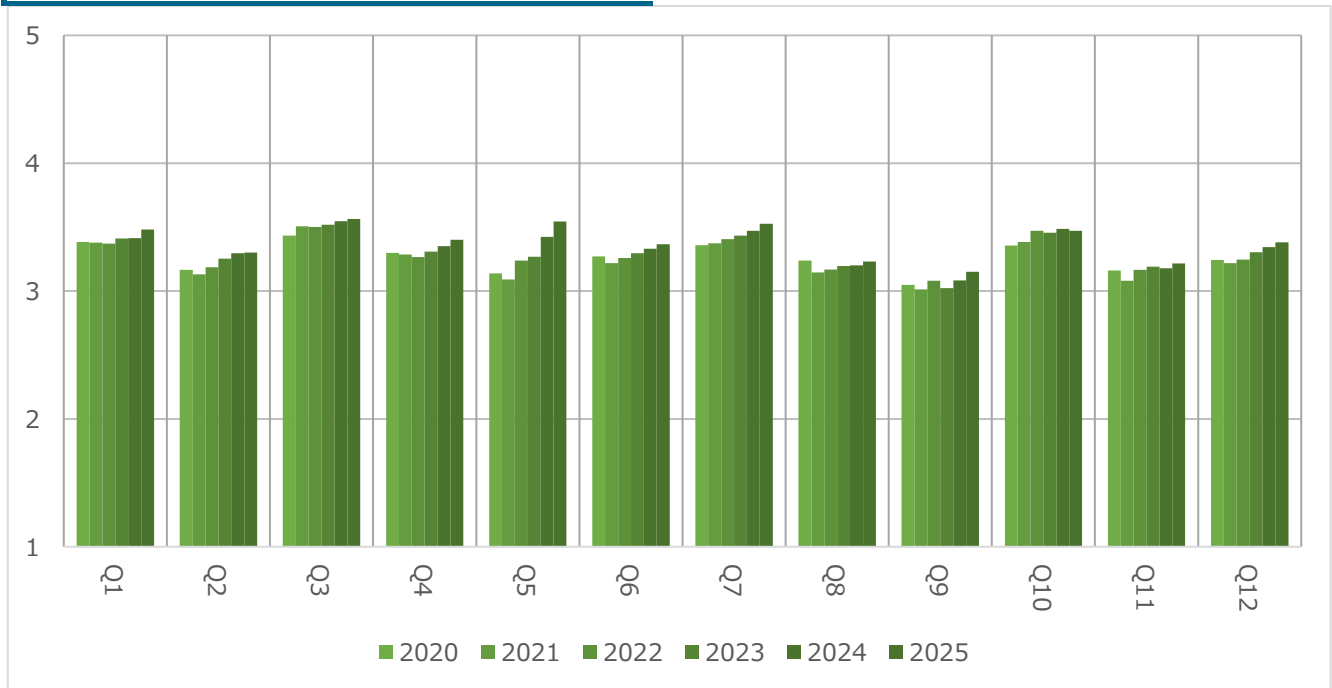


『満足』『とても満足』の回答が学年が上がるにつれて減少傾向にあります。『不満』『とても不満』の回答は学年、年度によって大きな変化がありません。2020～2021年度はクラブ活動が制限されており、施設を利用したことのない1学年の『どちらでもない』の回答が増加しています。

キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



学年が上がるにつれて、『とても不満』『不満』が増加傾向にあります。『どちらでもない』『満足』『とても満足』を併せると90%程度に達しますが、4学年の満足度が増加していますが、4年制の看護学部が反映されていると思われます。



【設問】

Q1_図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス)

Q2_自習スペース(多目的ホール、SGL、ラーニングコモンズなど)

Q3_実習室の設備や器具

Q4_コンピュータ・リテラシーの訓練や援助

Q5_インターネット環境

Q6_奨学金などの学費援助の制度

Q7_健康面サービス(心身の健康に関わる診療や相談)

Q8_体育施設

Q9_食堂・売店

Q10_書籍販売店

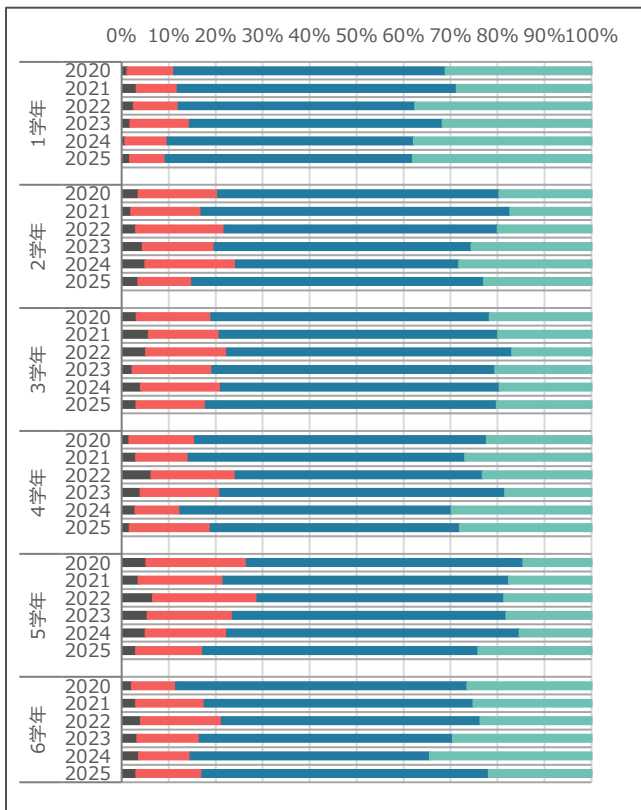
Q11_クラブ活動用の施設

Q12_キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)

08_ 将来ビジョンとモチベーション

将来こういう医療人でありたいというビジョン

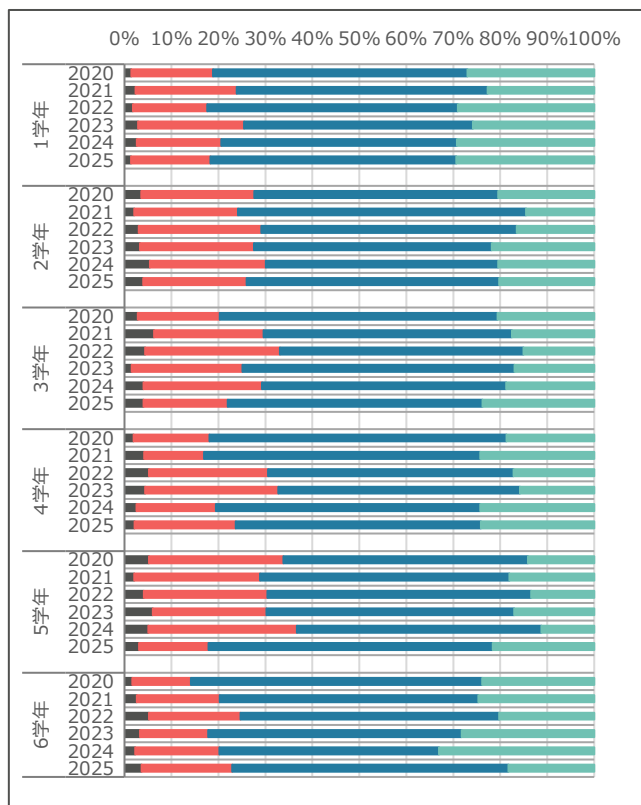
■ ない ■ あまりはつきりしない ■ どちらかといえばある ■ 明快なものがある



肯定的な回答が8割以上を占める結果となりました。『明快なものがある』の回答は1学年以降減少し、高学年で増加する傾向があります。

将来像実現のために、なすべき具体的な目標

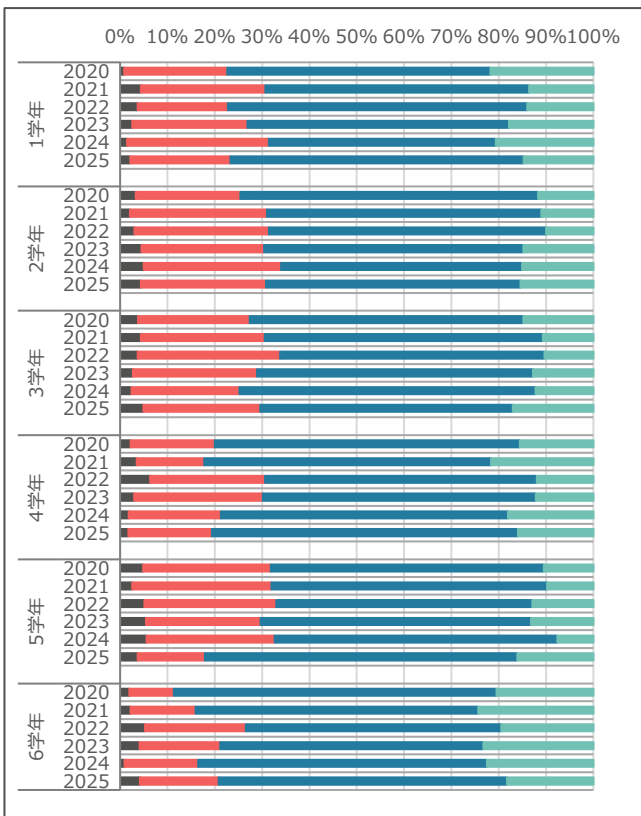
■ わからない ■ あまりはつきりしない ■ どちらかといえばわかっている ■ わかっている



肯定的な回答が7割以上を占める結果となりました。肯定的な回答は1学年以降減少し、高学年で増加する傾向があります。

目標実現のための行動

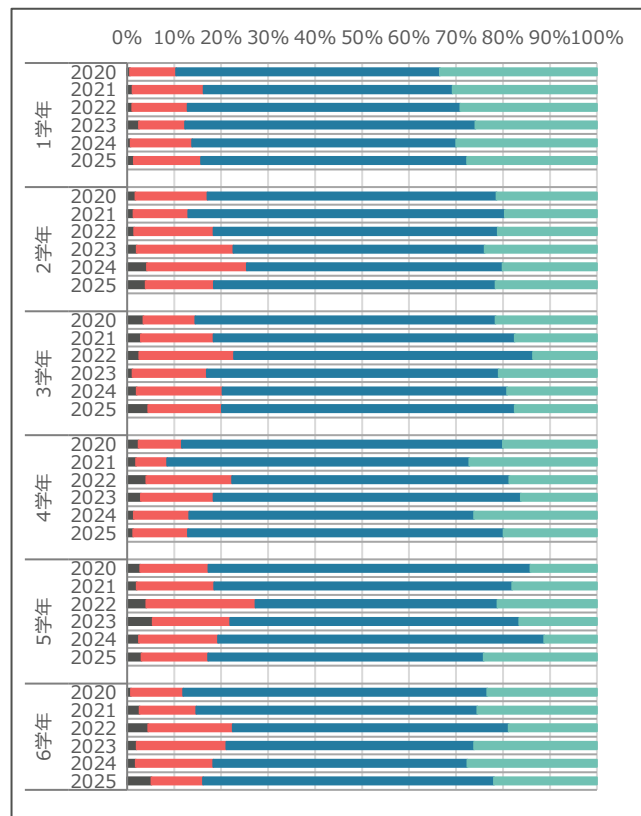
■ 行動していない ■ 行動が怠りがちである ■ 不十分ながら行動している ■ 着実に行動している



肯定的な回答が7割を超える結果となりました。年度による大きな変化は見られません。

勉学を継続する意欲(自己の成長に取り組む意欲)

■ ない ■ 減衰している ■ ある ■ 強くある



肯定的な回答が約8割を占める結果となりました。年度による大きな変化は見られません。

4-1 年度別卒業者数・卒業率推移

出典データ：岩手医科大学 大学概要 データ編 他

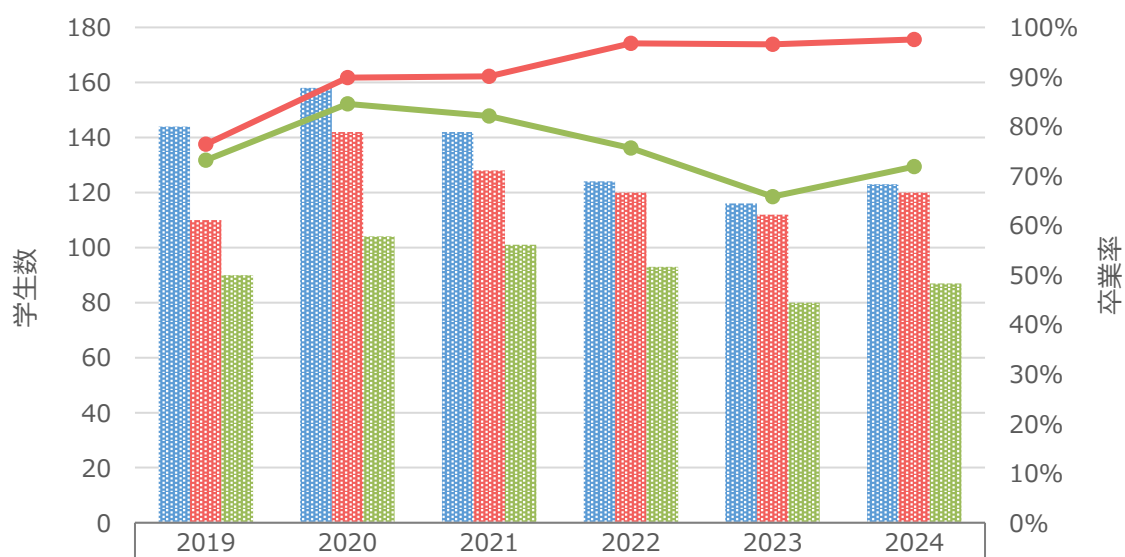
卒業者数：当該年度に卒業した学生数

卒業率：6年学生数に対する卒業者の割合

修業年限内卒業者：大学が定める修業年限（医歯薬学部：6年 看護学部：4年）以内に卒業した学生数

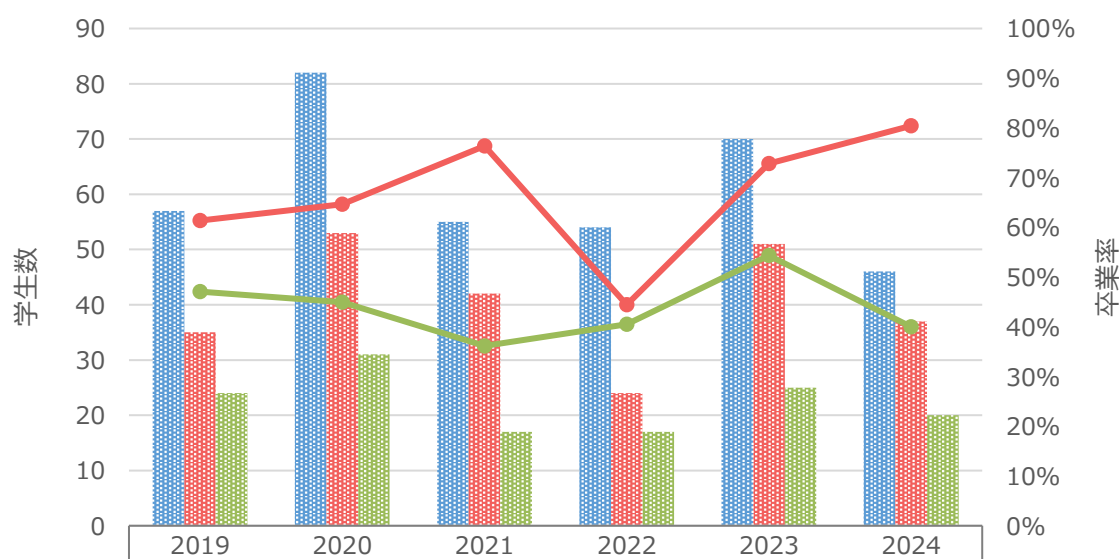
修業年限内卒業率：大学が定める修業年限以内に卒業した学生の割合（入学時の学生数を分母とする）

医学部



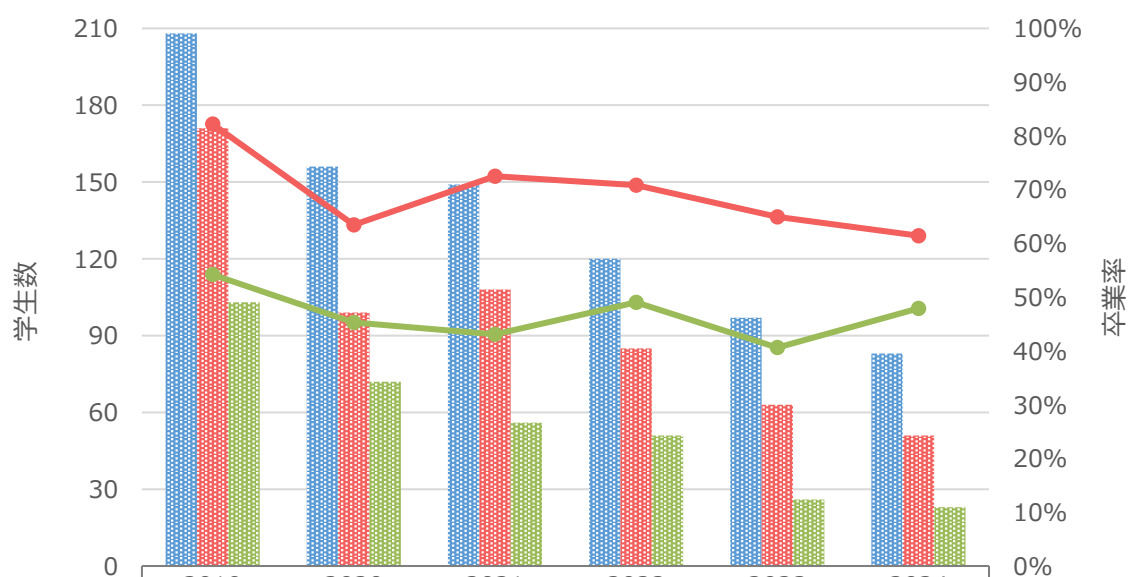
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
6年学生数	144	158	142	124	116	123
卒業者数	110	142	128	120	112	120
うち修業年限内卒業者数	90	104	101	93	80	87
卒業率	76.4%	89.9%	90.1%	96.8%	96.6%	97.6%
修業年限内卒業率	73.2%	84.6%	82.1%	75.6%	65.8%	71.9%

歯学部



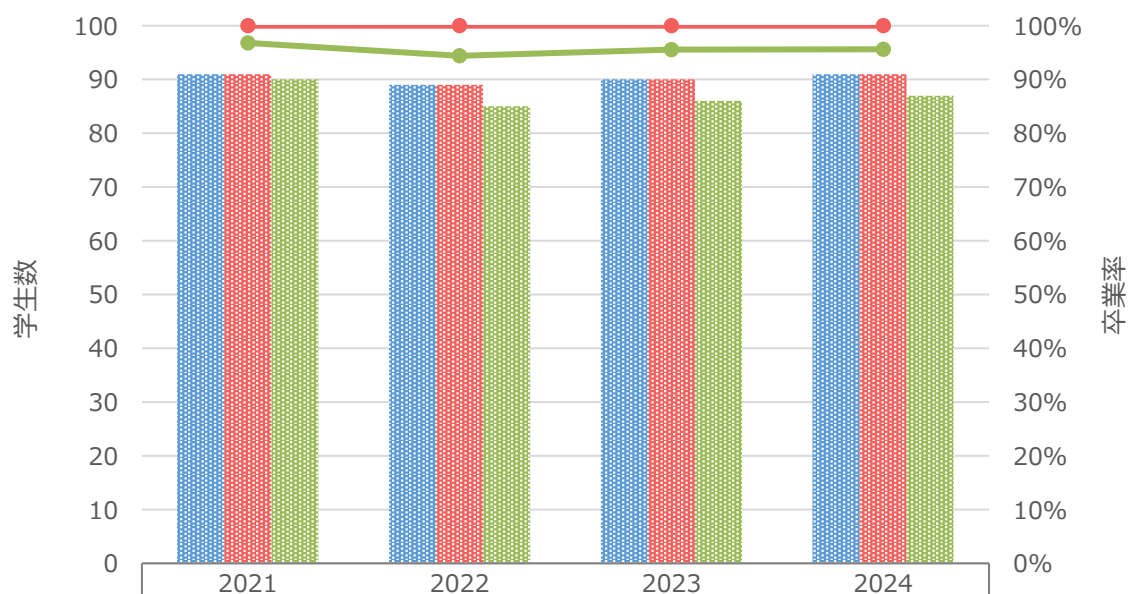
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
6年学生数	57	82	55	54	70	46
卒業者数	35	53	42	24	51	37
うち修業年限内卒業者数	24	31	17	17	25	20
卒業率	61.4%	64.6%	76.4%	44.4%	72.9%	80.4%
修業年限内卒業率	47.1%	44.9%	36.2%	40.5%	54.3%	40.0%

薬学部



6年学生数	208	156	149	120	97	83
卒業生数	171	99	108	85	63	51
うち修業年限内卒業生数	103	72	56	51	26	23
卒業率	82.2%	63.5%	72.5%	70.8%	64.9%	61.4%
修業年限内卒業率	54.2%	45.3%	43.1%	49.0%	40.6%	47.9%

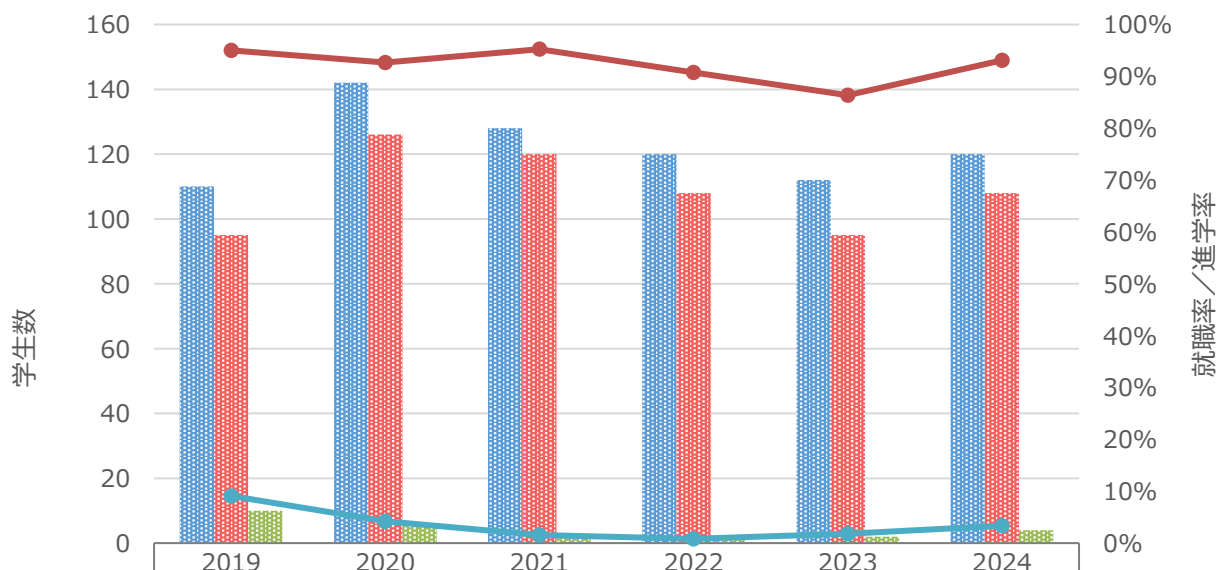
看護学部



4年学生数	91	89	90	91
卒業生数	91	89	90	91
うち修業年限内卒業生数	90	85	86	87
卒業率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
修業年限内卒業率	96.8%	94.4%	95.6%	95.6%

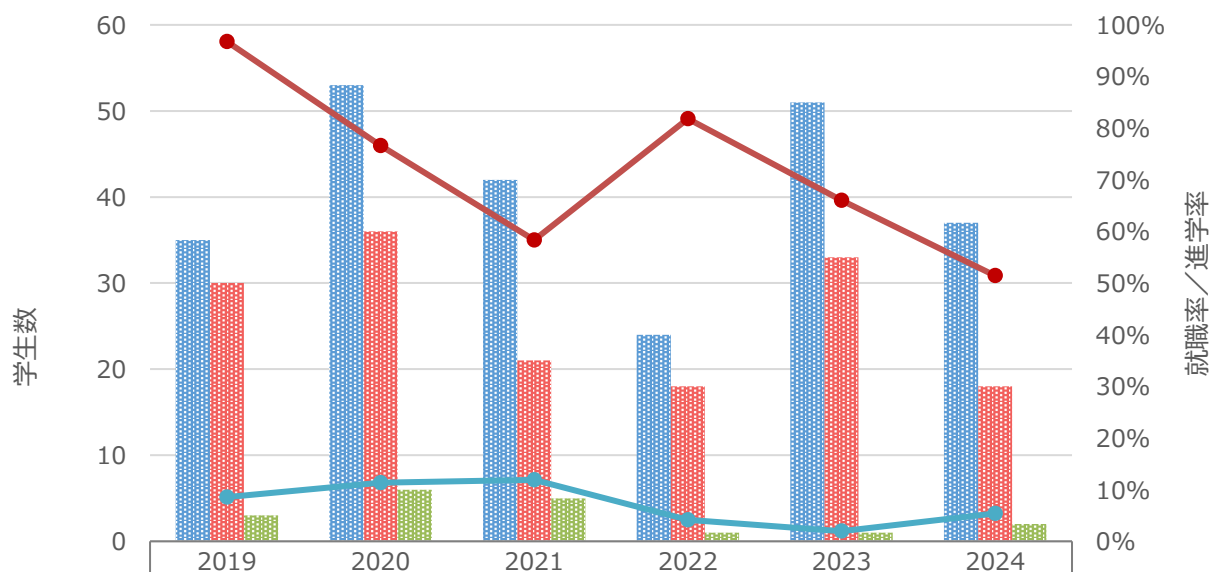
就職者：医学部・歯学部においては国家試験に合格し、かつ臨床研修医・臨床研修歯科医として勤務先が確定した者
 薬学部においては国家試験に合格し、かつ薬剤師として就職した者（大学院進学者を兼ねるものを含めない）
 大学院進学者：卒業者のうち、大学院に進学した者（臨床研修医を兼ねる者を含む）

医学部



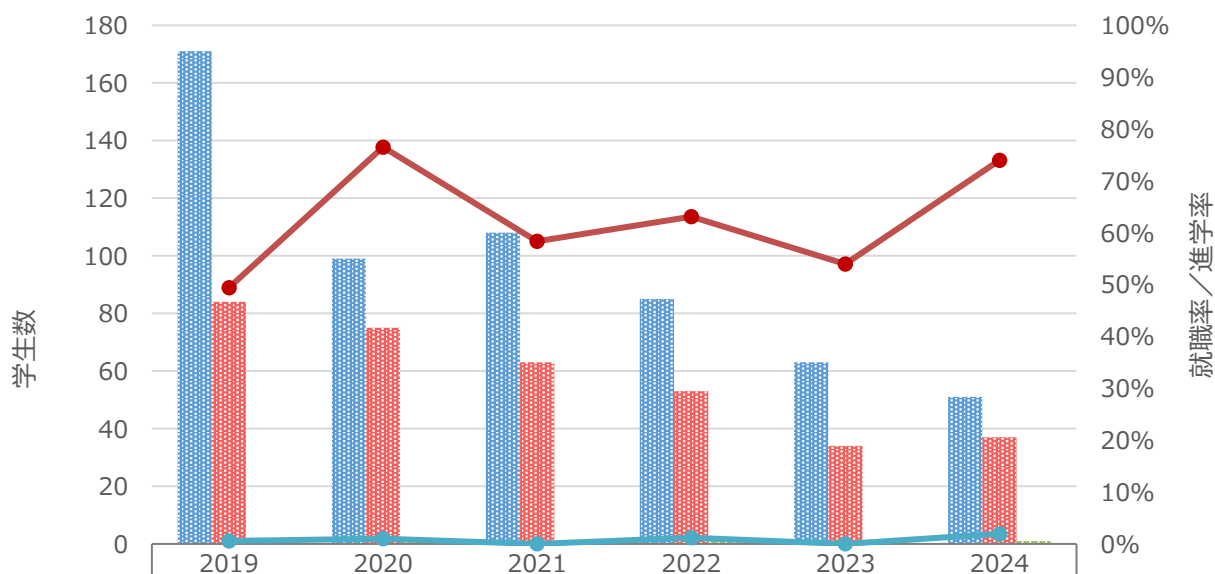
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
卒業生	110	142	128	120	112	120
就職者	95	126	120	108	95	108
大学院進学者	10	6	2	1	2	4
就職率	95.0%	92.6%	95.2%	90.8%	86.4%	93.1%
進学率	9.1%	4.2%	1.6%	0.8%	1.8%	3.3%

歯学部



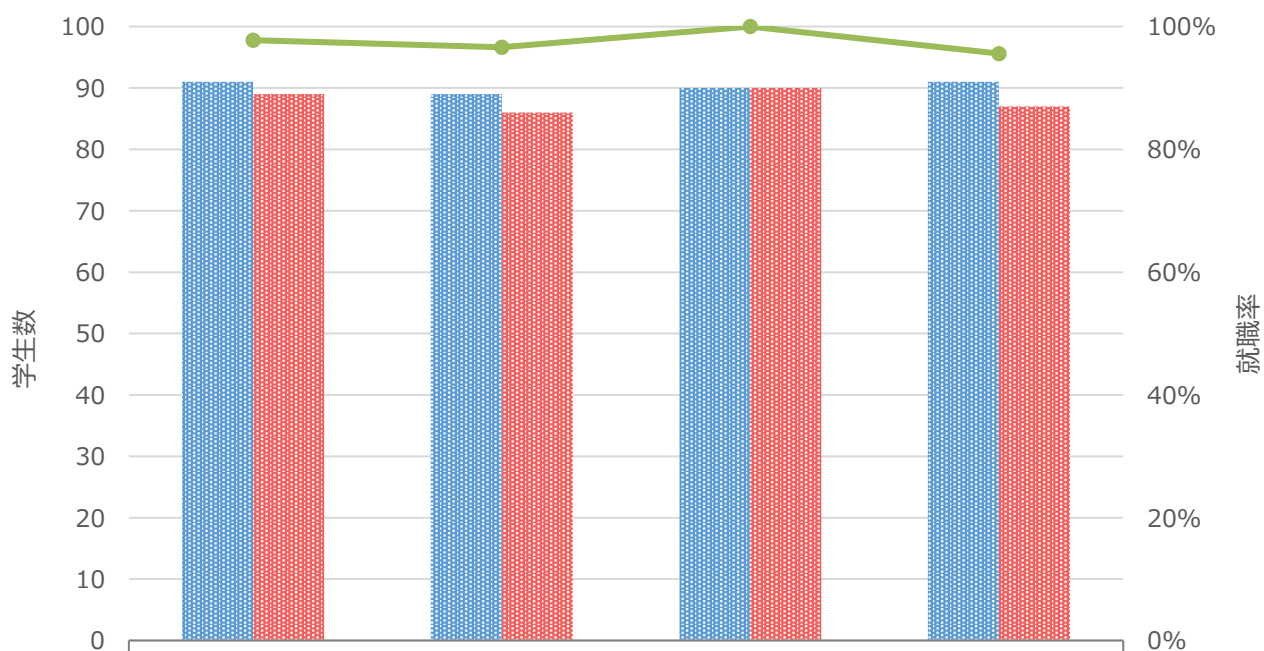
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
卒業生	35	53	42	24	51	37
就職者	30	36	21	18	33	18
大学院進学者	3	6	5	1	1	2
就職率	96.8%	76.6%	58.3%	81.8%	66.0%	51.4%
進学率	8.6%	11.3%	11.9%	4.2%	2.0%	5.4%

薬学部



卒業者	171	99	108	85	63	51
就職者	84	75	63	53	34	37
大学院進学者	1	1	0	1	0	1
就職率	49.4%	76.5%	58.3%	63.1%	54.0%	74.0%
進学率	0.6%	1.0%	0.0%	1.2%	0.0%	2.0%

看護学部

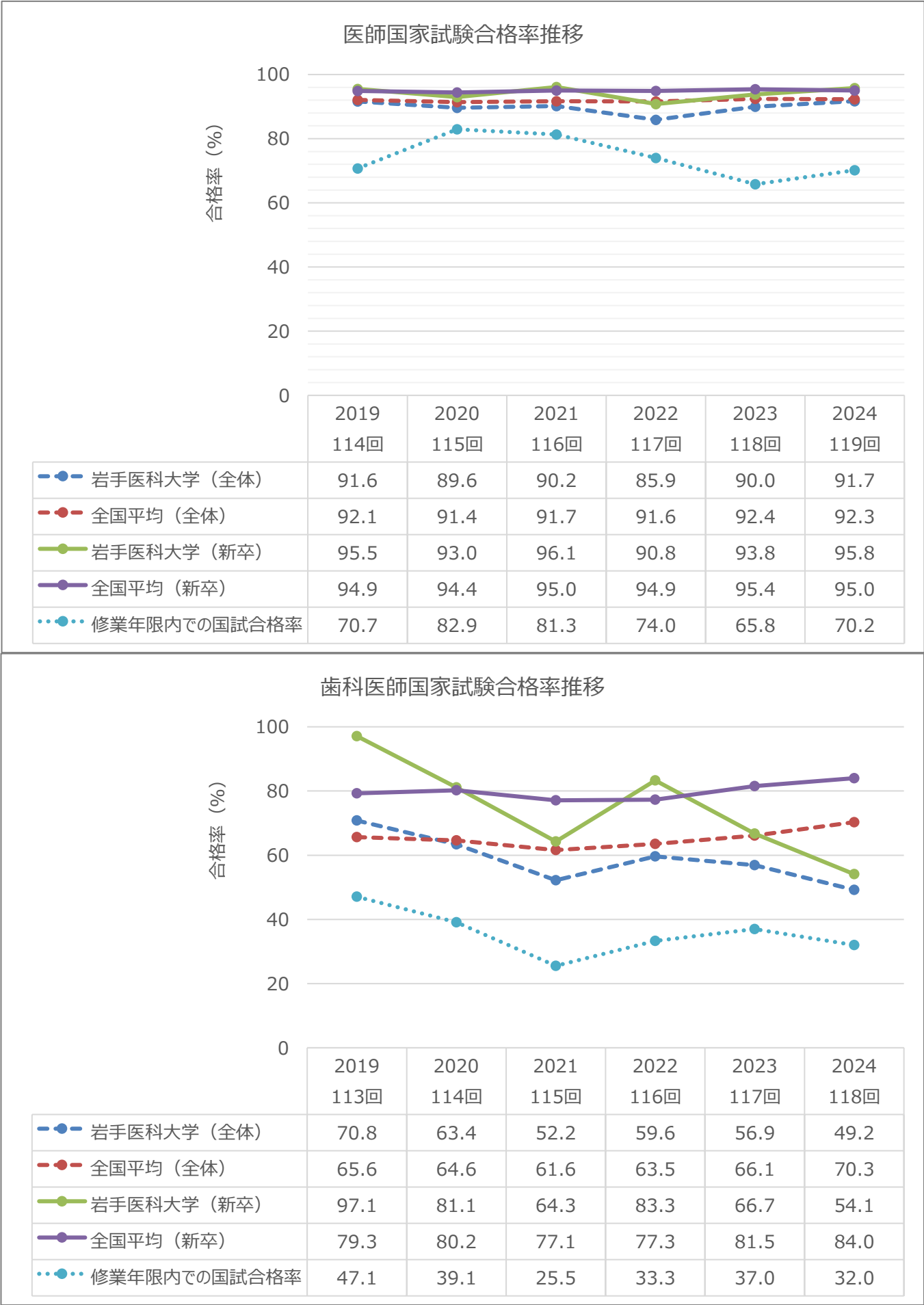


卒業者	91	89	90	91
就職者	89	86	90	87
就職率	97.8%	96.6%	100.0%	95.6%

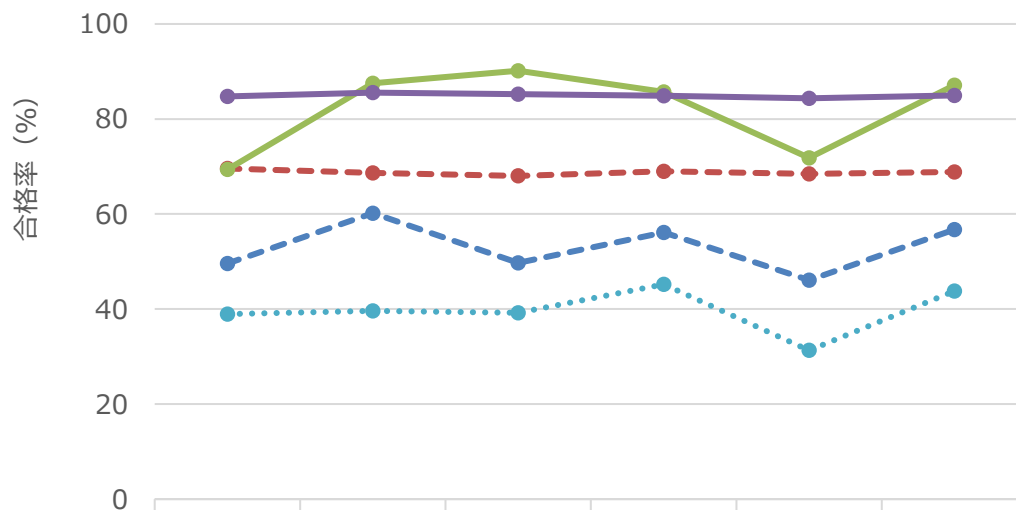
4-3 国家試験合格率推移

出典：厚生労働省ホームページ 資格・試験情報
https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku_shiken/

全体：既卒者を含めた大学卒業生全体の合格率（点線表示）
新卒：各年度における新卒者のみの合格率（実線表示）
修業年限内での国試合格率：入学時の学生数を分母とした場合の修業年限内で卒業した学生の国試合格率（破線）

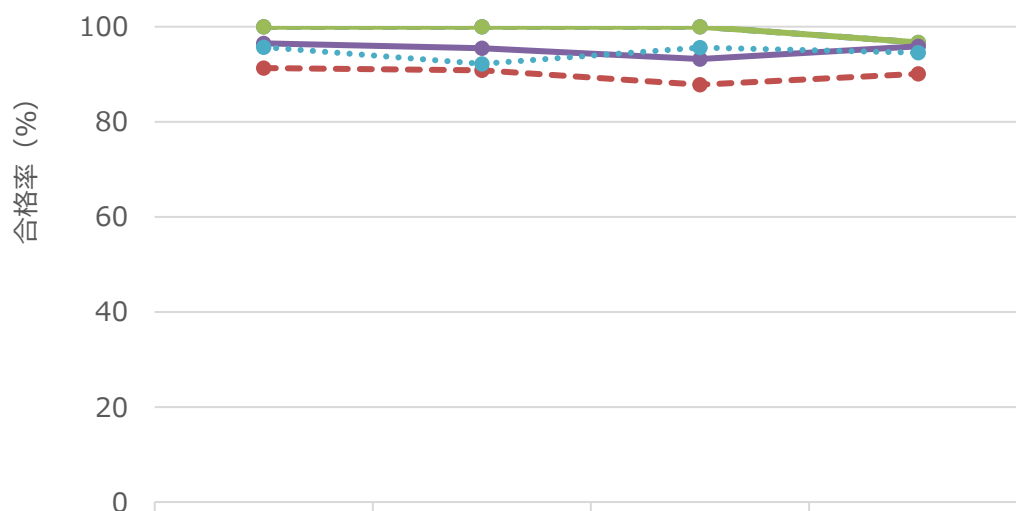


薬剤師国家試験合格率推移

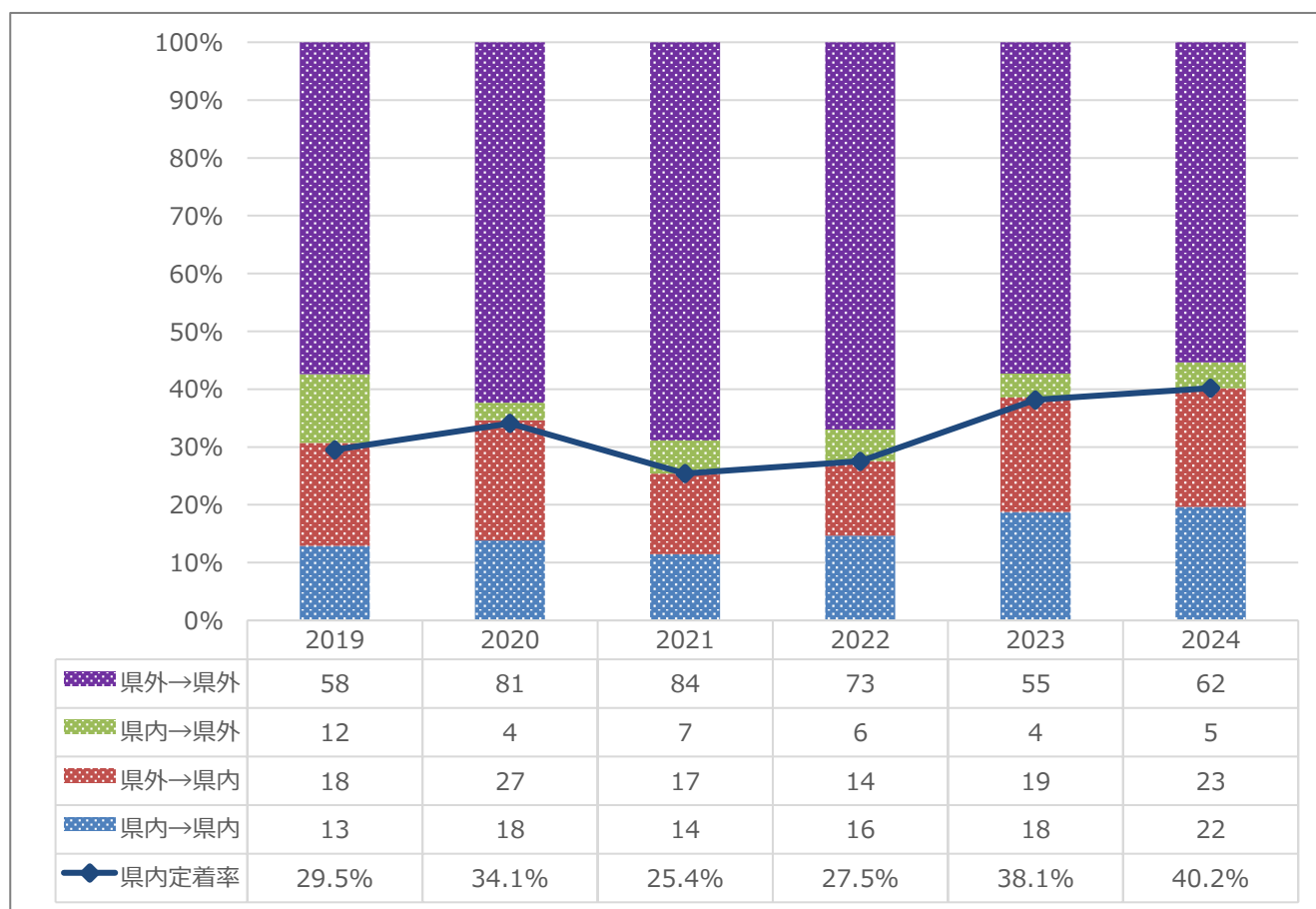


	2019 105回	2020 106回	2021 107回	2022 108回	2023 109回	2024 110回
岩手医科大学（全体）	49.57	60.19	49.73	56.10	46.09	56.76
全国平均（全体）	69.58	68.66	68.02	69.00	68.43	68.85
岩手医科大学（新卒）	69.37	87.5	90.16	85.71	71.79	87.10
全国平均（新卒）	84.78	85.55	85.24	84.86	84.36	84.96
修業年限内での国試合格率	38.9	39.6	39.2	45.2	31.3	43.8

看護師国家試験合格率推移

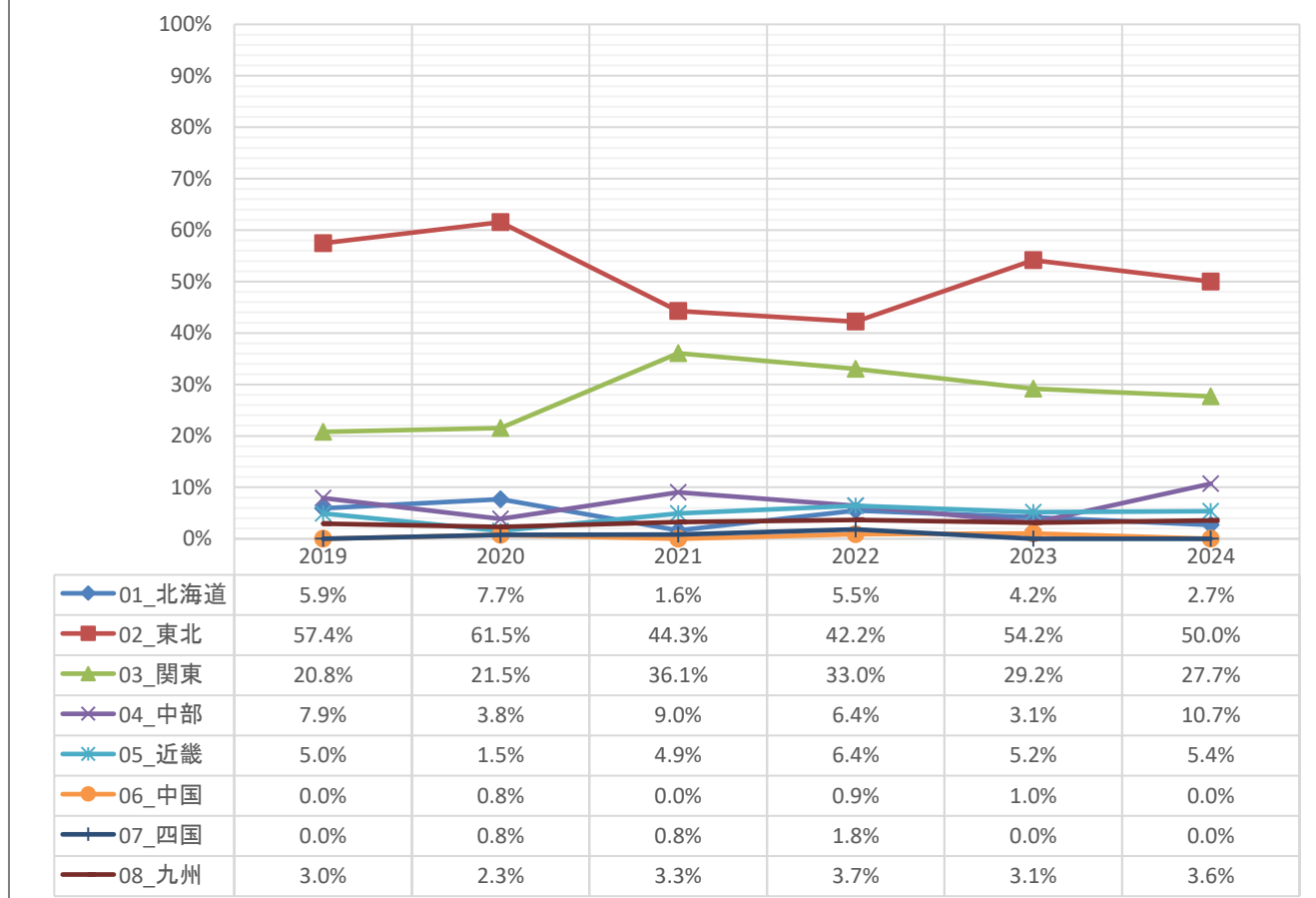


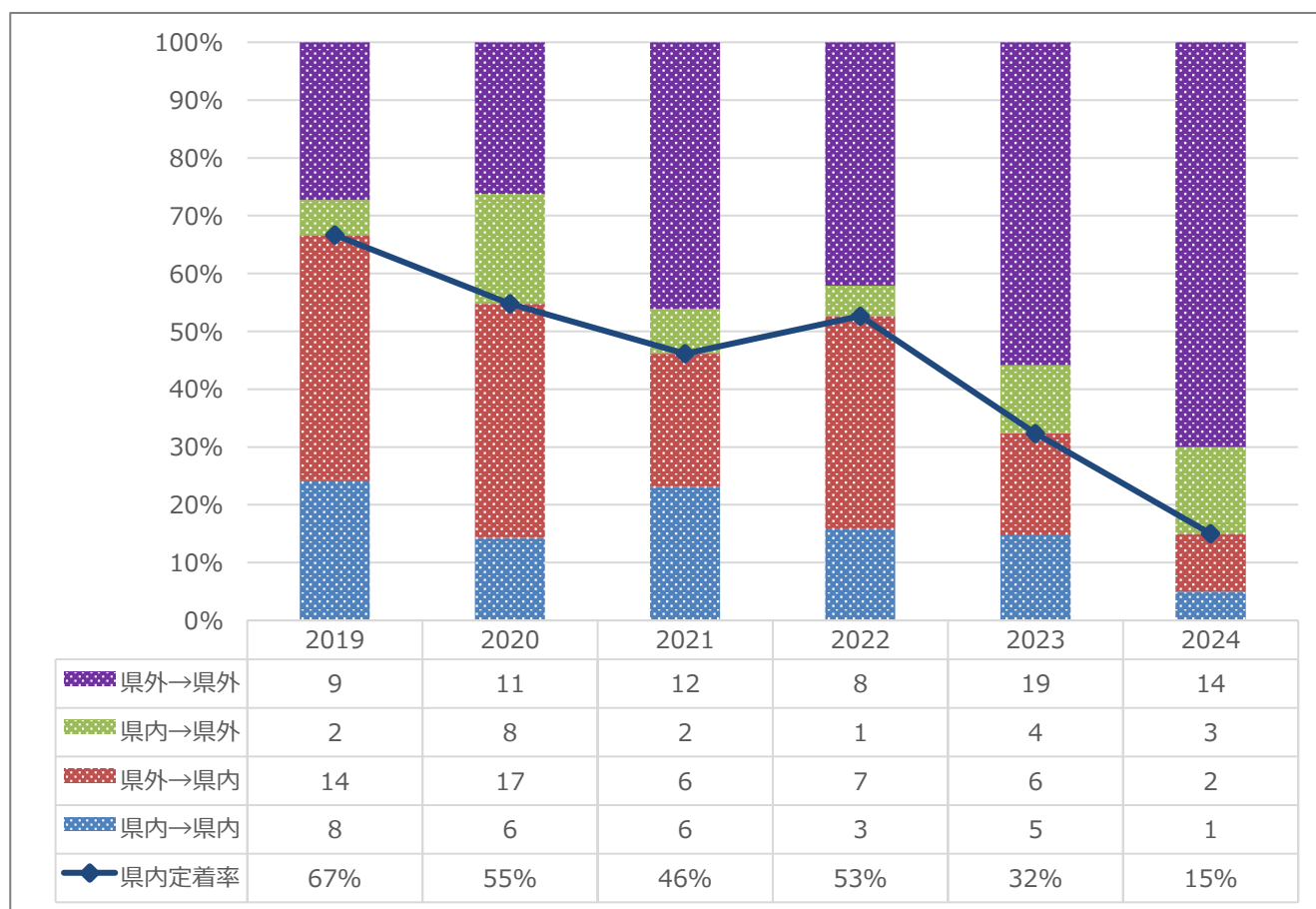
	2021 111回	2022 112回	2023 113回	2024 114回
岩手医科大学（全体）	100	100	100	96.7
全国平均（全体）	91.3	90.8	87.8	90.1
岩手医科大学（新卒）	100	100	100	96.7
全国平均（新卒）	96.5	95.5	93.2	95.9
修業年限内での国試合格率	95.7	92.2	95.6	94.5



※凡例は「出身高校の所在する県→臨床研修先の病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

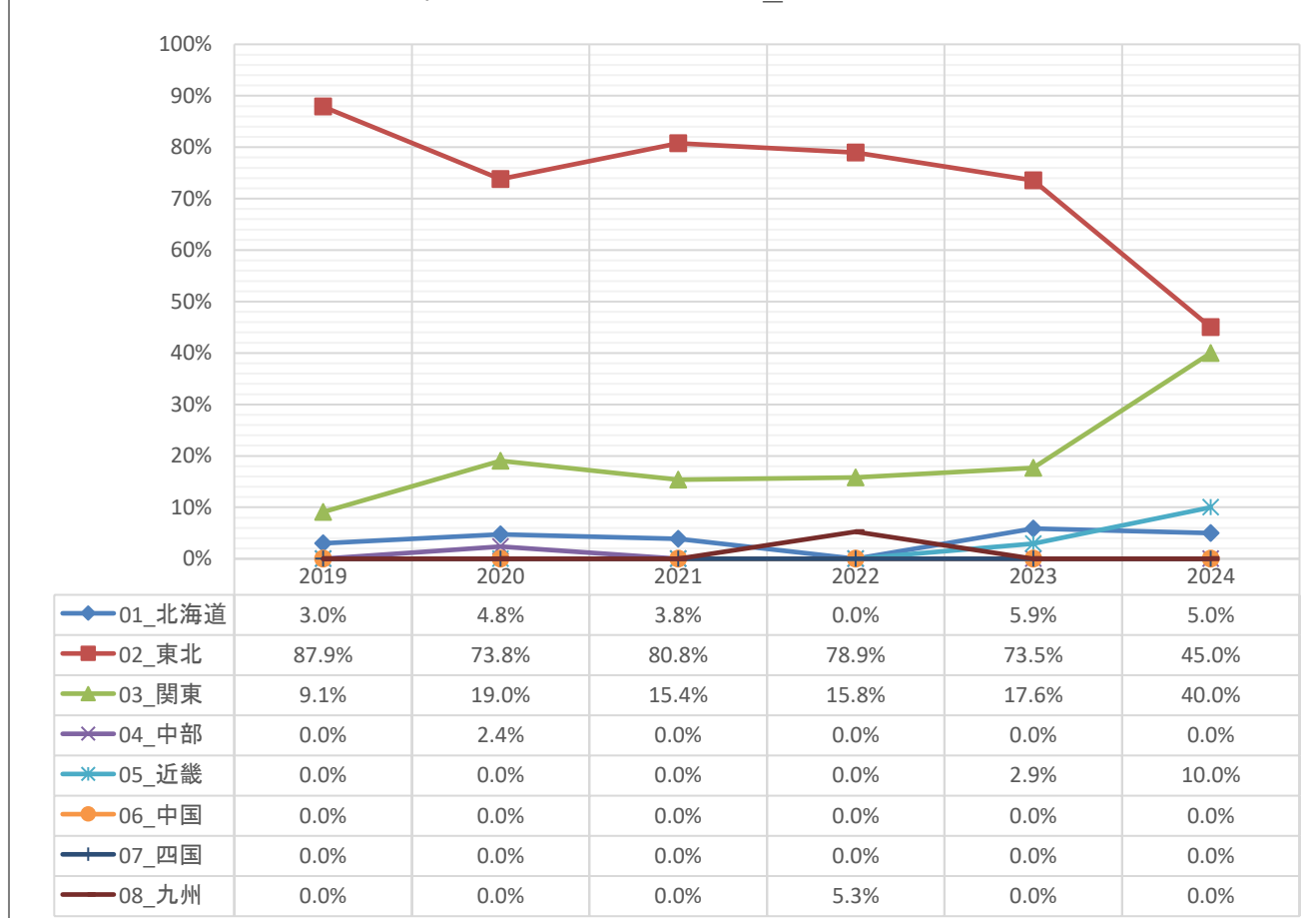
卒業後臨床研修先所在地_地方別割合

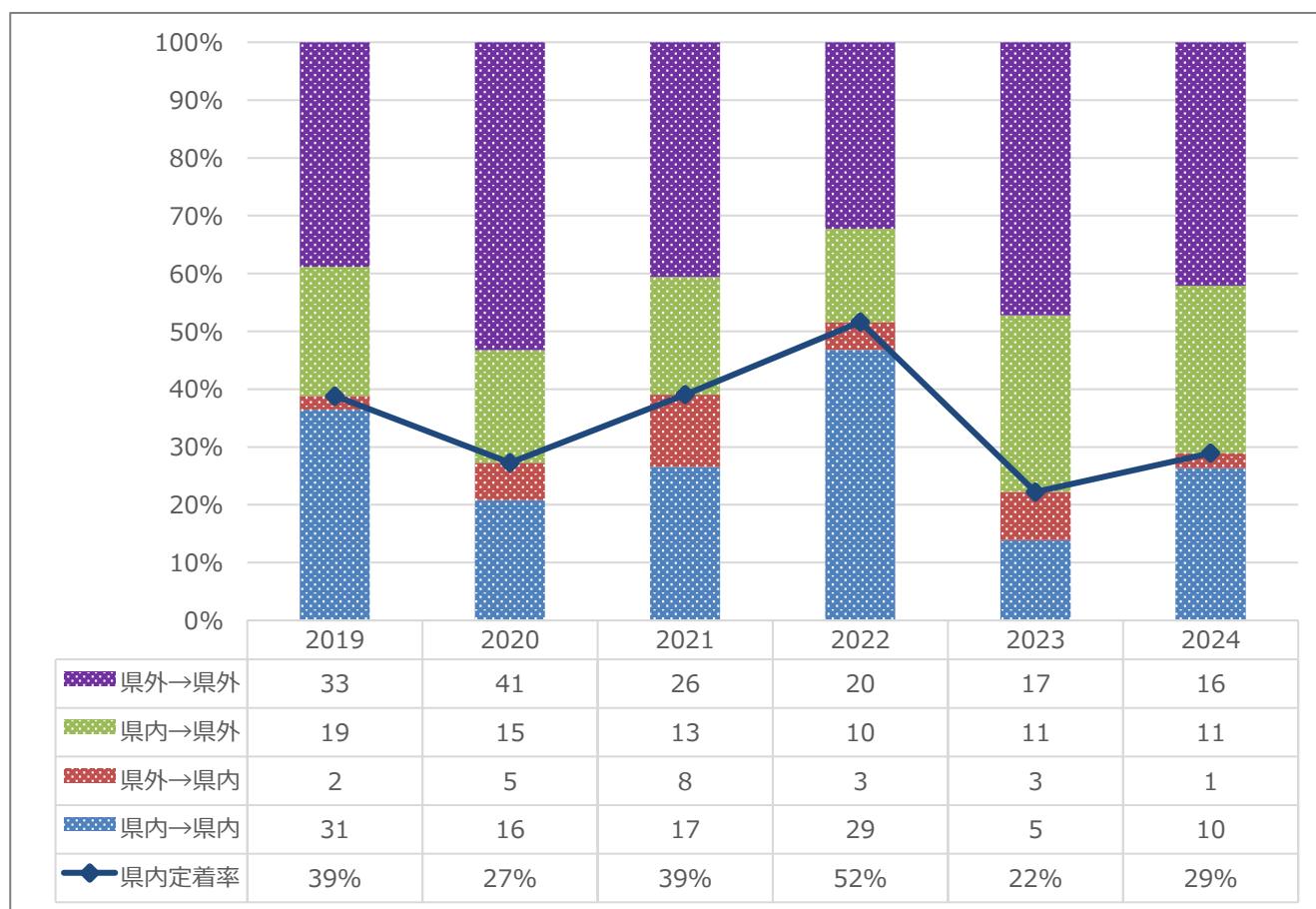




※凡例は「出身高校の所在する県→臨床研修先の病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

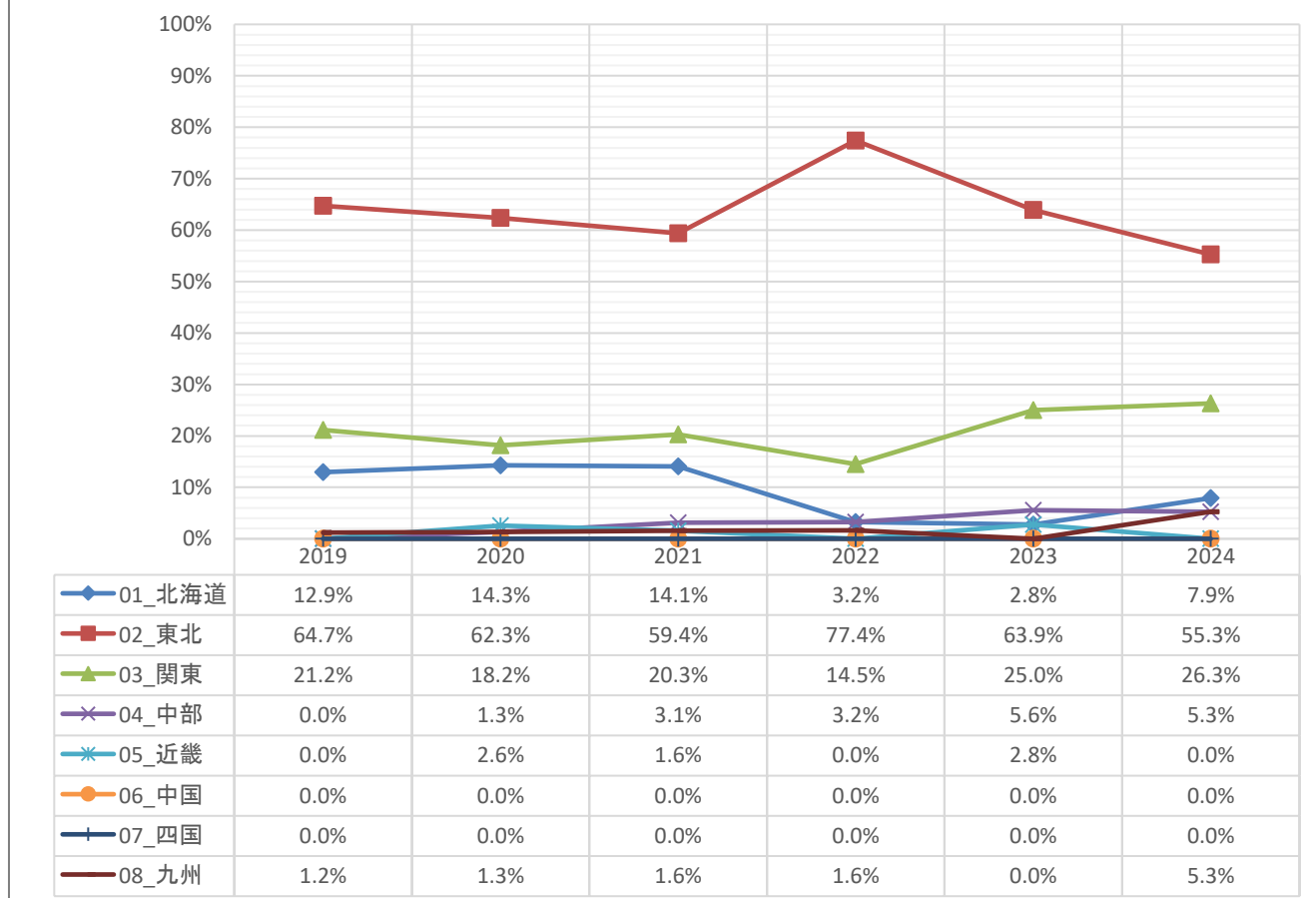
卒業後臨床実習先所在地_地方別割合

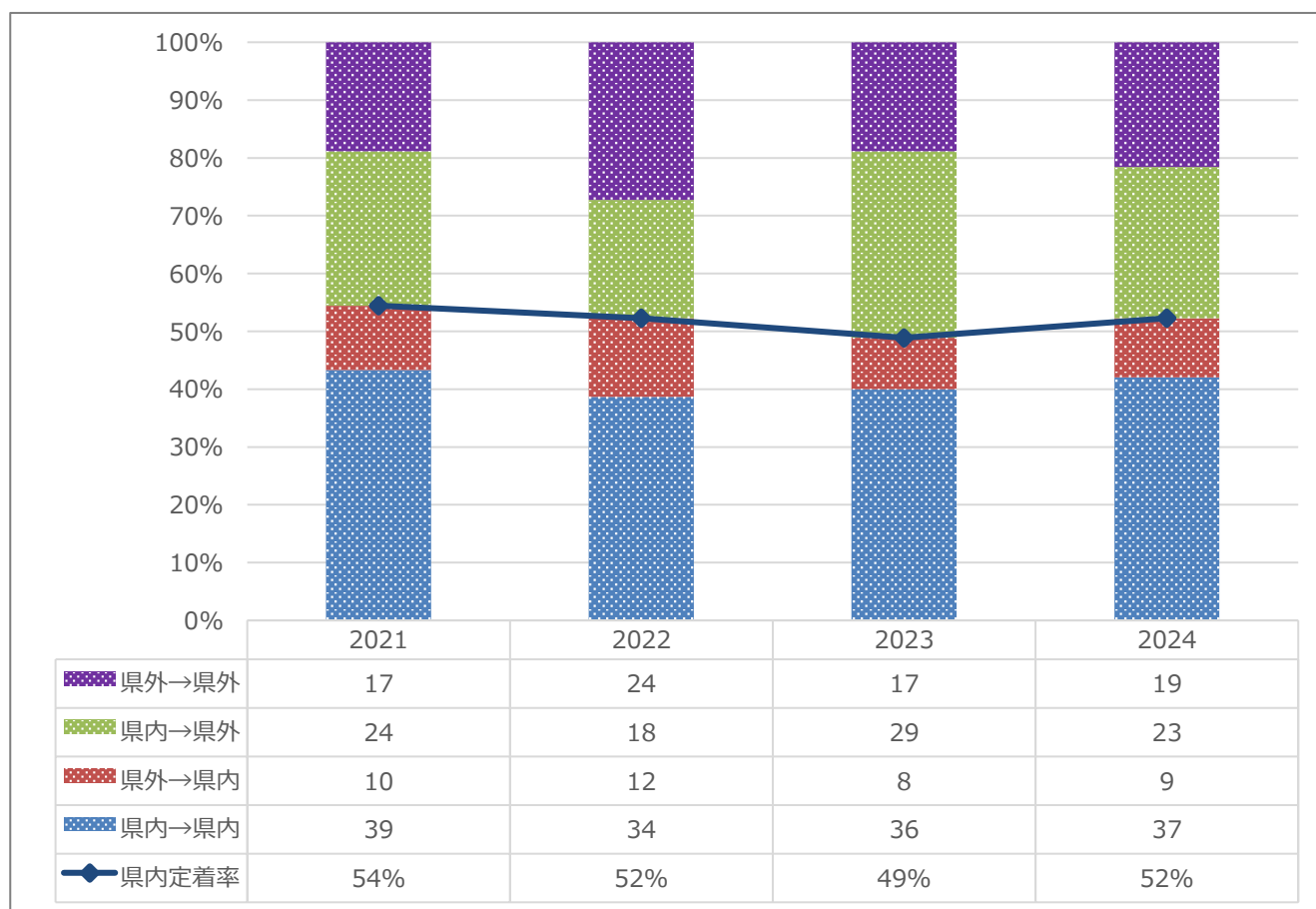




※凡例は「出身高校の所在する県→就職先企業、病院等の所在県または進学先の大学院所在県」を示す。

卒業後就職先所在地_地方別割合





※凡例は「出身高校の所在する県→就職先の所在県」を示す。

卒業後就職先所在地_地方別割合

